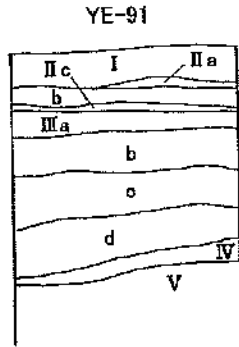


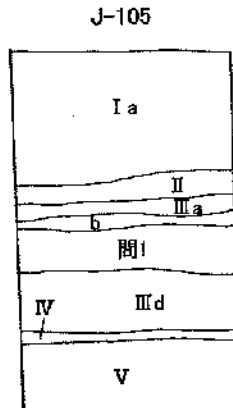
万座隣接地



万座隣接地基本層序

- I 層 黒褐色土 (10YR2/2)
耕作土
- II a 層 にぶい黄褐色火山灰 (10YR4/3)
軽石質火山灰層・シルト質
- II b 層 黄褐色火山灰 (10YR5/8)
軽石質火山灰層・粒径が粗い
- II c 層 黒色土 (10YR2/1)
- III a 層 軽石質火山灰を含む
黒色土 (10YR2/1)
混入物なし、堅くしまる
- III b 層 黒色土 (7.5YR2/1)
III a 層より柔らかい
- III c 層 黒褐色土 (7.5YR3/1)
後期前葉～中葉の遺構構築面
- III d 層 黒色土 (10YR2/1)
後期前葉の遺構構築面
- IV 層 暗褐色土 (10YR3/3)
地山直上の堆積層
- V 層 黄褐色火山灰 (10YR5/6)
申ヶ野火山灰層、台地の基盤層

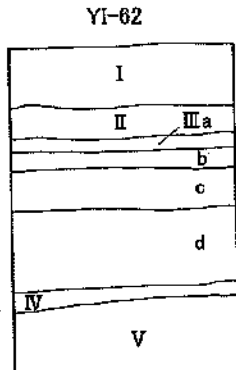
万座北側地区



万座北側地区基本層序

- I 層 黒褐色土 (10YR2/2)
耕作土
- II b 層 黒色土 (10YR2/1)
耕作土、碎石粒混入
- II a 層 大湯浮石層
樹木の根の攪乱が激しい。
- III a 層 黒色土 (10YR2/1)
混入物なし、堅くしまる
- III b 層 黒色土 (10YR2/1)
III a 層より柔らかい
- III d 層 黒色土 (10YR2/1)
後期前葉の遺構構築面
- IV 層 黄褐色火山灰 (10YR5/8)
- V 層 黄褐色火山灰 (10YR5/8)
申ヶ野火山灰層、台地の基盤層
- 間1 層 黒褐色土 (10YR2/3)

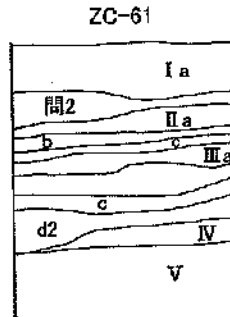
万座西側地区



万座西側地区基本層序

- I 層 黒色土 (10YR2/1)
耕作土
- II 層 淡黄褐色土 (2.5YR8/4)
大湯浮石層
- III a 層 黒色土 (1.7YR2/1)
混入物なし、堅くしまる
- III b 層 黒色土 (1.7YR2/1)
III a 層より柔らかい
- III c 層 極暗褐色土 (7.5YR2/3)
- III d 層 黒褐色土 (10YR2/2)
地山粒を含む、遺構確認面
- IV 層 オリーブ褐色土 (2.5YR4/4)
- V 層 明黄褐色土 (10YR6/8)

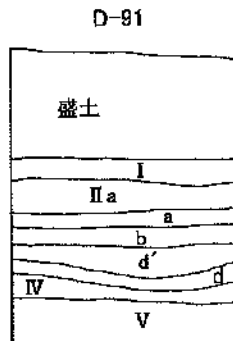
万座南側地区



万座南側地区基本層序

- I 層 黒褐色土 (10YR2/2)
耕作土
- II b 層 黒色土 (7.5YR2/1)
軽石質火山灰を含む
- II a 層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4)
シルト質火山灰
- II c 層 黄褐色土 (10YR5/8)
粒径が粗い
- III a 層 黒色土 (10YR1.7/1)
混入物なし、堅くしまる
- III b 層 黒色土 (7.5YR2/1)
III a 層より柔らかい
- III c 層 暗褐色土 (7.5YR2/2)
- III d 層 黒褐色土 (7.5YR2/2)
- III d2 層 黒褐色土 (10YR2/2)
地山粒を含む、遺構確認面
- IV 層 暗褐色土 (10YR3/3)
- V 層 明黄褐色土 (10YR6/8)
- 間1 層 黒色土 (10YR2/1)
- 間2 層 黄褐色土 (10YR5/6)

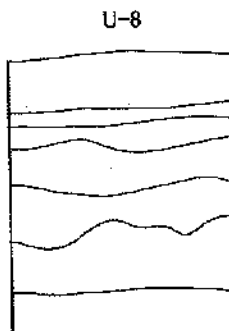
野中堂隣接地



野中堂隣接地基本層序

- 盛土 国管調査時の排土
- I 層 黒色土 (10YR2/1)
耕作土
- II 層 大湯浮石層
シルト質火山灰層
- III a 層 黒色土 (10YR2/1)
混入物なし、堅くしまる
- III b 層 黒色土 (10YR2/1)
III a 層より柔らかい
- III d 層 黒褐色土 (10YR2/3)
地山粒を含む、遺構確認面
- III d' 層 黒褐色土 (10YR2/3)
地山粒を含む
- IV 層 暗褐色土 (10YR3/3)
- V 層 黄褐色土 (10YR5/8)

一本木後口地区



一本木後口地区基本層序

- I a 層 黒褐色土 (7.5YR3/4)
耕作土、植物根多量
- I b 層 黒色土 (10YR2/1)
軽石を少し含む
- II a 層 にぶい黄褐色 (10YR4/3)
粒径が粗い
- II b 層 オリーブ褐色 (2.5YR4/6)
シルト質
- II c 層 にぶい黄褐色 (10YR6/3)
粒径が粗い
- II d 層 にぶい黄褐色 (10YR5/3)
粒径が粗い
- II e 層 明黄褐色 (10YR6/6)
径1~3cmの軽石
- III a 層 黒色土 (7.5YR1.7/1)
混入物なし、堅くしまる
- III b 層 黒色土 (7.5YR1.7/1)
- III c 層 黒色土 (5YR1.7/1)
調査区北側に主に分布
- III d 層 黒褐色土 (7.5YR1.7/1)
- IV 層 黒褐色土 (10YR2/3)
- V 層 黄褐色土 (10YR7/6)



第12図 各調査区の基本層序

第IV章 出土遺物

出土遺物については縄文土器、石器、土製品、石製品の順で説明を行う。各項目ごとに分類と分布状況を書き加え、その後に実測図、観察表を載せた。

1 縄文土器

(1) 出土土器の分類

史跡内からは縄文時代早期から晩期までの土器が出土しており、後期初頭～前葉のものが主体となっている。本報告書で取り扱った復元・図化土器(以下 復元土器)は遺構内・外から出土した632点(ミニチュア土器を除く)で、器種・数量は深鉢形土器260点、鉢形土器93点、浅鉢形土器48点、壺形土器162点、広口壺形土器14点、切断土器4点、蓋形土器10点、台付土器13点、片口土器8点、注口土器13点、有孔土器5点、底部多孔土器2点である。

これまでに出土した土器については報告書(1)～(25)において記載しているが、再度ここでもとめ、その概要を記す。本報告書において行った土器分類は、これまでの土器分類(文様分類)に準じたため、型式細分まで至っていない。

なお、前提報告書と基本的に群別(時期)について変更した点はないが、類・節で前提報告書を変更した部分もある。

第I群 縄文早期の土器

縄文早期の土器で貝殻文、沈線文、縄文が施文された土器を本群とした。いずれも土器片のみであり、器形や文様の特徴をまとめた。台地北側縁辺部を中心とした地域から出土している。

I-1類 貝殻腹縁文の土器(第13図1、79図1～35)

貝殻腹縁文、貝殻沈線文が施文された土器を本類とした。

貝殻腹縁文の土器には、数段重ねて施文するもの(1～8)や連続移動させて山形文(鋸齒状)を施文するもの(9～13)がある。貝殻腹縁文を数段重ねて施文するものは文様が底部まで及び、器形は平口縁の尖底深鉢形土器が主体となるものと考えられる。胎土に砂粒を含み脆い感じを受けるが、焼成は非常に良い。

連続移動させて山形文を施文したものは文様が底部付近まで及ぶ。小さな山形口縁を持つ尖底深鉢形土器が主体となるものと考えられる。土器内面に貝殻による条痕が見られるが、その後、丁寧なナデによりその痕跡が明瞭でないものもある。胎土に僅かに砂粒を含む以外は植物繊維などの混入は見られない。焼成は良好である。

貝殻文と沈線を組み合わせ幾何学的な文様を施文するもの(14～35)も本類とした。文様帯を胴部上半に持つ。沈線の交点や沈線間に刺突文を附加するもの、口唇部から垂下する隆沈線上に貝殻腹縁文を施文するものもある。器形は波状・平・山形口縁を呈したキャリパー形の尖底深鉢形土器が主体とするものと思われ、底部が丸底気味のものもある。口縁部は内湾気味となり、口唇部が先細りとなるものや方形に近い断面を呈するものがある。内面には貝殻による条痕が見られるもの、その後、ナデが加えられその痕跡が明瞭でないものもある。胎土には若干の砂粒を含むが、植物繊維の混入は見られない。

I-2類 沈線文の土器(第79図36~52)

沈線文を施文した土器を本類とした。鋸歯状や格子目状などの直線的な文様(36~43)、沈線と単刻線を組み合わせ矢羽根状文(シダ状)や沈線と刺突文の組み合わせによる文様を曲線的に展開するもの(44~52)もある。

鋸歯状・格子目状の幾何学的な文様を持つものは、胴部の内・外面には貝殻による条痕が認められるが、その後、ナデが加えられその痕跡が明瞭でないものもある。器形は不明。胎土には砂粒を僅かに含むが、植物繊維の混入は見られない。

沈線と単刻線によって文様が施文されるものは、土器破片から底部の小さな深鉢形土器を呈するものと考えられる。文様帯を胴部上半にもち、地文として貝殻による条痕を、下半にはLR縄文が施文されているものもある。胎土は砂粒を少し多く含み、焼成は良好である。

I-3類 縄文の土器(第80図53~69)

荒い縄文を回転したもの、縄文の側面圧痕を施文するものを本類とした。

前者は「表裏縄文」と言われるもの(53~66)で、単節のLR・RLの荒い縄文が施文される。内面には外面と同じ原体が回転施文され、調整として指頭による圧痕やナデが認められる。器形は平口縁の尖底深鉢形土器で、口縁部は僅かに外反する。口唇部は平坦で、縄文が施文されるものもある。胎土に若干の砂粒を含むものと、僅かに植物繊維を含むものもある。焼成は良好である。

縄文の側面圧痕や交差する縄文を特徴とするもの(65~69)も本類とした。器形は土器破片から平口縁の丸底に近い尖底深鉢形土器と考えられる。0段多条のLR・RL縄文が施文されるものが多い。内面に貝殻による条痕が見られるものもある。口唇部はやや肥厚し、外反気味となる。胎土はキメの細かい粘土を用いており、器面は「粉ふき芋」のように粉を吹いている状況となっている。

交差する縄文を特徴とする土器は、同一箇所縄文原体の方向を変えて回転施文している。器形は不明。胎土に植物繊維を含み、脆い感じを受ける。なお、本類には縄文前期の特徴をもつものもある。

第II群 縄文前期の土器

縄文前期の土器で、沈線文、刺突文、縄文、撚糸文が施文された土器を本群とした。いずれも土器片のみであり、器形や文様の特徴をまとめた。

II-1類 沈線文・押し引き沈線文の土器(第80図70~83)

地文上に短い沈線、押し引き沈線を施文するものである。沈線が口縁部に限定されるものと、ほぼ全域に及ぶものがある。地文としてLRL縄文・RL縄文が施文されている。器形は不明であるが、口唇部が丸味を持つもの、先細りとなりわずかに外反する平口縁の深鉢形土器が主体となるものと考えられる。

押し引き沈線文の土器は胴部上半に文様帯を持つようであり、地文として結束第1類の羽状縄文を施文するものもある。

胎土には多量の植物繊維を含み、脆い感じを受ける。焼成は良好なものが多い。

II-2類 連続刺突文の土器(第80図84~85)

棒状工具による刺突文を施文する土器である。全体的な器形は不明であるが平底の深鉢形土器と考えられる。胎土に僅かに植物繊維を含む。焼成は良好である。

II-3類 縄文の土器(第80図86~95)

ループ文や縄端圧痕文を主体とし、羽状縄文や菱形文を施すものである。全体的な器形は不明

であるが深鉢形土器と考えられる。胎土には植物繊維を含むが、焼成は良く、堅緻である。

Ⅱ-4類 燃糸文の土器(第13図2、78図96~79図117)

口縁部に絡条体圧痕文を施文するものである。平口縁の深鉢形土器が主体となる。口縁部文様帯は三角形の隆線で区画され、その幅が狭いものと広いものがみられる。口縁部文様帯下の胴部には木目状燃糸文や結節羽状縄文が施文される。胎土には砂粒のほか、僅かに植物繊維が含まれる。焼成は良好である。13図2は口縁部にRLの縄文が横位回転され、胴部に木目状燃紋が縦位回転される。

第Ⅲ群 縄文後期初頭の土器

磨消縄文、隆線文の土器を本群とした。

Ⅲ-1類 磨消縄文の土器(第13図4~5)

山形口縁を呈する深鉢形土器がみられる。第13図4は深鉢形土器で、文様帯は口縁部と胴部文様帯に区画される。口縁文様帯は無文化され、口唇部に縄文圧痕文と山形口縁部直下より垂下する2列の刺突が施文される。胴部文様帯は方形文が四単位となり、ボタン状貼付文から垂下する「L」字文が施文され、その先端は隆带状となっている。胴部全体にRL縄文が施文されるが、沈線間は磨り消されている。5は平口縁の深鉢形土器で、LR縄文を回転後、沈線で鍵状・曲線的な文様を施文している。一部に磨り消し部があることや器形から本類とした。

Ⅲ-2類 隆線文の土器(第79図118~126)

幅の細い隆線を貼り付け文様とするものを本類とした。復元された資料がないことから器形や文様は不明である。小さな山形口縁を呈する深鉢形土器が主体となっているものと考えられる。文様帯は隆線によって口縁部と胴部に区画される。口縁部には山形口縁直下から垂下する隆線が施文され、その内部が無文化されるものが多く見られる。主文様については不明であるが直線的・曲線的な隆線が施文され、隆線上に縄文が附加されている。焼成は良好である。

第Ⅳ群 縄文後期前葉の土器

縄文後期前葉の土器で、隆線文・隆沈線文、沈線文、磨消縄文を施文したものを本類とした。

本遺跡の主体となる土器群である。多種の土器が見られるが、切断土器、蓋形土器、片口土器が本群の特徴的な土器である。

Ⅳ-1類 隆線文・隆沈線文の土器(第13図6~14図15)

隆線や隆沈線文により文様を施文したものを本類とした。壺形土器、深鉢形土器が主体となる。壺形土器には頸部のすばまる小型もの、平口縁の広口の大型のものがみられる。文様帯が胴部最張部までのものと底部付近まで及ぶものがみられる。渦巻文や縦位S字文、方形文が主文様となり、曲線文や楕円形文などを付加している。6は注ぎ口の位置をずらしたもので、渦巻文を主文様とし、X字状に隆沈線文を付加している。器全面に赤色顔料が塗布されている。

深鉢形土器は山形口縁が主体となり、口縁部と胴部に文様帯を有するものが大半である。主文様として口縁部文様帯には楕円形文、弧線文、S字文を、胴部文様帯には波状文、曲線文、変形楕円形文などが施文される。二段構成をとるもの(12・14)が多く、下端は区画される。また15のように格子目状沈線文を施文するものもある。

IV-2類 沈線文の土器

2a 地文上に沈線文が施文するもの(第15図16~18)

山形口縁を呈し口唇が僅かに内湾するもの(18)と、山形口縁を呈し底部から曲線的に立ち上がり口唇部に向かい口縁部が直線的に立ち上がる深鉢形土器(17)がみられる。地文にはLR縄文が多用される。文様帯は胴部中程まで及び、主文様として縦位「S」字連結文、波状文が施文され、連結文として曲線文が付加されるものもある。色調は全体的に赤みかかったものが多く、焼成は良好である。

2b 主文様が横位方向に展開するもの(第15図19~76)

無文化された器面に1条から数条の沈線によって主文様を横位方向に展開する土器を本類とした。なお、24のように胴部文様の上下端を隆沈線で区画するものについても本類として取り扱った。壺形土器、広口壺形土器、鉢形土器、深鉢形土器、蓋形土器、切断土器など多くの器種が見られる。壺・広口壺形土器は、平口縁を呈するものがほとんどである。頸部は基本的には無文化される。文様帯を胴部上半(最張部まで)にもち、主文様として楕円形文、波状文、入組曲線文が施文され、それらを連結する弧線文や曲線文などが付加されるものもある。器表面はミガキが行われ、光沢を呈するものもある。焼成は良好である。

鉢形土器は比較的小型のものが多いが、40のように大型のものも存在する。平口縁を呈するものと山形口縁を呈するものが見られる。口縁部・胴部文様帯が一体となるもの(44・47)と口縁部と胴部文様帯に区画されるもの(44・55)もある。口縁部に楕円形文、胴部に弧線文、曲線文、波状文(S字文)、入組曲線文、階段状文などを施文し、主文様を連結するように三角形文や弧線文・変形楕円形文・X字文などを付加するものもある。焼成は良好である。

深鉢形土器は山形口縁・平口縁を呈する。口縁部文様帯が狭いものも多く見受けられ、口唇部に沿わせ並行沈線や楕円形文が施文されている。口縁部文様帯と胴部文様帯の間に無文帯をもつものも見受けられる。胴部文様帯は胴部上半に限定されるもの、底部付近まで及ぶものがある。いずれも、下端は沈線で区画される。主文様として入組状曲線文、曲線文、波状文、重層する弧線文などが施文され、並行沈線や弧線文・変形楕円形文で主文様を連結するもの、その間に充填するものもみられる。基本的には一段の構成をとるが、なかには二段(50・70・71)となるものもある。

24は切断土器である。胴部上端で切り離され、その切断面には棒状工具の痕跡が見られる。切断部分にアスファルトの付着が認められる。隆沈文を区画文とし、胴部文様帯に弧線文が主文様として施文されている。75・76も切断土器の底部破片である。

72~74は蓋形土器で、主文様として平行沈線文、曲線文・入組状曲線文が施文されている。

2c 主文様が縦位方向に展開するもの(第19図77~24図127)

無文化された器面に1条から数条の沈線によって主文様が縦位方向に展開する土器を本類とした。壺形土器・広口壺形土器、鉢形土器、深鉢形土器、蓋形土器、ミニチュア土器などが見られる。

壺形・広口壺形土器は平口縁が主体となり、胴部が球体となるものと下半に最張部を持つものが見られる。胴部文様帯はそれぞれの胴部最張部に及ぶものがほとんどであるが底部付近まで及び、隆沈文を区画文とするものもある。主文様として方形文、縦位S字連結文、曲線文、円文、弧線文が施文され、変形楕円形文、弧線文などを連結文とするものもある。79はB2区・第3号配石遺構下より出土したもので変形楕円形文を巧みに使い「人面」的な文様を描き出している。86はF4区・第34号フラスコ状土坑から出土したもので、縦位S字文を主文様として施文し、波状文

や曲線文で連結している。器面には赤色顔料の塗布が認められる。87は並行沈線と短い弧線文を重ねあわせ方形文としている。焼成は良好である。

鉢形土器は平口縁・波状口縁を呈する小型のものが多く、文様帯は胴部全域に及ぶものが多い。主文様として縦位に連結する円文、弧線文、曲線文が施文されるもののほか、花卉状文を施文するものもある。

深鉢形土器には山形口縁・波状口縁を呈するものが見られる。口縁部から胴部中程（または底部付近）まで連続する文様帯を持つものが多く、主文様として縦位S字連結文、円文、弧線文、波状文、曲線文、直線的な矢羽根状文、格子目文三角形文などが施文される。主文様間に変形楕円形文や弧線文を充填・付加するものもある。120は向かい合う弧線内に花卉状文、弧線外に重層する並行沈線を施文している。

126・127は円盤状の蓋形土器で、花卉状文や並行沈線間に刺突を付加した文様が施文されている。

2d 主文様が無方向に展開するもの(第24図128~130)

無文化された器面に無方向な沈線で文様を施文するものを本類とした。壺形土器、深鉢形土器、蓋形土器、ミニチュア土器などがみられる。沈線の幅が狭く条痕文的なものもみられる。

IV-3類 磨消縄文の土器

3a 主文様が横位方向に施文されるもの(第24図131~35図240)

幅の狭い磨消縄文により主文様を横位方向へ展開するものを本類とした。壺形土器、広口壺形土器、深鉢形土器、鉢形土器、台付土器、片口土器、注口土器がみられ、種類が最も豊富である。

壺形土器・広口壺形土器は胴部が楕円形状のものが多くみられる。口縁部は山形口縁・平口縁を呈する。口縁部が無文化されるもの、口唇部に並行沈線や帯縄文を施文するものがある。胴部文様帯を隆沈文で区画するもの(131)もあり、文様帯は胴部最張部まで及ぶ。主文様として波状文、入組曲線文、渦巻文、階段状文、弧線文、楕円形文などが施文され、主文様を曲線文、弧線文などで連結するものもある。地文としてLR縄文、RL縄文を施文・磨り消しするものと沈線間に充填するものがある。焼成は良~良好である。

鉢形土器は小さな山形口縁を呈するものが多く見受けられる。口縁部に幅の狭い文様帯を持つものがあるがその数量は少ない。帯縄文を区画文とし、主文様として弧線文、波状文が施文されるほか、未熟な入組曲線文を施文するものもある。焼成は良~良好である。190は台付土器にも見えるがキャリパー形の深鉢形土器として捉えたほうが良く、幾何学的な文様が施文されている。

深鉢形土器は波状口縁または平口縁を呈し、波状口縁の頂部に刻みを入れるものもある。口縁部と胴部とに文様帯を区画しているものと両文様帯が一体化しているものもある。前者の文様帯は胴部中程まで、後者は上半に区画される。

口縁部文様帯に花卉状文、弧線文などが施文されるものもある。胴部文様帯には入組状曲線文、波状文、弧線文、階段状文、変形楕円形文(幾何学的的)が主文様として施文され、弧線文や三角形文を付加するものもある。

台付土器には二つのタイプがあり、燭台に類似したものと高台をもったものがある。189は燭台状を呈するもので、口縁部・燭台部文様帯に入組状曲線文を施文したのち、沈線間にLR縄文と刺突を充填している。沈線間には赤色顔料の塗布の痕跡が認められる。

片口土器は深鉢状を呈するものが多く見受けられるが、211のように鉢形のものもある。口縁部文様帯は無文化され、花卉状文を施文するものもある。胴部文様帯には入組状曲線文が施文さ

れ、沈線間には地文としてLR縄文・RL縄文が残されている。

本類に分類された注口土器は212のみである。口縁部の状況は不明。主文様として入組状曲線文を、沈線間にはL縄文が施文されている。

3b 主文様が縦位方向に施文されるもの(第35図241~38図274)

主文様を縦位方向に展開したもの、文様帯を上下二段に区画し花卉状文や弧線文を等間隔に施文、結果的に縦長の胴部文様帯になっているもの(244・263・264など)も本類とした。壺形土器、鉢形土器、深鉢形土器、片口土器がみられる。

壺形土器・広口壺形土器は波状口縁、平口縁を呈し、長頸のものもみられる。胴部は球形や下膨れの楕円形状を呈する。口縁部は無文化されるものと帯縄文を施文するものがある。胴部文様帯は帯縄文で区画され、最張部まで及ぶものが大半を占め、一段から三段に区画されている。主文様として花卉状文、弧線文、菱形文が等間隔で施文されるが、隆沈線により区画された文様帯内に花卉状文(245)を施文するものもある。地文としてLR・RL縄文を施文し、磨り消すものと充填するものがみられるが、249のように沈線間に条痕を充填するものもある。

鉢形土器は小さな波状口縁を呈する。帯縄文によって文様帯が区画され、弧線文、菱形文、花卉状文、幾何学文が施文される。254のように器内面に花卉状文を施文するものもある。

深鉢形土器は山形口縁、波状口縁を呈し、口縁頂部に刻目を入れるものもみられる。基本的には口縁部と胴部に文様帯が区画されるが、両者が一体化したように見えるもの(267・269・270)もある。口縁部が無文化されるものと花卉状文などを施文するものがあり、胴部文様帯には等間隔に弧線文(円文)、花卉状文、階段状文、菱形文のほか、文様帯内に縦位の帯状文を施文し、方形文とするものや弧線文を入れ込むものもある。地文としてLR・RL縄文を施文し、磨り消すものや充填するものがみられる

片口土器は波状口縁を呈し、頂部内側にボタン状の粘土を貼り付けるものがみられ、胴部文様帯に円文が等間隔に施文されている。

3c 幅の広い磨消縄文の土器(第39図276~40図297)

幅の広い磨消縄文を施文した土器類である。本類3a類、3b類と比較してもその幅の違いは歴然としている。また、沈線間に施文されている縄文(節・条)は3a類、3b類と比較しても細くなるという第V群土器の特徴を持ち始めており、このようなことから本類を設定した。

器形として壺形土器、深鉢形土器、切断土器、異形土器がみられる。

壺形土器は広口のものが多く見られる。胴部文様帯は帯縄文で区画され、波状文や山形文が施文されている。沈線間に縄文を充填施文するものが多くみられる。277はF1区第419A号・F4区第11号フラスコ状土坑から出土し、復元されたものである。

深鉢形土器は、平口縁・波状口縁を呈する大型のものも多くみられる。平口縁を呈する土器は口縁部が無文化され、口唇部に単節縄文の押圧を持つものもある。292・293は胴部ほぼ全域に文様帯を持ち、文様帯は2段~3段に区画され、入組状曲線文・弧線文・鍵状文が主文様として施文される。沈線間にはLR・RL縄文が充填される。波状口縁の土器は、口縁部文様帯の幅がせまく無文化され、波状文が主文様として施文されものがある。焼成は良好である。

第V群 縄文後期中葉の土器

縄文後期中葉に属すると思われる土器で、幅の広い磨消縄文により幾何学文などを施文する土器を本群とした。第III類土器に続いて出土量が多い。磨消縄文の幅、縄文の条の変化とともに沈

線の幅が広く、浅いという特徴もみられる。

また、本群土器の特徴的な器種として注口土器、有孔土器があり、深鉢形土器は台付となり、派手な装飾突手を有するものがみられる。

V-1類 磨消縄文の土器(第40図298~42図320)

磨消縄文により幾何学文、円文、アメーバ状文を施文する土器を本類とした。広口壺形土器、浅鉢形土器、深鉢形土器、注口土器、有孔土器が見られる。

広口壺形土器は平口縁で、胴部は球状を呈するものが多く見受けられる。口縁部が大きく開き、幅の広い磨消縄文を施文するものや無文化するものがある。胴部文様帯は全面に及び、主文様として波状文、弧線文、幾何学文、入組文のほか垂下する蛇行懸垂文的な文様が施文される。沈線内には条の細かなLR縄文・RL縄文が充填される。焼成は良好である。

深鉢形土器は口唇部が肥大化し、山形口縁の頂部に派手な装飾突起を持つ台付深鉢形土器が主体となる。小型のものには4または6つの頂部を有する山形口縁を呈するものもある。派手な装飾突起を持つ深鉢形土器は口縁部・胴部文様帯をもち、円文、幾何学文やアメーバ状の文様が交互に施文され、沈線の内側に沿って刺突が連続的に付加されるものもある。小型のものは台部から口縁部まで直線的に胴部が立ち上がるものが多く、大型のもののように口縁が朝顔状に開くものは見当たらない。文様帯を上半にもち、弧線文、波状文が施文されている。

注口土器は胴部が僅かにつぶれた形状を呈している。311の文様帯は胴部上半に限定され、平行沈線によって浮き彫り的になった区画文によって区画されている。文様帯には向かい合う弧線文を等間隔に配置し、その間を弧線文で連結しており、沈線内にはLR縄文が充填されている。

有孔土器は平口縁を呈し、口縁が窄まるものと僅かに外反するものがある。文様は全面に及び、弧線文を横位に連続させた「コンパス文」的な文様を施文するものや、楕円形文・三角形文を等間隔に施文するものなどがある。沈線間にはLR縄文が多用され、沈線外はきれいに磨り消しが行われている。焼成は良好である。

V-2類 沈線文の土器(第43図321~44図338)

多条沈線を施文する土器を一括した。壺形土器、浅鉢形土器、鉢形土器、深鉢形土器、片口土器が主体となるが、壺形土器、片口土器の割合は少数である。

浅鉢形土器・鉢形土器は平口縁を呈し、大型のものと小型のものが見受けられる。大型のものは底部から口縁部まで直線的に、小型のものは口縁部が内湾的に立ち上がる。多条沈線は胴部上半(口縁部)に限定されるものが多く、弧線文やS字文を付加し、沈線を連結させ、楕円形文的な要素を作り出しているものもある。地文としてLR縄文・RL縄文が施文・充填されている。小型のものにていねいなものが多い。

深鉢形土器の口縁部は胴部から「朝顔」状に大きく開き大波状口縁や山形口縁となるもののほか平口縁に立体的な小さな装飾突起を持つものがある。口唇部は肥大化し、口縁部が内湾しているように見える。多条沈線は口縁部と胴部に施文され、弧線文やS字文を付加し、沈線を連結し、楕円形文的な要素を作り出しているものもある。地文としてLR縄文・RL縄文が施文・充填されている。

片口土器(321)は、口縁部と頸部に多条沈線を、胴部上半に同一原体の方向を変えた羽状縄文が施文されている。

有孔土器(338)は平口縁を呈する円筒形の土器で、底部から口縁部まで僅かに窄まりながら立ち上がる。多条沈線が五段施文され、RL縄文が充填されている。

無文化された器面に、平行沈線文や短刻線を施文するものも本類とした。340～342は注口土器で短刻線が特徴となる。

3類 浮き彫り的な文様を持つ土器(第44図343～45図352)

隆線や隆沈線、沈線を巧みに使い浮き彫り的な手法により文様を描き出しているものを本類とした。注口土器が主体であるが344のような深鉢形土器もある。

注口土器の口縁部は肥大化し内湾気味に立ち上がり、胴部は丸みを帯びた楕円形を呈する。口縁部は無文化され、小さな突起を有する。文様帯は胴部上半に区画され、入組文、弧線文(玉抱き文的)、幾何学文などが施文されている。器面は磨き上げられており、光沢を呈している。

深鉢形土器は、器形からすると本類1類に属するものとも考えられる。大きな装飾突起を持ち、底部から直線的に胴部・口縁部まで立ち上がる。二段の文様帯を持ち、円文や楕円形文が等間隔で配置されている。焼成は良好である。

第VI群 縄文後期後葉の土器

磨消縄文、瘤付文が施文される土器を本群とした。出土量は極めて乏しく、器形や文様構成を把握できるものは僅かである。

1類 磨消縄文の土器(第81図127～130)

磨消縄文もので、沈線間に羽状縄文を施文する土器を本類とした。破片のみの出土で詳細な器形は不明であるが、波状口縁を呈する深鉢形土器と考えられる。

波状口縁の頂部には小さな突起が付けられ、口唇部は肥大化する。文様帯には曲線や弧線を組み合わせた楕円形文などが施文されている。

2類 瘤付文の土器(第45図353)

瘤付文を特徴とする土器を本類とした。復元されたものは深鉢形土器1点である。9つの突起とその間に小突起を持つ口縁で、口縁突起部に粘土瘤が貼り付けられている。口縁部と胴部に文様帯が区画されており、主文様として入組曲線文が施文されている。口縁部の入組文内に刻目を、胴部にはLR縄文が施文されている。焼成は良好である。

第VII群 縄文晩期の土器

三叉文、X字文、羊歯状文、雲形文が施文された土器を本群とした。

1類 入組三叉文の土器

三叉文、X字文が浮き彫り的な手法によって施文されるものが出土している。器形は鉢形土器、注口土器がみられる。焼成は良好である。小破片のため図示しなかった。

2類 羊歯状文の土器(第45図354)

羊歯状文が施文されたものを一括した。文様帯は口縁部に限定される。器形は小型の深鉢形土器、台付土器がみられる。胴部にはLR縄文が多用される。焼成は良好である。

3類 雲形文の土器(第45図355)

雲形文が施文されたものを一括した。器形は鉢形土器、台付鉢形土器のほか浅い皿状のものもみられる。台付鉢形土器の文様帯は胴部中程まで及んでいる。RL縄文・LR縄文が充填されている。焼成は良好である。

VIII群 縄文早期～晩期の土器

無文、縄文、撚糸文、条痕文、ミニチュア土器を一括した。本遺跡の中で最も出土量が多い。器形や文様の特徴から時期決定できるものについて記載した。

1類 無文の土器(第46図356～54図497)

無文の土器を一括した。壺形土器・広口壺形土器、浅鉢形土器、鉢形土器、深鉢形土器、蓋形土器、切断土器、片口土器、多孔土器と種類が豊富である。

壺形土器・広口壺形土器には平口縁や波状口縁、山形口縁を呈するものがある。胴部は球形、楕円形、ややつぶれたもの、下膨れのものが見られる。頸部に橋状の把手をつけるものもある。小型のものほどいいねいな磨きがされている。

浅鉢形土器・鉢形土器の口縁部は平口縁のものが多く見受けられるが、低い山形口縁を呈するものもみられる。底部から口縁部への立ち上がりが直線的なもの、口縁部が外反するもの、全体的に内湾するものなどがある。457・459は器形の特徴から第V群土器に伴うものと考えられる。

深鉢形土器の口縁部は平口縁を呈するもの多く見受けられるが、波状や山形口縁を呈するものもある。底部から内湾気味に立ち上がり口縁が外反するもの、直線的に立ち上がり口唇部が肥大化し、装飾突起をもつもの(489)などがある。489・493は器形の特徴から第V群土器に伴うものと考えられる。

蓋形土器・切断土器・多孔土器もていねいな磨きが行われている。496には褐色の樹脂状の附着、648には切断時に角ばった棒状工具を使用した痕跡と赤色顔料の塗布した痕跡が残されている。

2類 縄文の土器(第54図501～67図608)

無節・短節・複節縄文のものを一括した。壺形土器、広口壺形土器、浅鉢形土器、鉢形土器、深鉢形土器、片口土器がみられる。

壺・広口壺の口縁部は平口縁・山形口縁を呈し、胴部が球体を呈するものと細長のものがある。器全面に縄文を施文するもののほか、口縁を無文化するものもある。507は葉IV群3c類に伴うものと考えられる。

浅鉢・鉢形土器の口縁部は平口縁が主体となるが低い山形口縁を呈するものもある。山形口縁を呈するものには頂部に刻目を有するものもある。頸部に沈線や縄文圧痕文を境界文とし、口縁を無文化するものもある。図示したものは第III群・IV群に伴うものであるが、517はその器形的特徴から第V群に伴うものと考えられる。

深鉢形土器の口縁部は平口縁、波状口縁のほか、山形口縁を呈するものもある。縄文圧痕文を境界文として口縁を無文化するもの、530のように同じ原体を用い圧痕で楕円形文を施文するものもある。557・561・575・576などは器形の特徴から第V群土器に伴うものと考えられる。

3類 撚糸文の土器(第68図609～78図638)

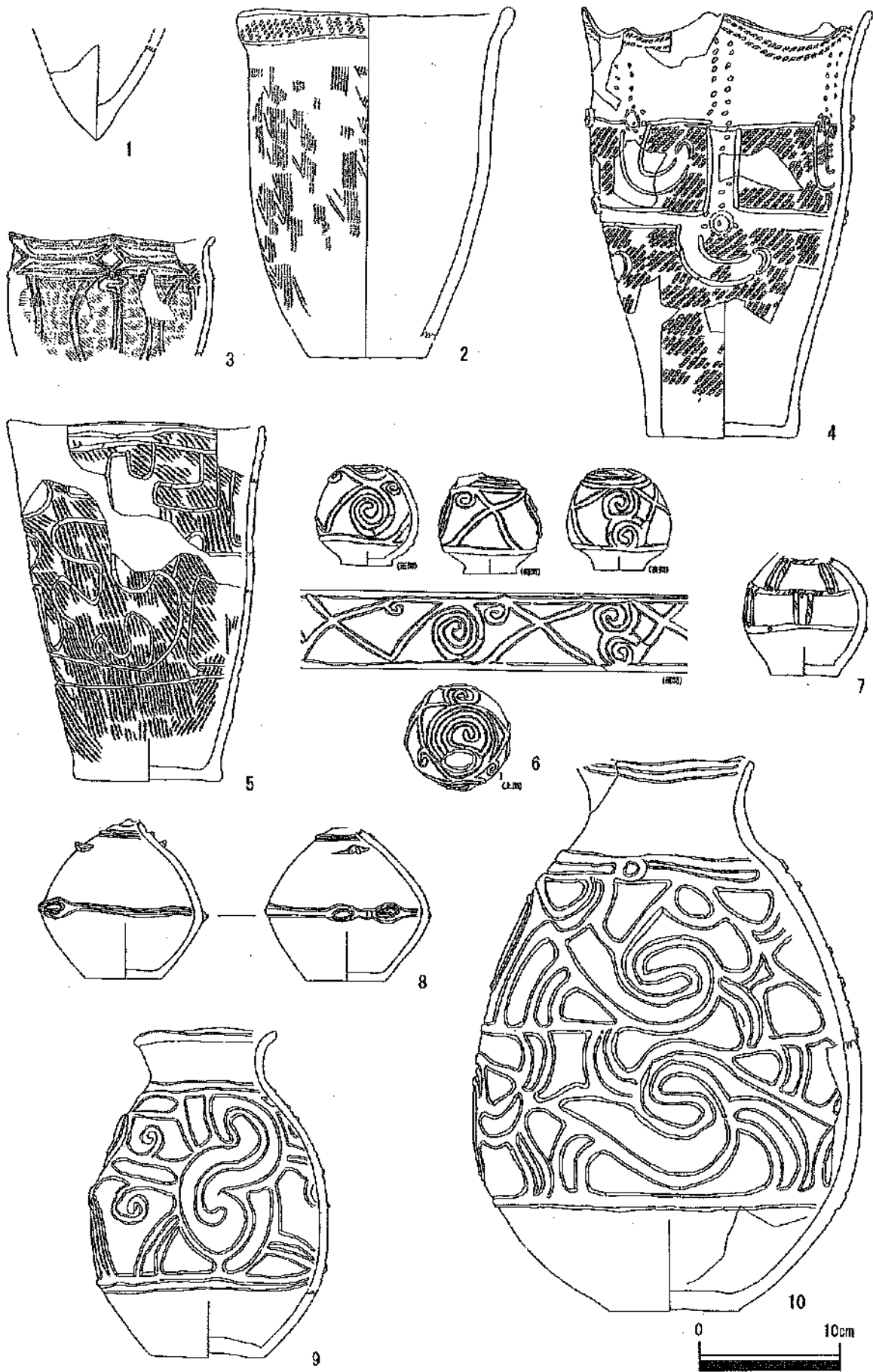
短軸絡状帯撚糸文、網目状撚糸文を施文した土器を一括した。壺形土器と深鉢形土器がみられる。

壺形土器は小型のもので、口縁が平口縁や山形口縁を呈する。胴部が球体となるものや細長のものがある。613のように隆沈文を境界文とするものもある。

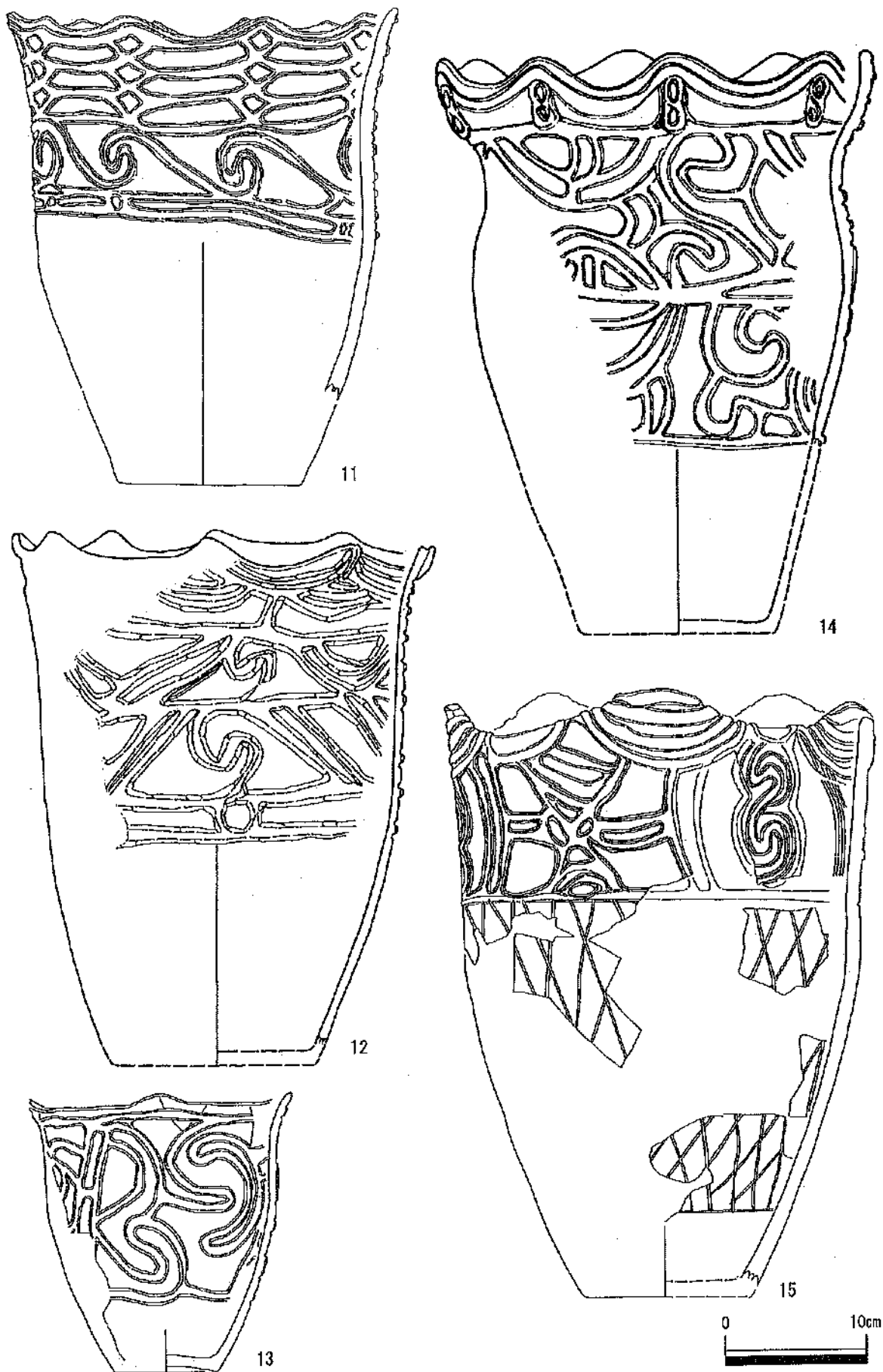
深鉢形土器の口縁部は平口縁を呈するものが圧倒的に多く、山形口縁を呈するものも少数であるが見受けられる。折り返し口縁のもの、胴部と口縁部に段を有するものが見られ、沈線を境界文とするもの、口縁部に曲線文(618)や楕円形文(627)を施文するものもある。図示したものは第III群・IV群土器に伴うものである。

第7表 出土土器の分類

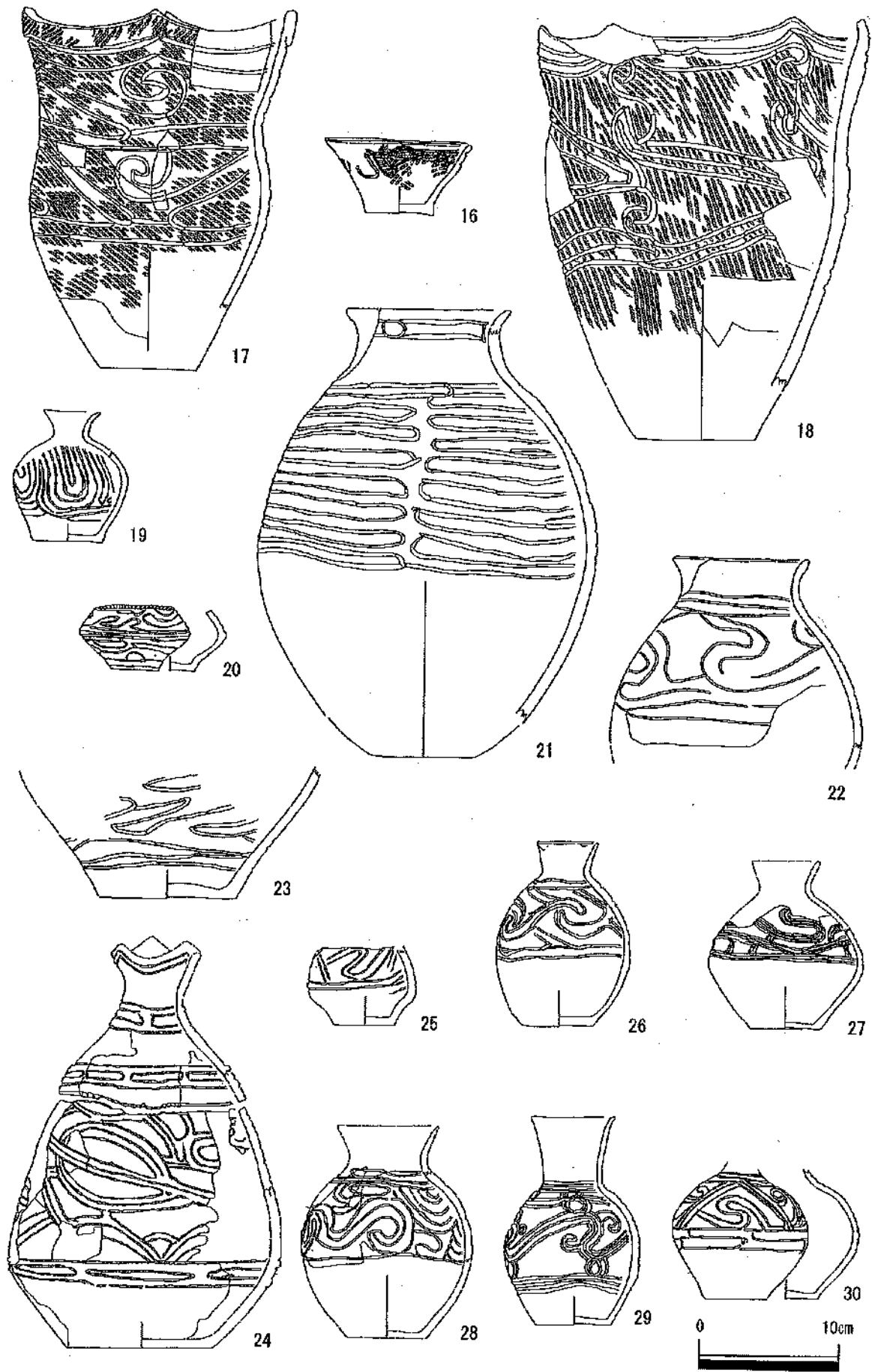
群		類				
I群	早期	1類	貝殻文の土器	貝殻腹縁文の土器 連続した貝殻腹縁文の土器 貝殻文と沈線文の土器		
		2類	沈線文の土器	沈線文の土器 沈線と短刻文の土器		
		3類	縄文の土器	縄文を多用する土器 縄文側面圧痕する土器		
II群	前期	1類	沈線・押引沈線文の土器			
		2類	刺突文の土器			
		3類	縄文の土器			
		4類	撚糸文の土器			
III群	後期初頭	1類	磨消縄文の土器			
		2類	隆線文の土器			
IV群	後期前葉	1類	隆線文・隆沈線文の土器			
		2類	沈線文の土器	2a類	地文上に沈線を施文するもの	
				2b類	主文様が横位方向に施文されるもの	
				2c類	主文様が縦位方向に施文されるもの	
				2d類	主文様が無方向に施文されるもの	
		3類	磨消縄文の土器	3a類	主文様が横位方向に施文されるもの	
				3b類	主文様が縦位方向に施文されるもの	
3c類	幅の広い磨消縄文が施文されるもの					
V群	後期中葉	1類	磨消縄文の土器	1a類	主文様が横位方向に施文されるもの	
				1b類	主文様が縦位方向に施文されるもの	
		2類	沈線文の土器	2a類	多条沈線文の土器	
				2b類	短刻線の土器	
		3類	浮き彫り的な文様を持つ土器			
VI群	後期後葉	1類	磨消縄文の土器			
		2類	瘤付文の土器			
VII群	晩期	1類	入組三叉文の土器			
		2類	羊歯状文の土器			
		3類	雲形文の土器			
VIII群	早期から晩期	1類	無文の土器			
		2類	縄文の土器			
		3類	撚糸文の土器			
		4類	条痕文の土器			
		5類	ミニチュア土器			



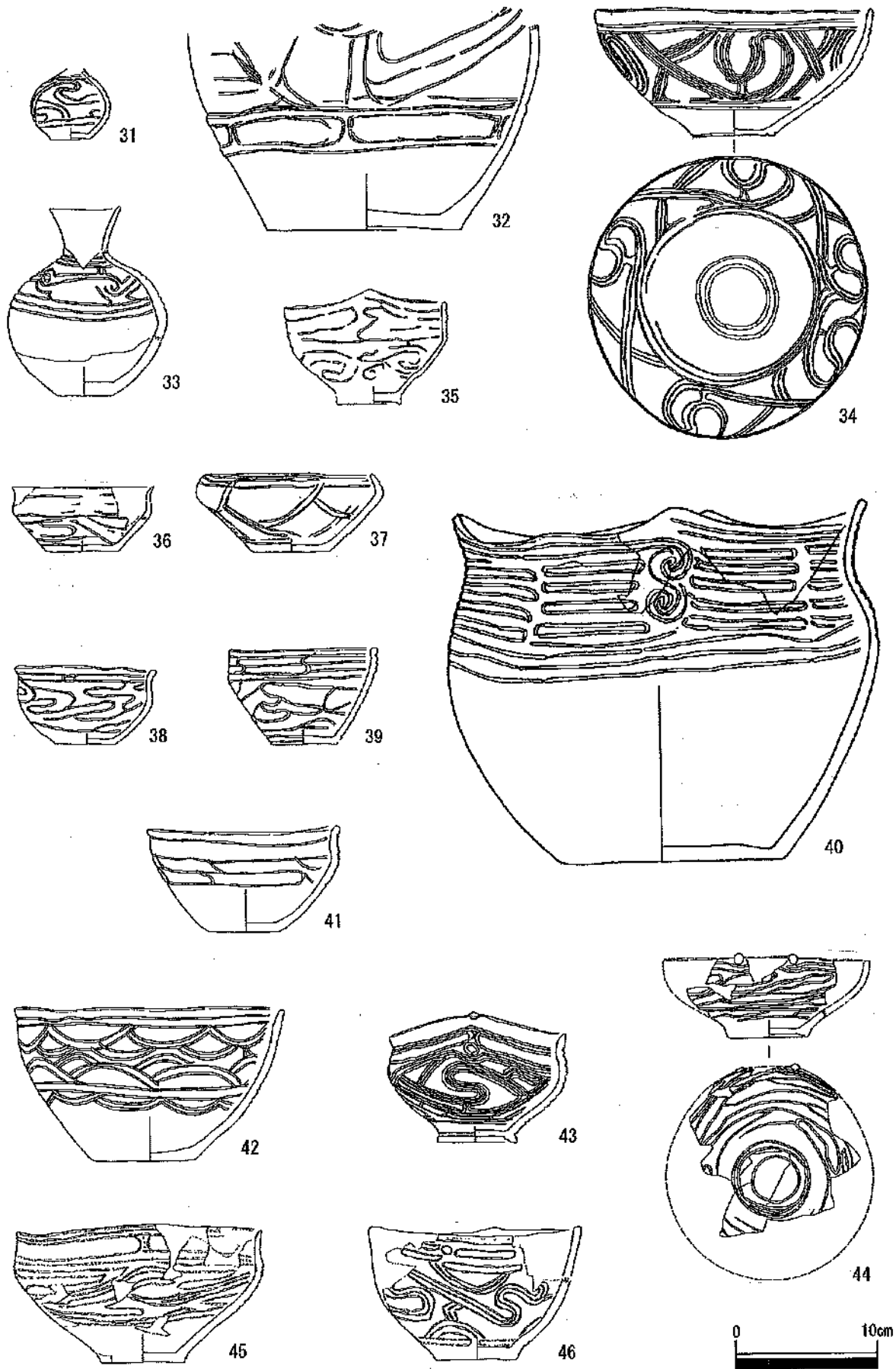
第13图 土器実測図(1)



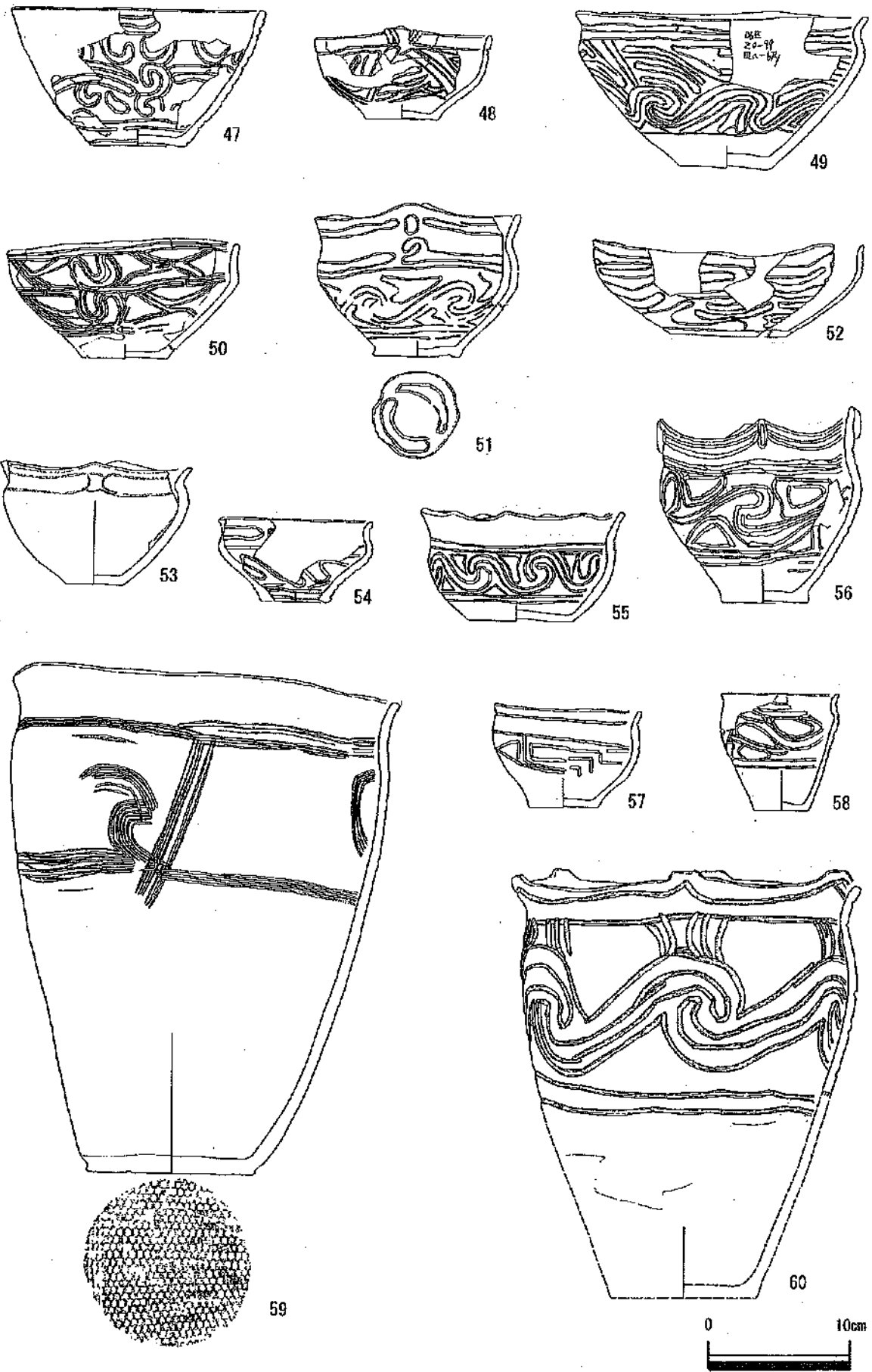
第14图 土器実測图(2)



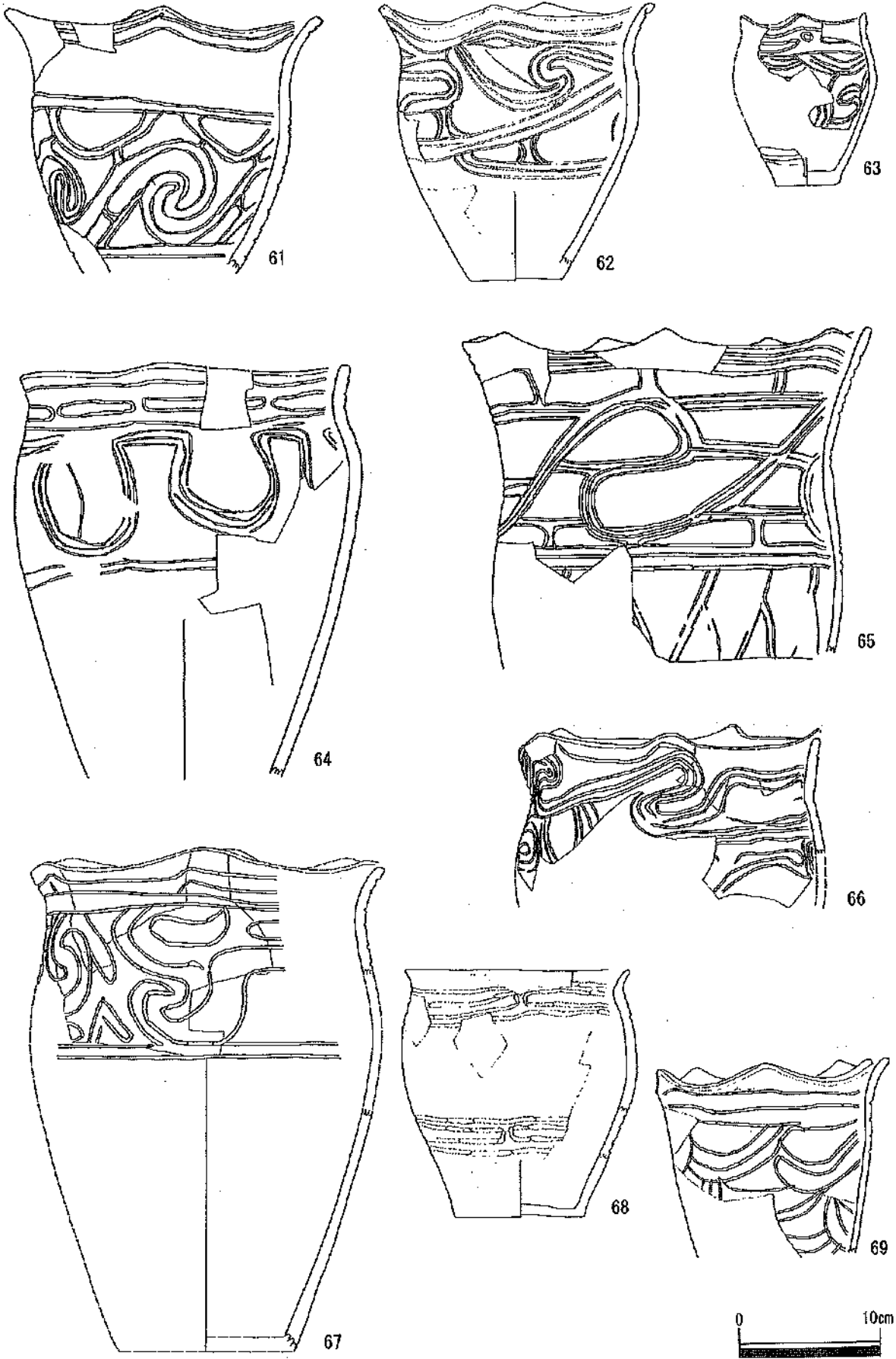
第15图 土器実測図(3)



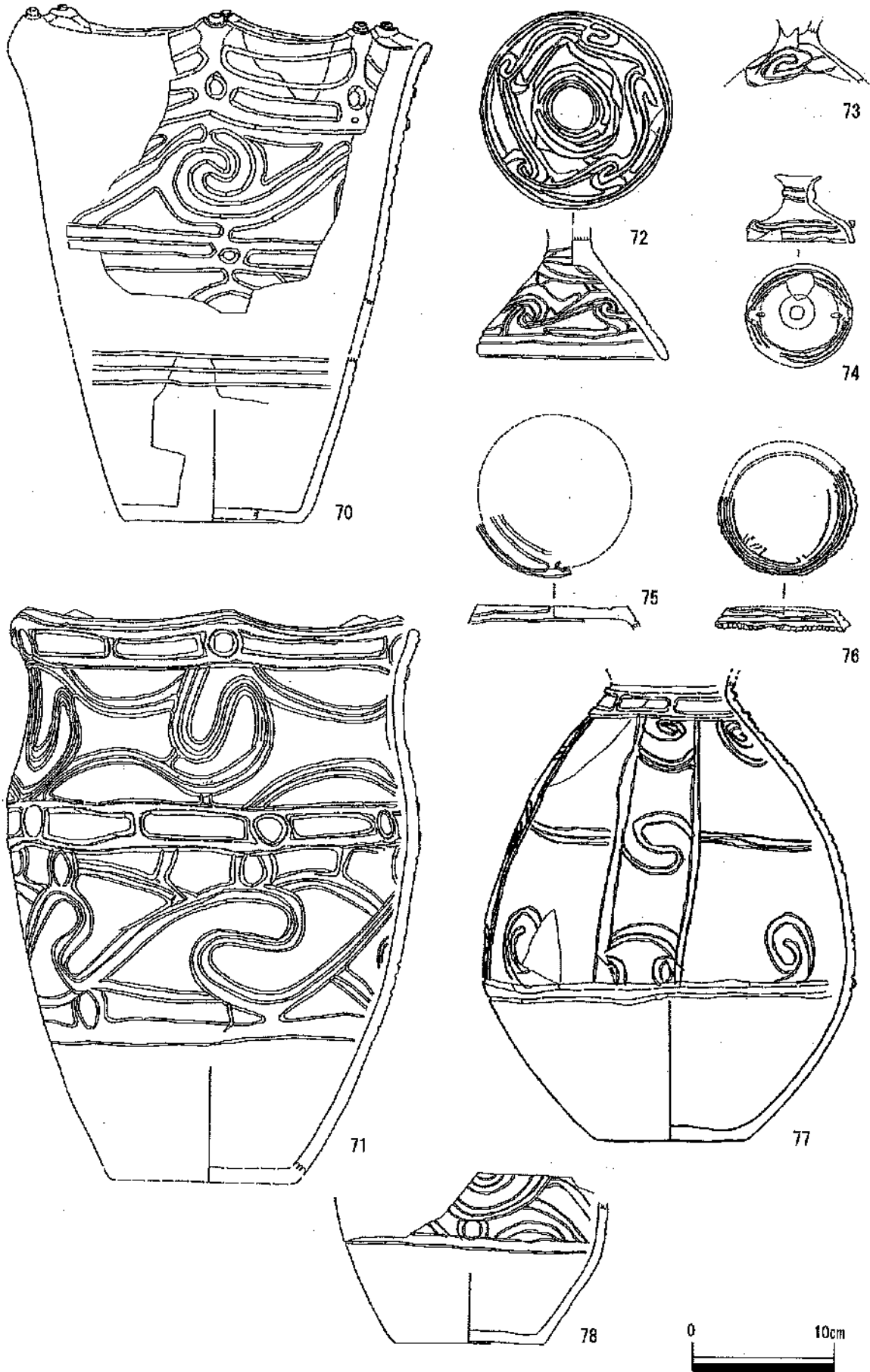
第16图 土器実測図(4)



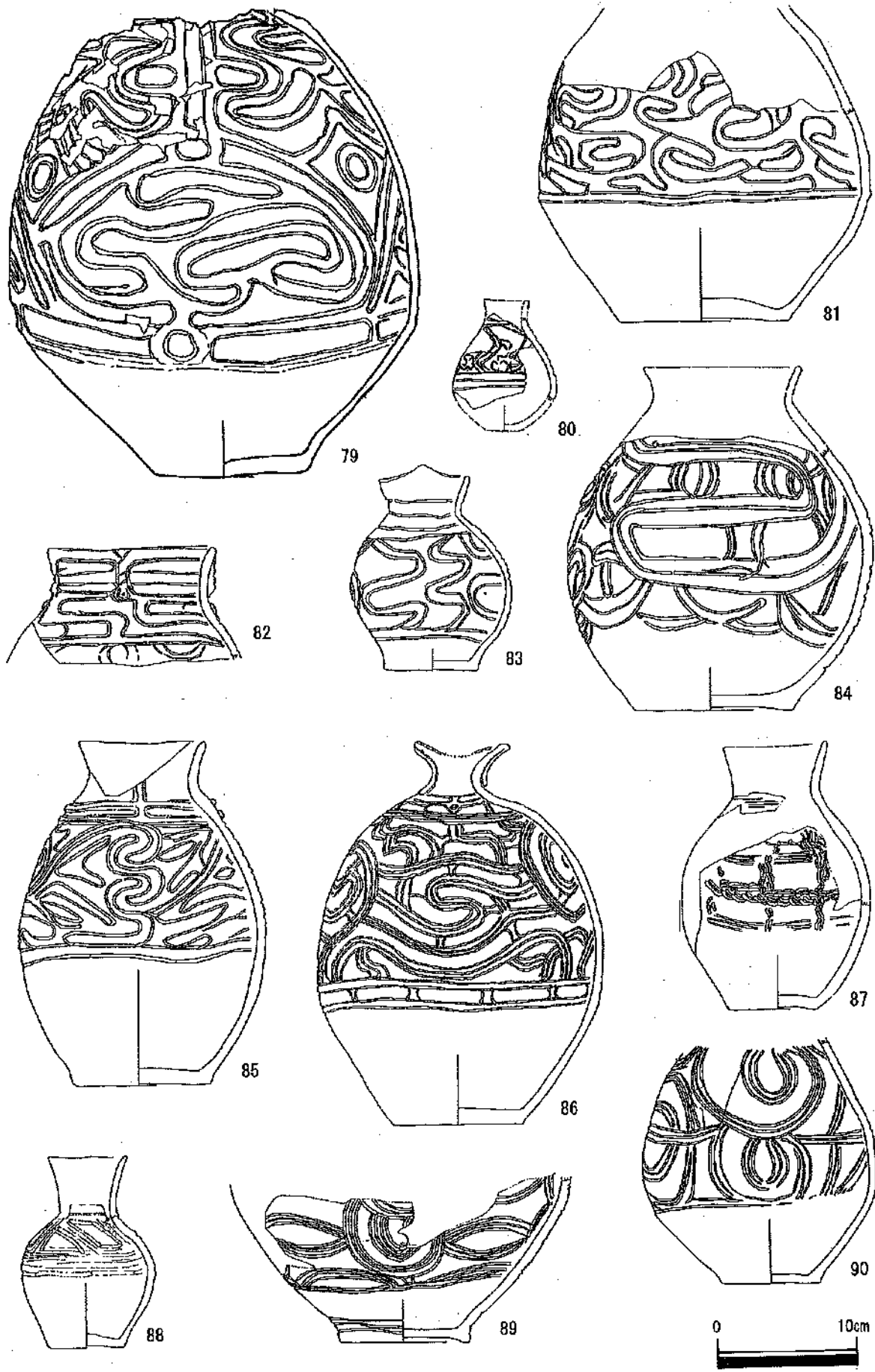
第17图 土器实测图(5)



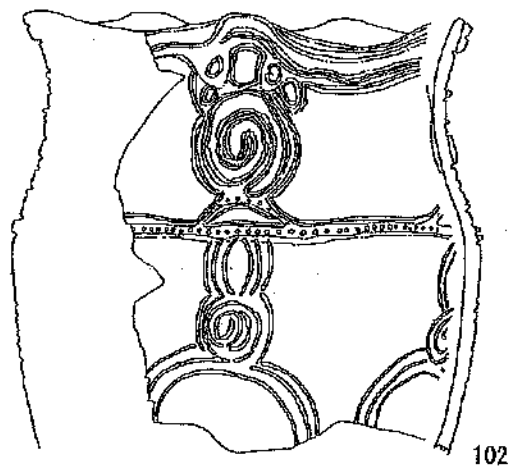
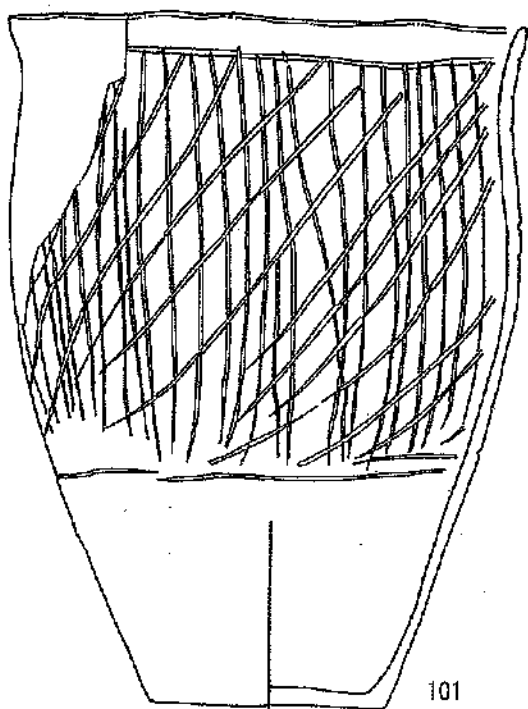
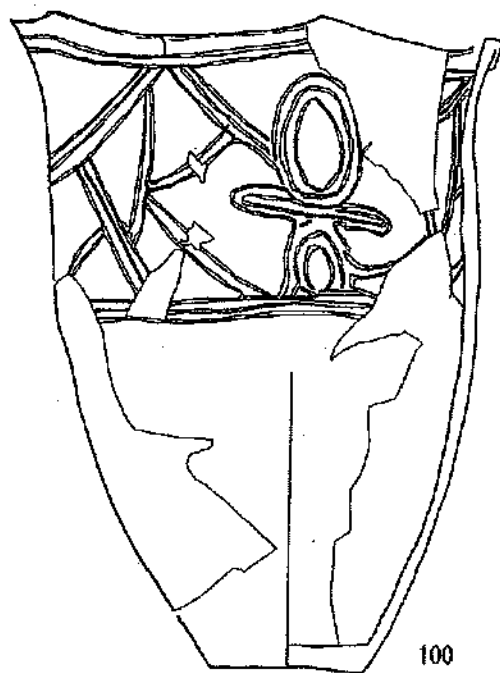
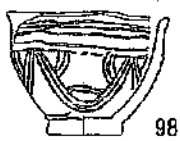
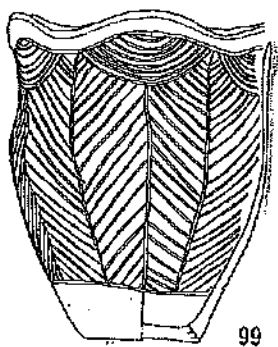
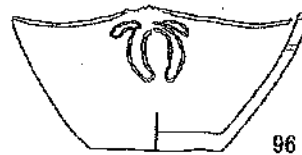
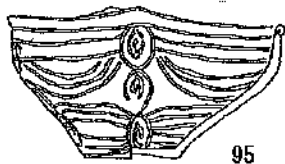
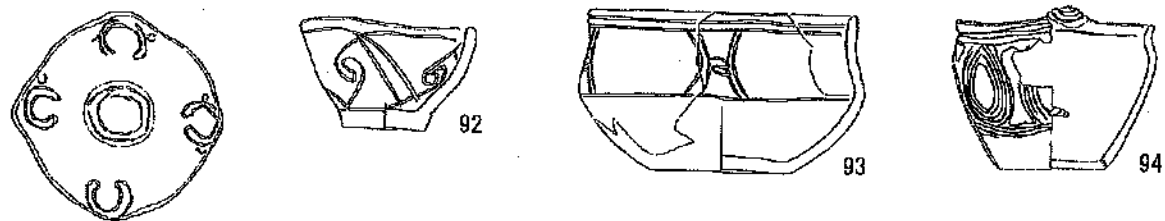
第18图 土器实测图(6)



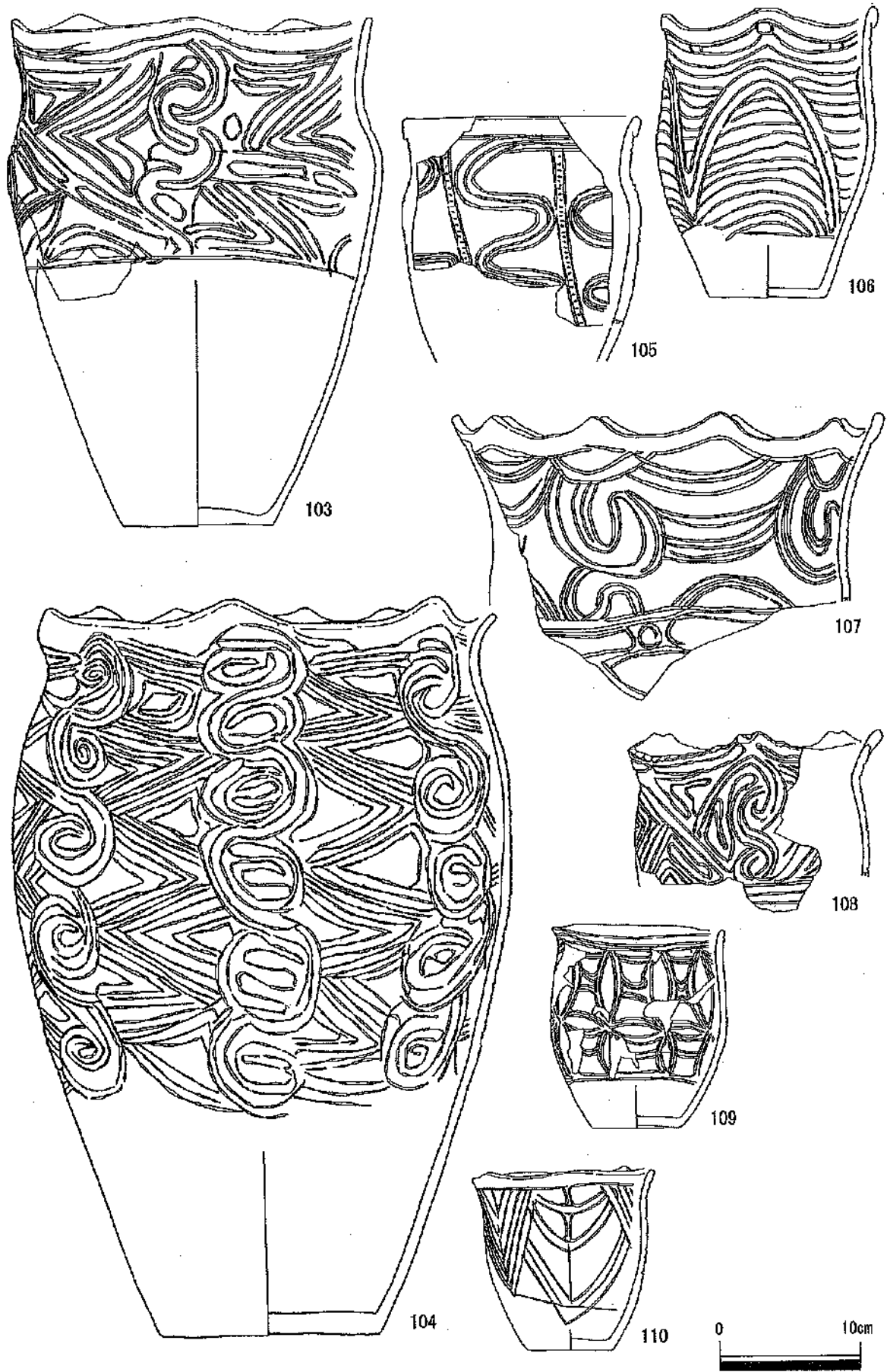
第19图 土器実測図(7)



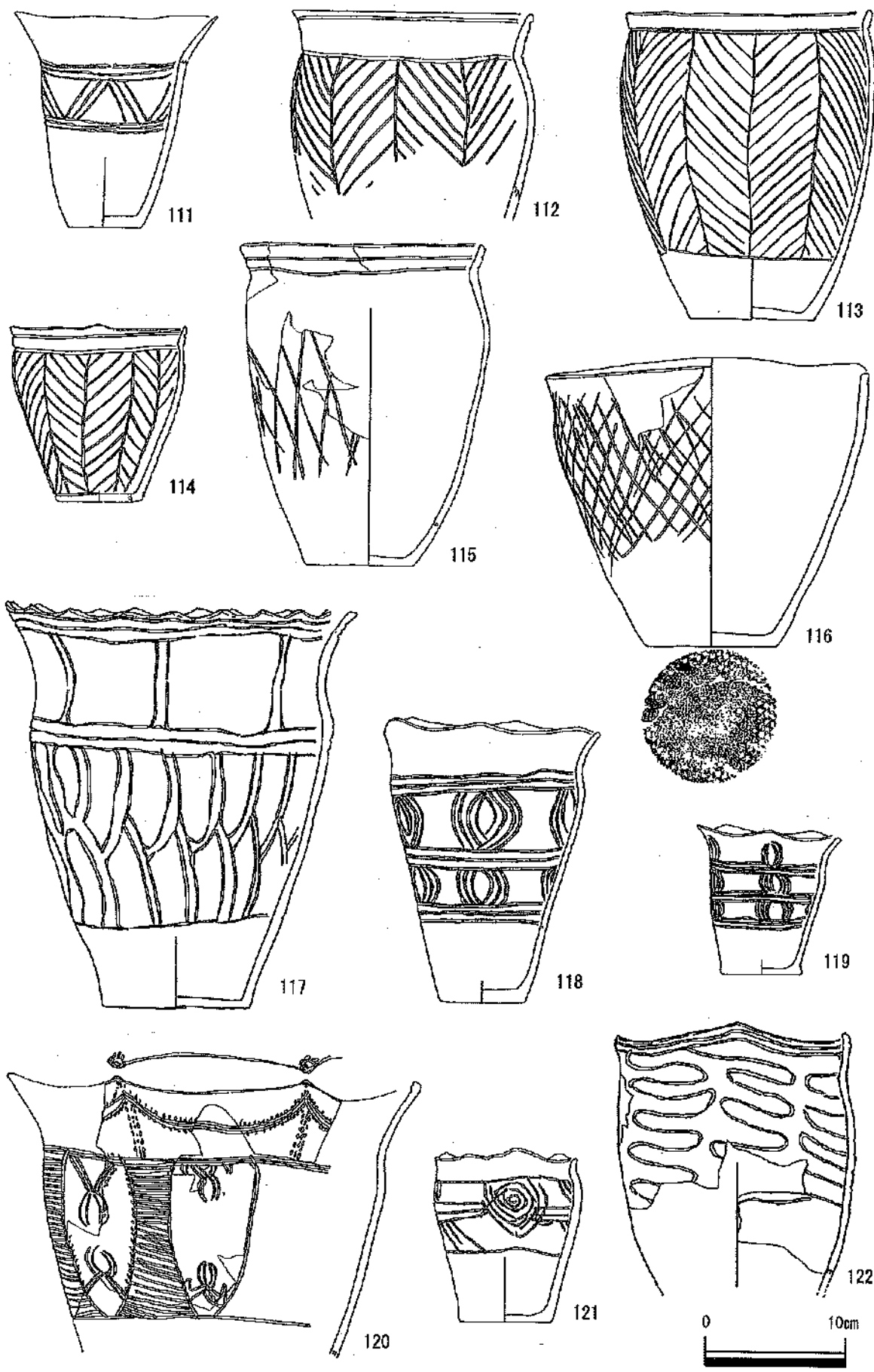
第20图 土器実測图(8)



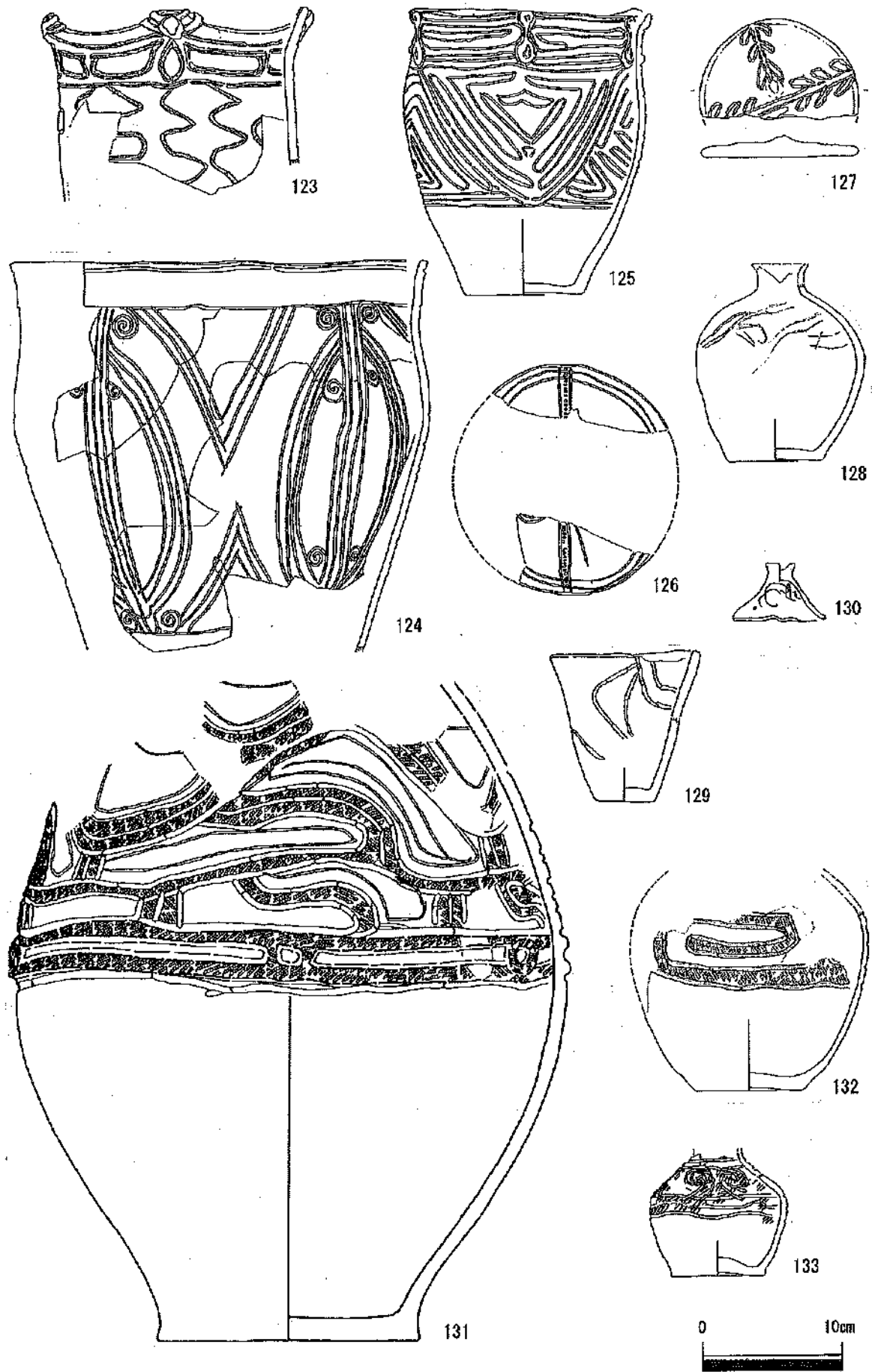
第21图 土器実測图(9)



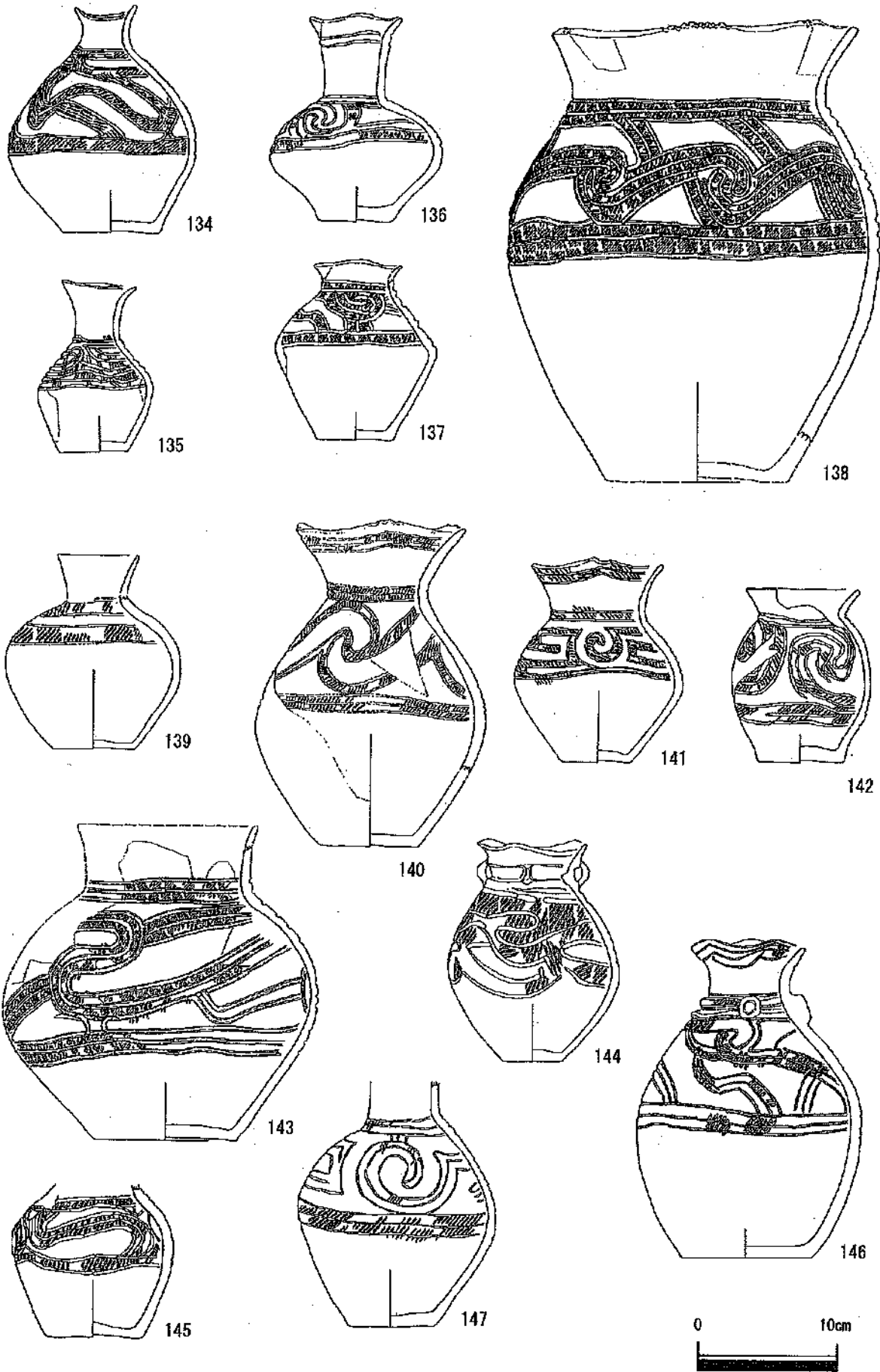
第22图 土器実測图(10)



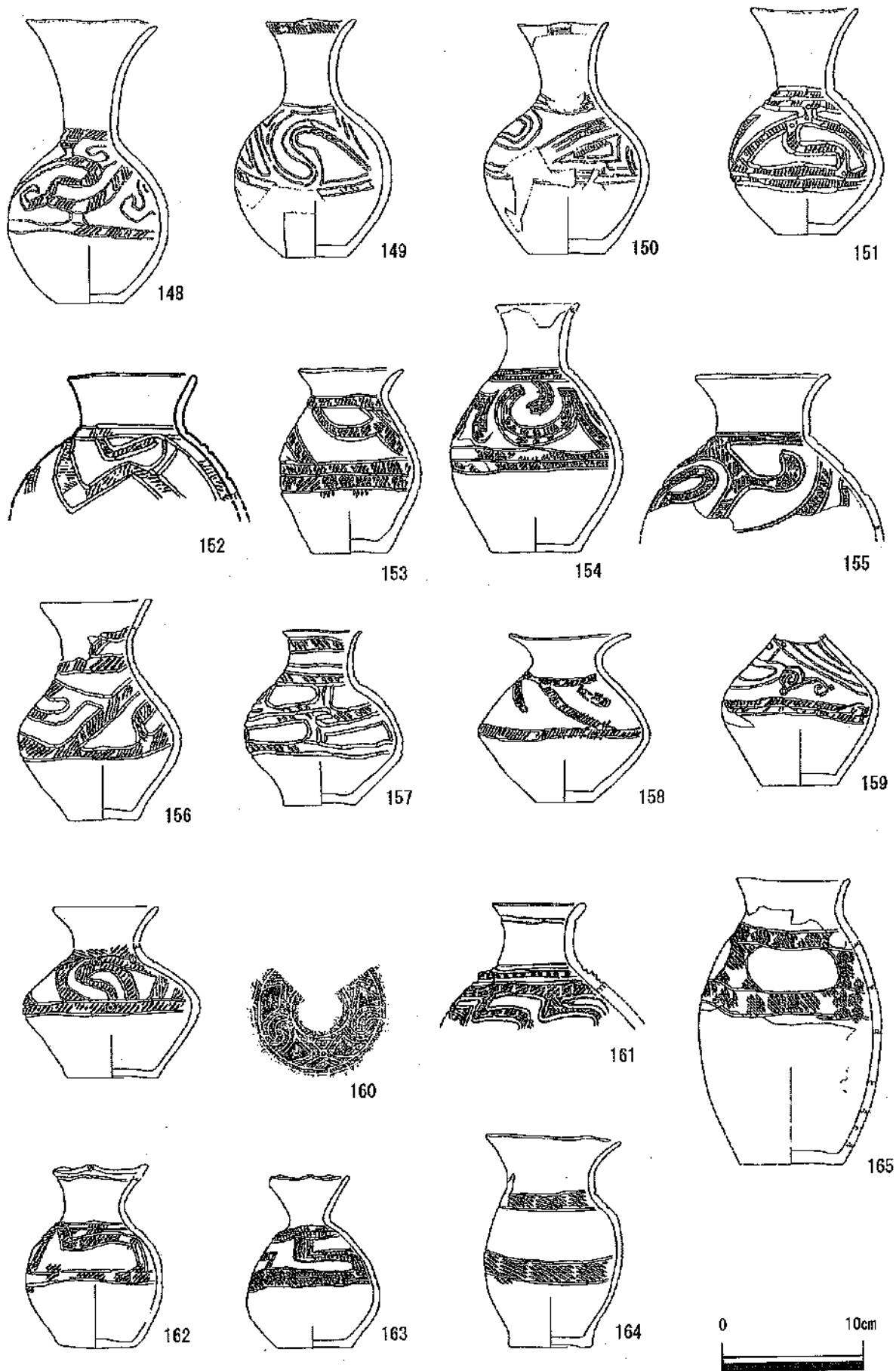
第23图 土器实测图(11)



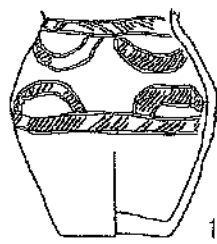
第24图 土器実測图(12)



第25图 土器実測图(13)



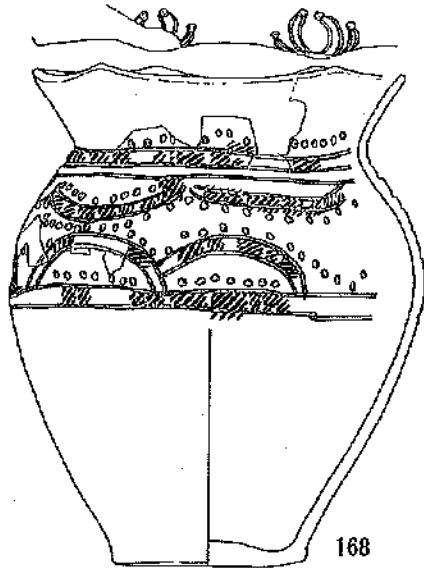
第26图 土器実測図(14)



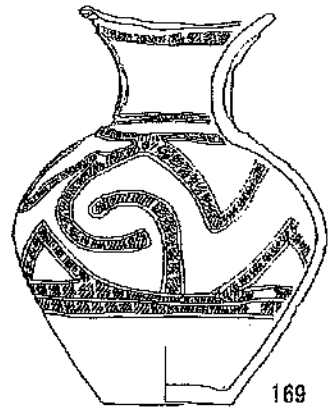
166



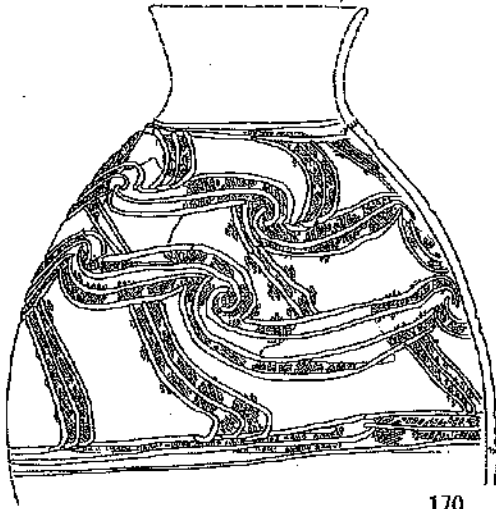
167



168



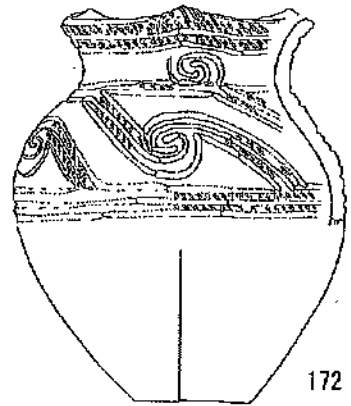
169



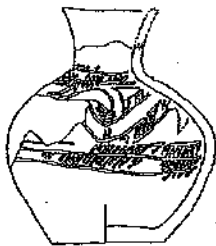
170



171



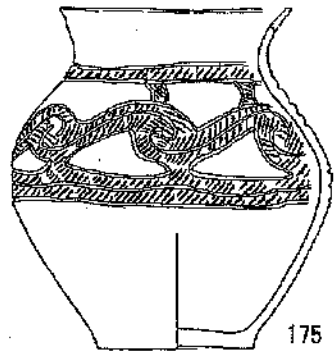
172



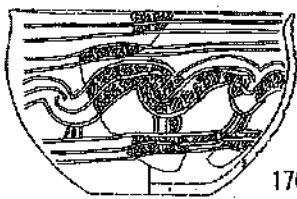
173



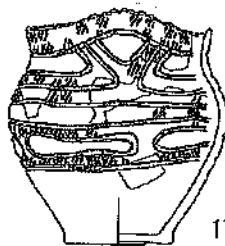
174



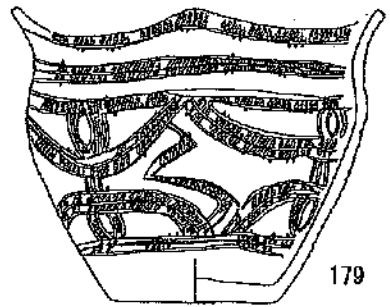
175



176



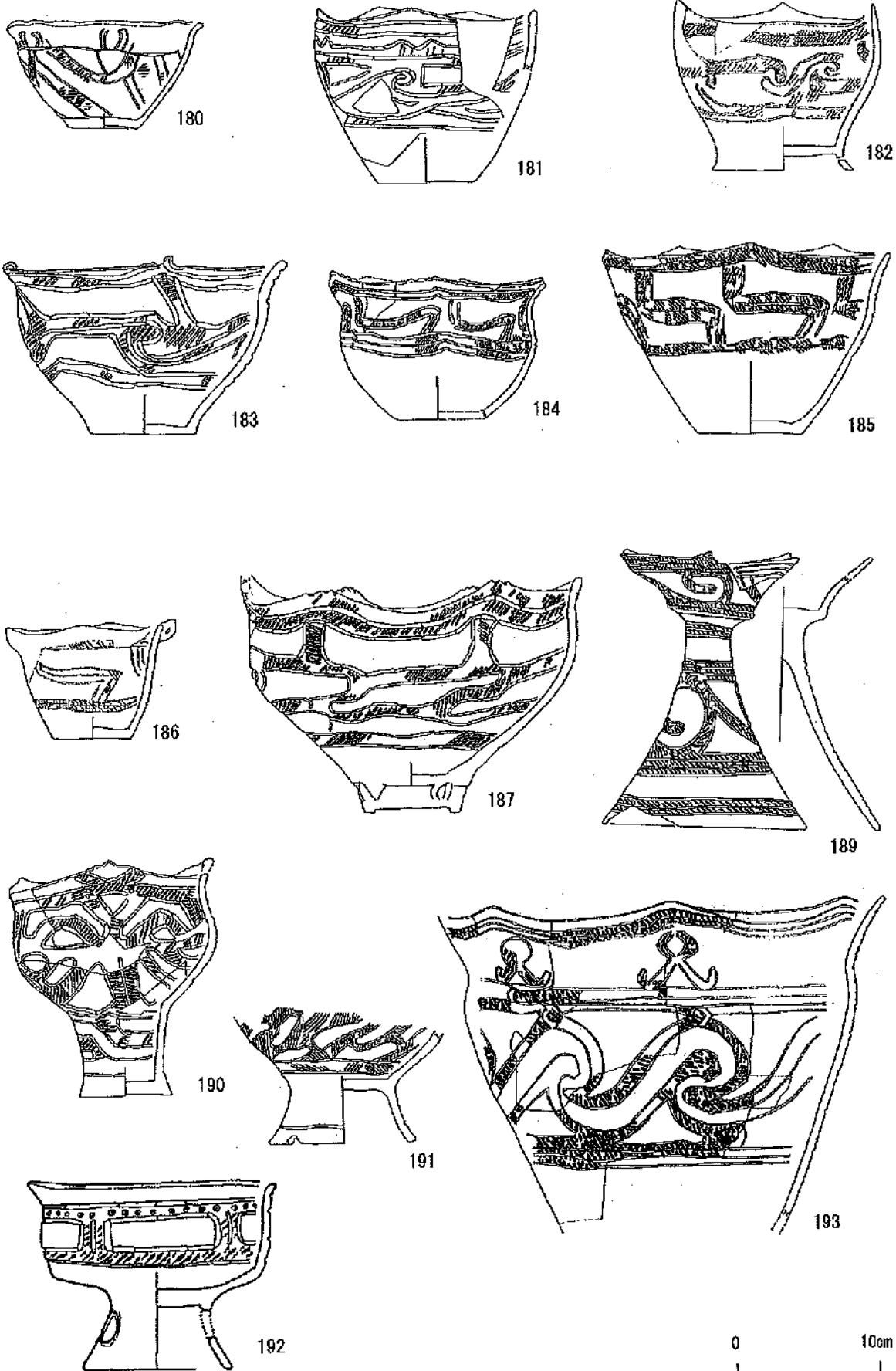
178



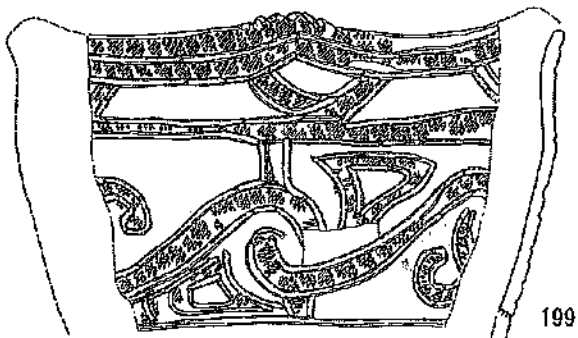
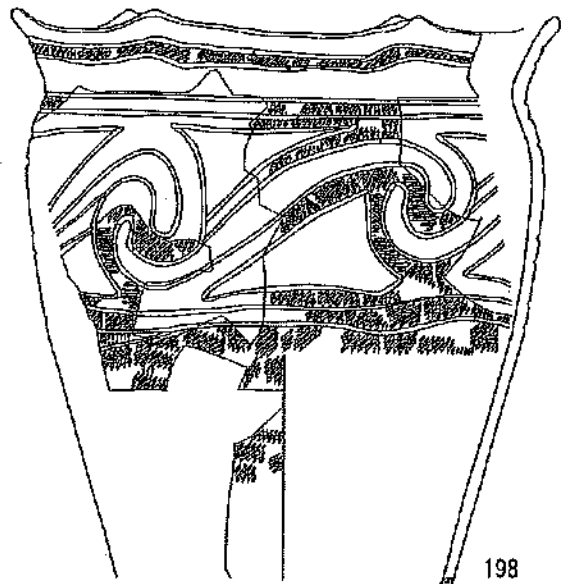
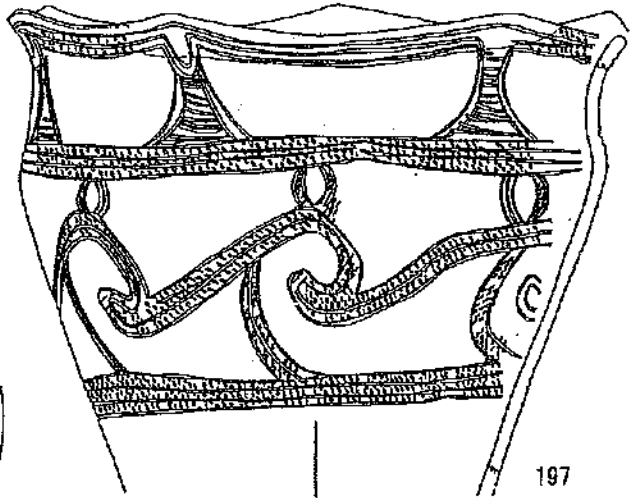
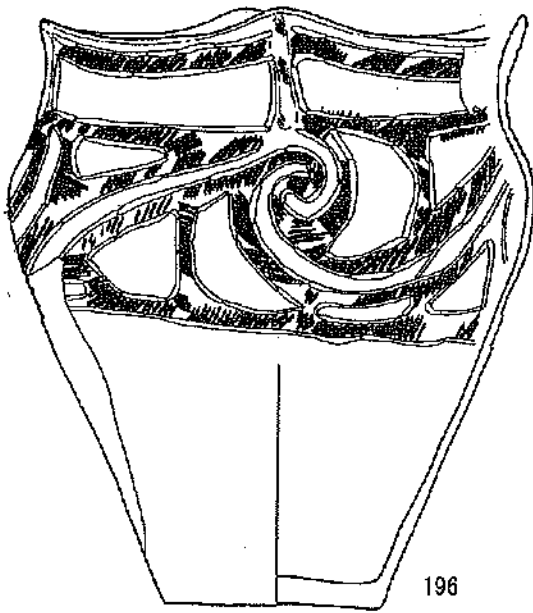
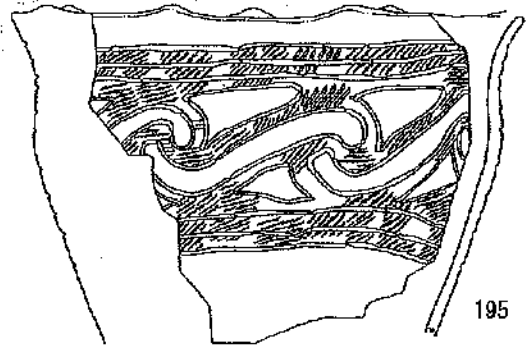
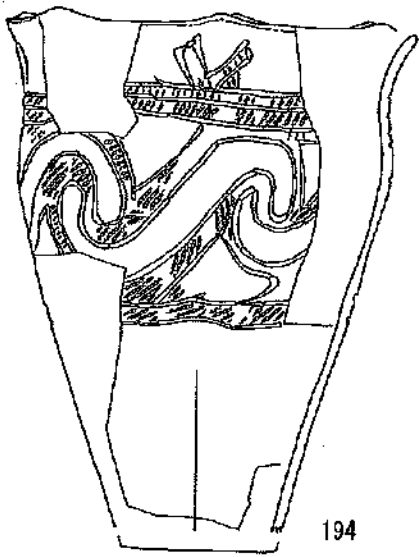
179



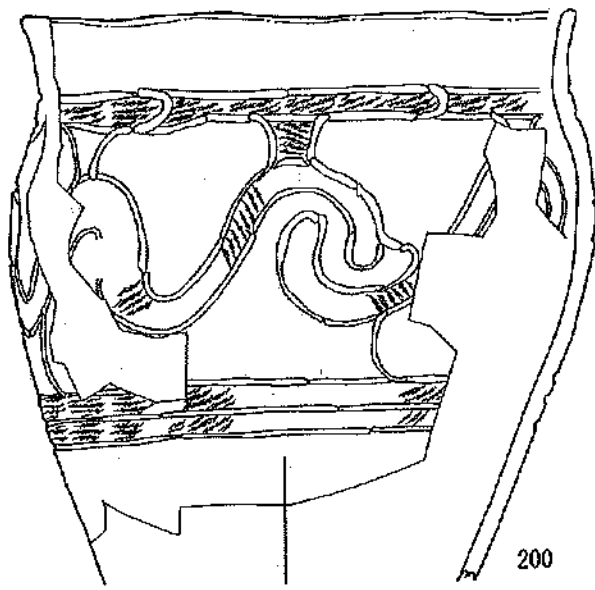
第27图 土器实测图(15)



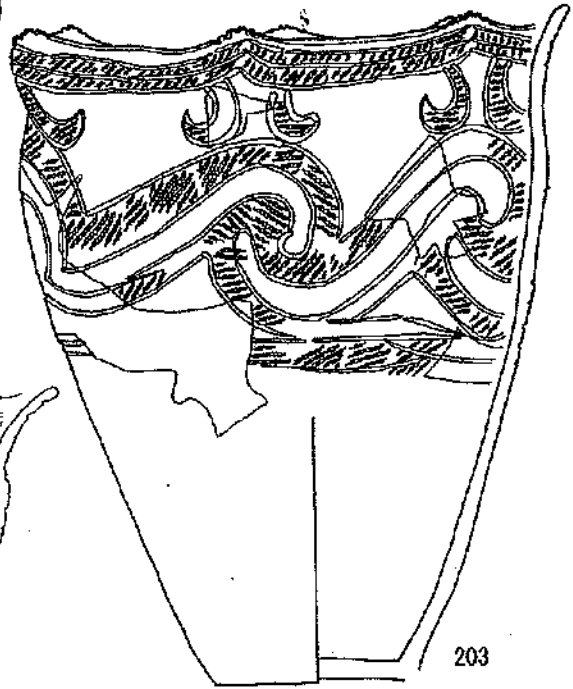
第28图 土器実測図(16)



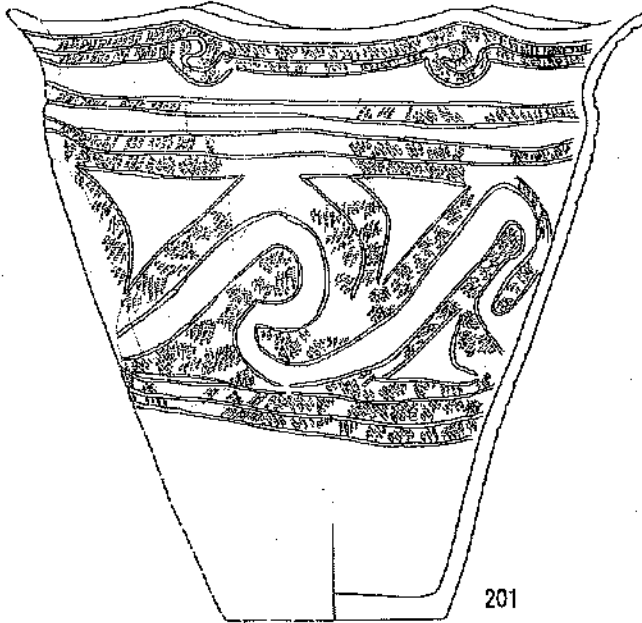
第29图 土器夹测图(17)



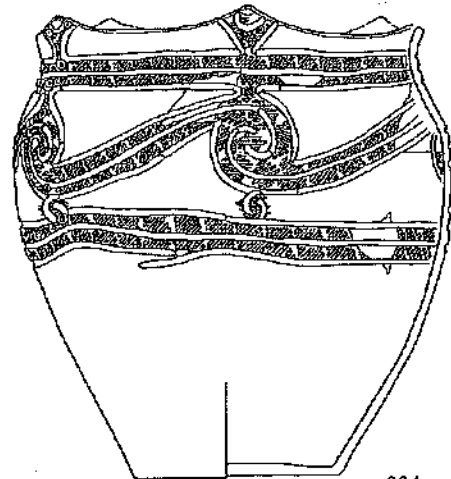
200



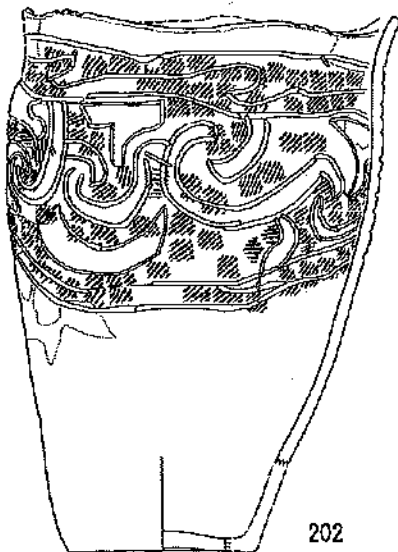
203



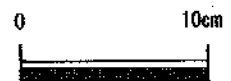
201



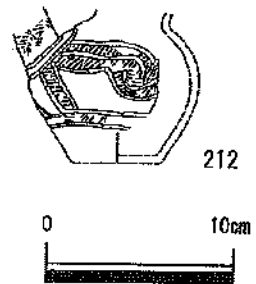
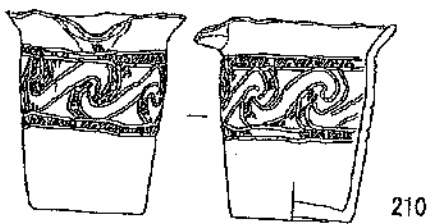
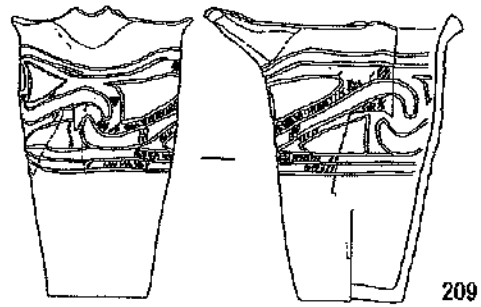
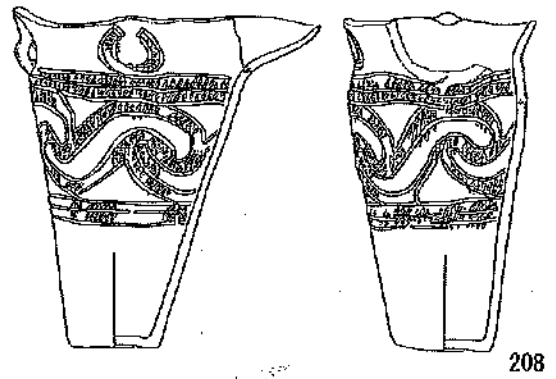
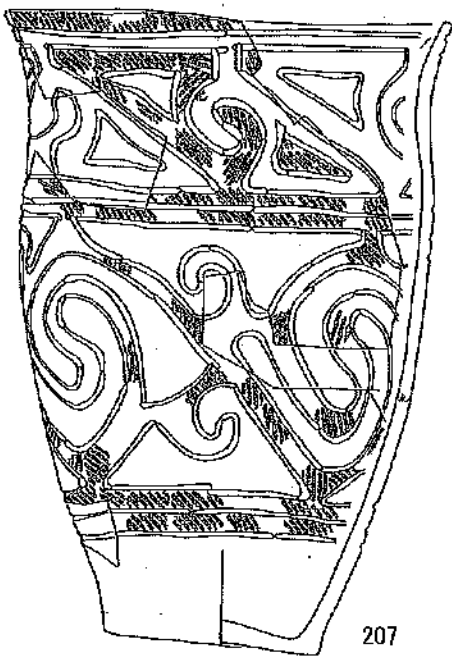
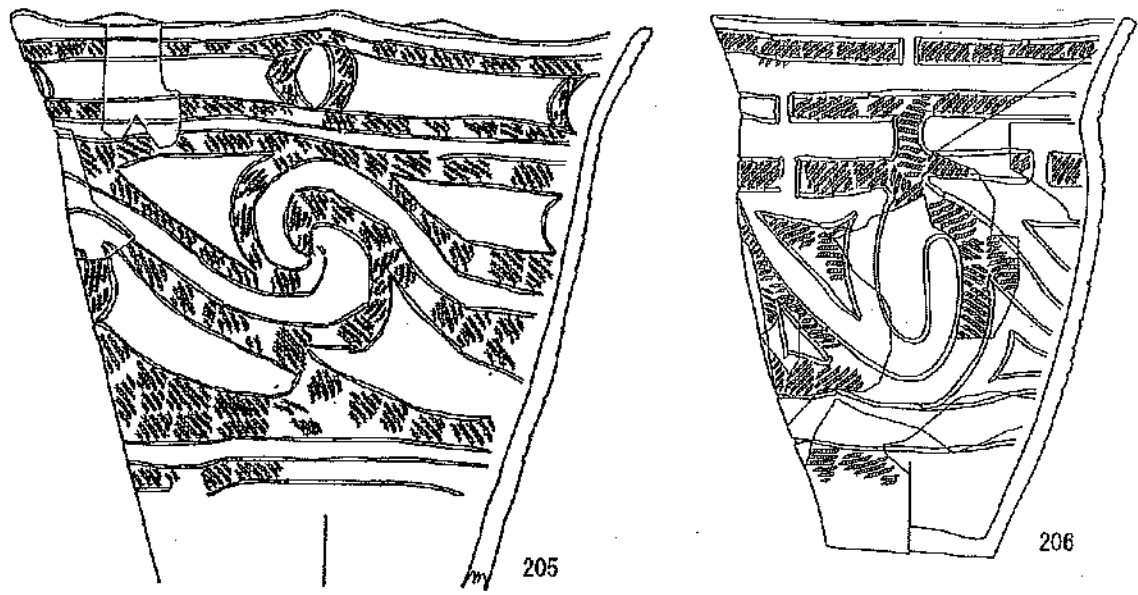
204



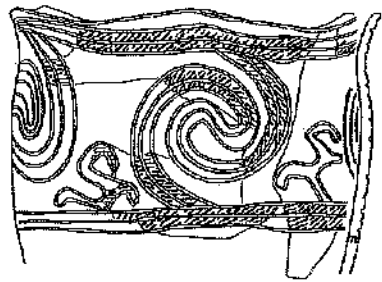
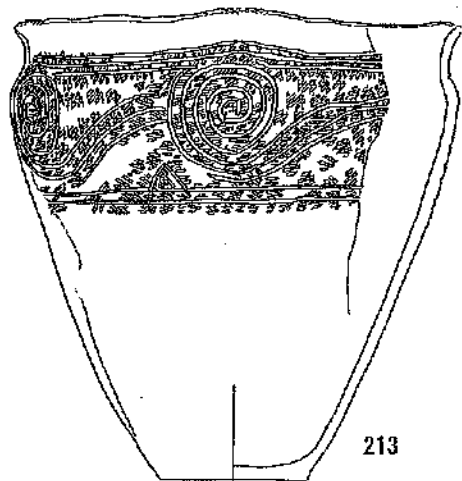
202



第30图 土器実測图(18)



第31图 土器实测图(19)

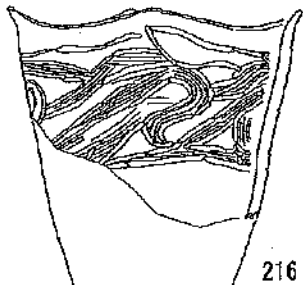


213

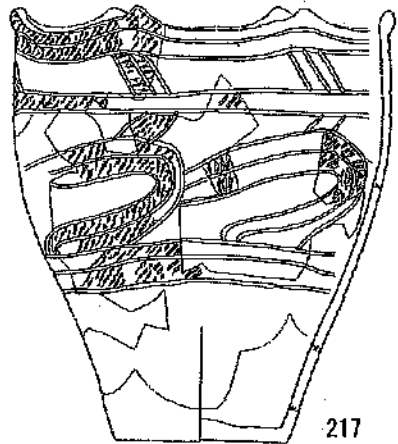
214



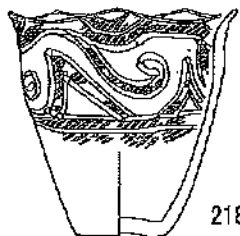
215



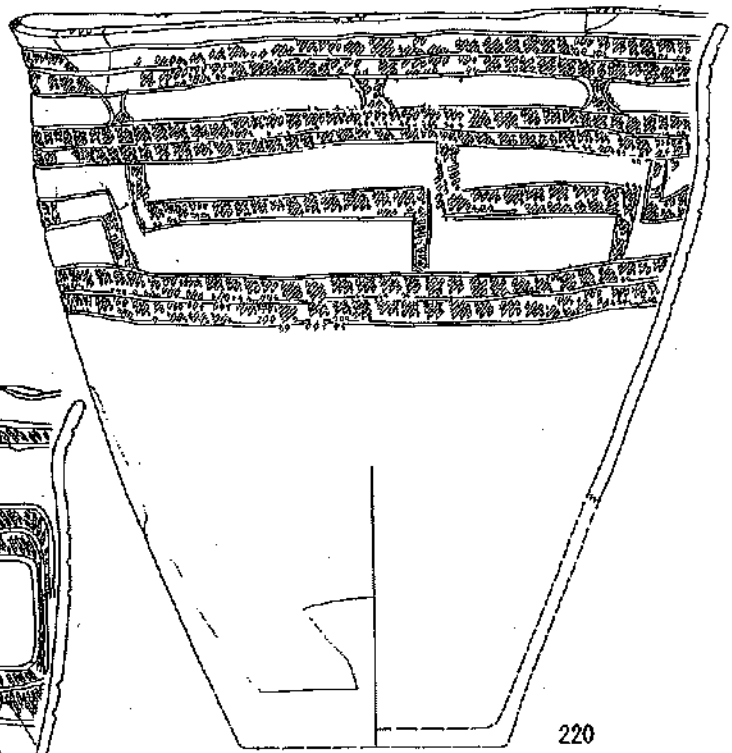
216



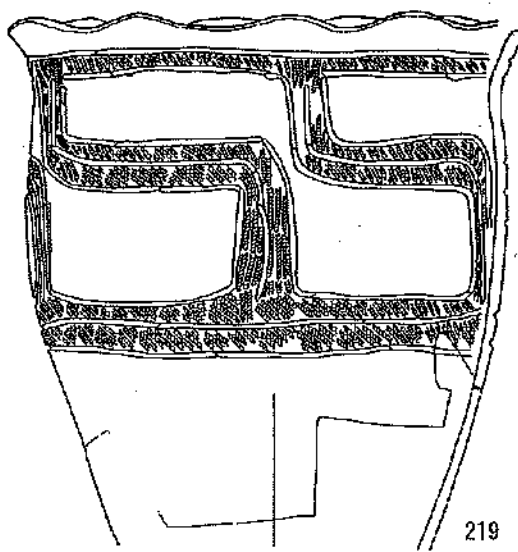
217



218



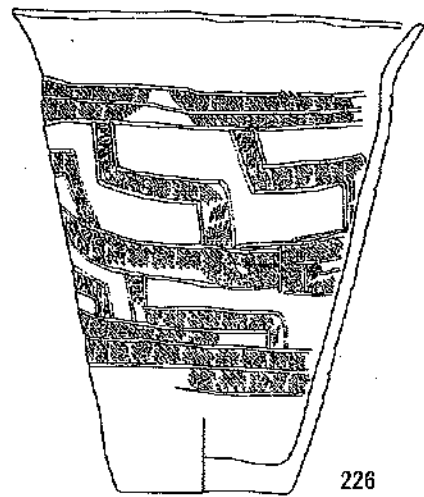
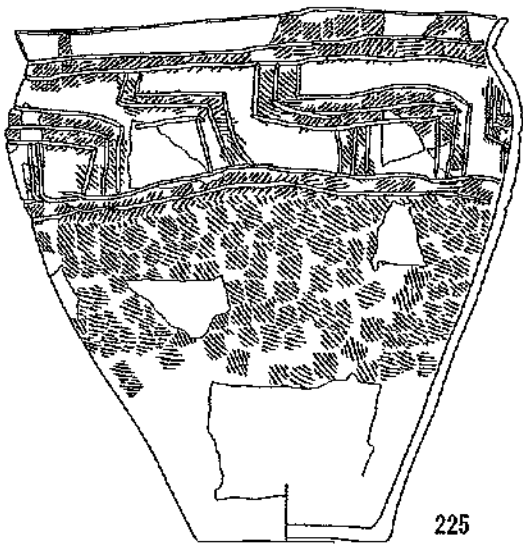
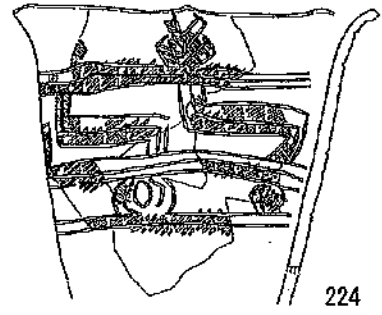
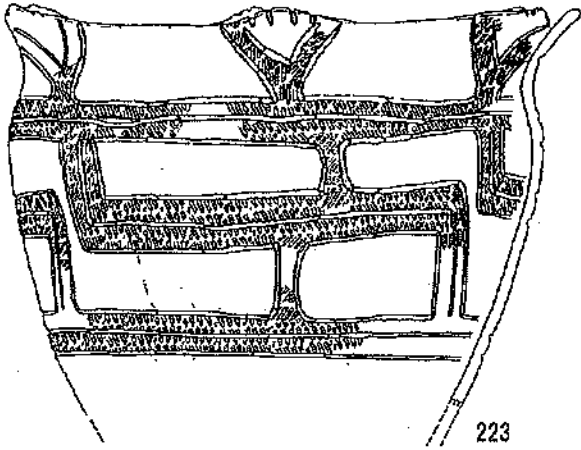
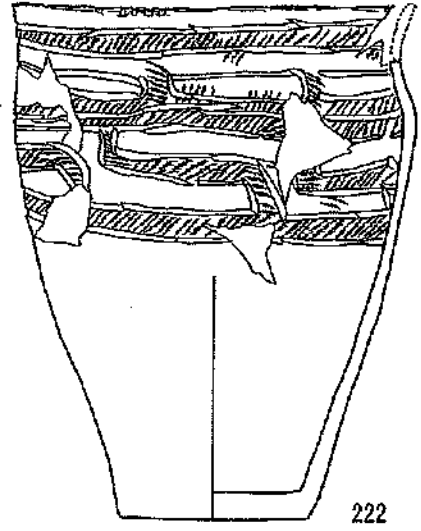
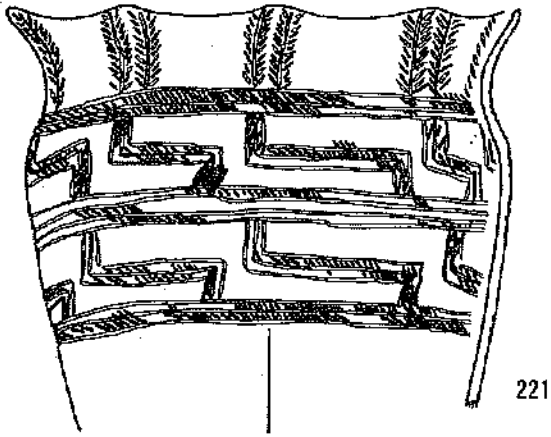
220



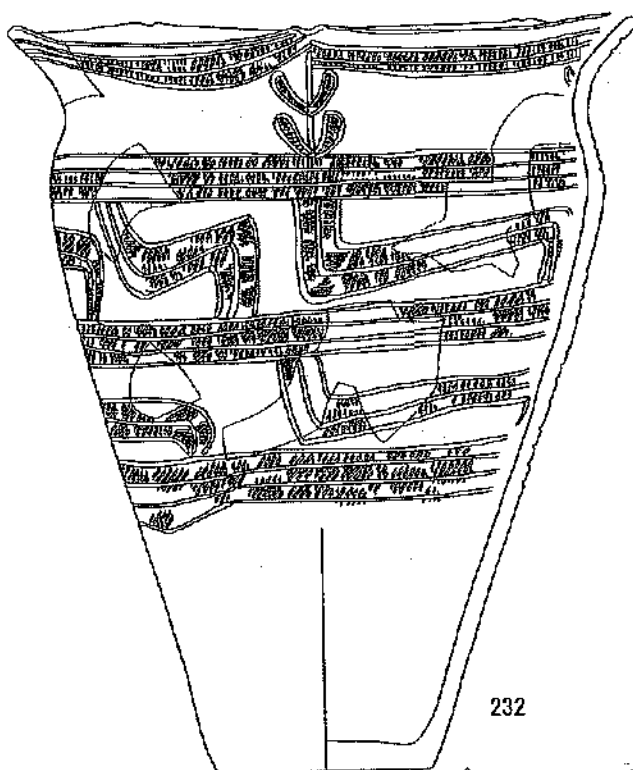
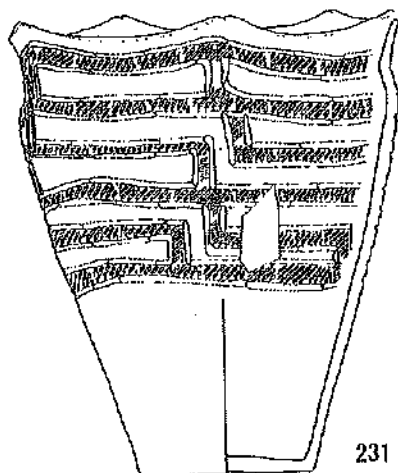
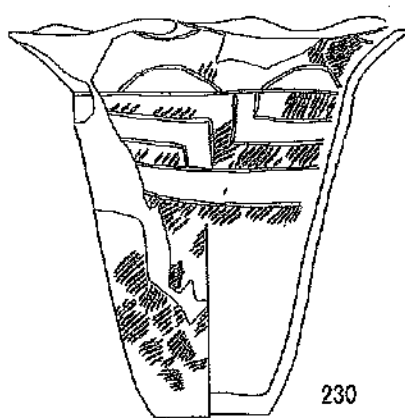
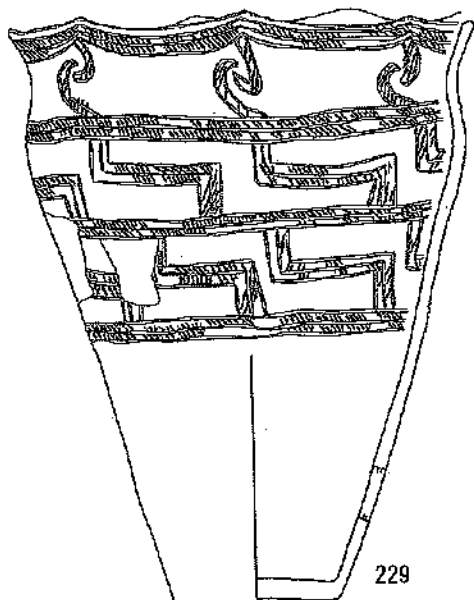
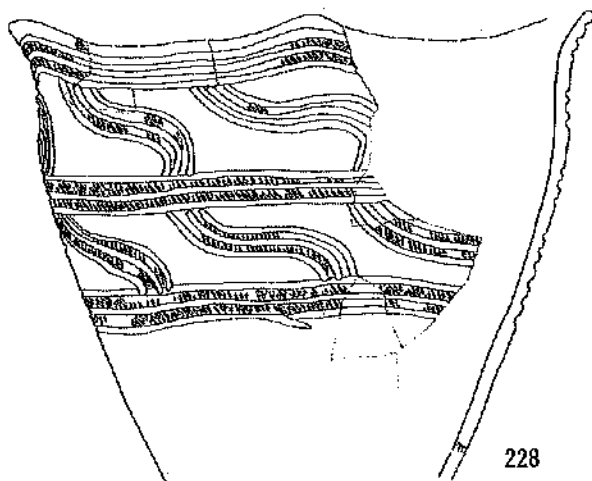
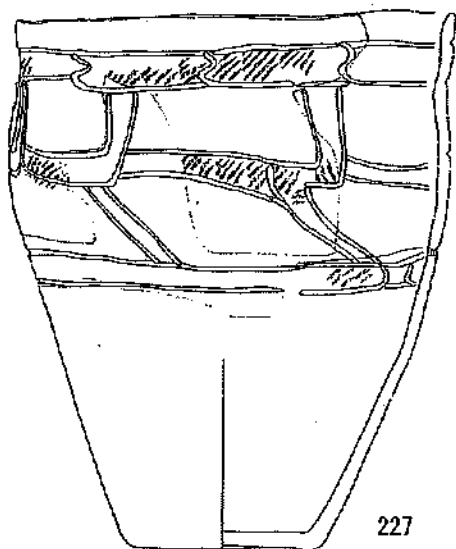
219



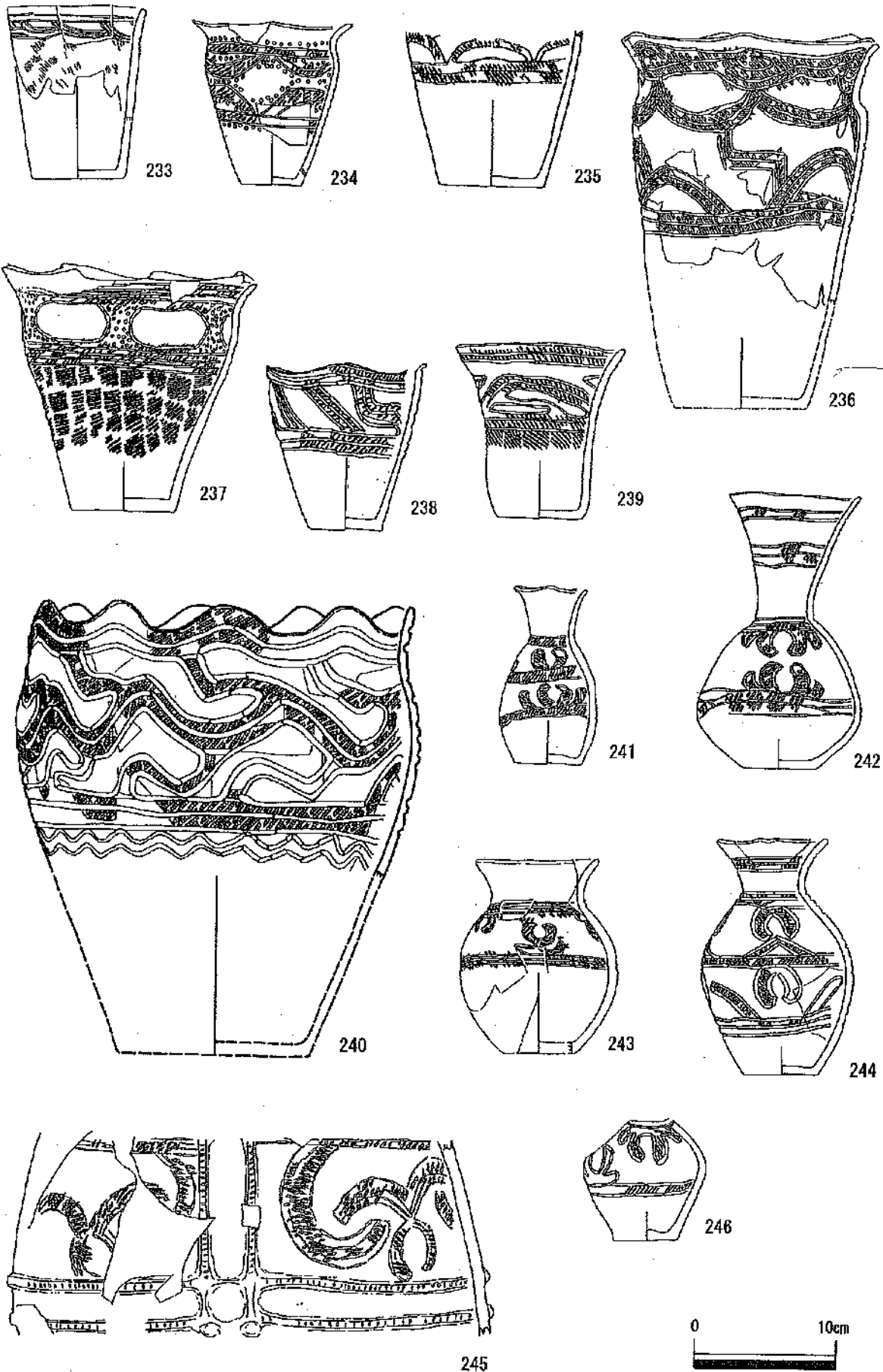
第32圖 土器実測圖(20)



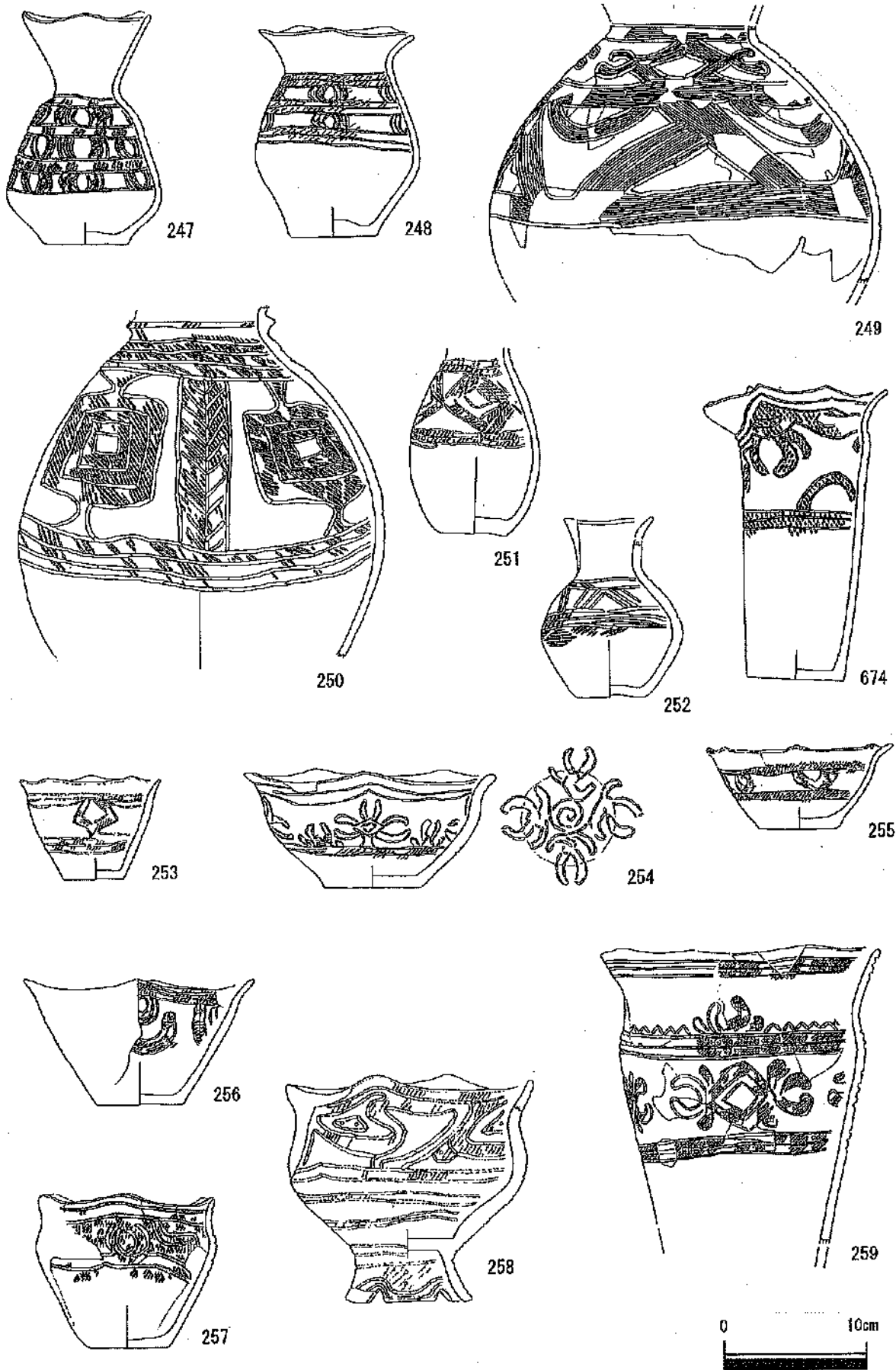
第33圖 土器実測圖(21)



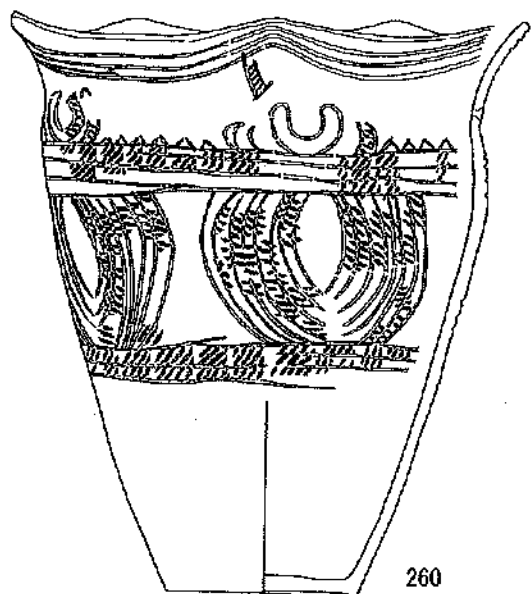
第34图 土器実測図(22)



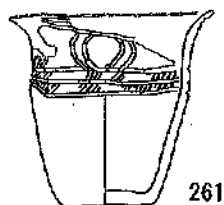
第35图 土器实测图(23)



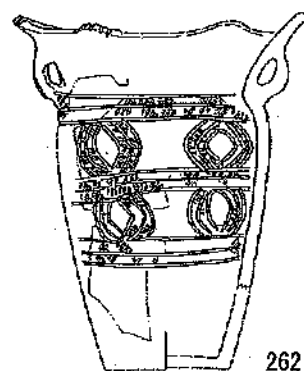
第36图 土器実測图(24)



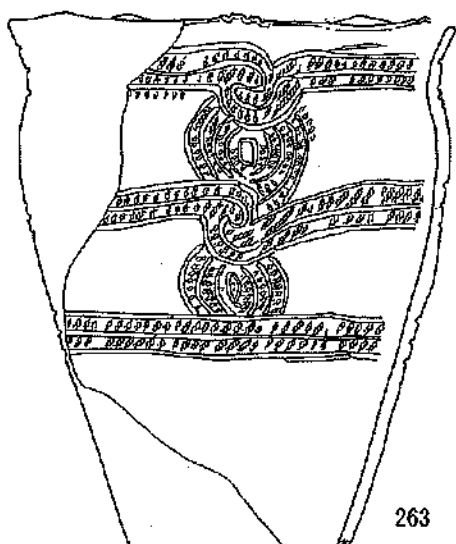
260



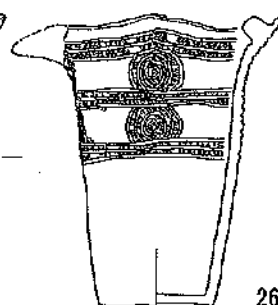
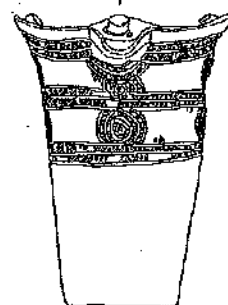
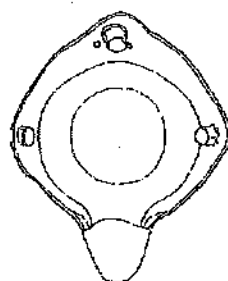
261



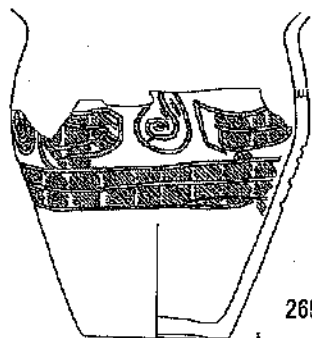
262



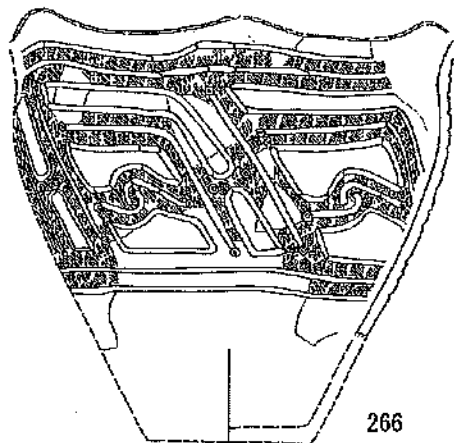
263



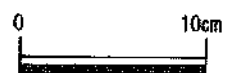
264



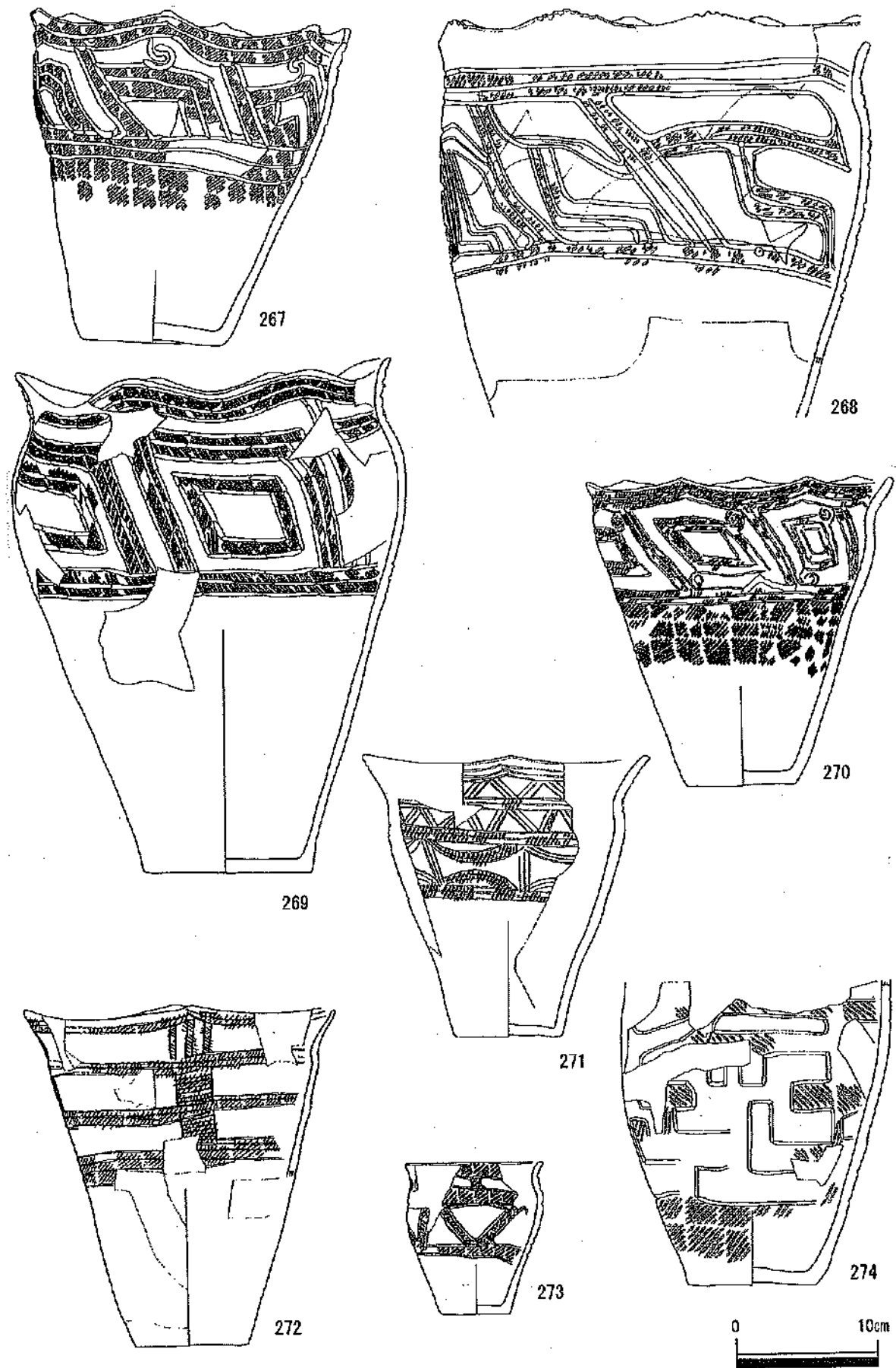
265



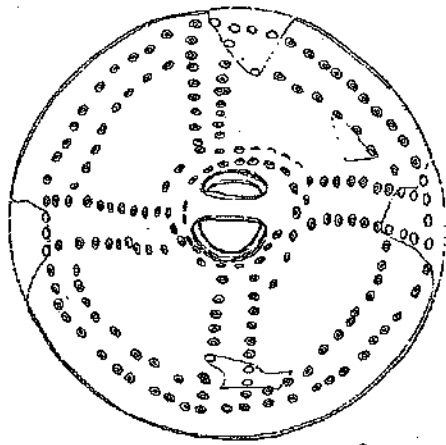
266



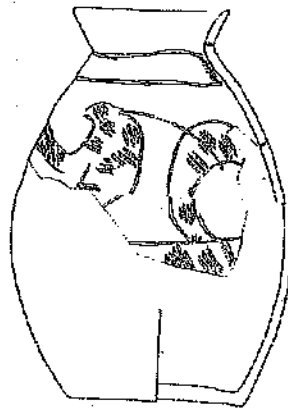
第37図 土器実測図(25)



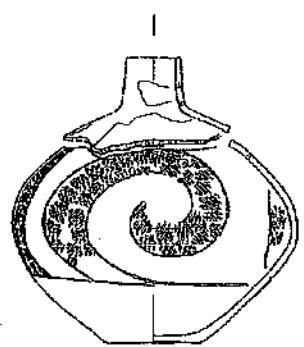
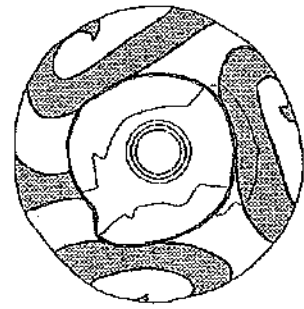
第38圖 土器実測圖(26)



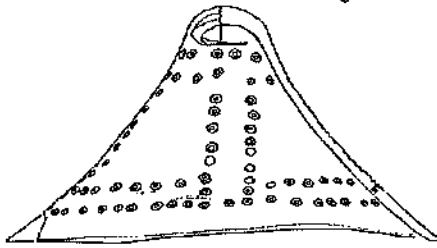
3



276



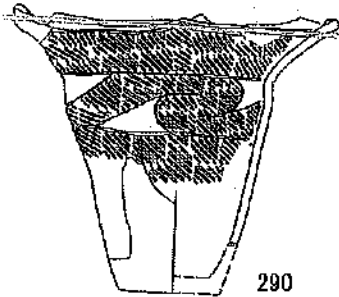
278



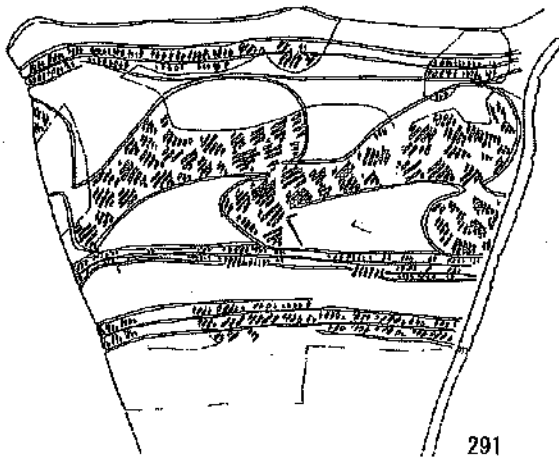
275



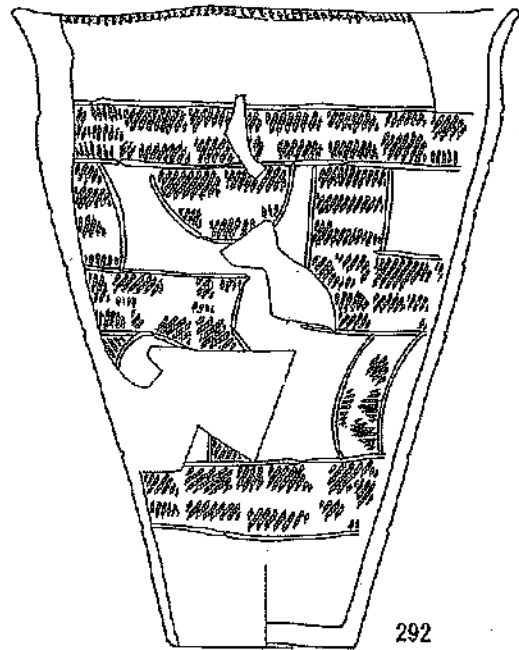
277



290



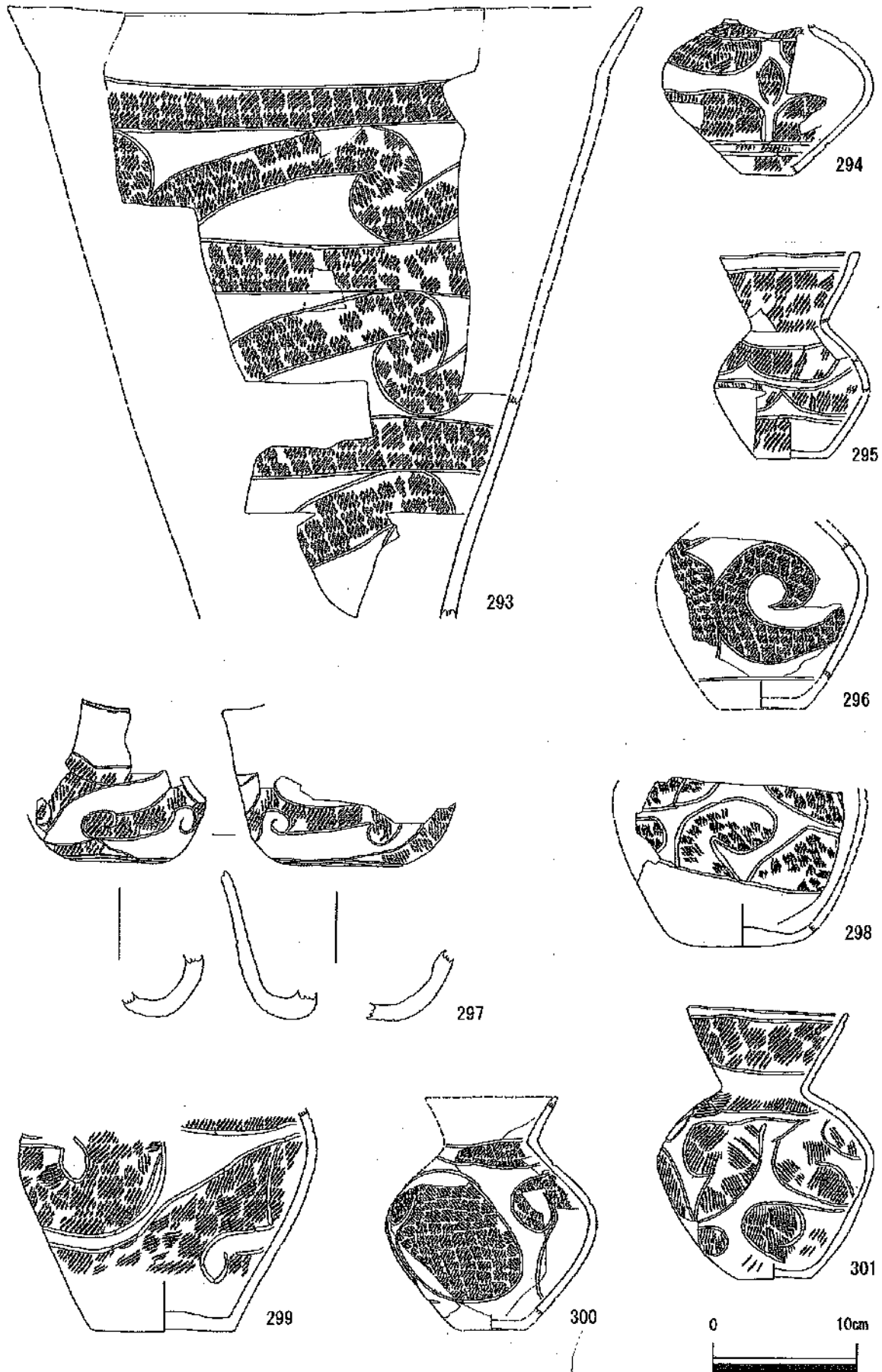
291



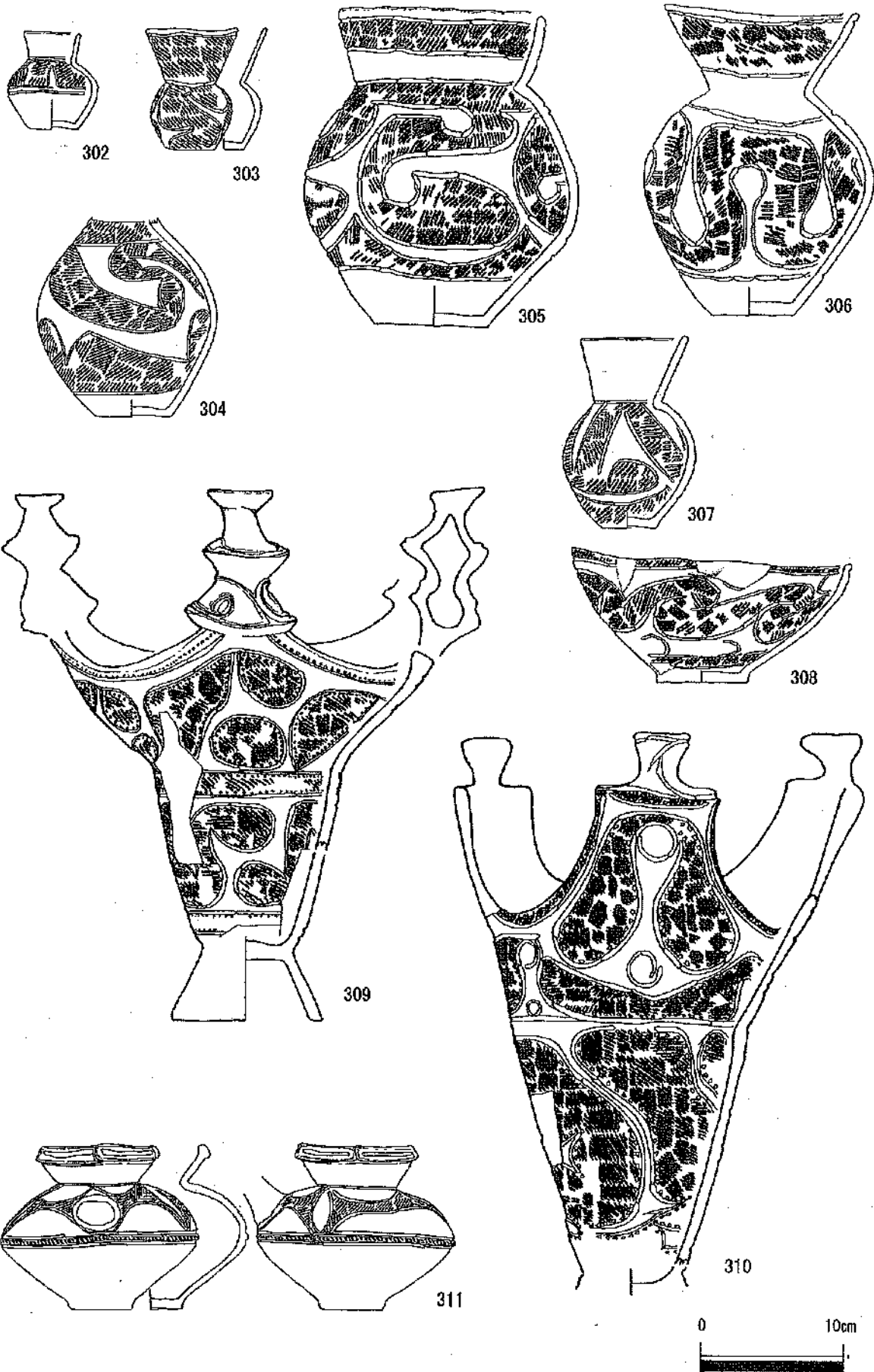
292



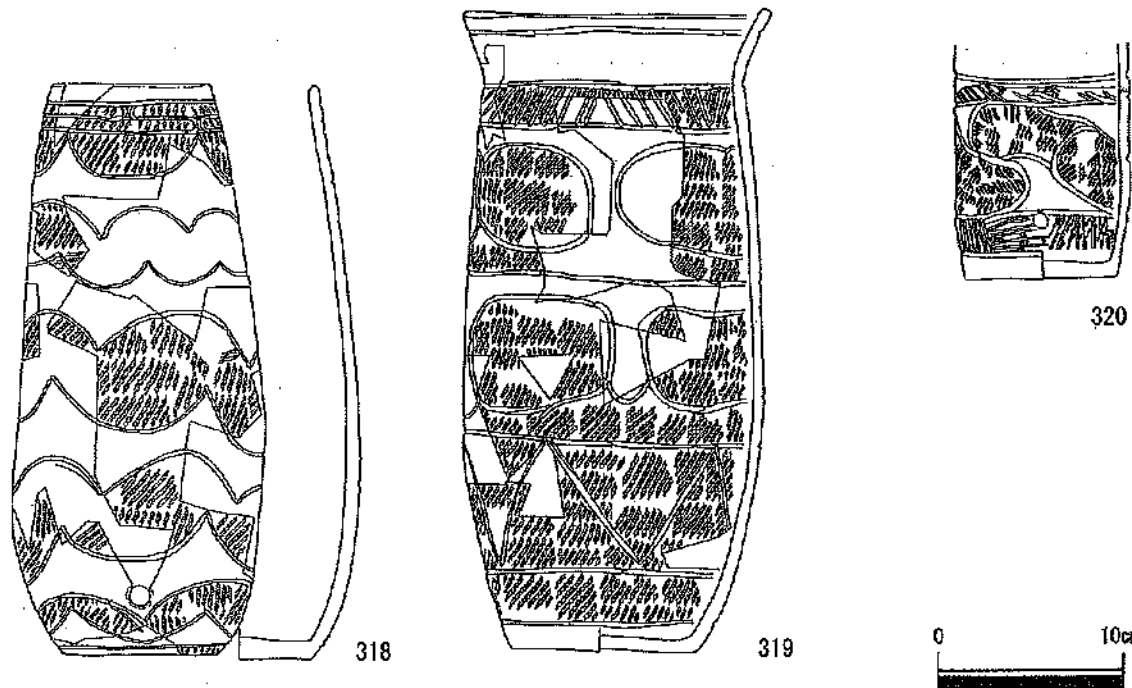
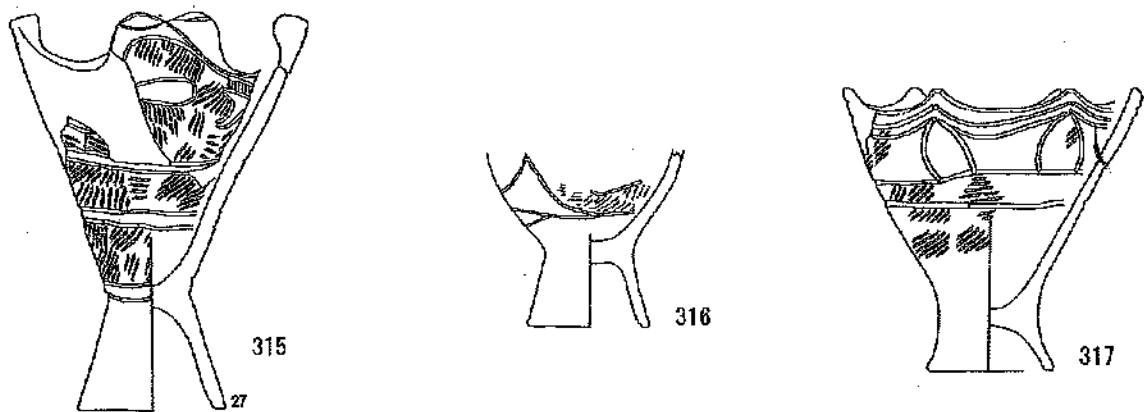
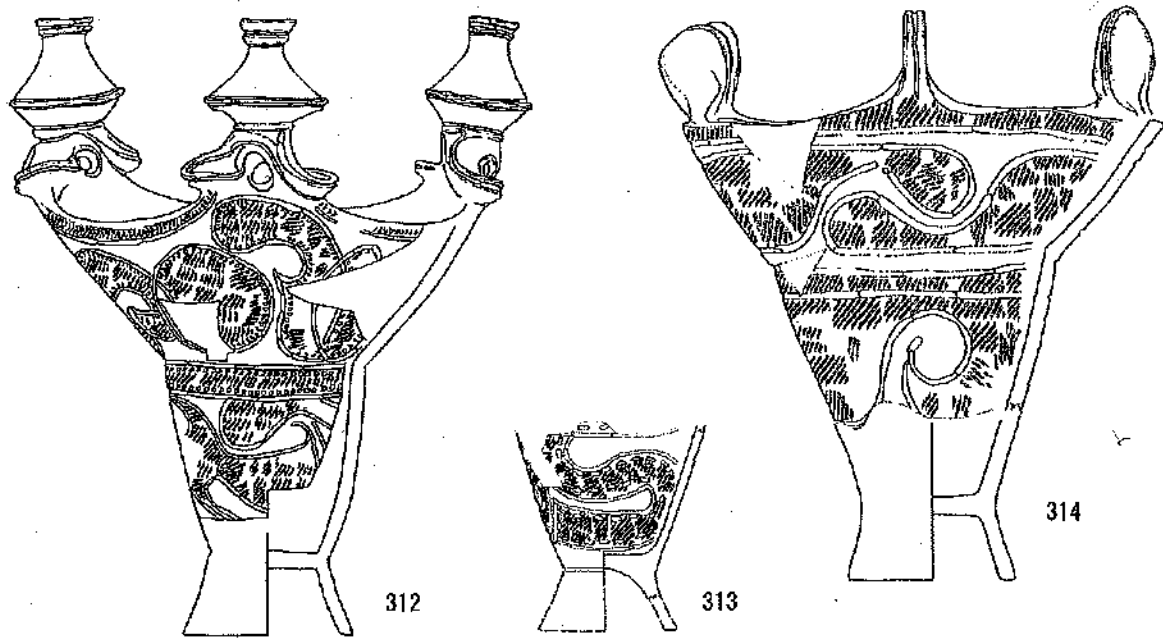
第39图 土器実測图(27)



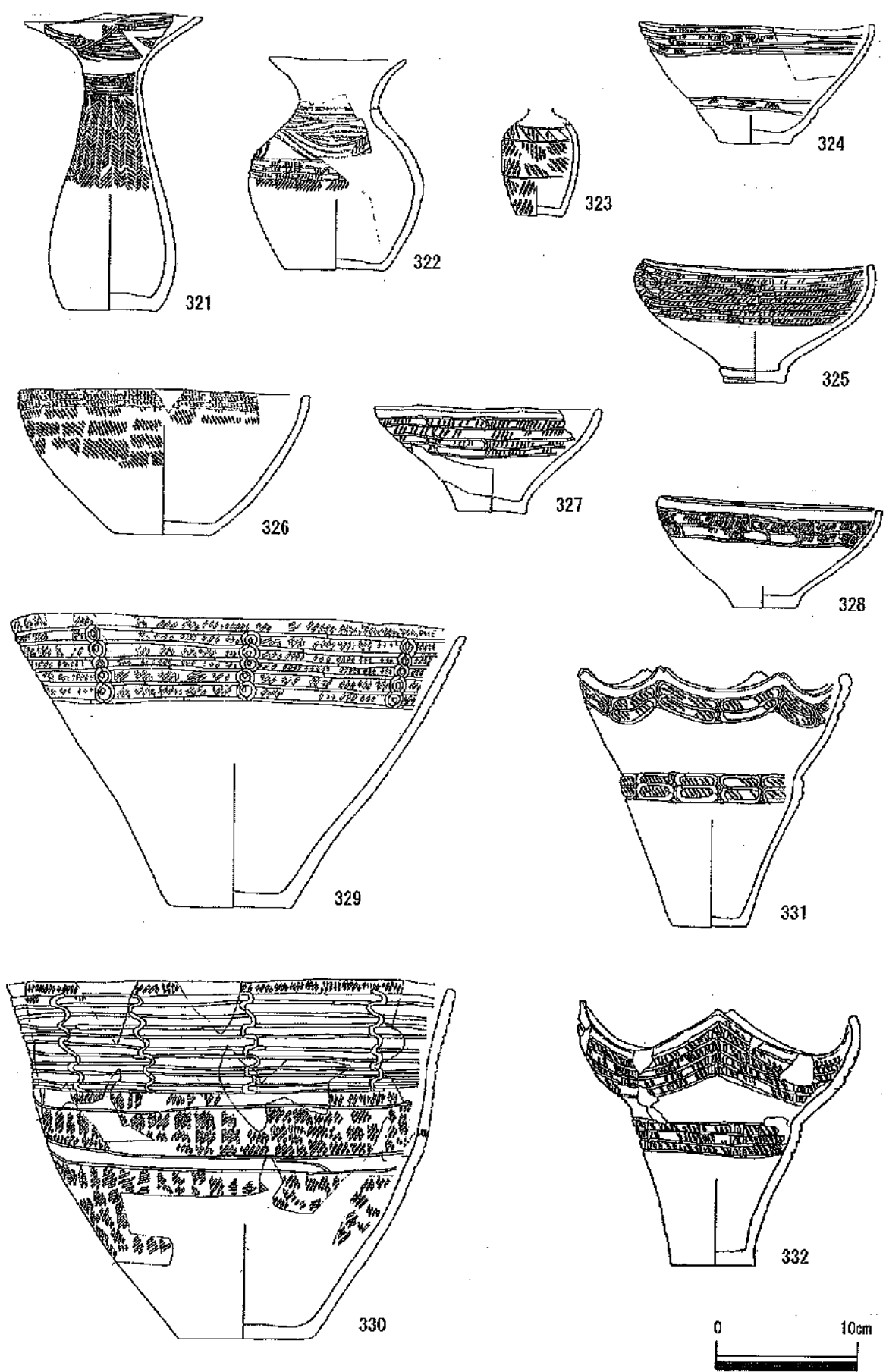
第40图 土器実測图(28)



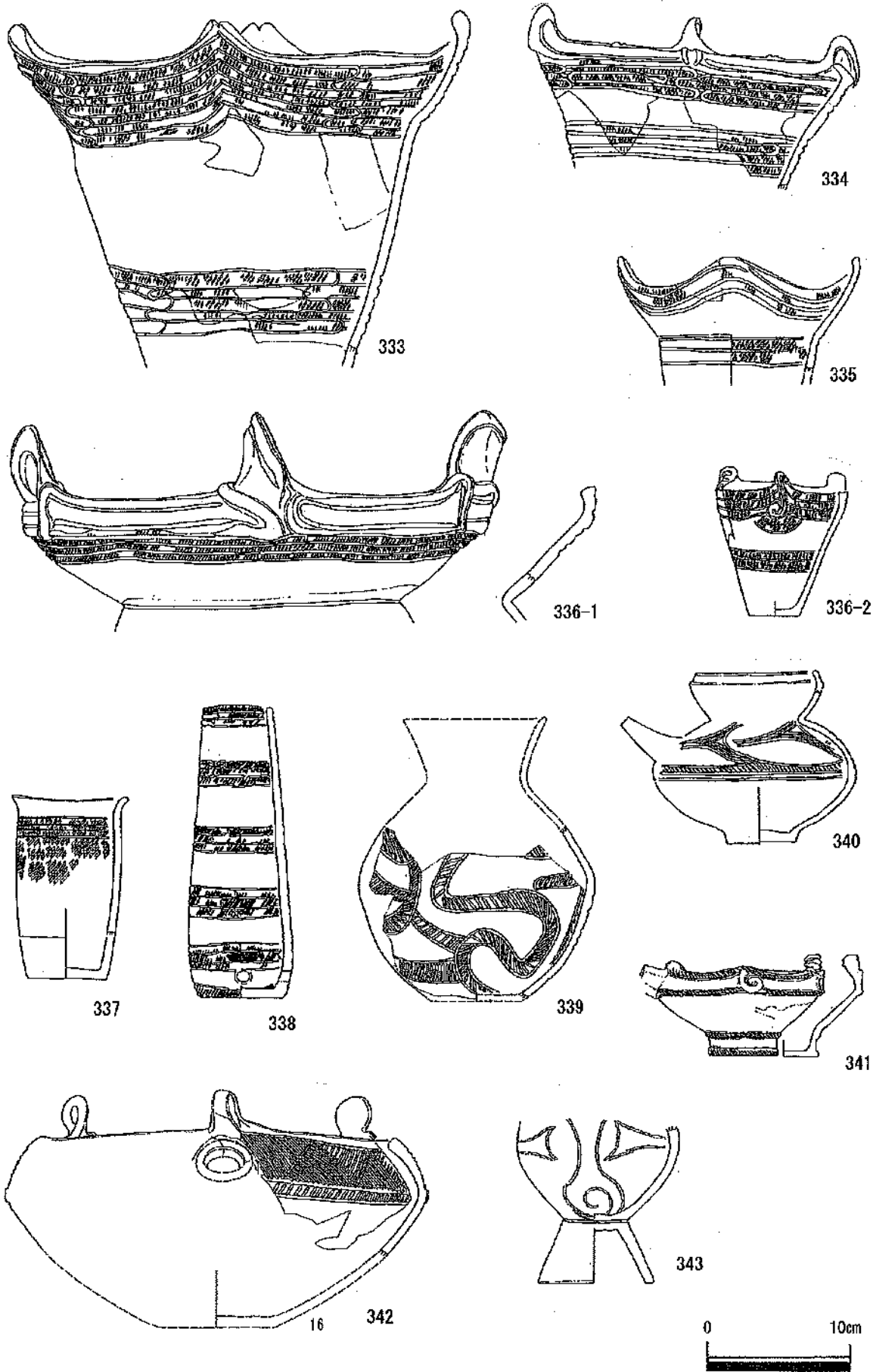
第41图 土器突測図(29)



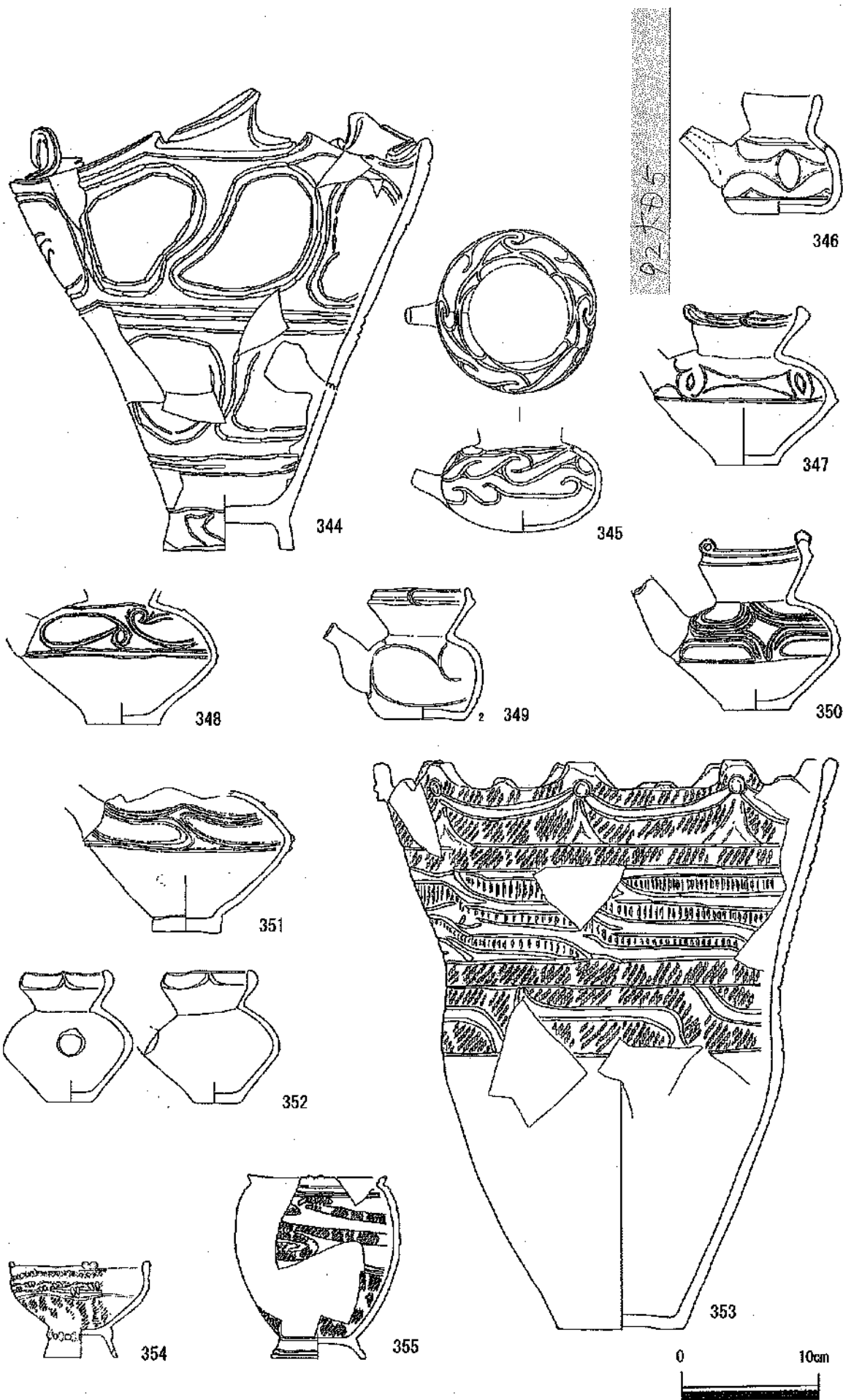
第42圖 土器実測圖(30)



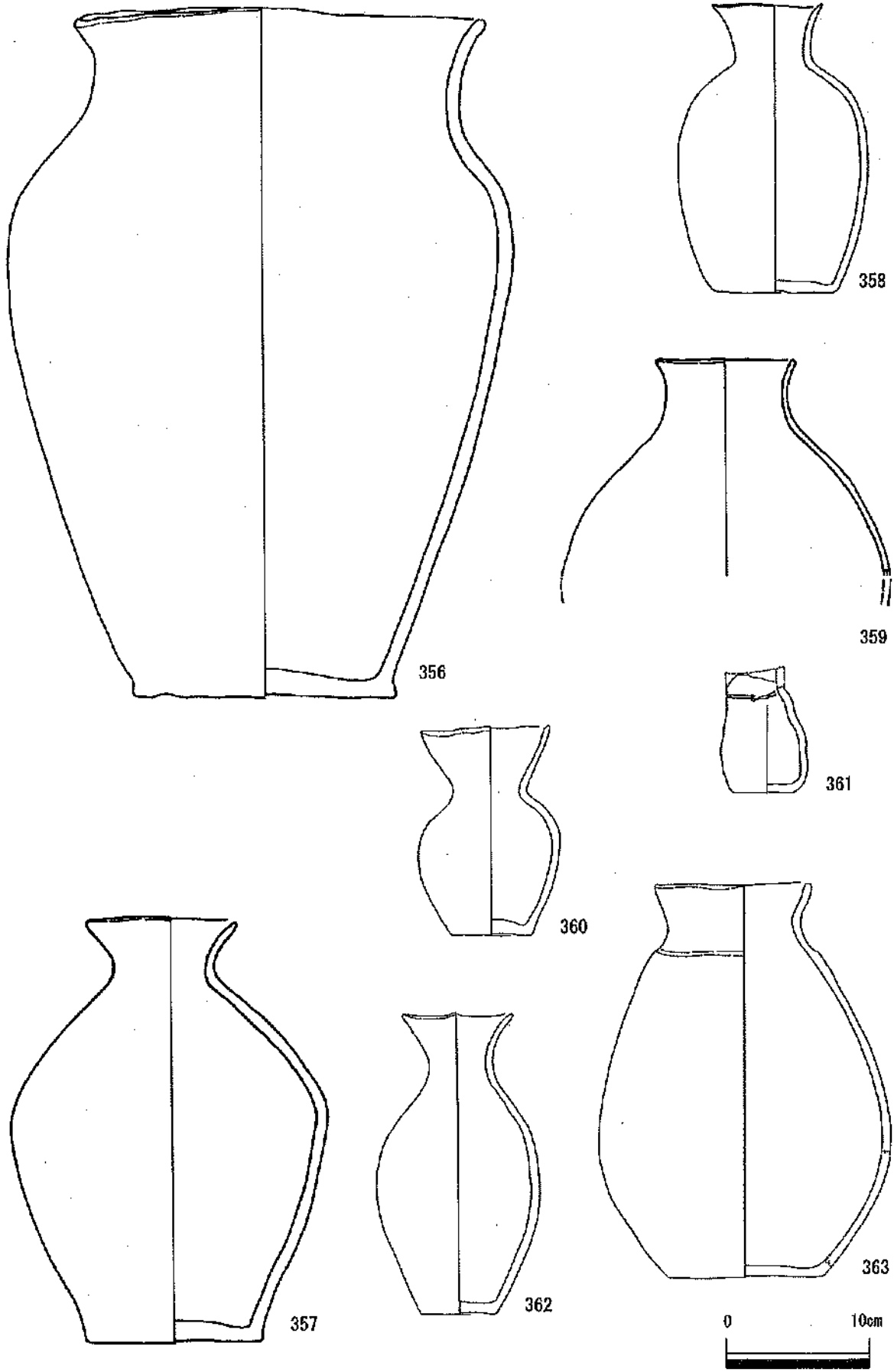
第43图 土器実測图(31)



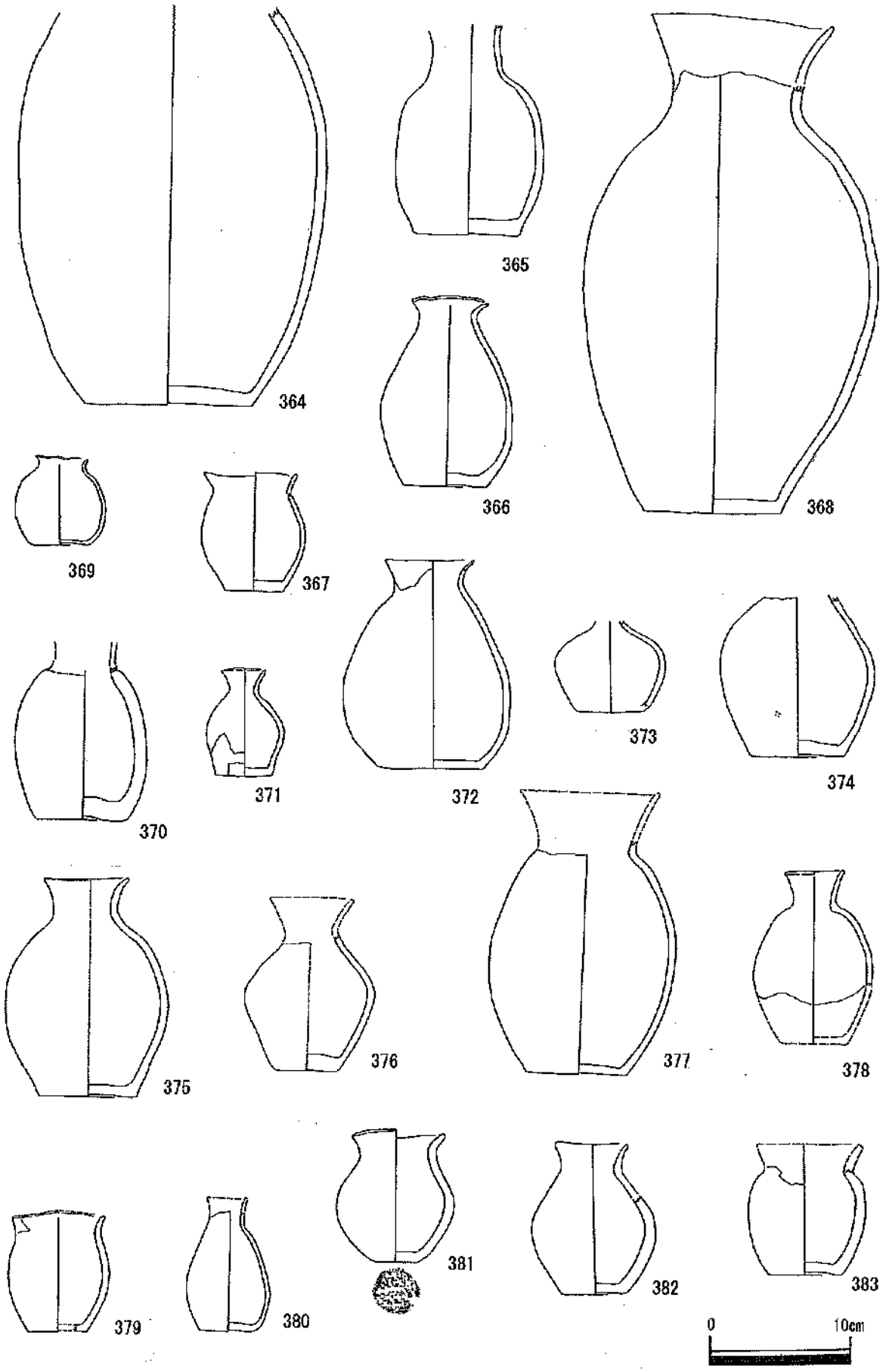
第44图 土器实测图(32)



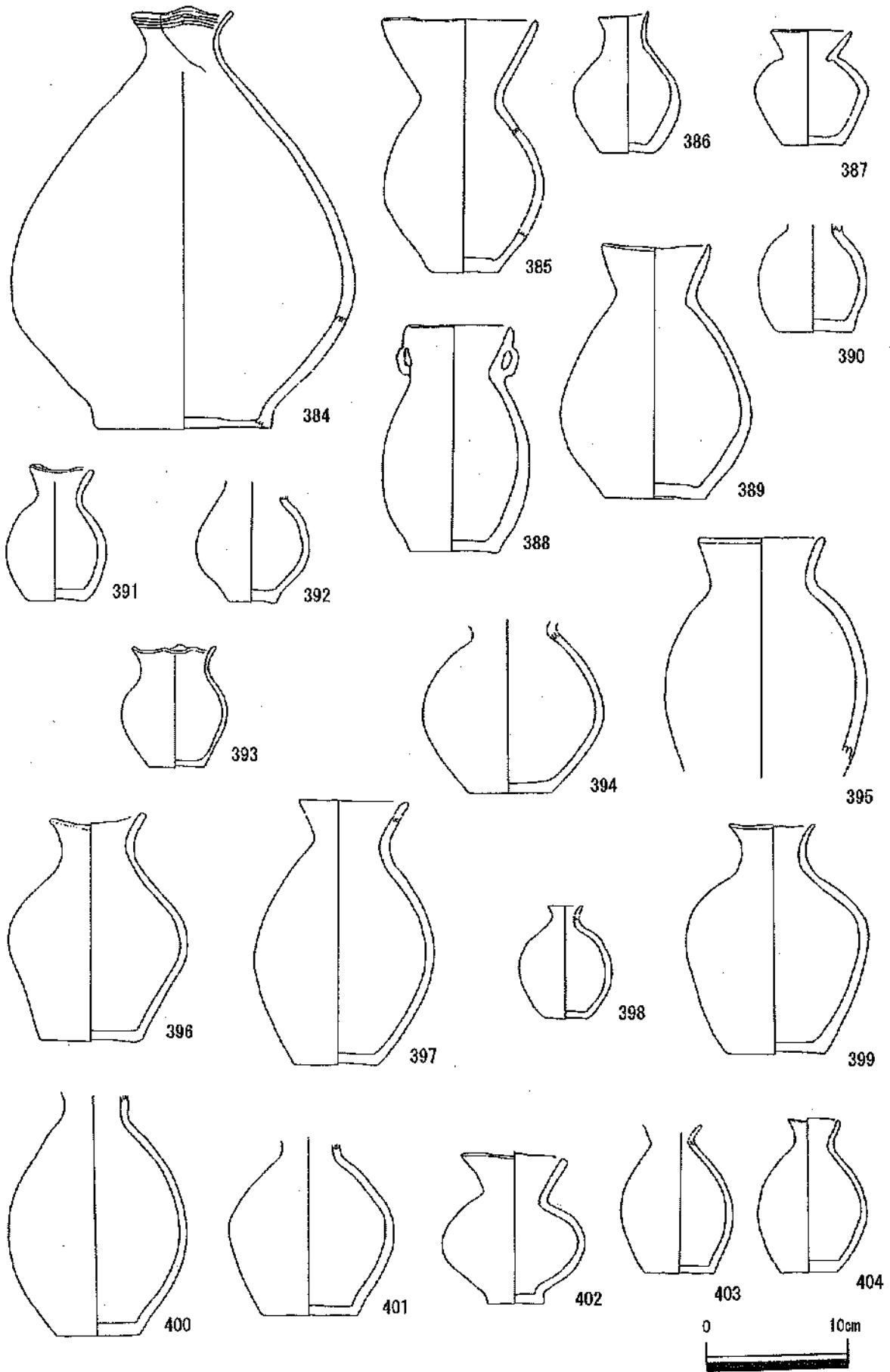
第45图 土器実測図(33)



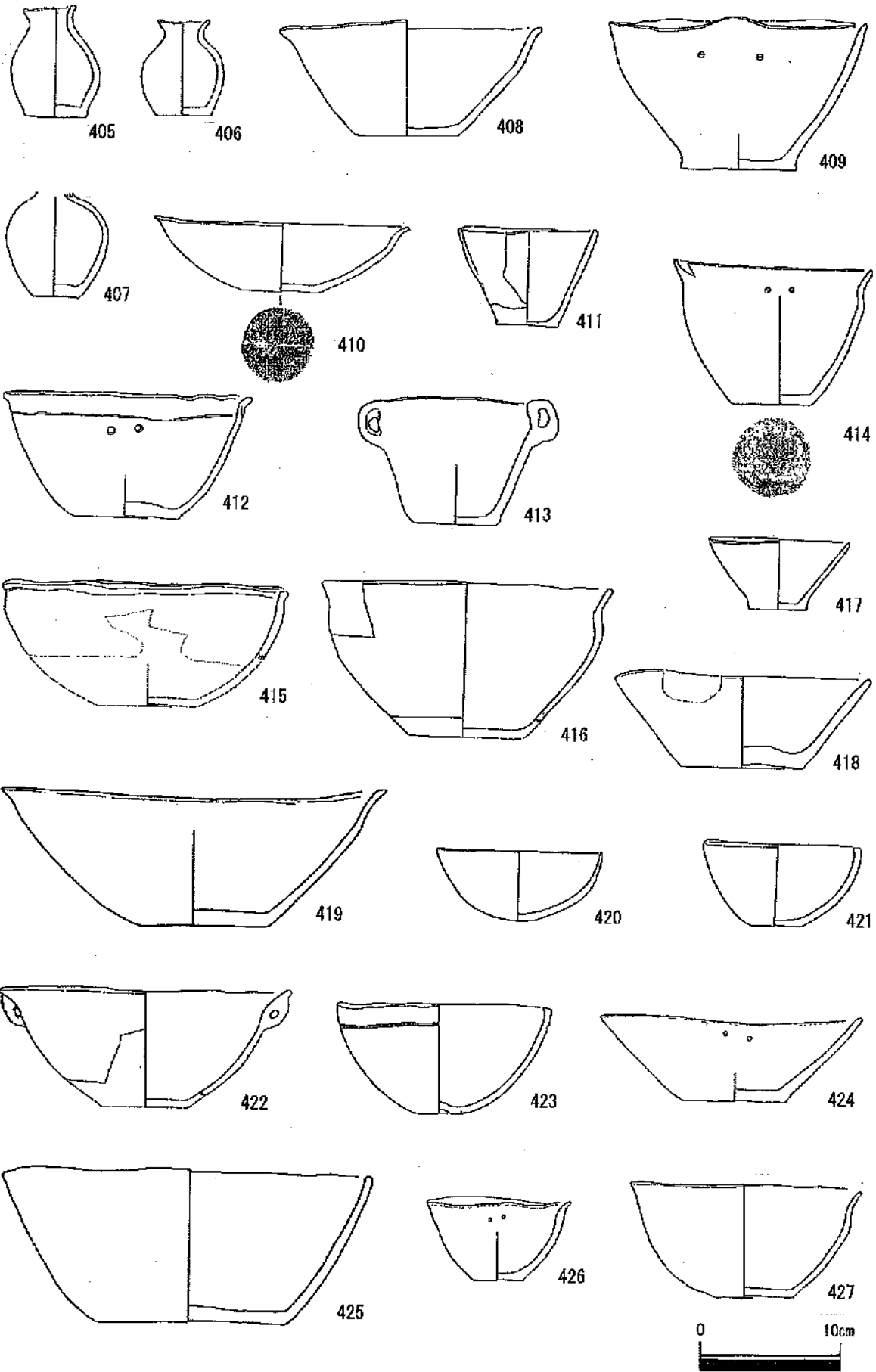
第46图 土器実測图(34)



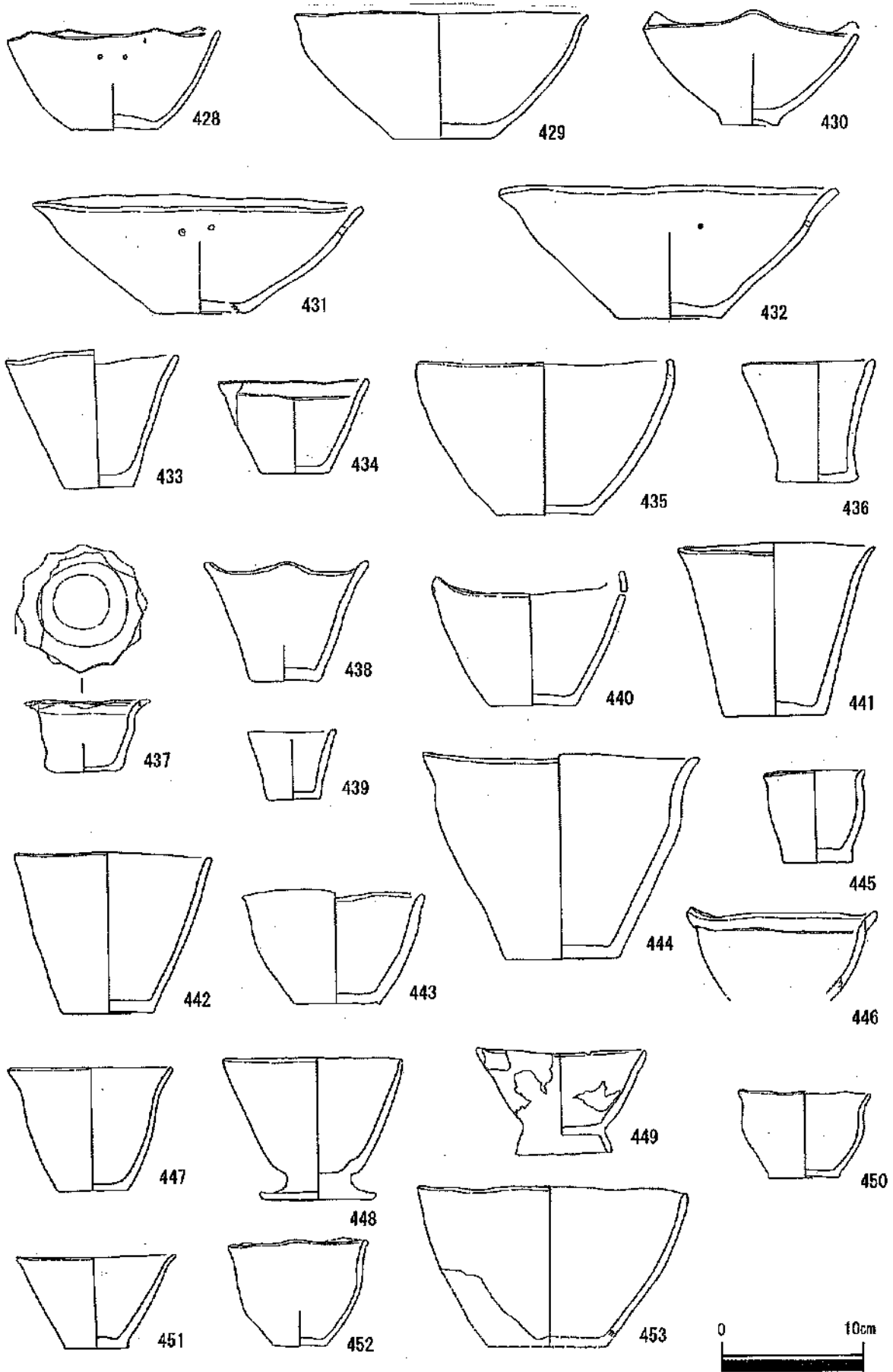
第47圖 土器実測圖(35)



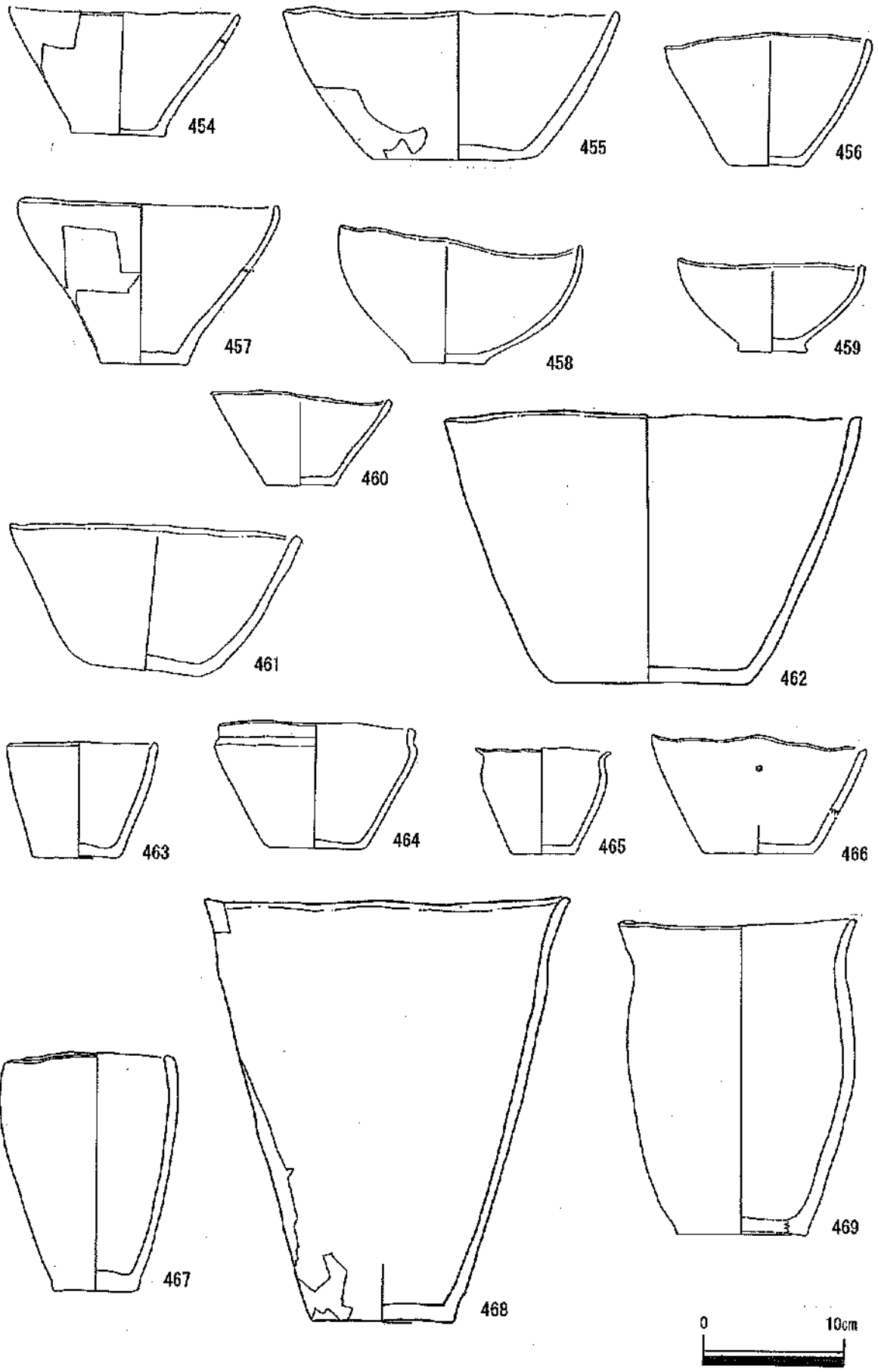
第48图 土器実測图(36)



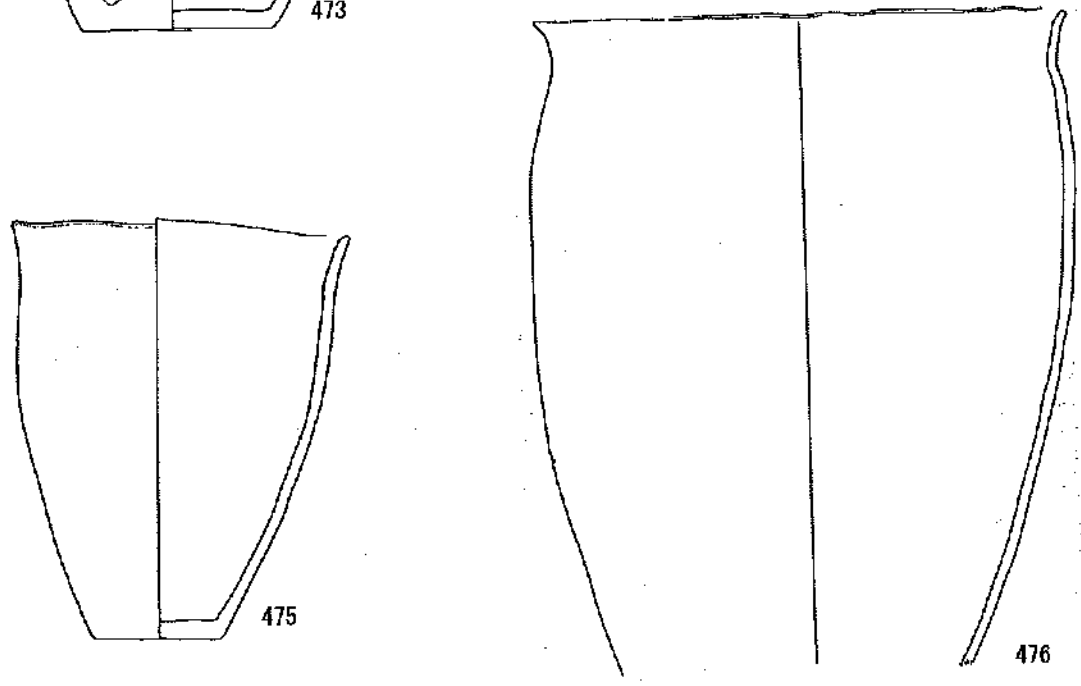
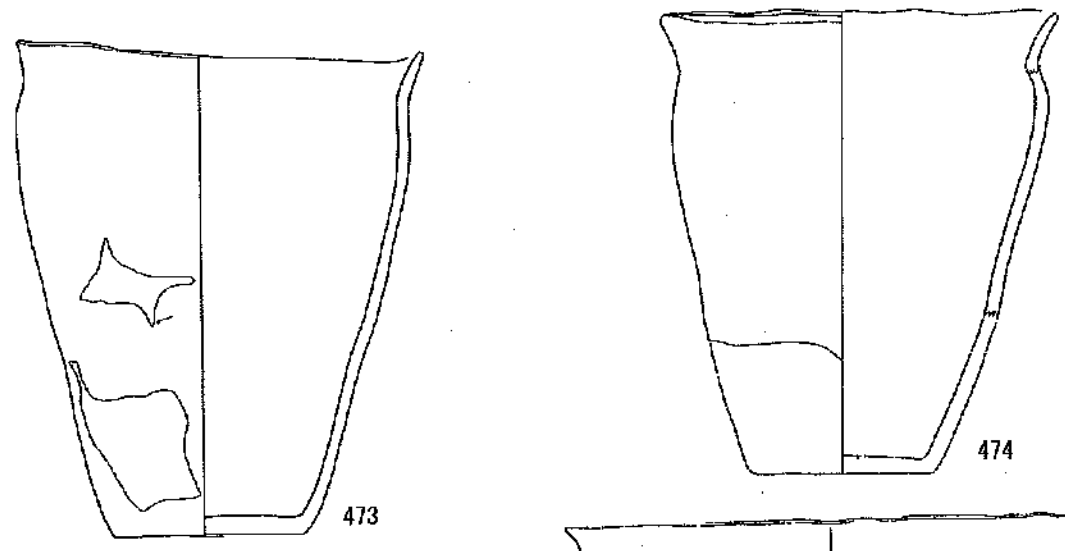
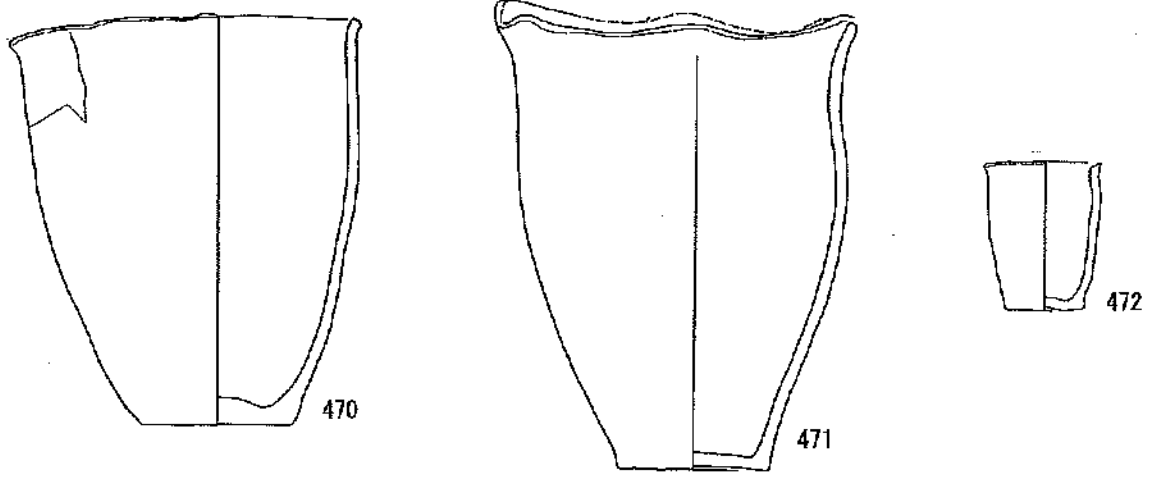
第49图 土器実測図(37)



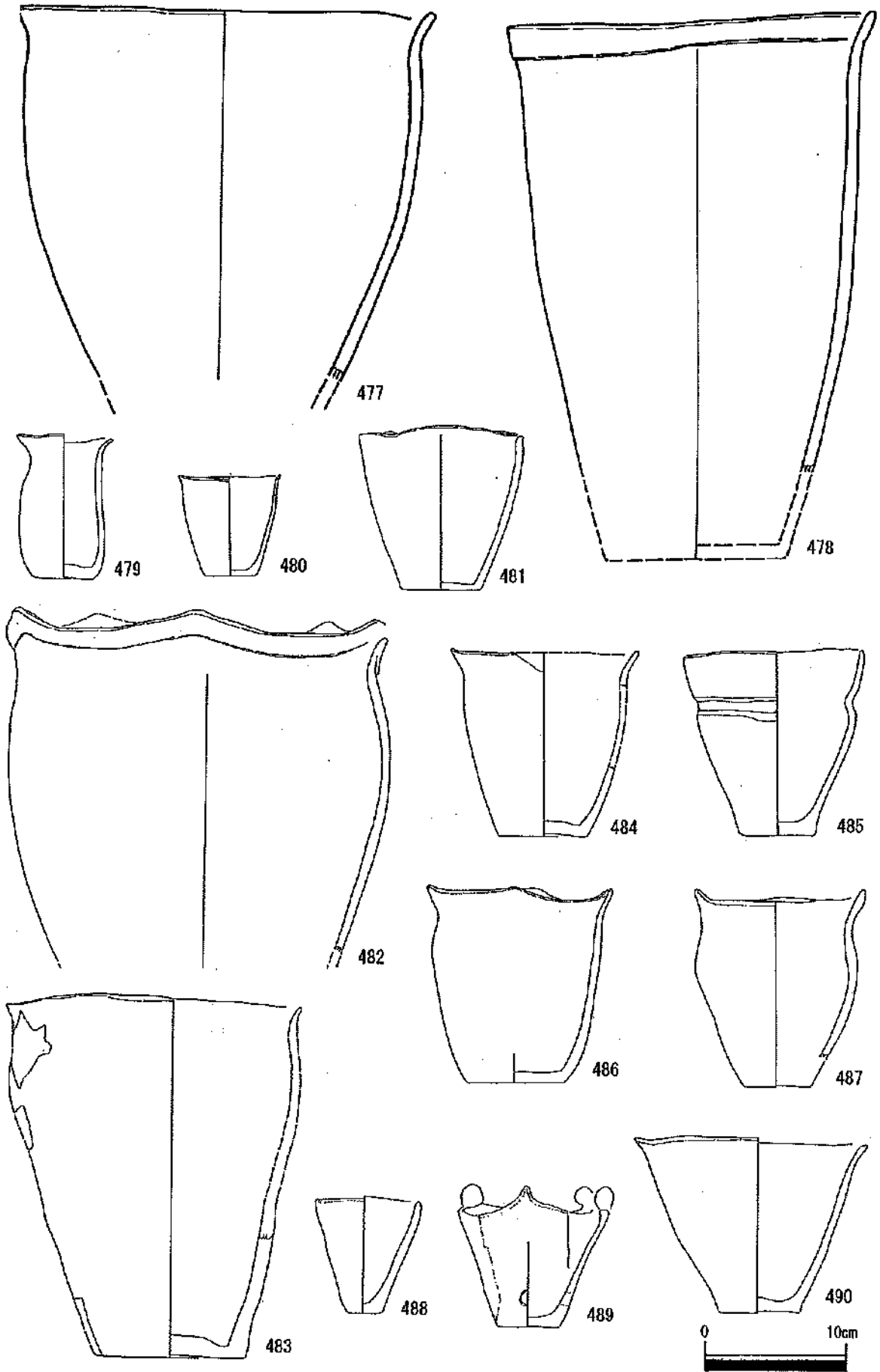
第50图 土器実測図(38)



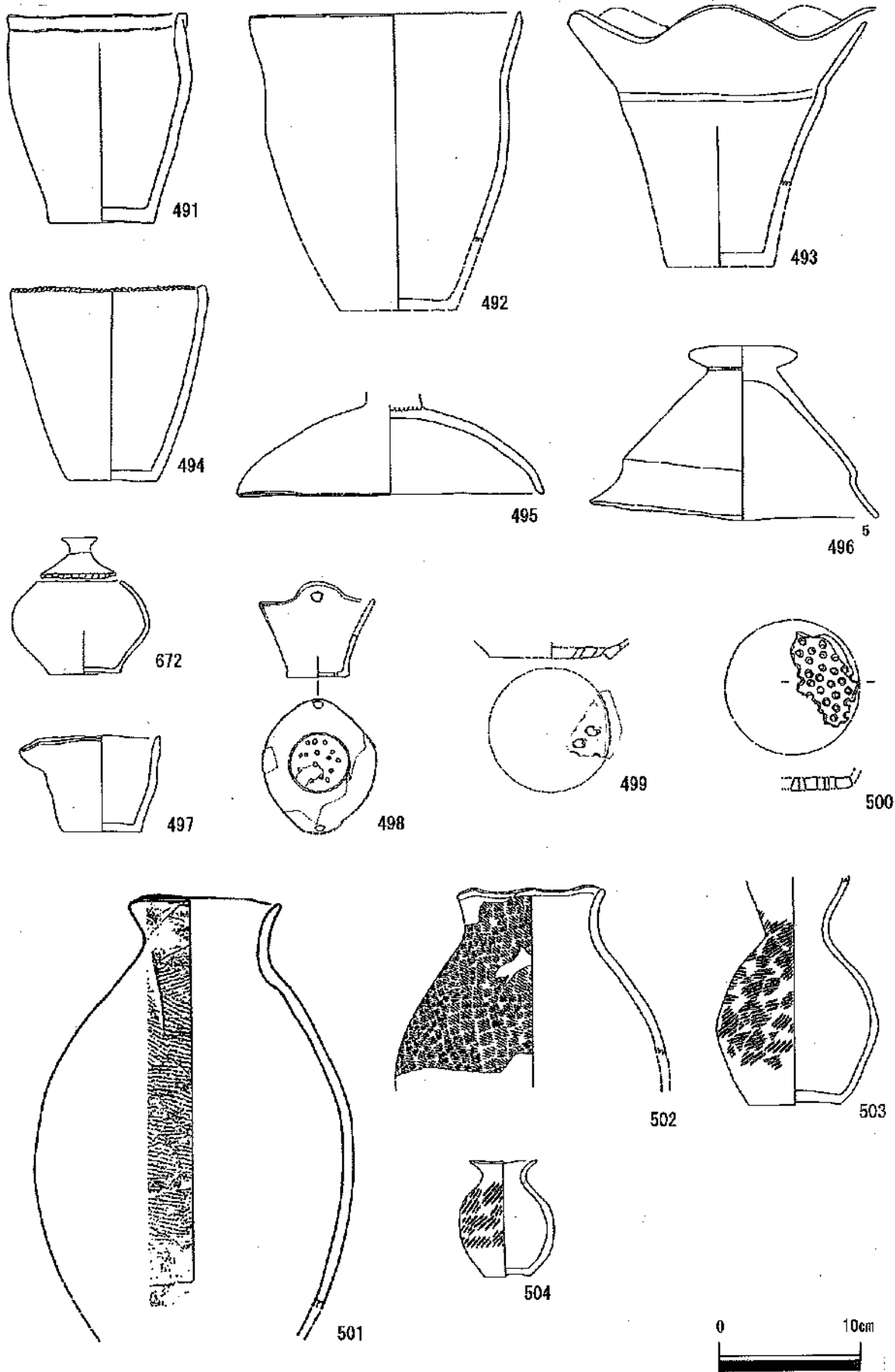
第51図 土器実測図(39)



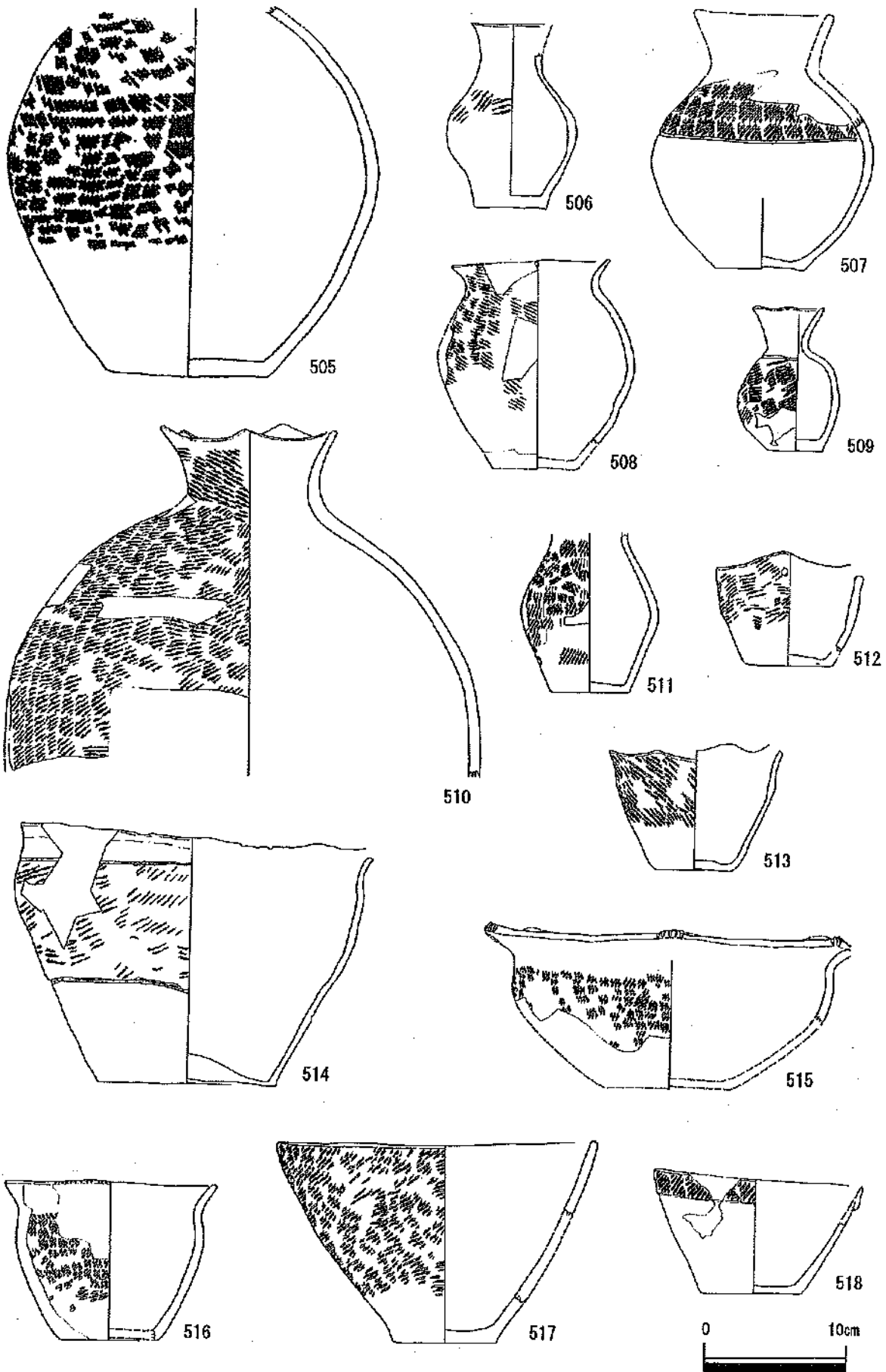
第52図 土器実測図(40)



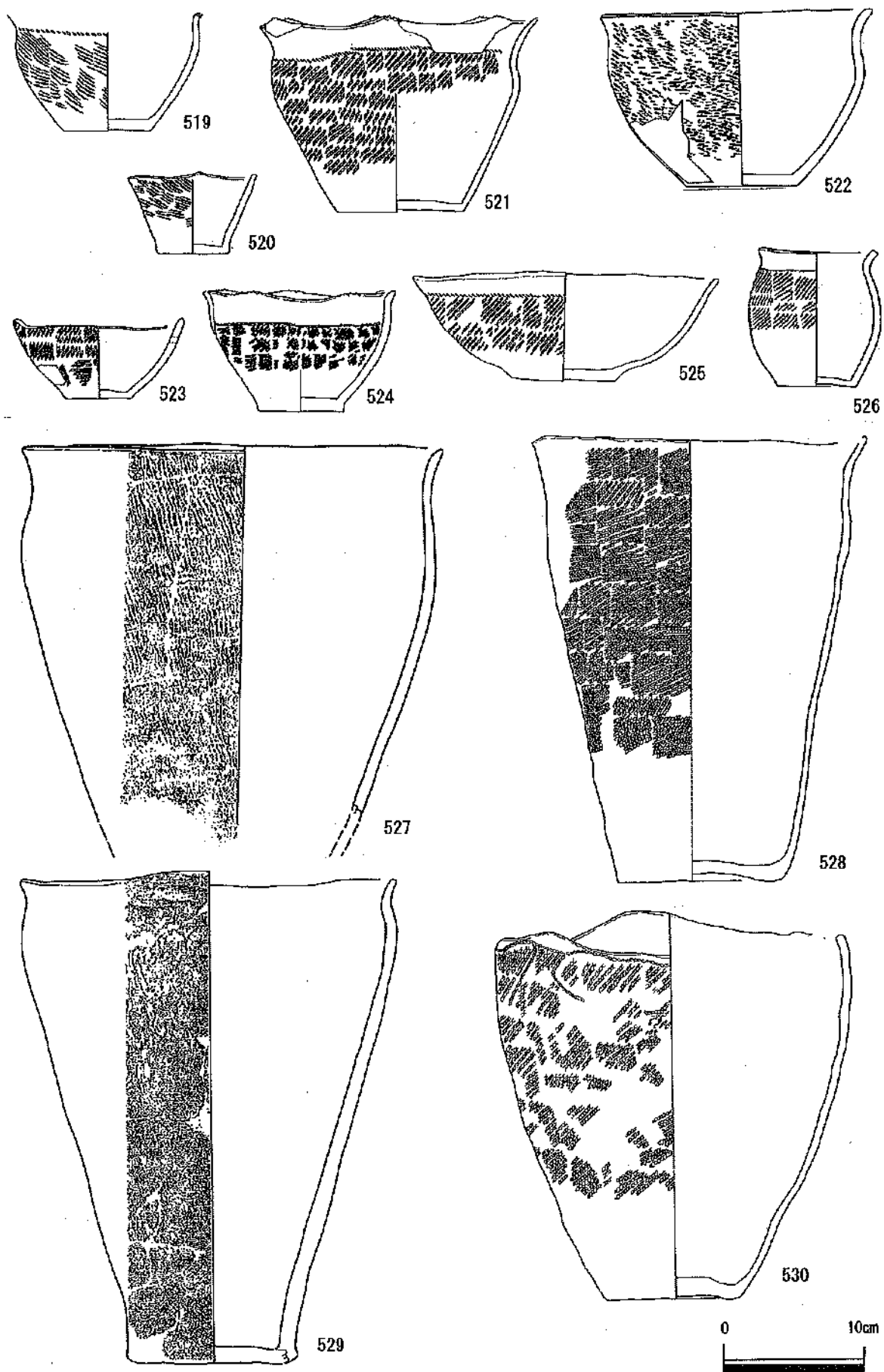
第53图 土器实测图(41)



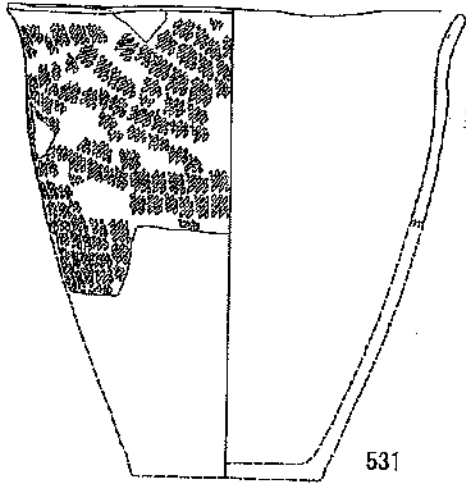
第54图 土器実測図(42)



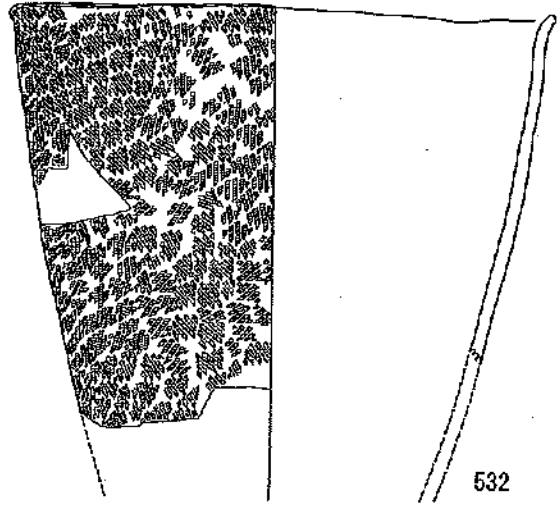
第55图 土器実測图(43)



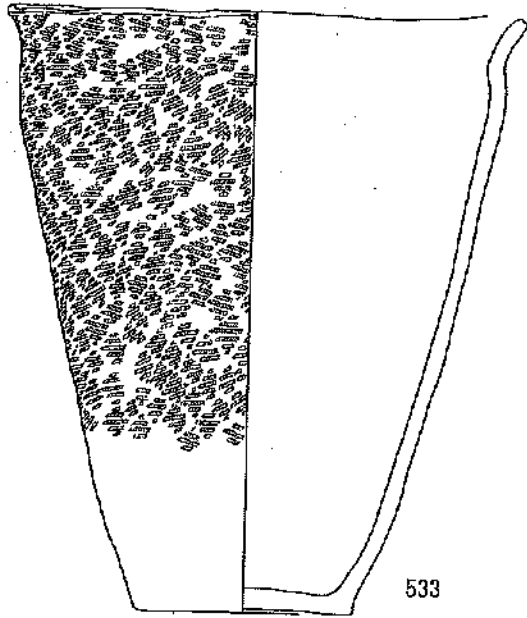
第56图 土器実測图(44)



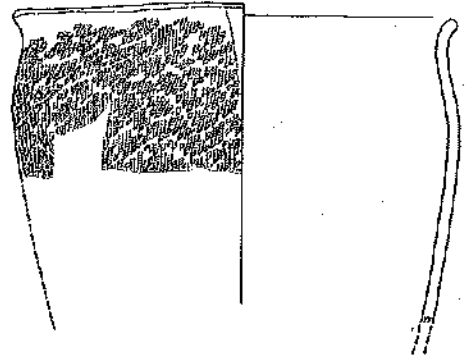
531



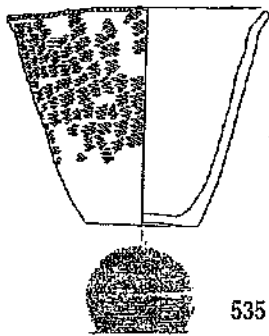
532



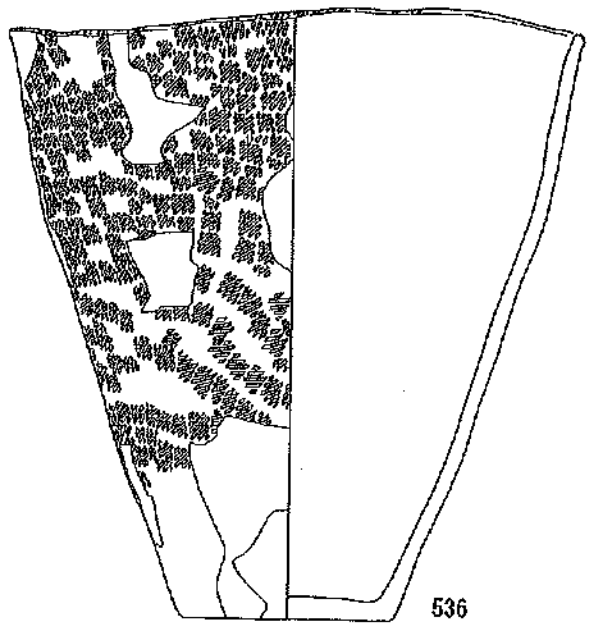
533



534



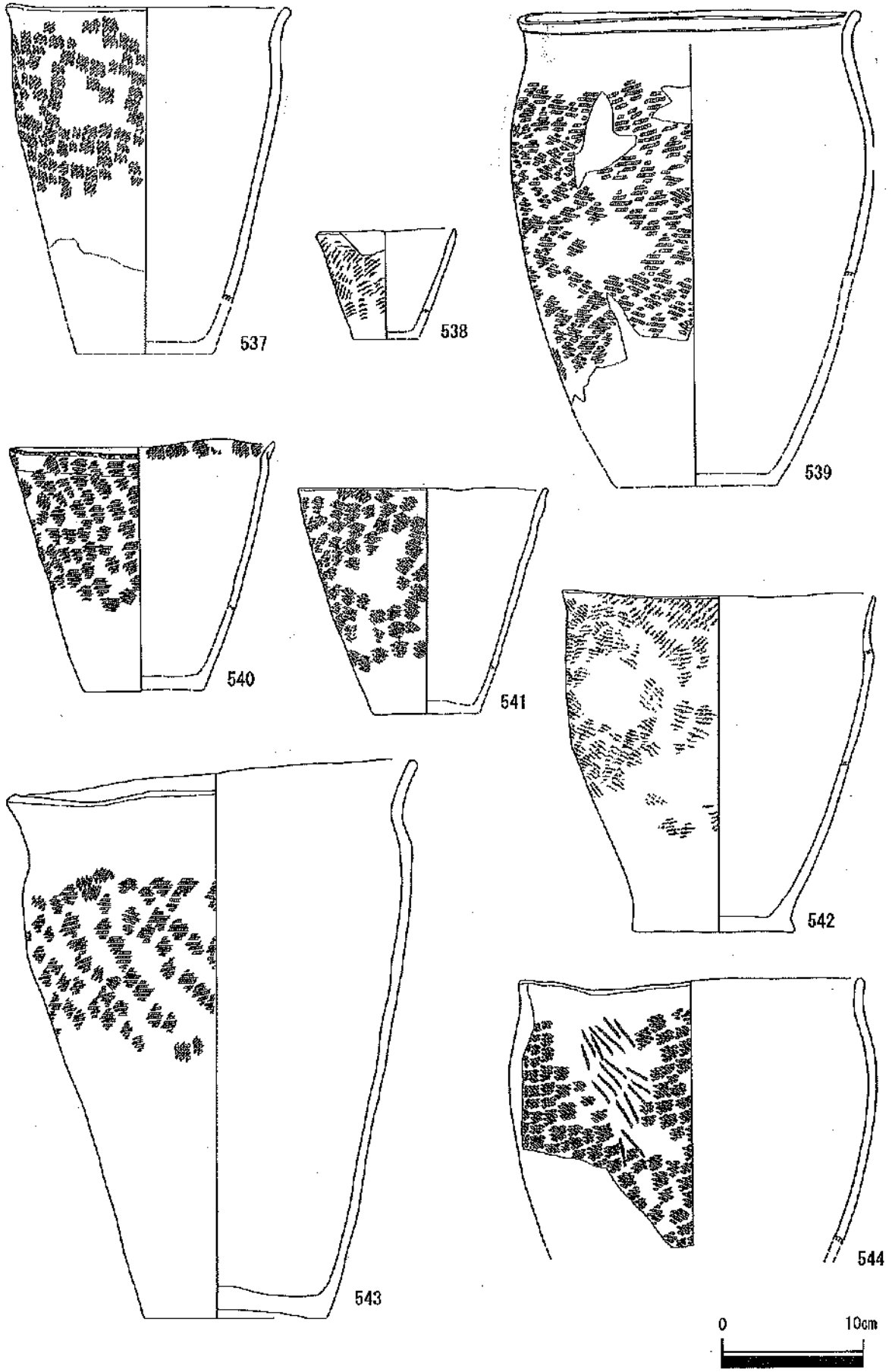
535



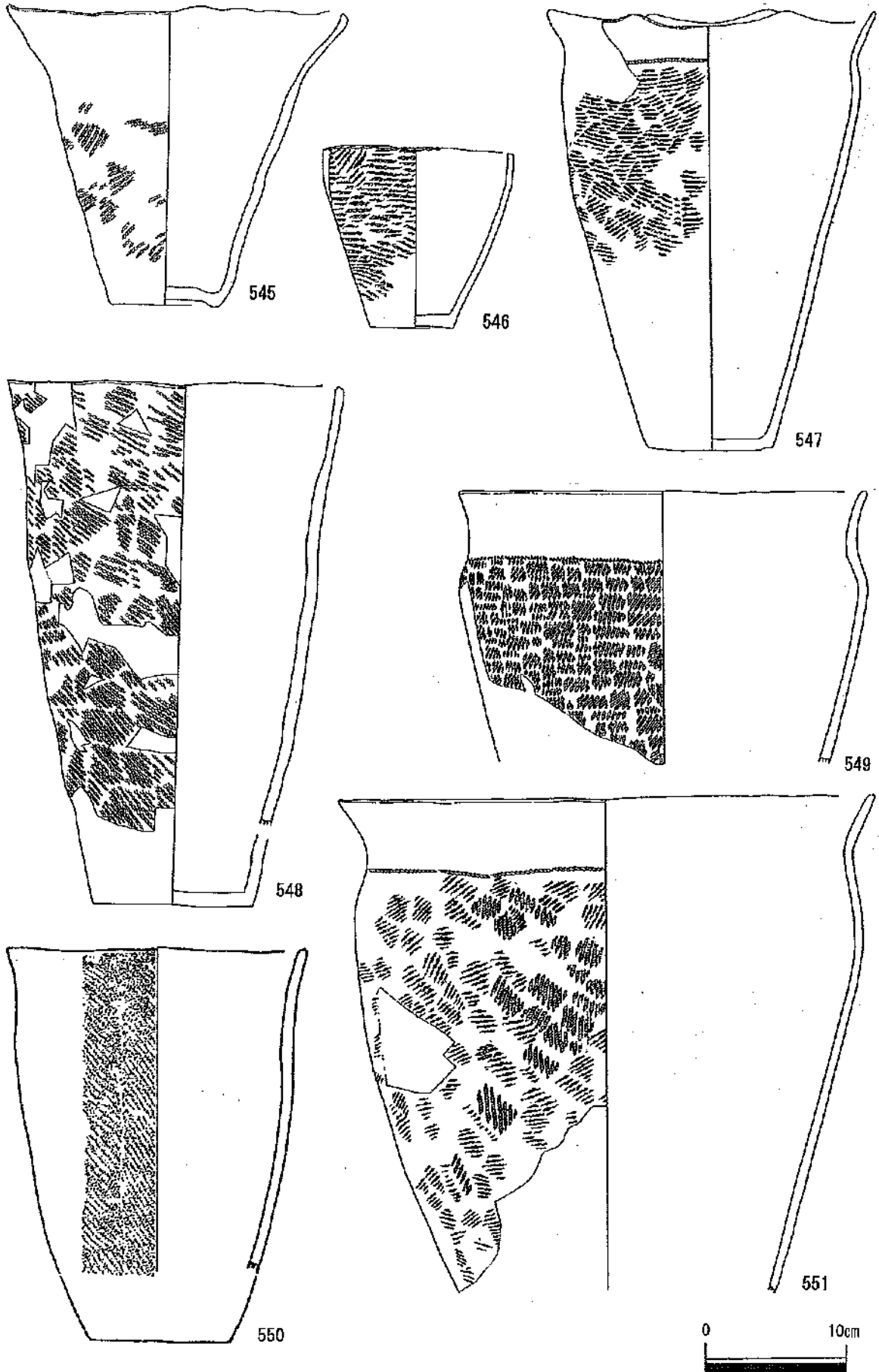
536



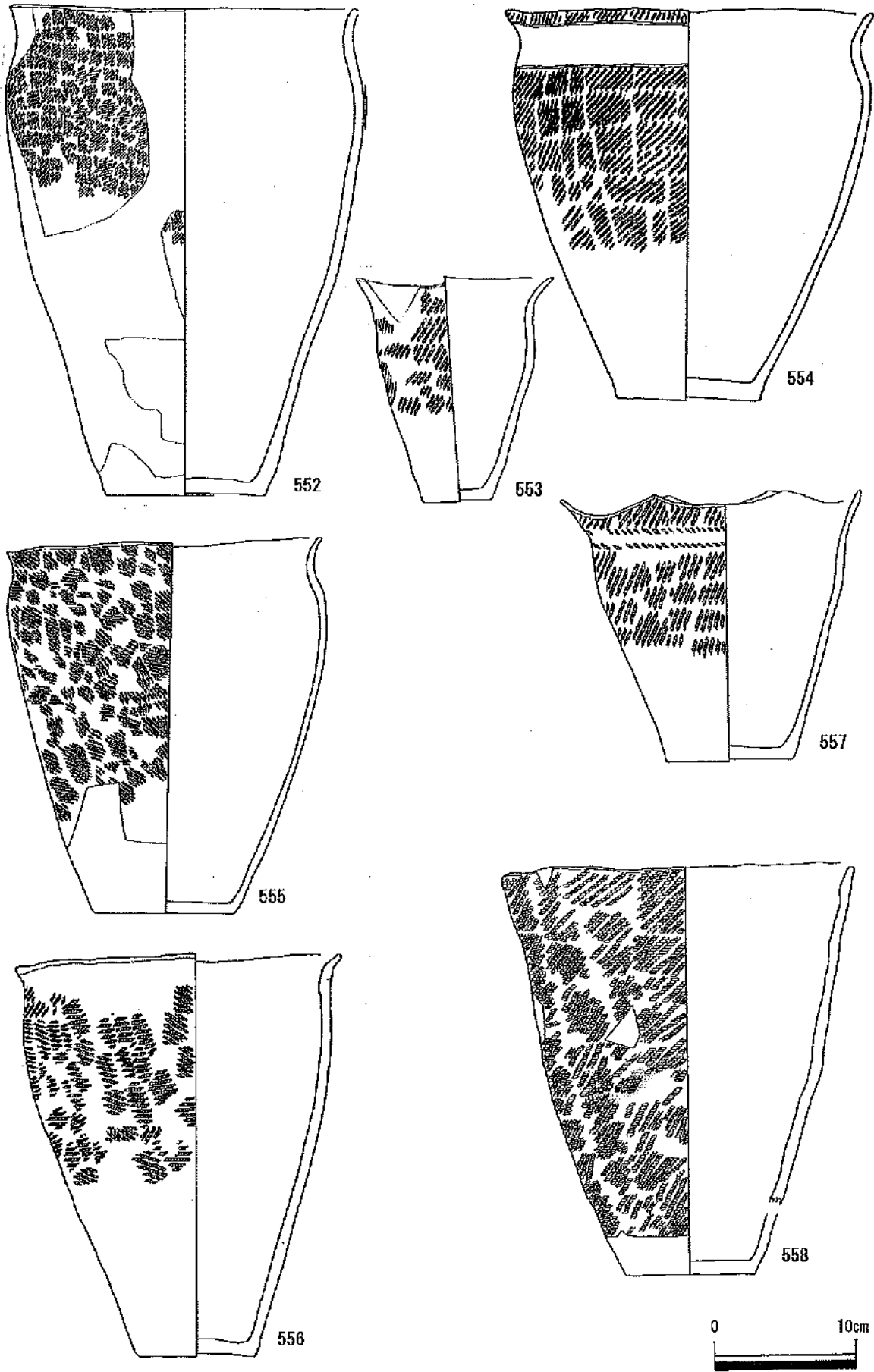
第57图 土器実測图(45)



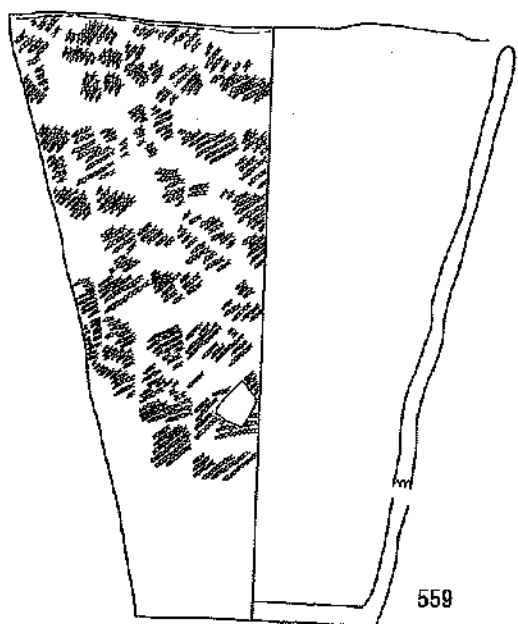
第58图 土器実測図(46)



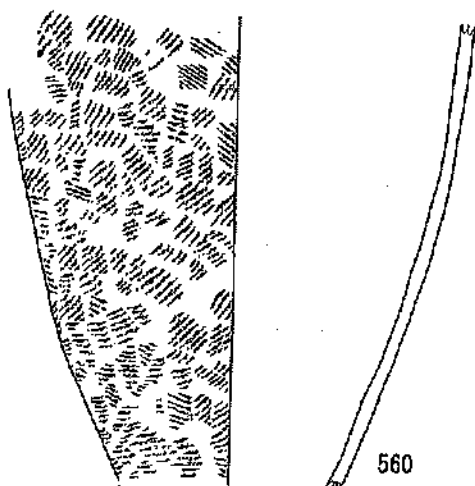
第59图 土器実測图(47)



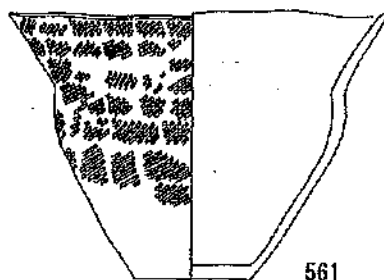
第60图 土器実測图(48)



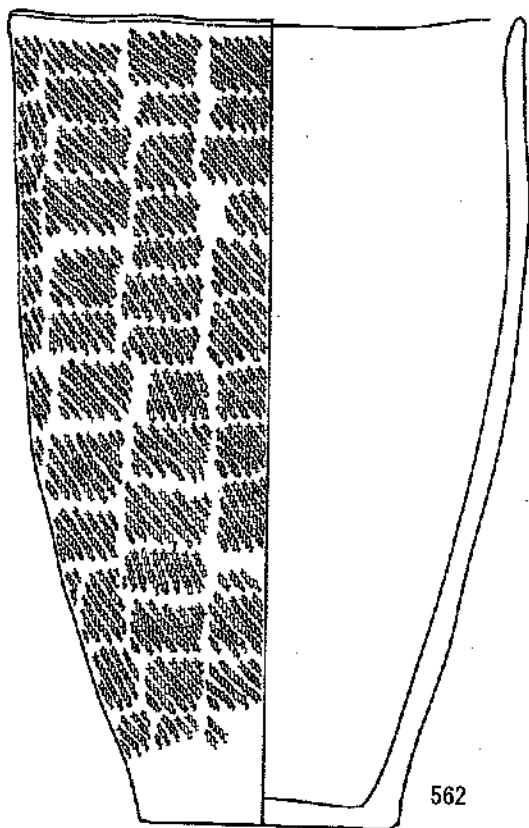
559



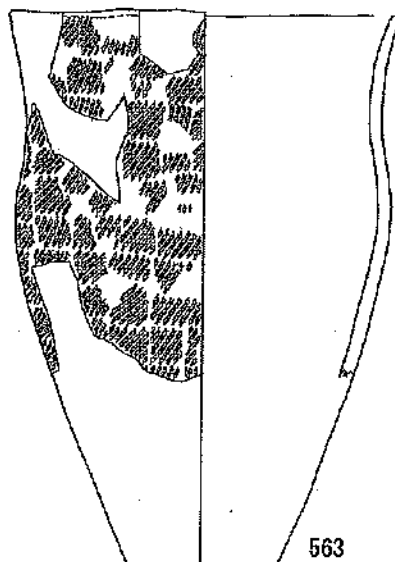
560



561



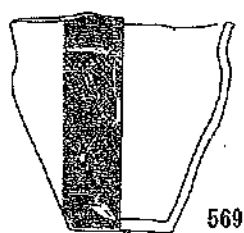
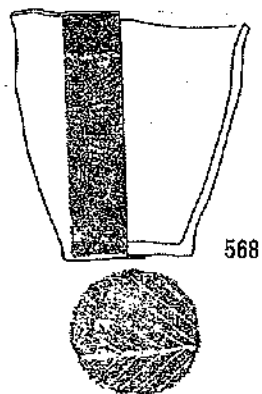
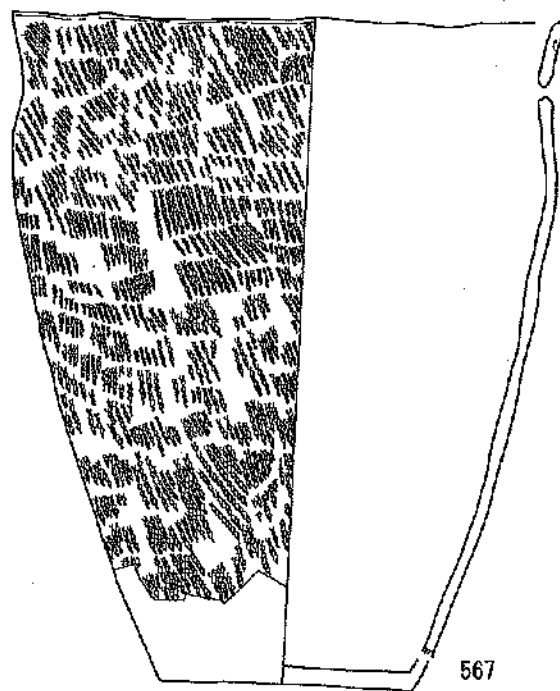
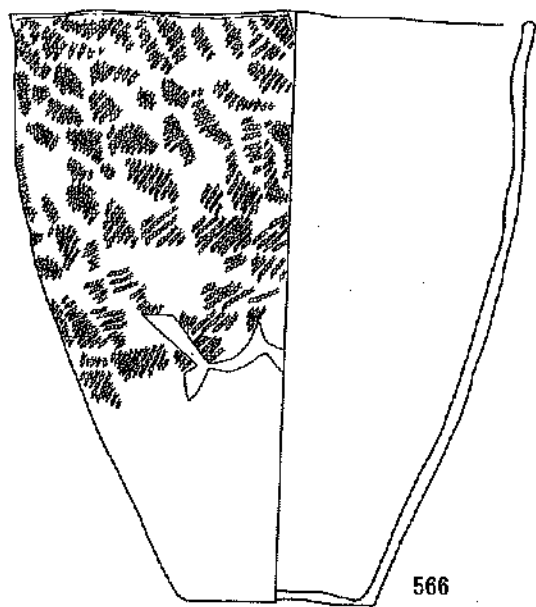
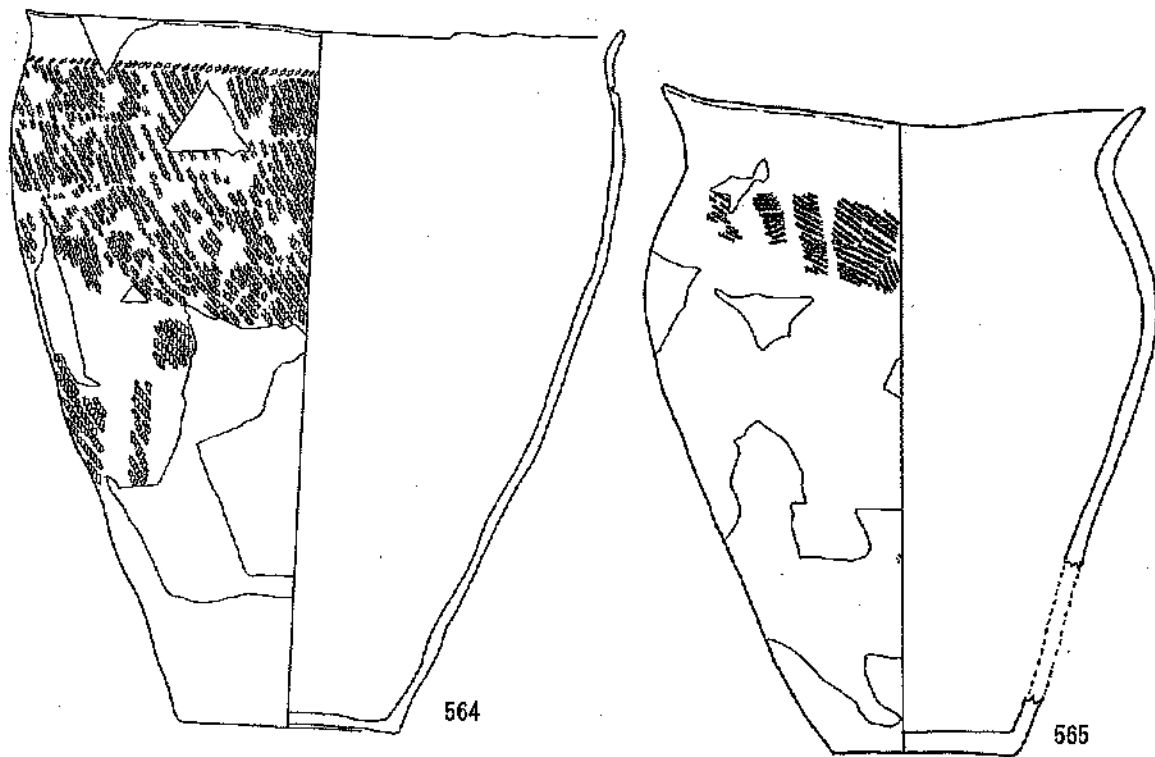
562



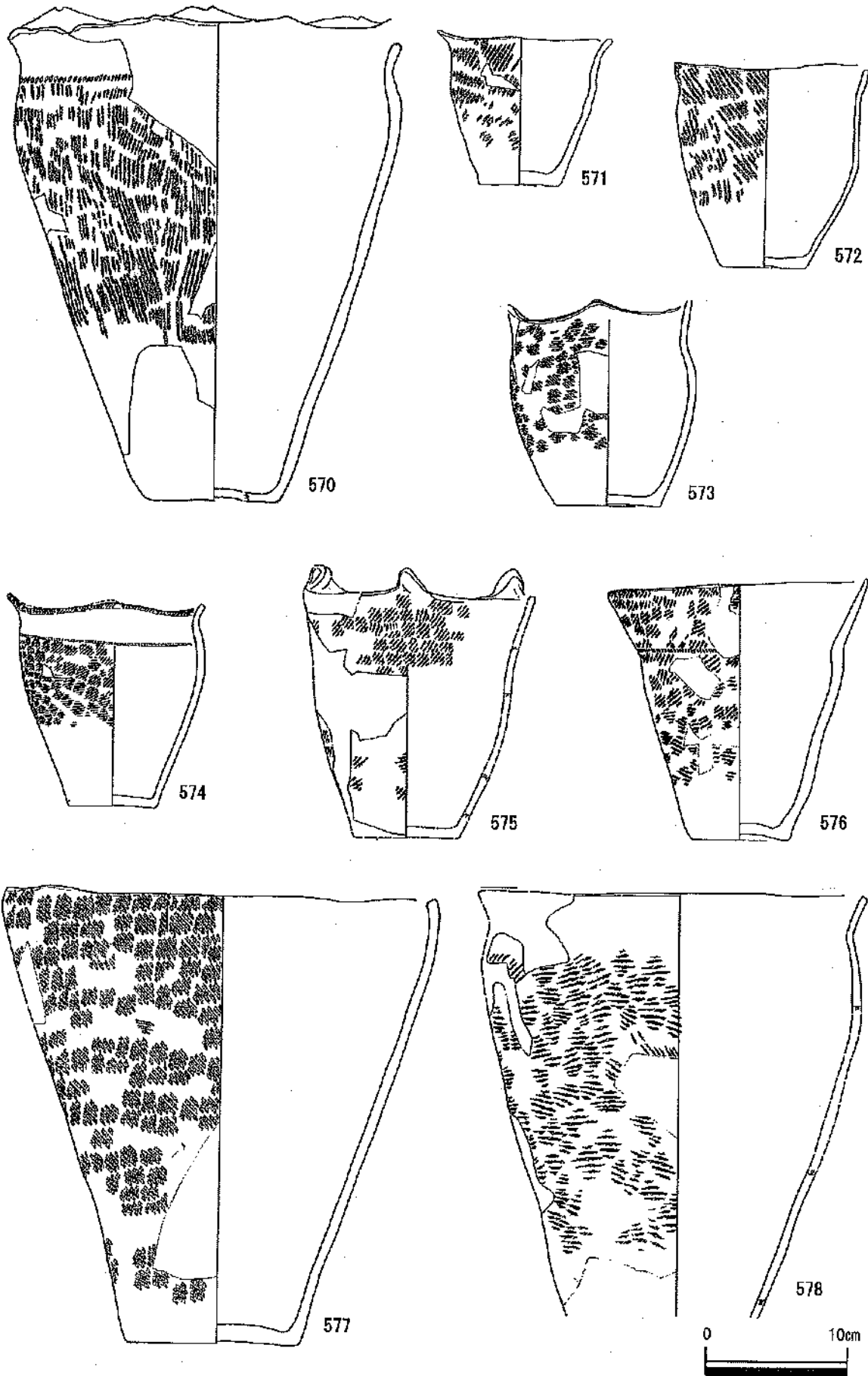
563



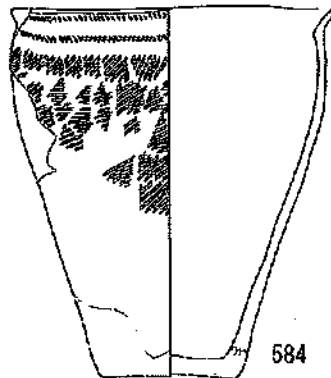
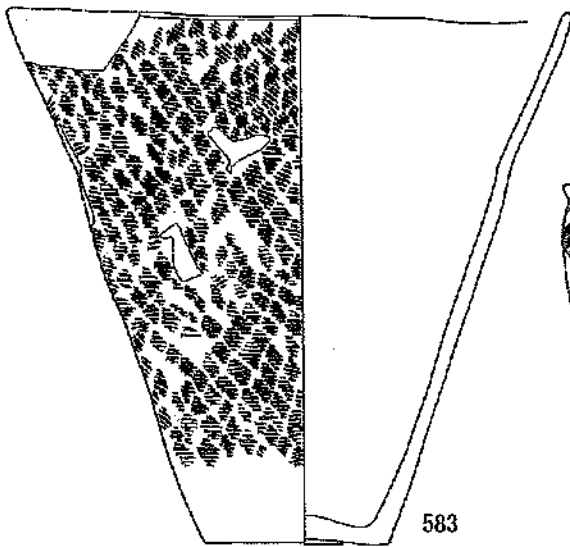
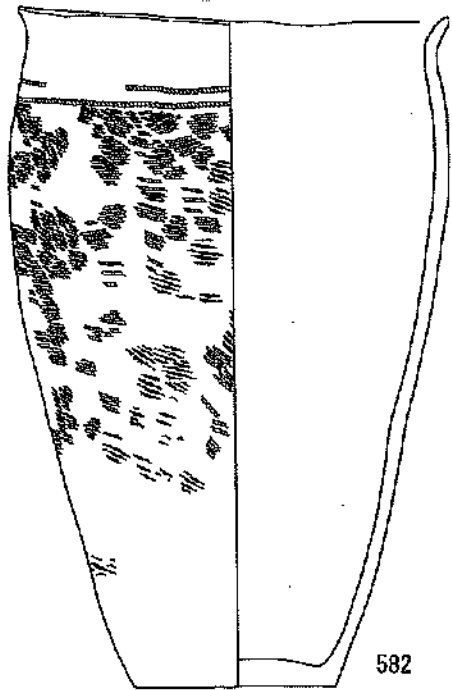
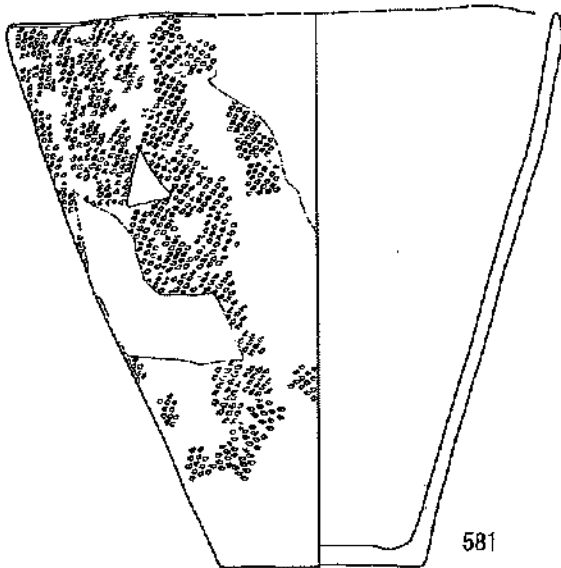
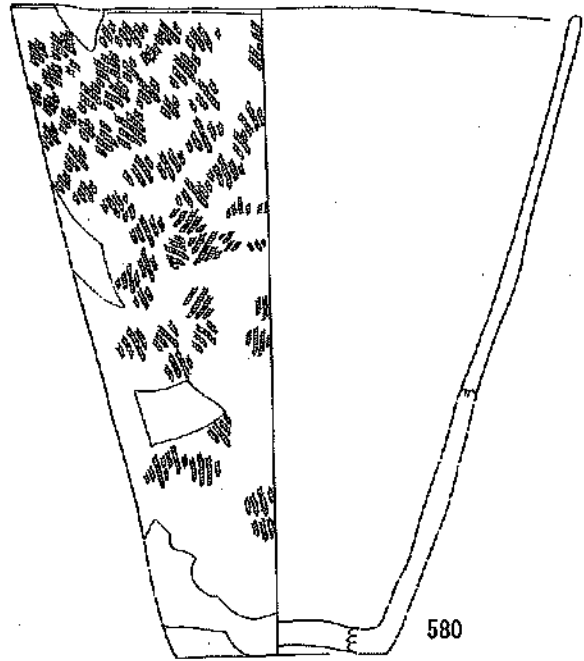
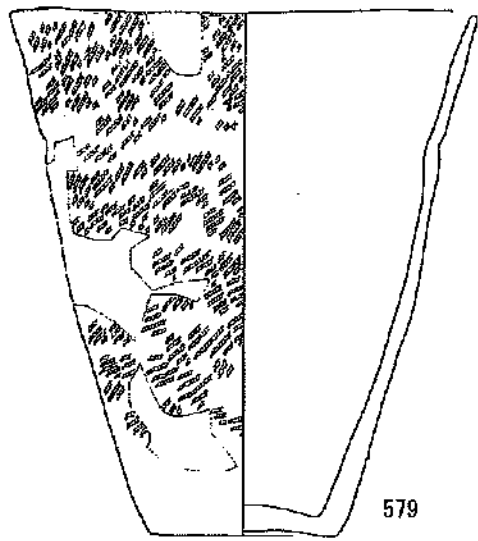
第61図 土器実測図(49)



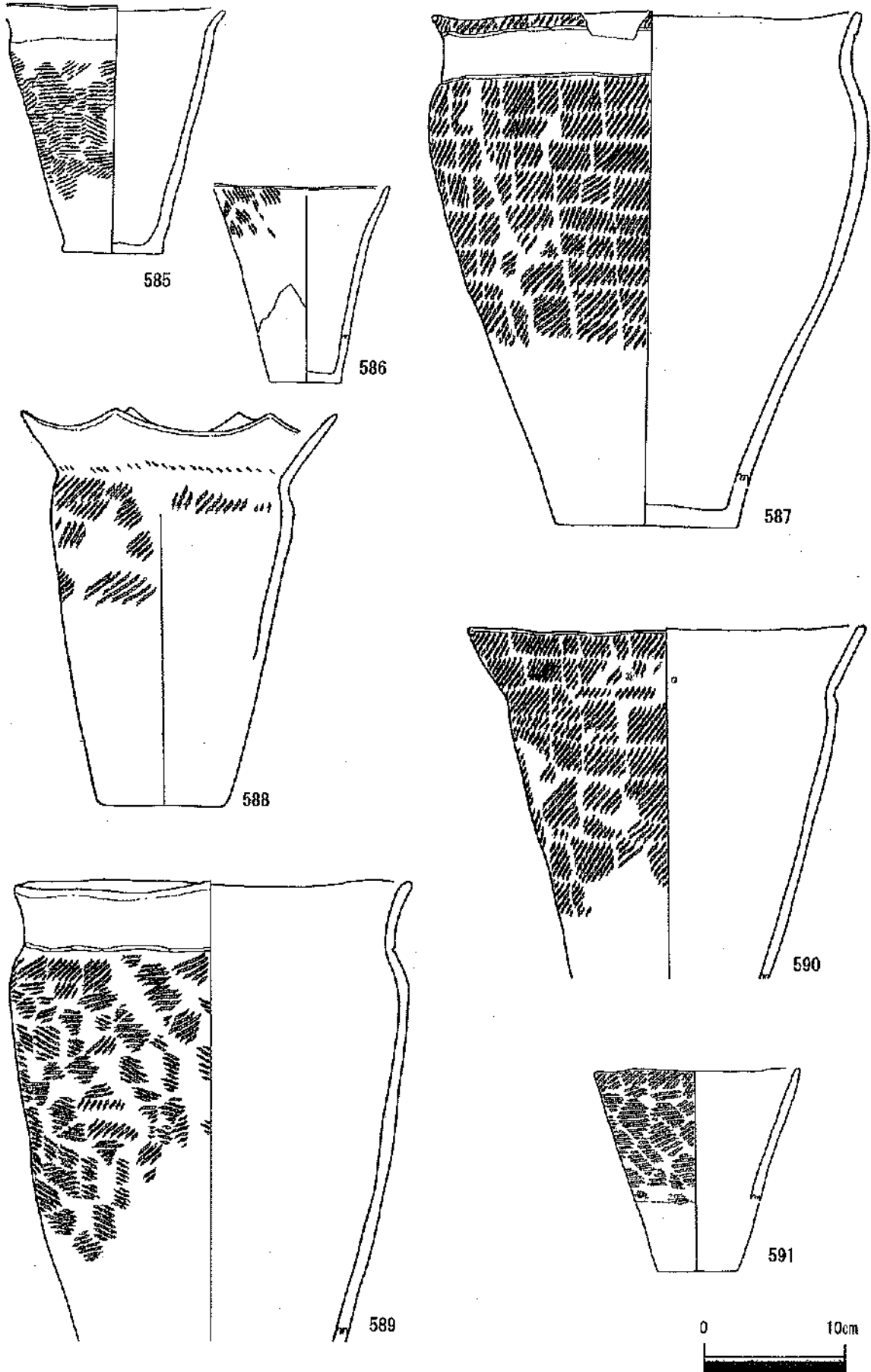
第62図 土器実測図(50)



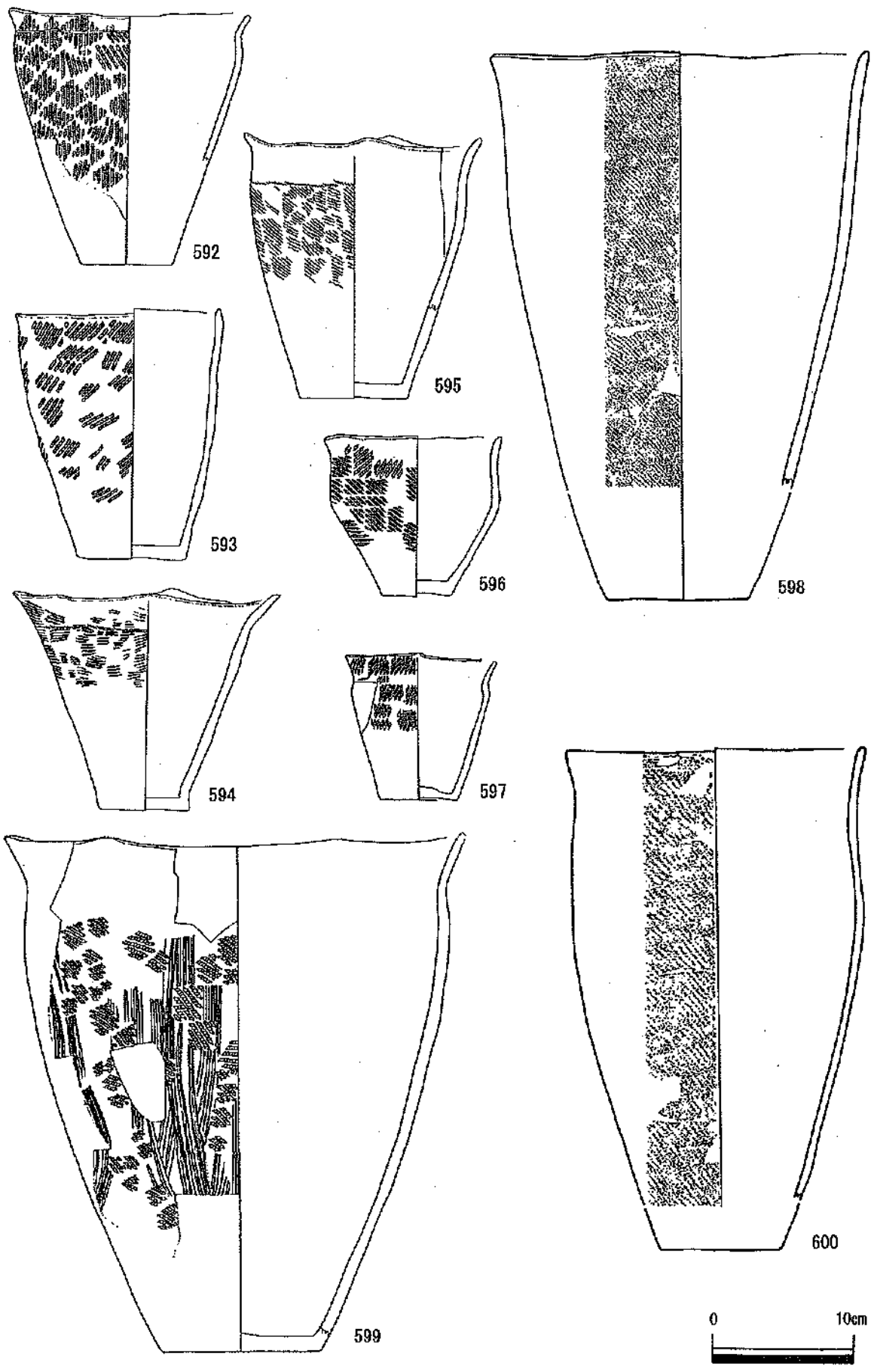
第63図 土器実測図(51)



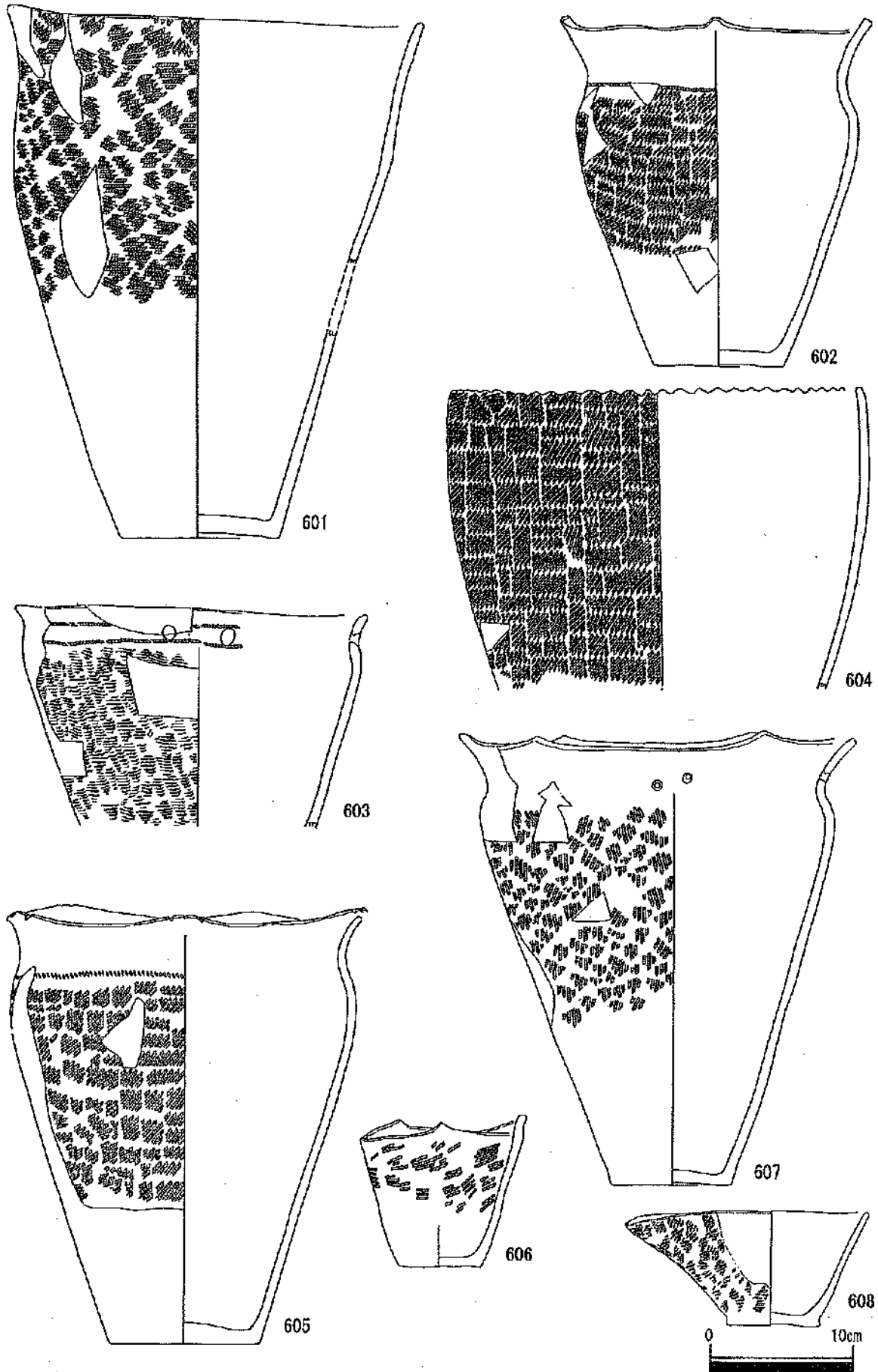
第64图 土器実測图(52)



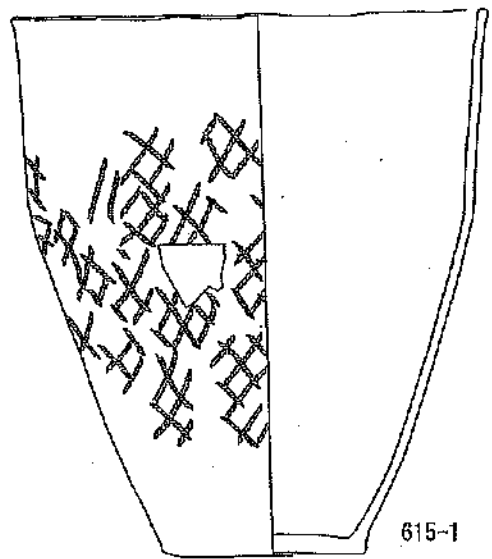
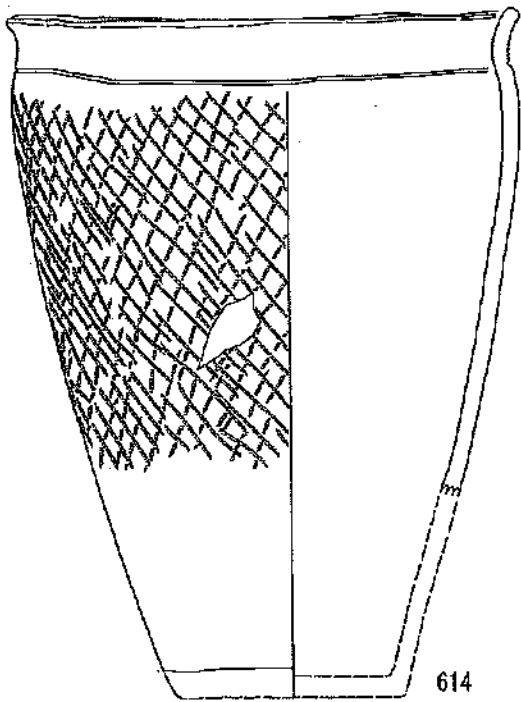
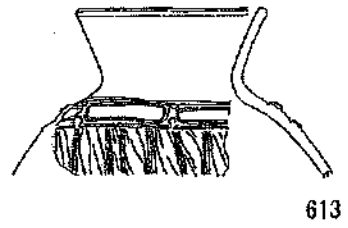
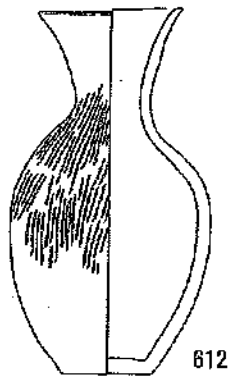
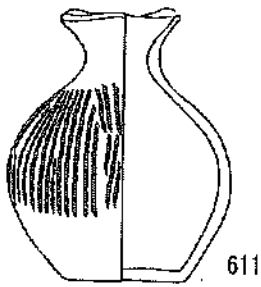
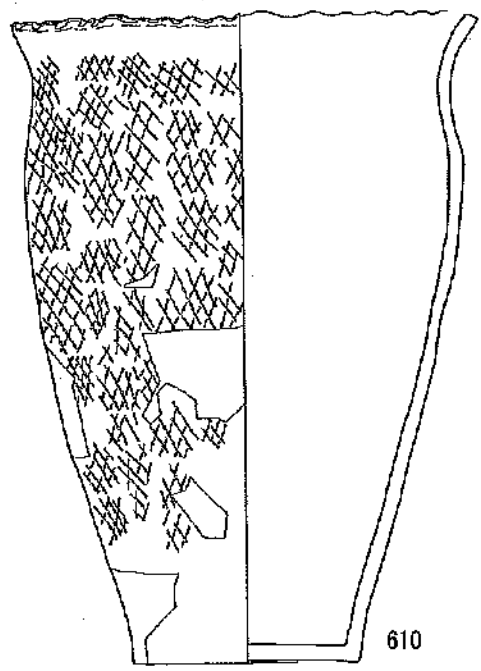
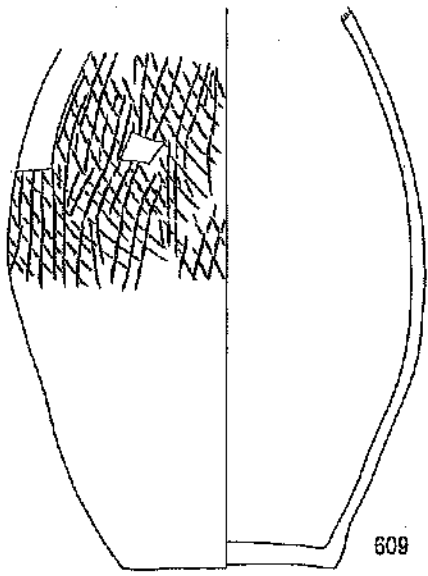
第65图 土器実測图(53)



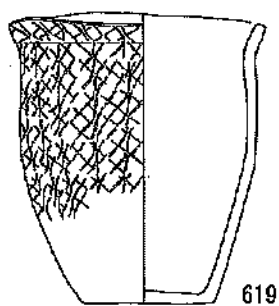
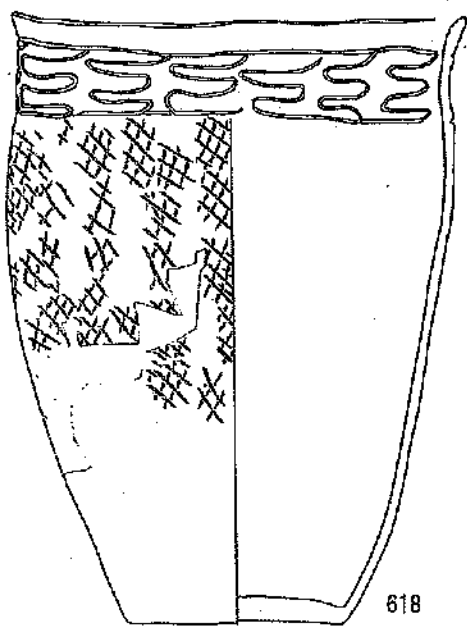
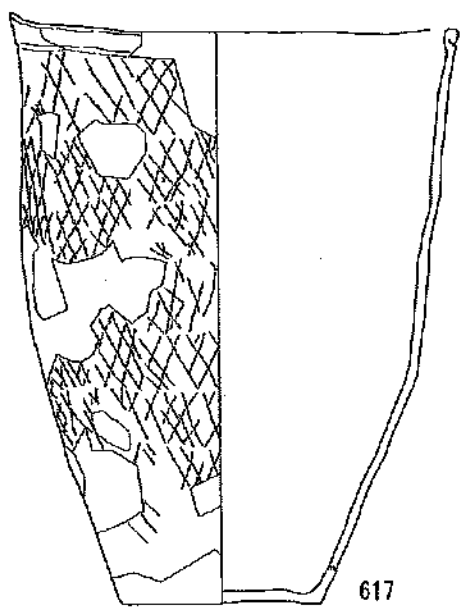
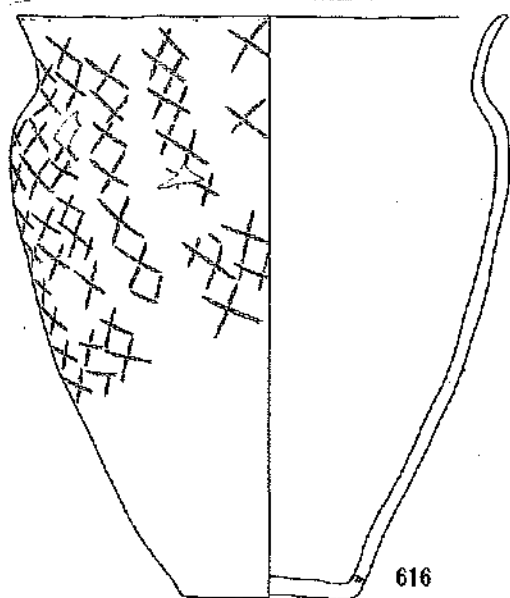
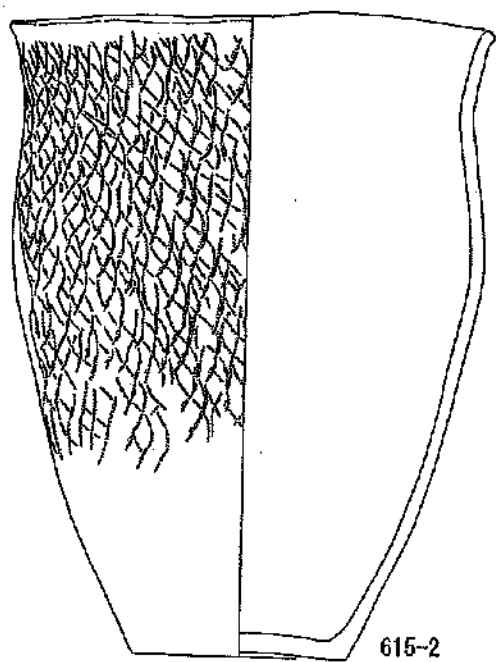
第66图 土器実測图(54)



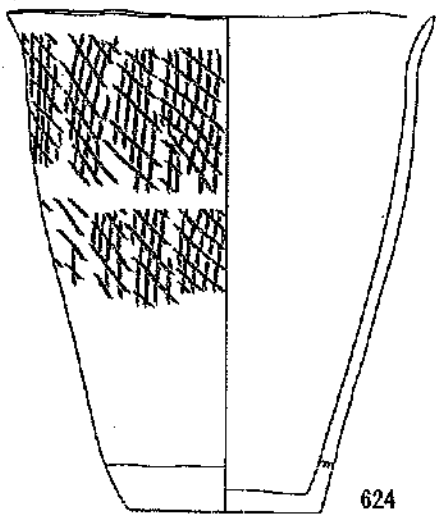
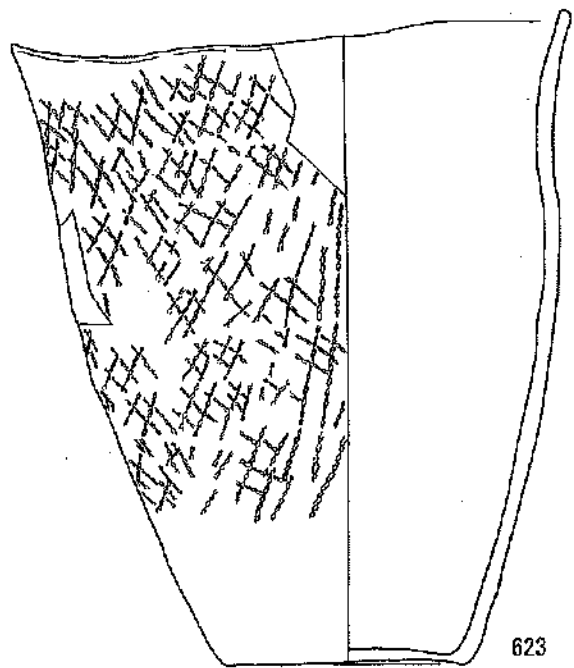
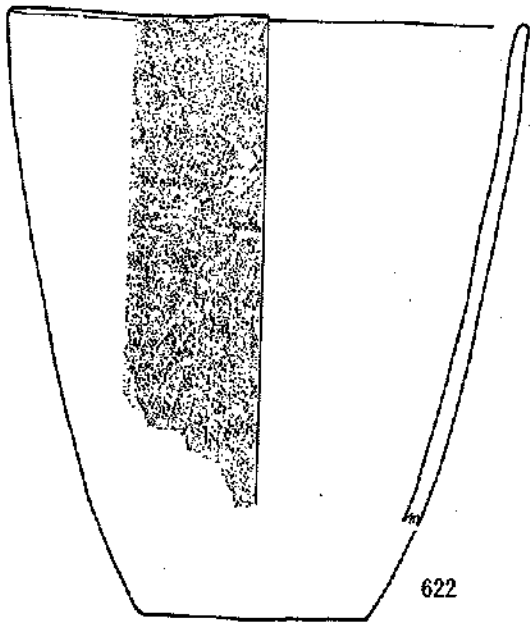
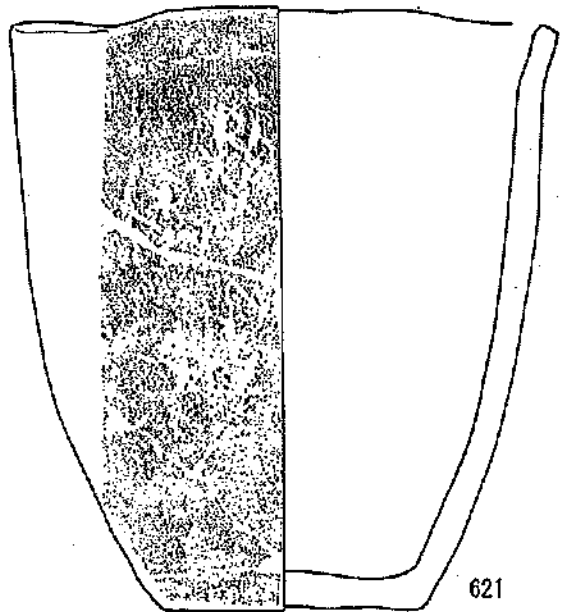
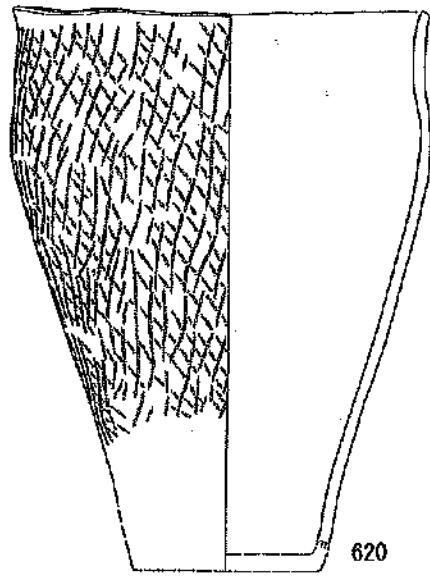
第67图 土器実測图(55)



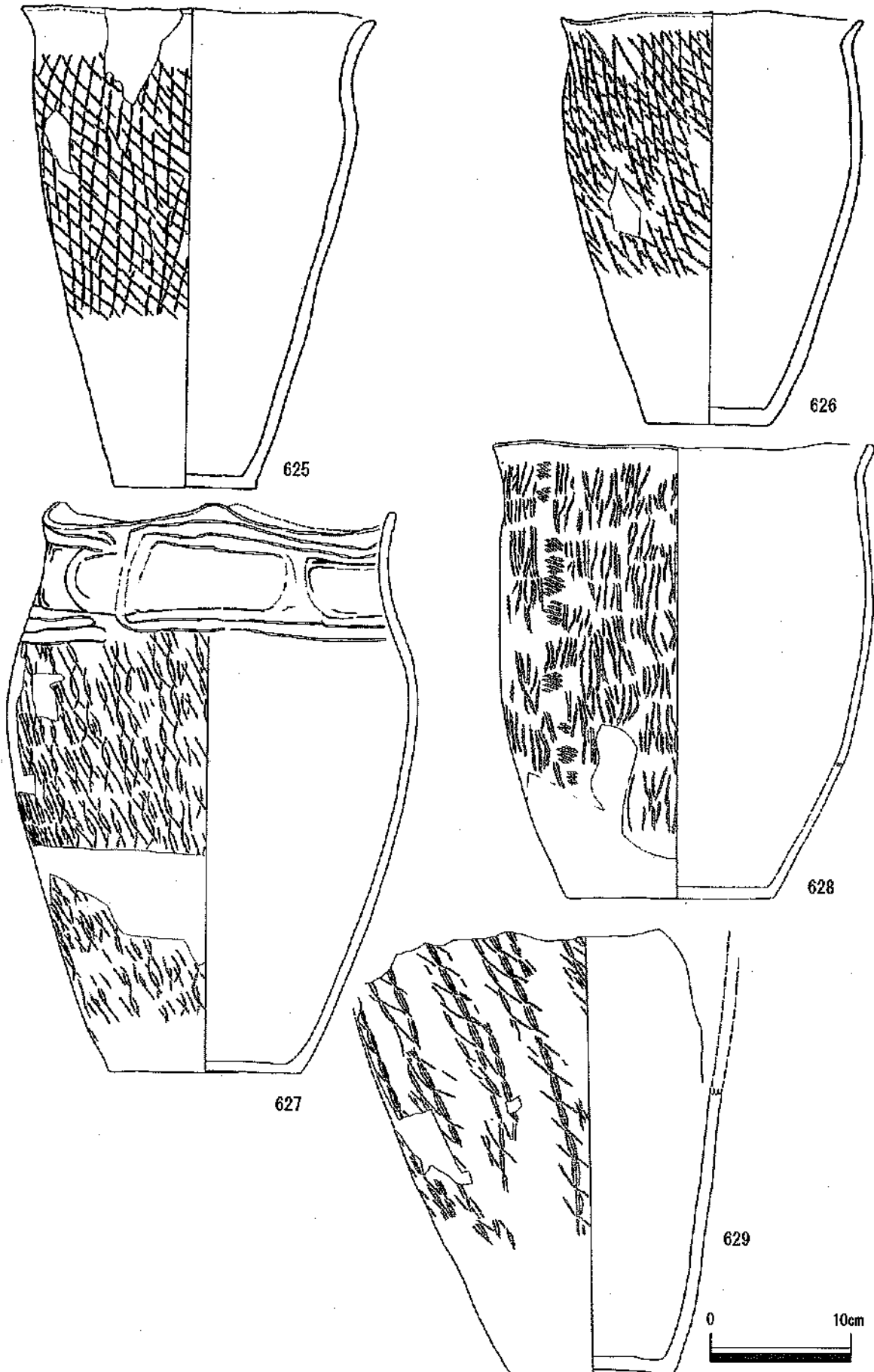
第68图 土器实测图(56)



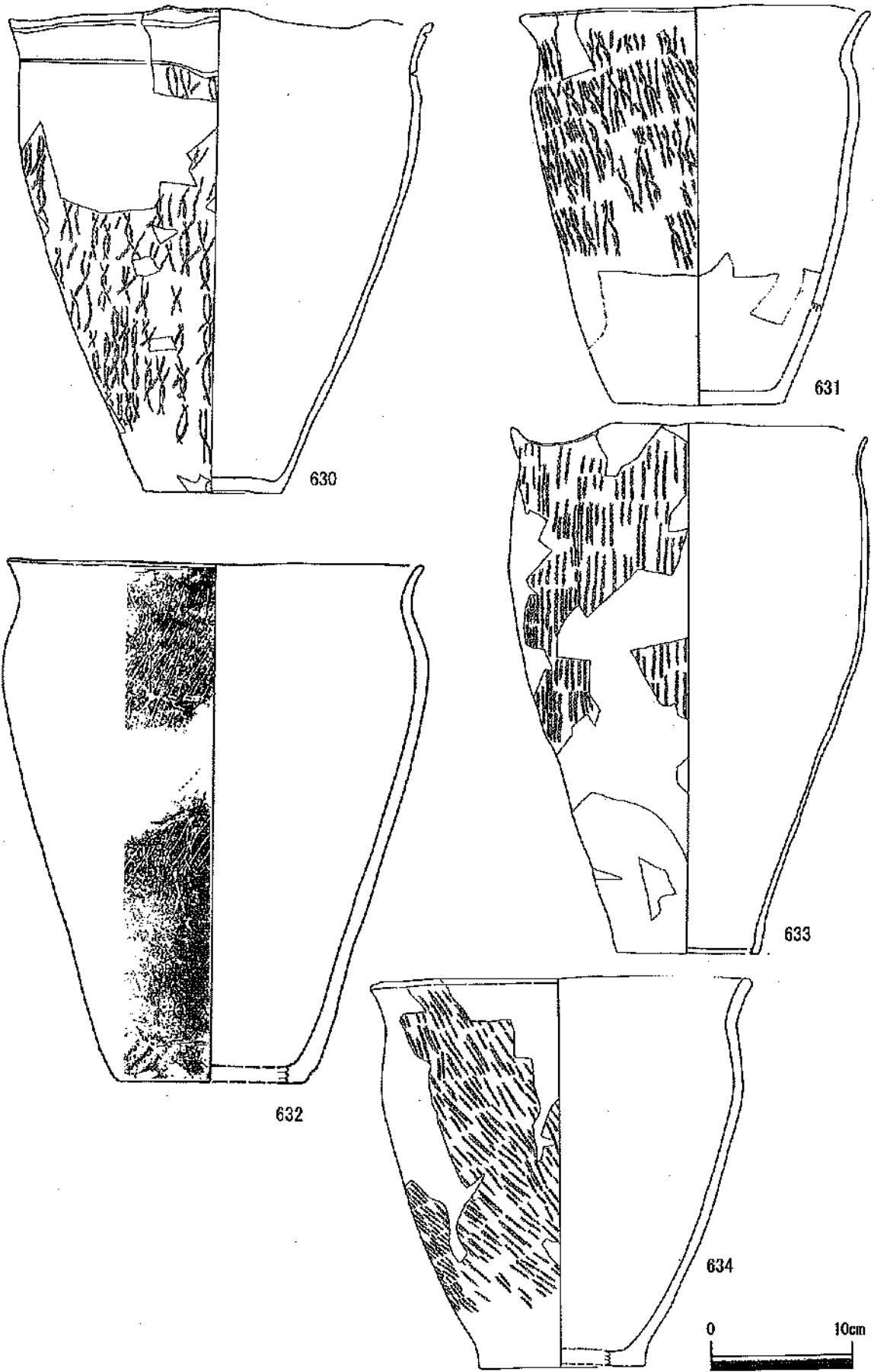
第69図 土器実測図(57)



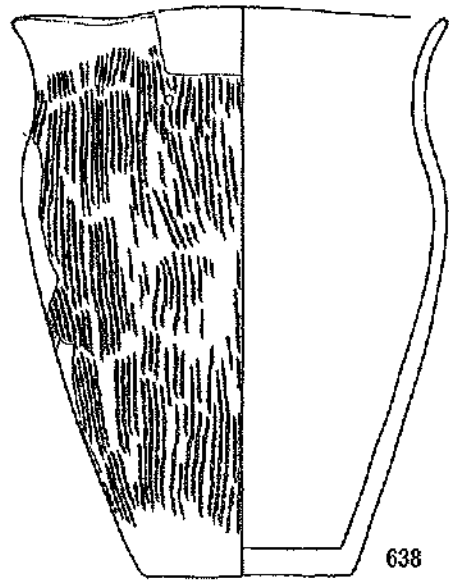
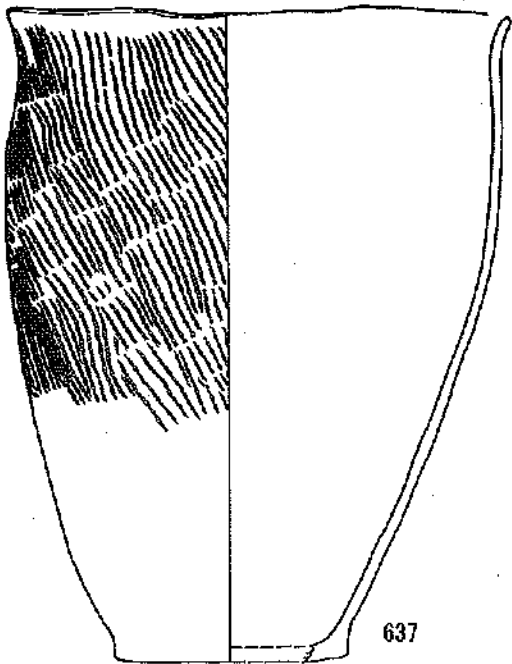
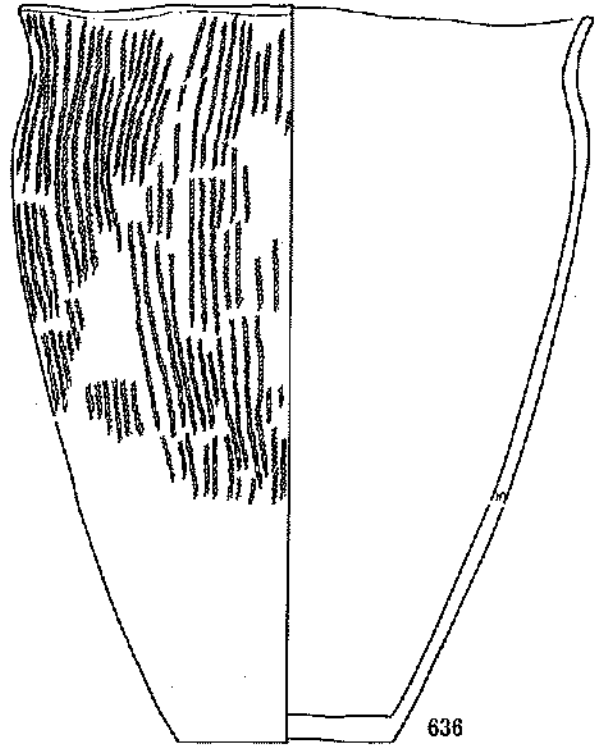
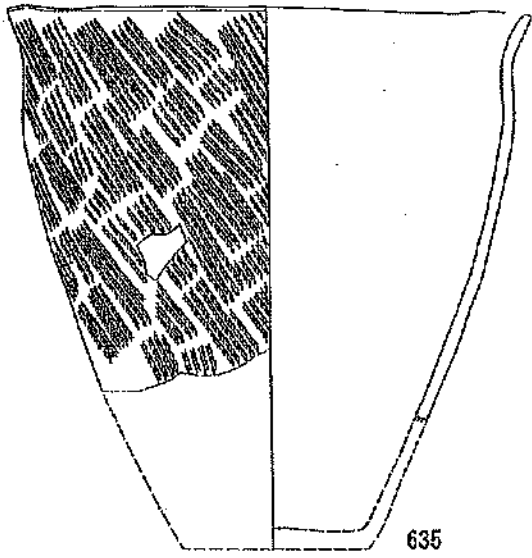
第70圖 土器実測圖(58)



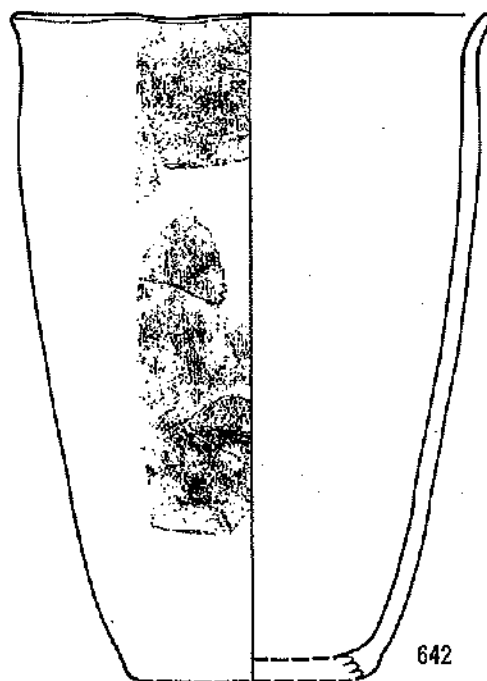
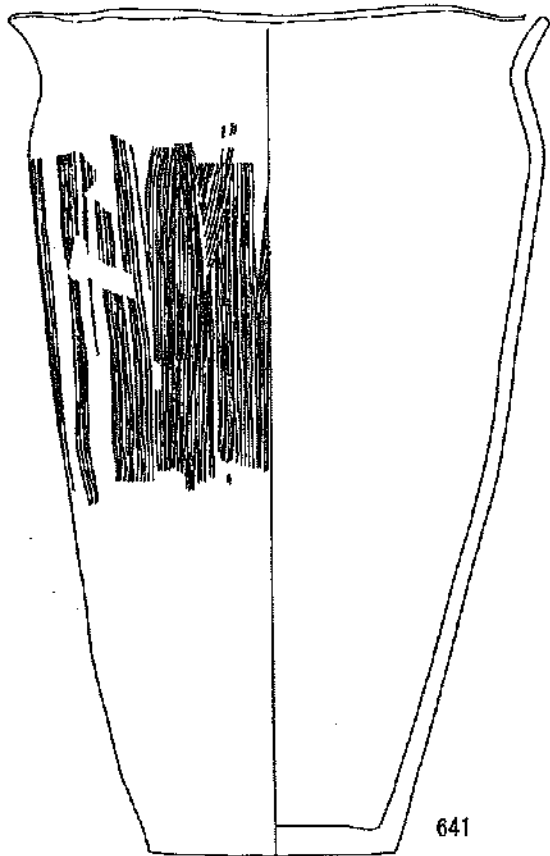
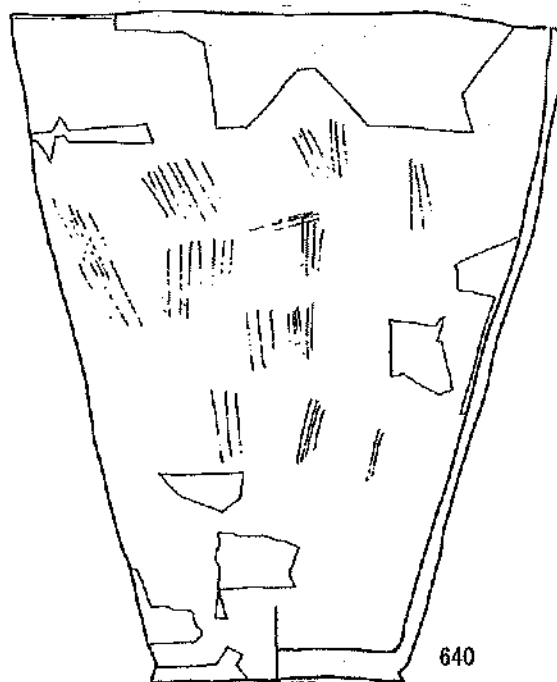
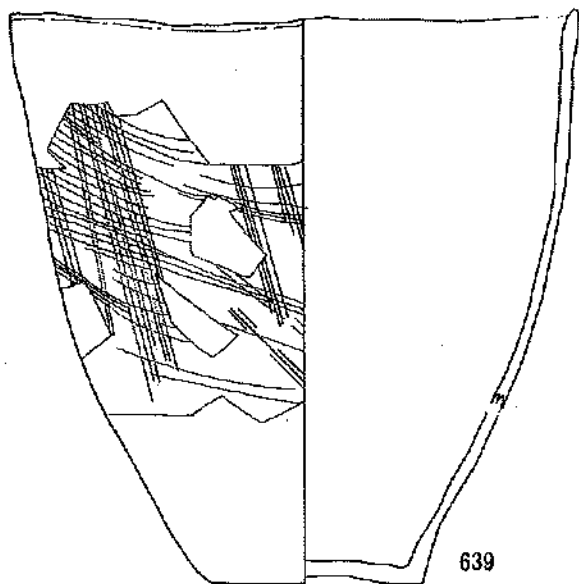
第71图 土器実測図(59)



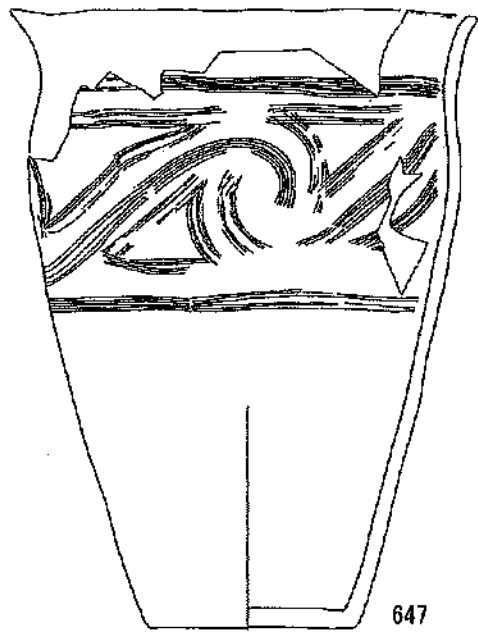
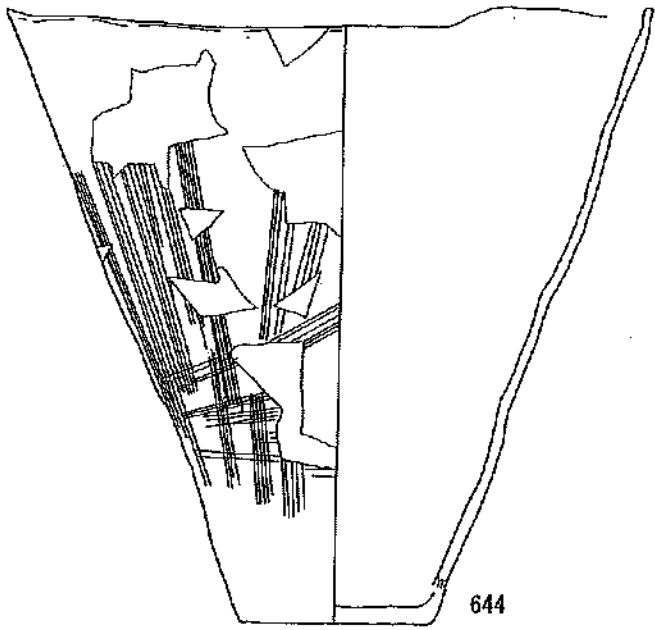
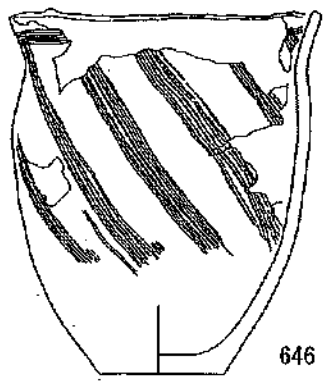
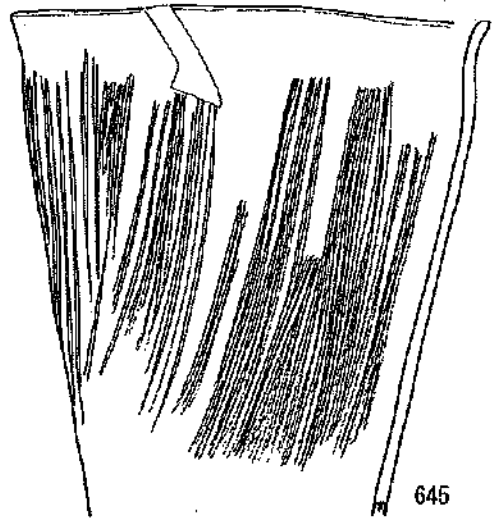
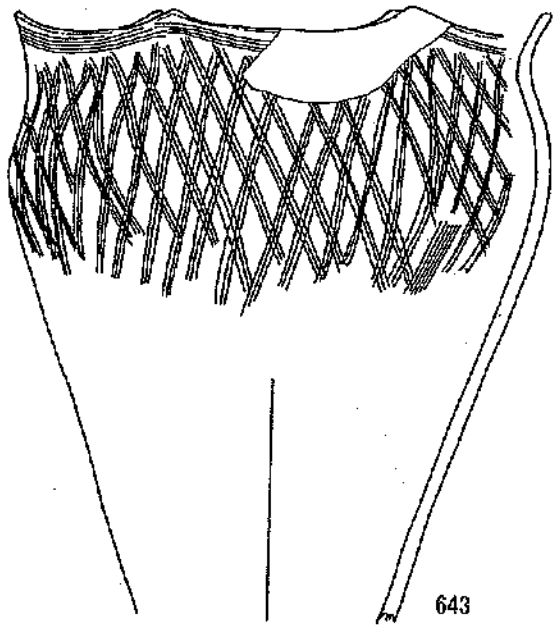
第72図 土器実測図(60)

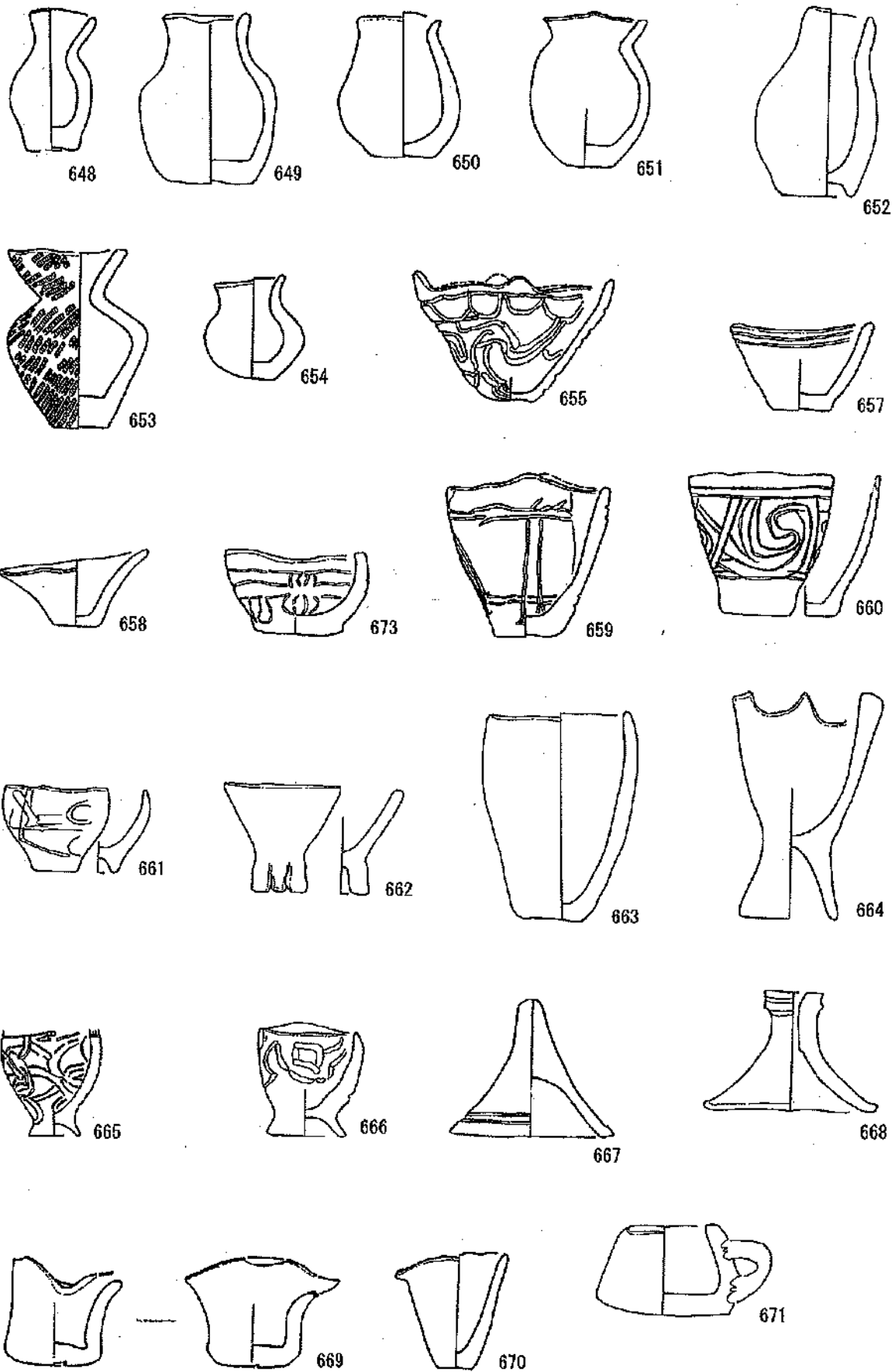


第73圖 土器実測圖(61)



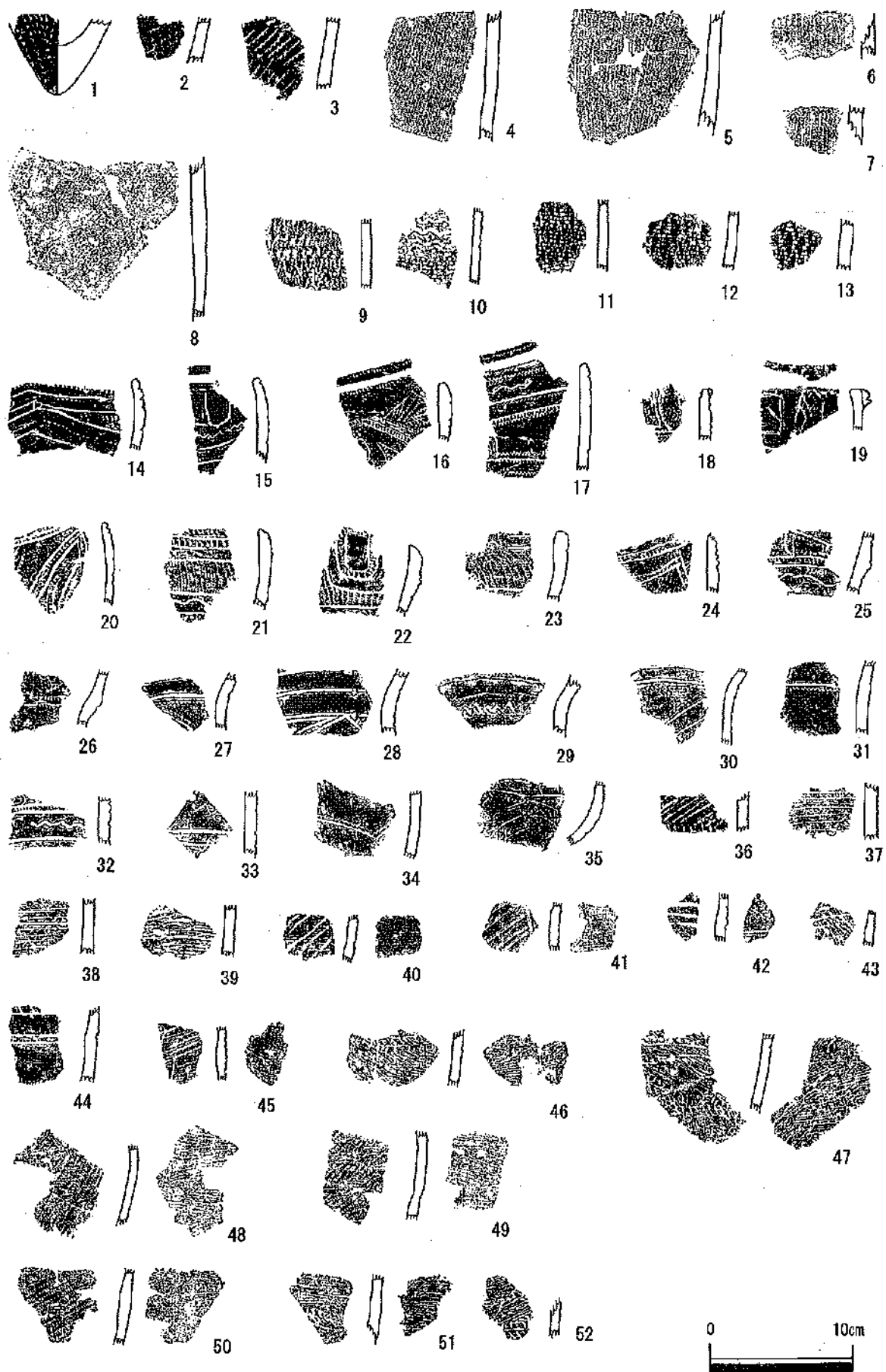
第74図 土器実測図(62)



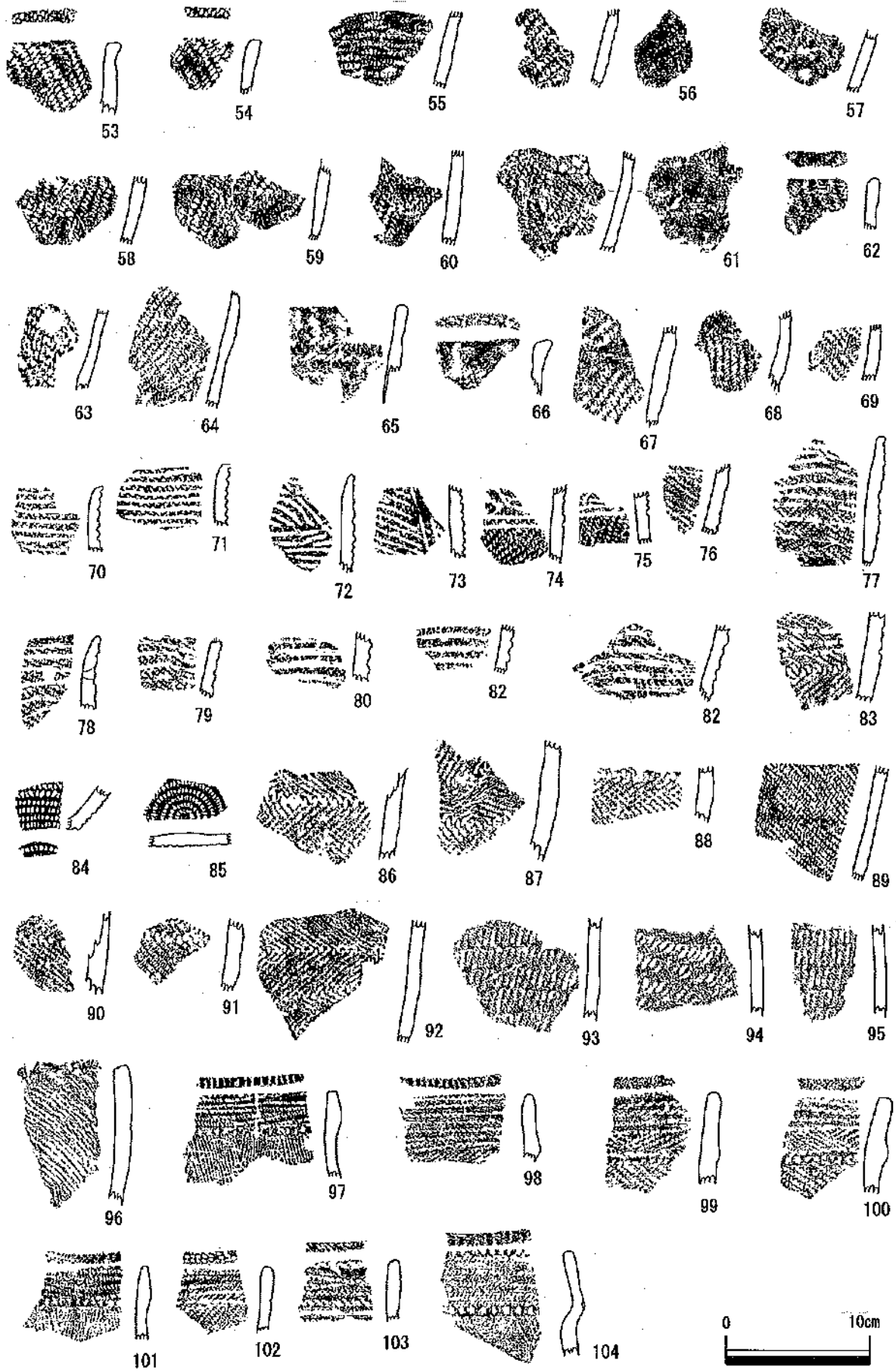


S:1/2

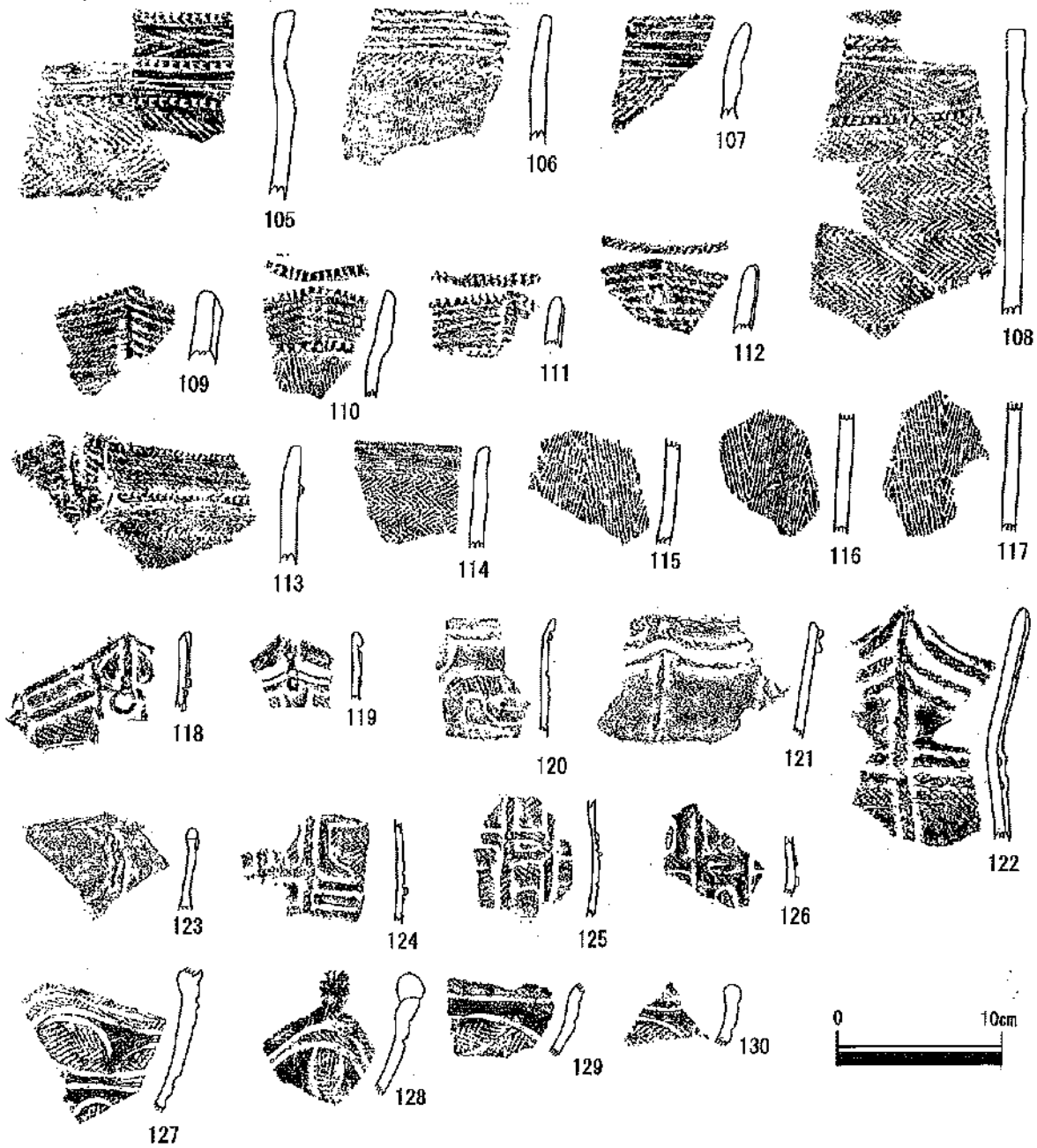
第76图 土器実測图(64)



第77图 土器拓影图(1)



第78图 土器拓影图(2)



第79図 土器拓影図(3)

4類 条痕文(第74図639~75図647)

条痕文の土器を一括した。深鉢形土器が主体となる。249は縄文の変わりにこの条痕を沈線間に充填するものもある。器形は平口縁を呈し、底部から口縁部にかけて膨らみを持ち口縁が外反するものや直線的に立ち上がるものがある。文様を縦位・斜位の一方に施文するものや交差させて格子目状にしたもの、647のように入組曲線的に施文したものもある。644は器形から第V群土器に伴うものと考えられる。

5類 ミニチュア土器(第76図648~671)

器高が5cmに満たないもの、実用品と判断し難いものを本類とした。壺形土器、広口壺形土器、鉢形土器、深鉢形土器、蓋形土器、片口土器の形状をしたものがみられるほか、662のように三つの脚を有するものや、コーヒーカップ状を呈するものもある。無文のものが大半を占めるが、縄文、沈線文を施文するものもある。653は器形及び縄文の節の細さ、664は器形から第V群土器に伴うものである。

第8表 土器観察表(1)

図説番号	編年	出土区・遺跡・グリップ・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径cm)	地文	表面装飾	底面	色調	焼成	遺物の重層など	写真番号	既存標文
13-1	深鉢	D1区・YK-90Ⅲa層下位	I-1	-x-x-				紅褐色	不良			4-88-1
13-2	深鉢	G4区・YM-70Ⅲc層	Ⅱ-4	-x(180)x-	L木目			紅褐色	良好		6-1	20-40-5
13-3	深鉢	D7区・ZF-90Ⅰc層	Ⅲ-1	-x-x-	L			紅褐色	良好			12-11-1
13-4	深鉢	D9区・YK-70Ⅲa層中位	Ⅲ-1	308×210×109	RL	-	ササ	紅褐色	良好		6-2	10-47-1
13-5	深鉢	SK0001	E	-x-x103	R	-	ササ	黒	良好		6-3	14-13-1
13-6	壺	F4区・F85	Ⅳ-1	72x-x37			ミガキ	不明	紅褐色	赤色顔料塗布	6-4	13-14
13-7	壺	F4区・YM-100Ⅲb層	Ⅳ-1	-x-x49	LR		ミガキ	ナデ	紅褐色		6-5	13-40-1
13-8	壺	F1区・S1	Ⅳ-1	-x-x55			ミガキ	ミガキ	紅褐色		6-6	7-45-1
13-9	壺	D6区・Z4-100Ⅲc層	Ⅳ-1	234×101×60			ミガキ	-	黒褐色		6-7	11-51-1
13-10	壺	D9区・SK072	Ⅳ-1	396×121×92				黒褐色	良好	SK(F)01-0305→SK(F)05	6-8	10-32-10
14-11	深鉢	F5区・SK0702底面	Ⅳ-1	328×278×130			ミガキ	ササ	黒褐色		6-9	14-8
14-12	深鉢	B1区・SK0703床面	Ⅳ-1	-x295x-			ミガキ	-	紅褐色	SK(F)03→SK(F)04	7-11	2-39-22
14-13	深鉢	D1区・SK0210	Ⅳ-1	198×188×72			ミガキ	ササ	黒		7-13	4-40-2
14-14	深鉢	E1区・H-102Ⅲb層	Ⅳ-1	-x305x-			ミガキ	-	紅褐色		7-10	2-61-81
14-15	深鉢	F1区・R-108Ⅲb層	Ⅳ-1	(42.7)×(30.2)×(11.2)			ミガキ	-	紅褐色		7-12	8-67-9
14-16	浅鉢	B1区・H-103Ⅲb層	Ⅳ-2a	53×105×49	LR			紅褐色	良好			2-48-45
14-17	深鉢	D9区・Y0-66Ⅲa層下位	Ⅳ-2a	167×70×250	LR	-	-	紅褐色	良好		7-14	10-72-2
14-18	深鉢	F5区・YK-72Ⅲa層	Ⅳ-2a	-x217x-	R	-	-	黒	良好		7-16	14-18-3
14-19	壺	D7区・SK0711	Ⅳ-2b	-x-x50			ナデ	ナデ	紅褐色		7-18	12-23-1
14-20	壺	D9区・SK(F)01	Ⅳ-2b	45x-x35			ミガキ	ナデ	紅褐色		7-17	19-31-2
14-21	壺	D3区・SK0706	Ⅳ-2b	31.80×(11.5)×(4.0)			ミガキ	-	紅褐色		7-18	10-37-0
14-22	壺	D1区・SK01	Ⅳ-2b	-x(10.7)x-				紅褐色	良好	SK(F)304→SK(F)31	7-19	4-63-3
14-23	壺	F1区・SK05	Ⅳ-2b	-x-x88				紅褐色	良好	SK047→SK05		8-15-3
14-24	壺	F3区・Y1-109Ⅲa層上部	Ⅳ-2b	103×64×282			ミガキ	ササ	黒褐色			9-18-7
14-25	壺	B2区・Y1-87Ⅲb層	Ⅳ-2b	-x-x42				黒	良好			17-76-4
14-26	壺	D1区・Z2-91Ⅲb層	Ⅳ-2b	131×43×51			ミガキ	ナデ	紅褐色		8-20	4-89-11
14-27	壺	D1区・Y0-63	Ⅳ-2b	-x-x50			ミガキ	ミガキ	紅褐色		8-21	4-80-27
14-28	壺	D2区・Y1-82Ⅲa層	Ⅳ-2b	-x-x88				不明	ナデ		8-22	5-48-7
14-29	壺	D3区・Y0-66Ⅲa層	Ⅳ-2b	145×59×52			ナデ	ナデ	紅褐色		8-23	10-61-3
14-30	壺	D3区・Y0-68Ⅲc層	Ⅳ-2b	-x-x45			ナデ	ナデ	紅褐色	赤色顔料塗布	8-24	10-61-5

第9表 土器観察表(2)

図説番号	編年	出土区・遺跡・グリップ・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径cm)	地文	表面装飾	底面	色調	焼成	遺物の重層など	写真番号	既存標文
16-31	壺	F1区・SK0506	Ⅳ-2b	(40)x-x27			ミガキ	不明	紅褐色			8-40-1
16-32	壺	F1区・Y1-106Ⅲa層	Ⅳ-2b	-x-x132			ミガキ	ナデ	紅褐色			8-68-4
16-33	壺	F4区・Y1-104	Ⅳ-2b	-x-x-			ミガキ	-	紅褐色		8-25	10-49-4
16-34	浅鉢	B1区・SK0707c上面	Ⅳ-2b	90×194×56				紅褐色	良好			2-38-11
16-35	鉢	D2区・SK0703	Ⅳ-2b	78×114×44				紅褐色	良	SK(F)331→SK(F)313	8-26	5-26-24
16-36	浅鉢	D2区・SK07	Ⅳ-2b	(45)×(100)×(60)				紅褐色	良	SK098→SK020→SK096	8-27	5-39-0
16-37	深鉢	D2区・SK012	Ⅳ-2b	(5.0)×113×5.4			ミガキ	ミガキ	黒			5-39-4
16-38	鉢	D4区・SK009	Ⅳ-2b	55×98×42			ミガキ	ミガキ	紅褐色		8-28	10-129-1
16-39	鉢	D9区・SK0702	Ⅳ-2b	67×104×48				黒褐色	良好	SK(F)01-0305→SK(F)02	8-29	19-31-4
16-40	鉢	D9区・SK02	Ⅳ-2b	248×282×162			ミガキ	ナデ	黒		9-32	19-31-5
16-41	鉢	F1区・S1	Ⅳ-2b	74×134×51			ミガキ	ナデ	黒褐色		8-30	7-45-4
16-42	鉢	F1区・S1	Ⅳ-2b	107×192×78			ミガキ	ナデ	紅褐色		8-31	7-45-5
16-43	浅鉢	F1区・Y1-100Ⅲb層	Ⅳ-2b	92×(12.7)×5.4			ミガキ	ミガキ	紅褐色		8-33	8-67-10
16-44	浅鉢	D1区・Y0-63Ⅲa層中位下位	Ⅳ-2b	59x-x66				紅褐色	良好			4-88-7
16-45	深鉢	D7区・ZF-90Ⅲd層	Ⅳ-2b	97×172×59			ミガキ	ナデ	黒		9-34	12-41-3
16-46	鉢	D7区・Z0-91Ⅲc層	Ⅳ-2b	94×151×57			ミガキ	不明	黒褐色		9-35	12-41-5
17-47	鉢	D1区・Y1-82Ⅲb下位	Ⅳ-2b	87×226×67			ミガキ	ミガキ	紅褐色		9-36	4-89-9
17-48	浅鉢	D1区・Y1-82Ⅲb層	Ⅳ-2b	65×(12.5)×5.2			ミガキ	ミガキ	紅褐色		9-37	4-89-6
17-49	鉢	D6区・Z0-99Ⅲa層	Ⅳ-2b	112×208×63			ミガキ	ナデ	紅褐色		9-39	11-51-2
17-50	浅鉢	D2区・Y1-82Ⅲa層	Ⅳ-2b	81×161×39			ミガキ	ミガキ	黒		9-40	5-48-2
17-51	鉢	D2区・Z1-82Ⅲd層	Ⅳ-2b	707×145×60			ミガキ	ミガキ	黒褐色		9-38	
17-52	浅鉢	B2区・E-90Ⅲb層	Ⅳ-2b	64×165×60				黒	良好			17-76-3
17-53	鉢	D7区・ZF-90Ⅲa層	Ⅳ-2b	87×134×41			ミガキ	-	紅褐色		9-41	12-41-2
17-54	浅鉢	D1区・Y0-62Ⅲb層下位	Ⅳ-2b	59x-x48				紅褐色	良好			4-88-4
17-55	浅鉢	D8区・Z5-78Ⅲc層	Ⅳ-2b	76×140×74			ミガキ	-	紅褐色		9-42	10-61-1
17-56	鉢	B2区・S-87Ⅲc層	Ⅳ-2b	135×140×60			ナデ	ナデ	紅褐色		9-46	17-77-7
17-57	鉢	F5区・Y1-120	Ⅳ-2b	66×100×48				不明	黒褐色		9-44	14-10-1
17-58	深鉢	B1区・SK0702	Ⅳ-2b	82×82×38				紅褐色	良好			2-38-14
17-59	深鉢	D1区・SK0700	Ⅳ-2b	364×275×118				黒褐色	不良			4-60-31
17-60	深鉢	D1区・SK0708	Ⅳ-2b	-x245x-			ナデ	-	紅褐色		9-45	4-84-6

第10表 土器観察表(3)

図録番号	器種	出土区・遺構・グレン・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	表面装飾	底面	色類	焼成	遺構の位置など	写真番号	既存論文
18-61	深鉢	B2区・M-89・Ⅲa層	IV-2a	-X228X-		ミガキ	-	紅色	良好		9-46	17-17-6
18-62	深鉢	D7区・ZG-91・Ⅲb層	IV-2a	152×195X-		ミガキ	-	紅色	良好		10-47	12-41-6
18-63	蓋	D1区・Y1-92・Ⅲa下段Ⅲb層	IV-2a	(120)×(80)×48		ミガキ	ミガキ	紅色	良好			4-65-9
18-64	深鉢	D6区・SK21	IV-2a	312×232×132		ミガキ	-	褐色	良好	6058と重複	10-48	11-40
18-65	深鉢	B2区・P-88・Ⅲb層	IV-2a	-X-X-				褐色	良好			17-16-6
18-66	深鉢	D1区・Y1-92・Ⅲa層中位	IV-2a	-213X-X-				紅色	良好		10-60	4-87-18
18-67	深鉢	D区・ZF-107	IV-2a	(84)×(24)×(12)		ミガキ	-	紅色	良好		10-61	3-34-3
18-68	深鉢	D7区・ZG-91・Ⅲa層	IV-2a	(120)×(168)×61		ミガキ	ナデ	紅色	良好		10-62	12-41-7
18-69	深鉢	F1区・Y1-104・Ⅲd層	IV-2a	-X161X-				紅色	不良			6-60-6
19-70	深鉢	D4区・YF-90・Ⅲb層	IV-2a	(80)×(80)×128		ミガキ	-	褐色	良		10-49	4-87-19
19-71	深鉢	F1区・R-103・Ⅲd層	IV-2a	(40)×(28)X-				褐色	良好		10-53	6-66-3
19-72	蓋	B1区・SKF100・下位	IV-2a	(180)×134X-				紅色	良	SKF105→SKF106		2-40-30
19-73	蓋	D2区・SKF313	IV-2a	-X-X-				褐色	良	SKF331→SKF313		5-25-25
19-74	蓋	B2区・N-85・Ⅲc下段	IV-2a	31×40×73				褐色	良好			17-76-6
19-75	蓋	B1区・SKF106・上位	IV-2a	-X-X-				紅色	良好	SKF105→SKF106		2-40-29
19-76	切新	B1区・G-102・Ⅲb層	IV-2a	-X-X-				紅色	良好			2-40-43
19-77	蓋	B1区・SKF101	IV-2a	-X-X110		ミガキ	不明	紅色	良好		10-41	2-39-19
19-78	蓋	B2区・SKF134	IV-2a	-X-X104				褐色	不良			17-63-1
20-79	蓋	B2区・SKF303	IV-2a	-X-X130		ミガキ	ササ	褐色	良好		11-55	18-9
20-80	蓋	D1区・SKF240	IV-2a	-X-X-				紅色	良好			4-59-16
20-81	蓋	D2区・SKF302	IV-2a	-X-X121		ミガキ	ミガキ	褐色	良	SKF302→SK229	11-68	5-24-12
20-82	蓋	D2区・SKF313	IV-2a	-X(1)X-				褐色	良	SKF331→SKF313		5-25-22
20-83	蓋	D2区・SKF313	IV-2a	152×62×65				褐色	良	SKF331→SKF313	11-57	6-25-23
20-84	蓋	D2区・SKF341	IV-2a	(41)×(110)×113		ミガキ	-	紅色	良好	SK222→SKF341		6-26-27
20-85	蓋	D9区・SK(F)02	IV-2a	242×(80)×96		不明	不明	褐色	良好	SKF305→SKF302	11-68	19-31-6
20-86	蓋	F4区・SK(F)34	IV-2a	278×68×62		ミガキ	ササ	紅色	良好	赤色顔料塗布	11-59	19-31-6
20-87	蓋	D2区・ZT-80・Ⅲb層上面	IV-2a	185×74×62				紅色	良好			6-48-3
20-88	蓋	D7区・ZT-80・Ⅲa層	IV-2a	134X-X58		ミガキ	ミガキ	紅色	良好		11-60	12-41-6
20-89	蓋	F1区・S-103・Ⅲb下位	IV-2a	-X-X89				紅色	良好			6-66-5
20-90	蓋	F1区・S-104・Ⅲb層	IV-2a	-X-X68		ミガキ	ナデ	紅色	良好		11-61	9-69-7

第11表 土器観察表(4)

図録番号	器種	出土区・遺構・グレン・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	表面装飾	底面	色類	焼成	遺構の位置など	写真番号	既存論文	
21-91	深鉢	D3区・K103	IV-2a	43×106×23		ナデ	ナデ	紅色	良好			10-14-3	
21-92	鉢	F1区・B	IV-2a	59×93×45		ナデ	ナデ	褐色	良好		11-62	7-46-3	
21-93	鉢	F1区・S	IV-2a	85×(42)×70		ナデ	ナデ	褐色	良		11-63	7-45-2	
21-94	深鉢	D4区・YBVC-92・Ⅲa層下位	IV-2a	(70)×(84)X-				紅色	良好		11-64	4-88-5	
21-95	深鉢	D3区・ZT-81・Ⅲd層	IV-2a	79×145×48		ミガキ	ナデ	褐色	良好			10-61-1	
21-96	鉢	F4区・YK-108・Ⅲa層	IV-2a	75×158×70				紅色	良好		12-66	19-46-5	
21-97	鉢	F4区・YH-90・Ⅲd層	IV-2a	-X-X48		ナデ	不明	褐色	良好			13-48-3	
21-98	鉢	F4区・YL-112・Ⅲa層	IV-2a	-X-X40		ナデ	湯煮文	褐色	良好		12-68	19-48-2	
21-99	深鉢	B1区・SKF101・上面	IV-2a	175×144×(80)		ミガキ	-	紅色	良好			2-38-12	
21-100	深鉢	B1区・SKF122	IV-2a	349×282×81		ミガキ	-	褐色	良好		12-67	16-70-1	
21-101	深鉢	B2区・SK160	IV-2a	370×273×125		ミガキ	ササ	褐色	良好		12-68	17-50-5	
21-102	深鉢	B2区・SKF182	IV-2a	-X235X-				褐色	良好	SK(F)182→SK123-182		17-63-2	
22-103	深鉢	D2区・SKF296	IV-2a	358×250×105				褐色	良好	SK308→SK(F)296	12-69	5-23-9	
22-104	深鉢	D6区・SKJ601	IV-2a	512×315×151		ミガキ	ササ	紅色	良好		12-71	11-37	
22-105	深鉢	D9区・SK(F)	IV-2a	-X170X-				紅色	良好			19-31-1	
22-106	深鉢	D8区・SKF275	IV-2a	303×162×83		ミガキ	ナデ	褐色	良好	SK(F)01-0305→SK(F)02	12-70	19-31-9	
22-107	深鉢	F1区・S-133	IV-2a	-X238X-				褐色	良好			6-61-9	
22-108	深鉢	F1区・SKF225	IV-2a	-X(178)X-				褐色	良			6-61-9	
22-109	深鉢	F1区・S-1-3	IV-2a	143×120×60		ミガキ	ナデ	紅色	良好		12-72	7-49-7	
22-110	深鉢	F1区・S-西端部表面	IV-2a	128×129×60		ミガキ	ナデ	紅色	良好		12-73	7-48-6	
23-111	深鉢	F4区・SKF27	IV-2a	-X-X52		ミガキ	未測定	紅色	良好			13-74	13-34-7
23-112	深鉢	B1区・Y1-103・Ⅲd層	IV-2a	-X170X-		ミガキ	-	紅色	良好		13-75	2-48-46	
23-113	深鉢	B1区・Y1-102・Ⅲb層	IV-2a	212×124×86		ミガキ	ササ	褐色	良好		13-76	2-48-47	
23-114	深鉢	B1区・Y1-101・Ⅲa層	IV-2a	125×120×60		ミガキ	-	褐色	良好		13-77	2-48-44	
23-115	深鉢	D9区・YA-60・Ⅲd層	IV-2a	125×100X-		ミガキ	-	褐色	良		13-78	5-48-9	
23-116	鉢	D1区・YL-90・Ⅲd層	IV-2a	204×229×99			網代	褐色	良好			4-87-21	
23-117	深鉢	B2区・M-86・Ⅲc下段	IV-2a	200×245×104		ミガキ	ナデ	紅色	良好		13-79	17-76-2	
23-118	深鉢	D8区・ZV-103・Ⅲb層	IV-2a	(180)×151×60		ミガキ	-	褐色	不良		13-80	8-48-6	
23-119	深鉢	D5区・ZV-109・Ⅲd層	IV-2a	89×100×68		ミガキ	網代	紅色	良		13-81	9-48-3	
23-120	深鉢	D2区・ZK-79・Ⅲa層	IV-2a	-X-X-				紅色	良			5-48-4	

第12表 土器観察表(5)

図録番号	器種	出土区・遺構・グリップ・層位	土器分類	寸法(高さ×口径×底径cm)	地文	器面状態	底面	色澤	焼成	遺構の位置など	写真番号	既存標文
23-121	深鉢	F3区-YG-105-Ⅱb層	IV-2a	11.8×10.0×6.5		ナデ	ナデ	灰白色	良好		13-82	9-18-5
23-122	深鉢	B区-SK59	IV-2a	-×10.7×-		ミガキ	-	灰白色	良好			18-70-2
24-123	深鉢	F4区-R-103-Ⅲb層	IV-2a	-×10.1×-		ミガキ	-	灰白色	良好		13-83	5-66-2
24-124	深鉢	F3区-Y-106-Ⅲb層	IV-2a	-×10.9×-		ミガキ	-	灰白色	良好			5-67-8
24-125	深鉢	D9区-YB-68-Ⅲa層中位	IV-2a	20.8×17.2×8.4		ミガキ	ミガキ	灰白色	良好			19-47-3
24-126	蓋	B1区-SK57-102-下層	IV-2a	16.1×-×0.8		-	-	褐色	良好			2-38-16
24-127	蓋	D6区-ZC-94-Ⅲa層	IV-2a	1.0×-×-		ミガキ	-	灰白色	良好		13-84	11-61-3
24-128	蓋	O1区-SK228	IV-2d	-×-×6.8		ミガキ	木炭痕	灰白色	良好		13-85	4-58-5
24-129	鉢	O3区-YG-87-Ⅱb層	IV-2d	10.5×10.5×4.0		ナデ	-	灰白色	良好		14-87	10-61-2
24-130	蓋	D2区-SK225	IV-2d	4.1×4.4×2.0		-	-	灰白色	良好	SK225-SK12224	14-86	5-23-7
24-131	蓋	A1区-SK2912 下部土坑	IV-2a	-×-×18.5	LR	ミガキ	網代	灰白色	良好		14-85	2-21-1
24-132	蓋	D1区-SK223	IV-2a	-×-×7.8	LR	-	網代	灰白色	良好	SK237-SK223		4-58-14
24-133	蓋	D1区-SK229	IV-2a	-×-×8.6	L	ナデ	ナデ	灰白色	良好		14-88	4-59-17
25-134	蓋	D2区-SK220	IV-2a	16.1×(15)×6.9	L	ミガキ	不明	褐色	良好	SK225-ZZと重複・褐色材料	14-91	6-23-1
25-135	蓋	D2区-SK226	IV-2a	15.0×5.0×4.5		ミガキ	ナデ	褐色	良好		14-92	5-28-1
25-136	蓋	D1区-S1201	IV-2a	14.8×(15)×5.4	LR	-	-	灰白色	良好	ST201-SB201		4-50-8
25-137	底蓋	O1区-S1201	IV-2a	12.8×6.2×5.4	LR	ミガキ	ナデ	灰白色	良好	ST201-SB201	14-93	4-50-4
25-138	底蓋	O1区-S1201	IV-2a	-×21.7×-	LR	ミガキ	-	褐色	良好	ST201-SB201	14-90	4-60-8
25-139	蓋	D7区-SK46	IV-2a	-×-×5.9	RL	ナデ	ナデ	灰白色	良好	SK45-SK47	14-95	12-34-5
25-140	蓋	D7区-SK38	IV-2a	23.0×12.0×6.9	LR	ミガキ	-	灰白色	良好	SK119-SK21-SK22	14-94	12-34-2
25-141	蓋	D8区-SK66	IV-2a	14.6×8.8×3.0	RL	ミガキ	-	褐色	良好		14-96	15-28-2
25-142	蓋	D3区-YH-89-Ⅲa層上位	IV-2a	12.2×-×6.1	LR	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		14-97	10-68-18
25-143	蓋	O1区-YL-90-Ⅲb層下位	IV-2a	-×-×10.0	LR	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		15-98	4-88-34
25-144	蓋	D3区-YG-88-Ⅲb層	IV-2a	15.5×7.8×4.0	LR	-	-	褐色	不良		15-99	10-65-18
25-145	蓋	D3区-YF-88-Ⅲa層	IV-2a	-×-×3.7	LR	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		15-100	10-53-13
25-146	蓋	D5区-YA-102-Ⅲa層	IV-2a	22.1×8.0×3.1	LR	不明	不明	褐色	不良		15-102	9-49-10
25-147	蓋	F4区-YG-104-Ⅲa層	IV-2a	-×-×8.2	LR	不明	不明	褐色	良好		15-101	13-66-9
26-148	蓋	F4区-YG-104-Ⅲa層	IV-2a	15.2×8.0×4.5	RL	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		15-103	12-42-12
26-149	蓋	D7区-ZF-87-Ⅲa層	IV-2a	18.4×6.4×4.3	RL	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		15-104	12-42-10
26-150	蓋	D7区-ZA-81-Ⅲa層	IV-2a	19.2×6.4×5.4	RL	ミガキ	ナデ	褐色	良好		15-105	12-42-13

第13表 土器観察表(6)

図録番号	器種	出土区・遺構・グリップ・層位	土器分類	寸法(高さ×口径×底径cm)	地文	器面状態	底面	色澤	焼成	遺構の位置など	写真番号	既存標文
26-151	蓋	D7区-ZL-85-Ⅲa層	IV-2a	15.7×7.5×4.2	RL	ミガキ	網代	灰白色	良好		15-106	12-42-9
26-152	蓋	A1区-R-7-Ⅱ層上位	IV-2a	-×10.9×-	L	-	-	灰白色	良好			2-21-3
26-153	蓋	D2区-ZF-79-Ⅱa層	IV-2a	13.4×7.7×6.6	LR	ミガキ	網代	灰白色	良好		15-107	5-49-16
26-154	蓋	D1区-YF-82-Ⅲa層中位	IV-2a	17.6×6.0×6.4	LR	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		15-108	4-58-31
26-155	蓋	D1区-YK-90-Ⅲb層	IV-2a	-×9.8×-	RL	ミガキ	-	褐色	良好		15-109	4-88-30
26-156	蓋	D3区-YA-87-Ⅲa層上位	IV-2a	-×-×4.8	LR	ミガキ	ミガキ	灰白色	良好		16-110	10-62-12
26-157	蓋	D8区-ZS-78-Ⅲa層	IV-2a	11.2×5.1×5.1	RL	ナデ	ナデ	灰白色	良好		16-111	16-61-3
26-158	底蓋	F4区-YH-100-Ⅲa層	IV-2a	11.8×8.5×4.1	LR	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		16-112	13-46-6
26-159	蓋	F4区-YF-103-Ⅱb層	IV-2a	-×-×5.4	LR	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		16-113	13-42-8
26-160	蓋	F5区-YV-114	IV-2a	-×-×6.4	R	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		16-114	14-19-4
26-161	蓋	B1区-H-102-Ⅲa層	IV-2a	8.5×-×-	LR	-	-	灰白色	良好			2-49-61
26-162	蓋	D3区-YH-89-Ⅲb層	IV-2a	13.0×8.7×5.5	LR	ミガキ	ミガキ	灰白色	良好		16-115	10-63-14
26-163	蓋	D5区-ZZ-102-Ⅲa層上-47	IV-2a	11.9×(5.5)×5.3	RL	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		16-116	9-49-9
26-164	蓋	B2区-R-28-Ⅲa層	IV-2a	14.8×9.5×5.8	LR	ミガキ	ナデ	灰白色	良好			17-77-30
26-165	底蓋	D2区-YB-80-Ⅲa層下位	IV-2a	-×-×7.2	RL	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		16-117	6-49-13
27-166	蓋形	D9区-ZO-68-Ⅲb層	IV-2a	12.1×-×5.9	R	ミガキ	ナデ	灰白色	良好		16-118	11-61-5
27-167	蓋	D7区-ZH-64-Ⅲa層	IV-2a	8.3×6.8×4.0	LR	-	-	灰白色	良好		16-119	12-42-18
27-168	蓋	G1区-B-28-Ⅲb層中下位	IV-2a	25.5×-×10.2	L	ミガキ	木炭痕	褐色	不良		16-120	8-21-2
27-169	蓋	D8区-ZY-63-Ⅲa層下位	IV-2a	20.8×10.3×7.0	LR	-	-	褐色	良好		16-121	5-50-22
27-170	蓋	D1区-YB-90-Ⅲa層中位	IV-2a	-×-×-	RL	ミガキ	-	灰白色	良好		17-122	4-66-33
27-171	蓋	D7区-ZH-83-Ⅲa層	IV-2a	14.6×4.3×4.4	L	-	-	褐色	良好		17-123	12-42-11
27-172	蓋	D7区-ZE-90-Ⅲa層	IV-2a	15.5×13.3×-	LR	ミガキ	-	灰白色	良好		17-124	12-42-16
27-173	蓋	F4区-YE-103-Ⅲa層	IV-2a	-×-×7.0	LR	ミガキ	ナデ	褐色	良好		17-125	13-46-7
27-174	蓋	F4区-YD-101-Ⅲb層	IV-2a	22.0×-×5.9	L	不明	ナデ	灰白色	良好		17-126	13-46-11
27-175	蓋	F5区-YV-120-Ⅲa層	IV-2a	13.3×12×8.1	R	ミガキ	ナデ	褐色	良好		17-127	14-19-6
27-176	浅鉢	A3区-SK54	IV-2a	-×15.0×-	LR	-	-	灰白色	良好			9-26-1
27-177	欠番											
27-178	蓋	D1区-YK-90-Ⅲb層	IV-2a	12.6×10.0×5.8	LR	不明	ナデ	褐色	良好		17-128	4-58-32
27-179	鉢	F1区-SK229	IV-2a	16.8×(18.5)×8.7	LR	ミガキ	網代	灰白色	良好		17-129	9-61-6
28-180	深鉢	D1区-YL-90-Ⅲb層下位	IV-2a	7.5×13.6×4.8	LR	ナデ	ナデ	灰白色	良好		17-130	4-58-25

第14表 土器観察表(7)

図号	種類	出土区・遺構・グランド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	表面状態	底面	色相	焼成	遺構の位置など	写真番号	保存報文
28-181	鉢	D3区-YB-87-Ⅲc層	IV-3a	-×149×-	LR	ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好		17-131	10-61-8
28-182	鉢	D7区-ZG-65-Ⅲa層	IV-3a	120×134×97	R	ミガキ	ナデ	灰褐色	良好		17-132	12-42-14
28-183	鉢	D9区-YJ-76-Ⅲc層下位	IV-3a	124×188×70	LR	ミガキ	ミガキ	褐色	良好		17-133	19-47-4
28-184	浅鉢	D1区-YA-90-Ⅲb層	IV-3a	103×150×69	LR	不明	-	紅褐色	良好		18-134	4-89-29
28-185	鉢	G1区-B-68-Ⅲb中下層	IV-3a	130×189×88	RL	ミガキ	ササ ナデ	褐色	良好		18-135	9-21-1
28-186	鉢	D7区-ZG-84-Ⅲa層	IV-3a	83×119×55	RL	ナデ	ナデ	褐色	良好		18-188	12-43-23
28-187	鉢	F4区-YG-95-Ⅲa層	IV-3a	187×230×63	LR-RL	ミガキ	-	紅褐色	良好		18-137	13-43-12
28-188	欠番											
28-189	台付	D3区-YE-88-Ⅲb層	IV-3a	187×123×141	RL	ミガキ	-	灰褐色	良好		18-138	10-63-19
28-190	台付	D6区-ZE-99-Ⅲc層	IV-3a	164×138×64	LR	ミガキ	ササ ナデ	紅褐色	良好		18-139	11-92-9
28-191	台付	D3D4一括	IV-3a	-×××62	LR	ミガキ	ナデ	紅褐色	良好		18-140	10-63-17
28-192	台付	D8区-ZT-78-Ⅲc層	IV-3a	125×165×89	L	ナデ	ナデ	灰褐色	良		18-141	15-61-5
28-193	深鉢	A1区-S-10-Ⅲd下層	IV-3a	-×(29.0)×-	RL			褐色	良		18-142	2-21-7
28-194	深鉢	E2区-SK132	IV-3a	-×215×-	LR	ミガキ	-	褐色	良好	SK132-SK133	18-143	17-49-2
28-195	深鉢	B2区-SK183	IV-3a	-×27.0×-	L-LR			褐色	良		17-49-4	
28-196	深鉢	D4区-SK115	IV-3a	32.5×28.3×11.8	LR	ナデ	ナデ	灰褐色	良好		18-144	10-128-1
28-197	深鉢	F1区-SK191A	IV-3a	-×33.5×-	RLR	ナデ	-	褐色	良	SK191A-SK191B	6-92-11	
28-198	深鉢	F1区-SK403	IV-3a	-×22.8×-	LR			褐色	良好		6-90-5	
28-199	深鉢	D1区-YK-80-Ⅲb層下位	IV-3a	-×(1.0)×-	LR			紅褐色	良好		4-80-45	
30-200	深鉢	B2区-O-66-Ⅲa層	IV-3a	-×28.9×-	L	ミガキ	-	褐色	不良		18-145	17-79-14
30-201	深鉢	D2区-ZY-84-Ⅲc層	IV-3a	(32.2)×(24.9)×-	RL	ナデ	-	褐色	良		18-147	5-60-23
30-202	深鉢	D1区-YK-80	IV-3a	27.8×18.5×10.0	L			紅褐色	不良		4-90-46	
30-203	深鉢	D8区-ZE-78-Ⅲa層	IV-3a	35.2×29.0×10.0	LR	ミガキ	ナデ	紅褐色	良		18-148	15-61-4
30-204	深鉢	D1区-ZZ-81-Ⅲb層下位	IV-3a	25.2×20.5×11.0	LR	ミガキ	網代	紅褐色	良好		18-148	4-80-28
31-205	深鉢	D8区-ZE-77-Ⅲa層	IV-3a	-×32.0×-	RL			紅褐色	良		18-149	15-61-5
31-206	深鉢	D9区-YH-78-Ⅲb層下位	IV-3a	23.2×21.7×8.9	LR	ミガキ	-	紅褐色	良		18-150	19-48-5
31-207	深鉢	D9区-YH-78-Ⅲb層下位	IV-3a	34.4×24.0×11.4	RL	ミガキ	網代	紅褐色	良好		18-151	18-48-6
31-208	片口	F1区-SK1742B	IV-3a	18.2×-×4.8	LR	ナデ	ササ	紅褐色	良好		18-165	6-61-4
31-209	片口	D2区-ZY-79-Ⅲb層	IV-3a	15.9×14.1×-	LR	ミガキ	ナデ	褐色	良		18-162	5-49-17
31-210	片口	D1区-SK220	IV-3a	6.7×10.8×8.2	LR			褐色	良好		4-72-5	

第15表 土器観察表(8)

図号	種類	出土区・遺構・グランド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	表面状態	底面	色相	焼成	遺構の位置など	写真番号	保存報文
31-211	片口	D3区-SK24	IV-3a	8.7×11.9×4.7	L	ミガキ	ササ	褐色	良好	SK69-SK24		15-55-1
31-212	浅口	B1区-SK107Ⅲ上皿	IV-3a	-××(4.2)	L			褐色	良好	SK107(SK107)	2-49-28	
32-213	深鉢	D1区-SK1240	IV-3a	26.1×(24.0)×7.8	LR	ミガキ	ナデ	紅褐色	良好		4-89-68	
32-214	深鉢	B1区-H-109-Ⅲb層	IV-3a	-×(10.0)×-	L			褐色	良		4-89-52	
32-215	深鉢	D2区-ZY-65-Ⅲd層	IV-3a	(8.8)×(8.5)×(5.1)	LR	ナデ	-	紅褐色	良		20-180	5-59-16
32-216	深鉢	B2区-O-66-Ⅲa層	IV-3a	-×15.4×-	LR	ミガキ	-	褐色	良		17-77-9	
32-217	深鉢	D2区-YB-81-Ⅲc層	IV-3a	22.8×20.4×10.0	L-LR	ナデ	ナデ	褐色	良		20-155	5-49-12
32-218	鉢	D3区-YB-80-Ⅲd層上位	IV-3a	12.1×11.9×6.1	RL			紅褐色	良好		20-157	10-62-10
32-219	深鉢	D2区-SK1221	IV-3a	(34.2)×27.2×-	RL	ミガキ	-	紅褐色	良	SK1221-SK222	20-161	5-29-5
32-220	深鉢	D1区-SK1507	IV-3a	-×38.1×-38.1	LR	ミガキ	-	褐色	良好		20-162	4-83-6
32-221	深鉢	D3区-SK1908A	IV-3a	-×27.7×-	RL	ミガキ	-	褐色	良好		20-169	10-58-2
32-222	深鉢	B1区-L-88-Ⅲb層	IV-3a	27.4×21.0×9.9	R	ミガキ	ササ	紅褐色	良好		20-156	18-78-7
32-223	深鉢	B1区-L-102-Ⅲd層	IV-3a	-×31.4×-	LR	ミガキ	-	褐色	良好		20-160	2-62-88
32-224	深鉢	B1区-L-103-Ⅲd層	IV-3a	-×20.3×-	RL	ミガキ	-	紅褐色	良		20-164	2-49-63
32-225	深鉢	D1区-YL-80-Ⅲd層	IV-3a	28.8×26.5×10.0	L	ナデ	ナデ	紅褐色	不良		4-89-57	
32-226	深鉢	D2区-ZK-86-Ⅲc層	IV-3a	25.5×21.1×9.0	RL	ミガキ	ササ ナデ	褐色	良		20-165	5-50-20
32-227	深鉢	D2区-YA-83-Ⅲc層	IV-3a	28.2×23.8×10.0	R	ミガキ	ナデ	紅褐色	良		21-166	5-50-21
34-228	深鉢	D2区-ZY-80-Ⅲb層下位	IV-3a	-×××-	RL			紅褐色	良		5-49-18	
34-229	深鉢	D0区-YD-67-Ⅲa層	IV-3a	31.5×24.8×9.8	RL	ミガキ	網代	褐色	良好		21-167	10-62-11
34-230	深鉢	D0区-YG-88-Ⅲa層	IV-3a	28.8×20.8×5.9	RL	不明	ナデ	褐色	良好		21-168	10-61-7
34-231	深鉢	D7区-ZE-90-Ⅲa層	IV-3a	24.7×21.2×9.2	LR	ミガキ	網代	褐色	良好		21-169	12-43-22
34-232	深鉢	F1区-T-106-Ⅲb層	IV-3a	(40.0)×33.7×-	LR	ミガキ	ササ	褐色	良好		21-170	6-68-13
35-233	深鉢	C1区-Y1-88.10	IV-3a	-×9.5×-	L	-	-	褐色	良		21-171	7-48-1
35-234	深鉢	F1区-T-102	IV-3a	11.8×(11.0)×-	LR	ミガキ	-	褐色	良好		21-172	8-68-16
35-235	鉢	D7区-SK1711	IV-3a	-×18.0×7.8	RL	ミガキ	木炭痕	紅褐色	良好		12-23-2	
35-236	深鉢	D1区-ZK-90-Ⅲa層	IV-3a	-×13.8×-	RL	ミガキ	-	紅褐色	不良		21-176	4-89-38
35-237	深鉢	F4区-SK1727	IV-3a	17.5×18.0×7.8	LR	ミガキ	ササ	紅褐色	良	SK1727-SK1728	21-173	13-54-3
35-238	深鉢	B1区-SK1910A上面	IV-3a	11.0×11.0×5.1	L	ミガキ	ササ	紅褐色	良		2-88-9	
35-239	鉢	D3区-YJ-81-Ⅲd層上位	IV-3a	12.2×11.8×6.9	RL	ナデ	不				21-174	10-52-9
35-240	深鉢	B1区-L-100-Ⅲb層	IV-3a	-×26.2×-	LR	ミガキ	-	褐色	良好		21-176	2-51-84

第16表 土器観察表(9)

図録番号	器種	出土区・遺構・グランド・階位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	断面形状	底面	色調	焼成	遺構の形状など	写真番号	既存図文
35-241	壺	D4区-SK409	IV-3b	128×51×48	LR	ナデ	不明	黒褐色	良好		22-177	10-29-2
35-242	壺	D5区-ZK-103-Ⅲd層	IV-3b	188×80×50	LR	ミガキ	ササ	黒褐色	良好		22-178	9-48-7
35-243	壺	F2区-YL-120-Ⅲb層	IV-3b	84×80×50	RL	ミガキ	-	黒褐色	良好		22-179	7-25-1
35-244	壺	F1区-T-107	IV-3b	163×79×52	LR	ナデ	ナデ	黒褐色	良好		22-180	6-67-13
35-245	広蓋	F4区-YD-102-Ⅲb層	IV-3b	-×-×-	LR-RL			褐色	良好		22-181	13-47-13
35-246	広蓋	F4区-YD-103-Ⅲb層	IV-3b	-×-×45	RL-LR	不明	不明	黒褐色	良好		22-182	13-48-10
35-247	壺	D5区-YA-102-Ⅲb層	IV-3b	(158)×63×67	LR	ナデ	ナデ	黒褐色	良好		22-183	9-48-7
35-248	壺	D5区-ZY-104-Ⅲd層	IV-3b	143×(112)×60	L	ナデ	ナデ	黒褐色	良好		22-184	9-48-8
35-249	壺	D1区-SK0202	IV-3b	-×-×-	条痕	ミガキ	-	黒褐色	良好		22-186	4-64-2
35-250	壺	D3区-SK01002	IV-3b	240×120×100	RL	ナデ	-	黒褐色	良好	赤色顔料	22-185	10-28-2
35-251	壺	D7区-ZF-65-Ⅲc層	IV-3b	138×-×50	RL	ナデ	-	黒褐色	良好		23-187	12-40-19
35-252	壺	D8区-YK-91-Ⅲd層上位	IV-3b	-125×-×52	LR	不明	不明	褐色	良好			10-63-15
35-253	鉢	D7区-ZH-64-カクラン	IV-3b	74×100×43	L	ミガキ	ナデ	黒褐色	良好		23-188	12-40-17
35-254	鉢	D6区-ZE-97-Ⅲc層	IV-3b	84×117×66	R	ミガキ	スグレ	黒褐色	良好		23-188-180	11-51-6
35-255	深鉢	D1区-SK0203	IV-3b	58×(125)×58	L			黒褐色	良好	SK237→SK0723	23-191	4-60-11
35-256	鉢	D7区-SK0704	IV-3b	87×-×90	RL	ミガキ	ミガキ	黒褐色	良好	SK47→SK0704		12-23-6
35-257	鉢	D1区-YL-60-Ⅲc層	IV-3b	108×124×66	LR	ミガキ	ナデ	黒褐色	良好			4-68-28
35-258	白付	D7区-ZH-64-Ⅲc層	IV-3b	155×173×88	R	ミガキ	ナデ	黒褐色	良好		23-192	12-42-16
35-259	深鉢	D1区-ZF-65-Ⅲb層	IV-3b	-×205×-	LR	ミガキ	-	黒褐色	良好		23-193	6-22-4
37-200	深鉢	G1区-ZB-80-Ⅲb層中下位	IV-3b	302×218×104	L	ミガキ	ナデ	黒褐色	良好		23-194	8-21-3
37-251	深鉢	B1区-L-103-ⅠⅢb層	IV-3b	107×(114)×60	L			褐色	良好			2-49-48
37-262	深鉢	D1区-YD-93-Ⅲb層下位	IV-3b	-×157×-	LR	ナデ	-	黒褐色	良好		23-195	4-65-35
37-263	深鉢	B2区-O-68-Ⅲb層	IV-3b	-×232×-	LR			褐色	良好			17-79-13
37-264	片口	D1区-SK0204	IV-3b	165×110×60	LR	ミガキ	ナデ	黒褐色	良好		23-196	4-56-25
37-265	深鉢	F2区-SK0703	IV-3b	-×-×74	RL		褐色	褐色	良好		23-197	7-19-1
37-266	深鉢	D1区-SK0202	IV-3b	-×240×-	RL			褐色	良好	SK07050→SK0202→SK0204	24-201	4-73-18
37-267	深鉢	D1区-YL-60-Ⅲb層下位	IV-3b	232×228×103	LR	ミガキ	ナデ	黒褐色	不良		23-198	4-69-28
39-268	深鉢	D2区-ZK-87-Ⅲc層	IV-3b	113×312×-	LR	ミガキ	-	黒褐色	良好			5-49-19
39-269	深鉢	F4区-YD-88-Ⅲb層	IV-3b	384×250×-	RL-LR	ミガキ	-	黒褐色	良好		23-199	13-47-14
39-270	深鉢	F4区-YE-102-Ⅲb層	IV-3b	217×212×73	LR	ナデ	ナデ	褐色	良好		23-200	13-47-13

第17表 土器観察表(10)

図録番号	器種	出土区・遺構・グランド・階位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	断面形状	底面	色調	焼成	遺構の形状など	写真番号	既存図文
39-271	深鉢	D7区-SK0702	IV-3b	194×-×74	LR	ミガキ	ナデ	黒褐色	良好		24-202	12-23-4
39-272	深鉢	D7区-SK0702	IV-3b	325×288×-	L	ミガキ	-	褐色	良好	SK0701→SK0702→SK0703	24-203	12-23-3
39-273	深鉢	B1区-SK0702-中下層	IV-3b	(100)×95×46	LR			褐色	良好	SK0701-0305→SK0702		2-39-15
39-274	深鉢	F5区-SK0202	IV-3b	-×-×93	RL	不明	ナデ	褐色	良好		24-204	14-13-2
39-275	壺	F1区-SK400		(24)×48×227		ナデ	-	褐色	良好	SK419→SK400	24-205	6-60-3
39-276	壺	D2区-ZH-64-Ⅲc層	IV-3b	-×-×-	RL	ミガキ	-	褐色	不良		24-206	5-48-14
39-277	壺	F4区-SK0701	IV-3b	167×60×-	LR	ミガキ	ナデ	黒褐色	良好	SK07011→SK0501	24-207	13-54-2
39-278	切断	C区-ZH-115-Ⅲb層	IV-3b	-×-×48	LR	ミガキ	褐色	黒褐色	良好		24-208	3-35-4
39-279 ~ 283	欠番											
39-290	深鉢	F1区-SK0705	IV-3b	-×188×-	RL	ミガキ	-	褐色	良好		24-209	6-512-6
39-291	深鉢	D2区-ZZ-80-Ⅲb層上位	IV-3b	336×302×103	LR	ナデ	ナデ	褐色	良好		24-210	5-51-24
39-292	深鉢	B2区-P-88-Ⅲd層	IV-3b	339×269×100	L-LR	ナデ	褐色	褐色	良好		24-211	17-79-15
40-293	深鉢	D2区-ZK-68-Ⅲc層	IV-3b	-×-×-	LR			褐色	良好		24-212	5-51-25
40-294	広蓋	B2区-S01	IV-3b	-×-×-	LR	ミガキ	-	褐色	良好	SK07186→SK185→S01		17-8-2
40-295	壺	D3区-YF-64-Ⅲb層	IV-3b	-×97×-	LR	ミガキ	-	黒褐色	良好		25-213	10-64-21
40-296	壺	C区-ZH-108	IV-3b	-×-×-	LR			褐色	良好			3-39-6
40-297	片口	B2区-J-89-Ⅲb層	IV-3b	105×-×78	LR			褐色	良好			17-79-12
40-298	壺	D2区-YD-84-Ⅲc層上位	V-1	-×-×-	LR	ミガキ	ミガキ	褐色	良好		25-214	6-53-41
40-299	広蓋	D3区-YE-85-Ⅲc層	V-1	-×-×99	LR	ミガキ	褐色	褐色	良好		25-215	10-64-22
40-300	壺	C区-ZE-108	V-1	(162)×(81)×(44)	LR			褐色	良好			3-39-5
40-301	壺	D3区-YE-87-Ⅲd層上位	V-1	182×(111)×81	LR	ミガキ	ナデ	黒褐色	良好		25-216	10-65-23
41-302	壺	F5区-YF-116-Ⅲc層	V-1	65×38×32	LR	ナデ	ナデ	褐色	良好			14-18-2
41-303	壺	D3区-YF-64-Ⅲb層	V-1	85×68×35	RL	ミガキ	ナデ	褐色	良好			10-64-20
41-304	壺	D3区-SK0702	V-1	-×52×-	LR	不明	褐色	黒褐色	良好		25-217	10-37-4
41-305	広蓋	F4区-YK-104-Ⅲd層	V-1	224×(42)×78	LR	ミガキ	褐色	褐色	良好		25-218	13-47-16
41-306	広蓋	F4区-YK-105-Ⅲd層	V-1	218×(43)×58	LR-RL	ミガキ	ナデ	褐色	良好		25-219	13-47-15
41-307	広蓋	D4区-YM-74-Ⅲd層中下	V-1	136×78×38	LR	ミガキ	褐色	褐色	良好		25-220	20-40-3
41-308	鉢	F4区-YD-100-Ⅲc層	V-1	88×185×63	RL-LR	ミガキ	ナデ	褐色	良好		25-221	13-48-18
41-309	白付	D3区-YD-85	V-1	(97)×-×-	LR	ミガキ	-	黒褐色	良好		25-222	10-65-28
41-310	白付	D3区-YD-88-Ⅲc層	V-1	-×-×-	RL	ミガキ	-	褐色	良好		25-223	10-65-29

第18表 土器観察表(11)

図号番号	器種	出土区・遺構・グリップ・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	器底状態	底面	色調	状態	遺構の位置など	写真番号	既存状況
41-311	注口	B2区-S802	V-1	118×80×45	LR	ミガキ	ミガキ	黒褐色	良好	SK(F)2-SK31-S802	28-230	17-8-1
42-312	深鉢	F4区-YD-104・Ⅲa-b層	V-1	-X-333X-	LR	ミガキ	-	灰褐色	良好		28-224	13-48-17
42-313	深鉢	D2区-ZY-83・Ⅲa層	V-1	-X-X(6)層	LR	ミガキ	-	灰褐色	良好			5-53-38
42-314	深鉢	D7区-ZO-83・Ⅲa-c層	V-1	-X-275X-	LR	ミガキ	-	灰褐色	良好		28-225	12-44-25
42-315	台付	D9区-YB-85・Ⅲc-d層	V-1	210×(143)×73	LR	ミガキ	不明	灰褐色	良好		28-228	10-85-27
42-316	台付	D8区-FH839	V-1	87×104×64	R	ミガキ	-	灰褐色	良好			11-82-10
42-317	台付	D9区-YK-79・Ⅲd層上位	V-1	152×150×68	LR	ミガキ	-	褐色	良好		28-229	10-48-7
42-318	有孔	D8区-ZF-97・Ⅲa-b層	V-1	345×81×77	LR	ミガキ	網代	灰褐色	良好			11-82-9
42-319	有孔	D9区-S802	V-1	343×158×100	LR	ミガキ	網代	灰褐色	良好		28-226	19-16-6
42-320	有孔	D2区-YD-83・Ⅲd層上位	V-1	-X-X-73	LR	ミガキ	ササ	灰褐色	良好		28-227	5-54-42
43-321	壺	D3区-YC-86・Ⅲc層	V-2	208×125×84	LR-LR	ミガキ	網代	灰褐色	良好		27-231	10-84-25
43-322	壺	D7区-ZF-83・Ⅲa-c	V-2	-X-X-	LR	-	-	灰褐色	不良		27-232	12-43-20
43-323	壺	D8区-ZB-81・Ⅲa-b	V-2	-X-X-83	LR	-	ナデ	灰褐色	良好			15-81-2
43-324	鉢	D2区-YB-89・Ⅲa層	V-2	84×164×51	LR	-	-	灰褐色	良好			5-52-31
43-325	鉢	D3区-YB-84・Ⅲc-d層上位	V-2	85×161×43	LR	ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好		27-236	10-84-24
43-326	浅鉢	D7区-ZO-84・Ⅲa-c層	V-2	102×207×70	FL	-	-	灰褐色	良好		27-233	12-44-24
43-327	鉢	D3区-YC-90・Ⅲa層	V-2	75×160×49	LR	ミガキ	網代 ナデ	灰褐色	良好	赤色顔料塗布	27-234	10-84-23
43-328	浅鉢	D9区-ZY-104・ⅠⅢd層	V-2	70×150×42	LR	ミガキ	ササ	灰褐色	良好		27-235	9-49-11
43-329	鉢	D2区-YC-83・Ⅲc層	V-2	201×91.7×84	LR	ミガキ	木葉痕ナデ	褐色	良好		27-237	6-62-26
43-330	深鉢	D2区-YG-81・Ⅲb層	V-2	251×91.2×90	LR	ミガキ	-	灰褐色	良好		27-238	6-62-28
43-331	深鉢	D9区-S802	V-2	172×158×72	FL	ミガキ	不明	灰褐色	良好		27-239	19-16-6
43-332	深鉢	B区-D-93・Ⅲd-IV	V-2	182×190×57	FL	ミガキ	ナデ	灰褐色	良好		27-240	18-36-3
44-333	深鉢	D2区-YA-83・Ⅲa層	V-2	-X-330X-	LR	-	-	灰褐色	良好		28-241	6-63-30
44-334	深鉢	D2区-ZY-88・Ⅲb層	V-2	-X-X-	LR	-	-	褐色	良好			6-63-35
44-335	深鉢	D2区-YG-84・Ⅲb層	V-2	-X-158X-	LR	ミガキ	-	灰褐色	良好		28-243	5-52-32
44-336-1	深鉢	D2区-YB-81・Ⅲc下位	V-2	-X-327X-	LR	ミガキ	-	灰褐色	良好		28-242	5-52-27
44-336-2	深鉢	D3区-ZK-104・Ⅲd層	V-2	100×80.0×38	LR	ミガキ	ナデ	褐色	良好			9-49-12
44-337	有孔	F1区-Q-108・Ⅲd層上位	V-2	-X-811X-	LR	ミガキ	-	灰褐色	良好		28-244	6-63-17
44-338	有孔	F4区-YF-101・YD-101・Ⅲa層	V-2	209×49×57	LR	ミガキ	ナデ	灰褐色	良好		28-245	13-48-19
44-339	蓋	D1区-YC-92	-	-X-X(7)層		ミガキ	-	灰褐色	良好		28-246	4-88-15

第19表 土器観察表(12)

図号番号	器種	出土区・遺構・グリップ・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	器底状態	底面	色調	状態	遺構の位置など	写真番号	既存状況
44-340	注口	D9区-S802		122×82×47		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好		28-247	18-10-1
44-341	注口	D2区-YD-84・Ⅲa層		71×117×47		ミガキ	ナデ	灰褐色	良好		28-247	5-64-44
44-342	注口	D1区-YF-89・Ⅲb-c層		-X-X-		-	-	灰褐色	良好		28-249	4-88-18
44-343	台付	F4区-YE-103・ⅠⅢd層上位		-X-X-81		ミガキ	ナデ	褐色	良好		28-250	18-48-21
45-344	深鉢	F4区-YF-87・ⅠⅢb層	V-3	-X-308X-		ミガキ	-	灰褐色	良好		28-281	13-45-21
45-345	注口	D2区-ZF-106	V-3	-X-X-		-	-	灰褐色	良好			3-37-10
45-346	注口	D2区-YD-84・Ⅲc層	V-3	-X-X-65		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好		28-252	5-54-47
45-347	注口	F4区-YE-104・Ⅲb層	V-3	119×92×44		ミガキ	ナデ	褐色	良好		28-283	18-48-22
45-348	注口	D3区-ZK-104・Ⅲd層	V-3	-X-X-53		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好		28-284	9-49-15
45-349	注口	D4区-YM-70・Ⅲc層下位	V-3	87×67×69		ミガキ	ナデ	褐色	良好		28-285	20-40-2
45-350	注口	D5区-YB-103・Ⅲd層	V-3	122×66×47		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好		28-286	9-49-14
45-351	注口	F4区-YN-104・Ⅲd層	V-3	-X-X-48		ミガキ	-	褐色	良好		28-287	13-48-20
45-352	注口	D3区-ZY-104・Ⅲd層	V-3	96×81×35		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好		28-288	9-49-13
45-353	深鉢	D5区-ZY-99・Ⅲa-b層	V-2	412×338×93	LR	-	-	灰褐色	良好		28-289	
45-354	鉢	D2区-ZM-85・Ⅲc層	V-2	-X-X-45	LR	-	-	灰褐色	良好		28-280	5-54-48
45-355	台付	F1区-V-104・Ⅲb層上位	V-3	137×(80)×88	LR	-	ミガキ	褐色	良好		28-281	6-88-22
46-356	深鉢	A1区-SK(S)16下層土坑	V-1	478×288×183		ミガキ	網代	灰色	良好		28-282	2-21-4
46-357	壺	B1区-SK(F)104上層	V-1	290×193×120		ミガキ	網代	灰褐色	良好		30-285	2-28-18
46-358	壺	B1区-SK(F)104下層	V-1	199×75×81		ミガキ	ナデ	灰褐色	良好	SK(F)104-SK(F)102	30-286	2-28-23
46-359	壺	B1区-SK(F)104上層	V-1	-X-87X-		-	-	灰褐色	良好			2-28-20
46-360	壺	B2区-S801	V-1	145×88×56		-	-	灰色	良好	SK(F)106-SK105-S801	30-284	17-8-3
46-361	蓋	D2区-SK(F)106	V-1	82.0×(4.0)×50		-	-	褐色	不良	SK(F)107-SK(F)108		5-24-13
46-362	壺	B2区-S802	V-1	212×73×53		ミガキ	不明	褐色	良好	SK(F)102-SK31-S802	30-288	17-8-4
46-363	壺	D2区-SK(F)113	V-1	27.0×104×106		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好	SK(F)102-SK(F)113	30-287	5-28-25
47-364	壺	D3区-SK(S)103	V-1	27.7×(10.8)×(11.8)		ミガキ	不明	灰褐色	良好		30-288	10-28-1
47-365	壺	D3区-FH109	V-1	148×53×72		ミガキ	ナデ	灰褐色	良好		30-289	10-11-2
47-366	壺	F1区-SK(F)128	V-1	132×83×80		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好		30-370	6-81-7
47-367	壺	F4区-SK29	V-1	-X-41X-		-	-	灰褐色	良好	SK(F)127-S802		13-38-5
47-368	壺	F4区-SK102	V-1	-X-X-89		ミガキ	-	灰褐色	良好		30-271	13-50-39
47-369	壺	F1区-V-104	V-1	45×37×40		ナデ	ナデ	灰褐色	良好		30-272	6-70-35

第20表 土器観察表(13)

図記番号	器種	出土区・遺構・グランド・階位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	器面状態	底面	色調	焼成	遺構の層位など	写真番号	既存標文
47-370	蓋	B1区-Y1-100-IIa層	Ⅷ-1	(110)×-×63		ナデ	-	灰褐色	良好			2-49-65
47-371	ミナチュア	B1区-Y1-100-IIb層	Ⅷ-1	72×31×40				灰褐色	良好			16-79-2
47-372	蓋	B2区-Q-85-IIc層	Ⅷ-1	(144)×-×(60)		ミガキ	ナデ	灰褐色	良好			17-80-22
47-373	蓋	B2区-Q-85-IIc層	Ⅷ-1	-×-×-		ミガキ	不明	灰褐色	良			17-79-16
47-374	蓋	B2区-Y1-89-IIa層	Ⅷ-1	-×-×63		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好		80-273	17-80-21
47-375	蓋	D1区-Y1-90-IIb層下位	Ⅷ-1	154×60×68		ナデ	ナデ	灰褐色	良好		30-275	4-91-67
47-376	蓋	D1区-YB-93-IIb層下位	Ⅷ-1	-×-×44		ミガキ	ナデ	灰褐色	良好		30-276	4-91-68
47-377	蓋	D1区-YK-96-IIb層上位	Ⅷ-1	-×-×72		ナデ	不明	灰褐色	不良			4-91-74
47-378	蓋	D1区-YL-99-IIb層中位	Ⅷ-1	(123)×42×(45)		ミガキ	-	灰褐色	良		30-274	4-91-70
47-379	深鉢	D1区-YF-93-IIb層	Ⅷ-1	(67)×(60)×(40)				灰褐色	良好		30-277	4-91-69
47-380	蓋	D1区-ZJ-92	Ⅷ-1	-×-×44		-	ナデ	灰褐色	良		31-278	4-91-88
47-381	蓋	D1区-ZJ-92-IIc層	Ⅷ-1	94×67×30		ミガキ	網代	灰褐色	良好		31-279	4-91-89
47-382	蓋	D2区-YE-83-IIb層	Ⅷ-1	-×-×45		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好			5-58-81
47-383	蓋	D2区-YD-83-IIa層	Ⅷ-1	(33)×(74)×(40)		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良			5-58-82
48-384	蓋	D2区-YC-80-IIc層下位	Ⅷ-1	(256)×(72)×(122)		ミガキ	ナデ	灰褐色	良		31-280	5-58-83
48-385	広蓋	D2区-YB-83	Ⅷ-1	178×109×49		ミガキ	ナデ	褐色	良好		31-281	5-58-78
48-386	蓋	D2区-YD-84-IIb上位	Ⅷ-1	-×-×40				灰褐色	良好			5-58-79
48-387	蓋	D2区-YA-83-IIb層	Ⅷ-1	82×66×42				褐色	良好			5-58-80
48-388	蓋	D2区-YA-81-IIb層	Ⅷ-1	(180)×(75)×(62)		不明	不明	灰褐色	良		31-282	5-58-77
48-389	蓋	D2区-YA-81-IIc層	Ⅷ-1	(73)×(70)×(72)				灰褐色	良好			5-58-76
48-390	蓋	D3区-YA-85-IIa層上位	Ⅷ-1	-×-×63		ミガキ	ナデ	灰褐色	良好		31-283	10-68-32
48-391	蓋	D3区-YF-89-IIb層	Ⅷ-1	58×44×42		ミガキ	不明	灰褐色	良好		31-284	10-68-31
48-392	蓋	D3区-YF-89-IIb層	Ⅷ-1	-×-×34				褐色	良好			10-68-30
48-393	蓋	D4区-YE-83-IIc層中位	Ⅷ-1	83×57×38		ミガキ	ナデ	灰褐色	良好		31-285	10-63-1
48-394	蓋	D5区-ZZ-103-IIc層	Ⅷ-1	-×-×69		ミガキ	-	灰褐色	良好		31-286	5-58-28
48-395	蓋	D5区-ZY-104-IIc層	Ⅷ-1	-×83×-				灰褐色	良好			9-50-23
48-396	蓋	D7区-ZG-85-IIa層	Ⅷ-1	162×69×71		ミガキ	ナデ	灰褐色	良		31-287	12-45-33
48-397	蓋	D7区-ZH-82-IIa層	Ⅷ-1	178×68×32		ミガキ	ミガキ	褐色	良好			12-45-32
48-398	蓋	D7区-ZH-82-IIc層	Ⅷ-1	76×20×31		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好		31-287	12-44-29
48-399	蓋	D8区-ZO-80	Ⅷ-1	154×60×69		ミガキ	網代	灰褐色	良		31-288	15-62-11

第21表 土器観察表(14)

図記番号	器種	出土区・遺構・グランド・階位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	器面状態	底面	色調	焼成	遺構の層位など	写真番号	既存標文
49-400	皿	F4区-YE-104-IIb層	Ⅷ-1	-×-×61		不明	ナデ	灰褐色	良好		31-290	13-50-38
49-401	皿	F4区-YD-102-IIc層	Ⅷ-1	-×-×69	LR-FL	ミガキ	網代	灰褐色	良好		31-291	13-50-37
49-402	皿	F4区-YD-100-IIa層	Ⅷ-1	107×76×20		ミガキ	ナデ	褐色	良		31-292	13-50-34
49-403	皿	F4区-YG-104-IIc層	Ⅷ-1	-×-×50		ナデ	ナデ	灰褐色	良好		31-293	13-50-36
49-404	皿	F4区-YF-103-IIa層	Ⅷ-1	-×-×44		ナデ	ナデ	灰褐色	良			13-50-35
49-405	皿	F4区-YD-101-IIa層	Ⅷ-1	78×47×41				灰褐色	良			13-50-31
49-406	皿	F4区-YD-104-IIb層	Ⅷ-1	58×47×39		不明	不明	灰褐色	良好			13-50-32
49-407	皿	F4区-YL-104-IIa層	Ⅷ-1	-×-×39		ミガキ	ナデ	灰褐色	良好			13-50-33
49-408	浅鉢	D1区-SK240	Ⅷ-1	82×185×73		ミガキ	ナデ	灰褐色	良好		32-294	4-99-21
49-409	浅鉢	D1区-SK240	Ⅷ-1	87×180×61		ミガキ	ササ	灰褐色	良好		32-295	4-60-27
49-410	浅鉢	D1区-SK240	Ⅷ-1	80×181×64		-	スグレ	灰褐色	良好		32-300	4-99-20
49-411	鉢	D2区-SK244	Ⅷ-1	89×87×44		ミガキ	ササ	灰褐色	良	SK2274-SK227	32-296	5-23-2
49-412	浅鉢	D1区-SK230	Ⅷ-1	89×175×74				灰褐色	不良	SK2299-SK2296		4-73-12
49-413	鉢	D1区-SK240	Ⅷ-1	89×110×76		ナデ	ササ	灰褐色	良		32-296	4-58-13
49-414	鉢	D2区-SK240	Ⅷ-1	101×117×56		ミガキ	網代 ナデ	灰褐色	良好	SK337-SK338		5-25-20
49-415	浅鉢	D1区-SK240	Ⅷ-1	-×210×-		ミガキ	-	灰褐色	良好	SK247-SK246	32-297	4-73-14
49-416	鉢	D2区-SK236	Ⅷ-1	(102)×(204)×(78)		ミガキ	-	灰褐色	良好	SK308-SK3296	32-299	5-23-10
49-417	浅鉢	F1区-Q-109	Ⅷ-1	61×101×42		ミガキ	ナデ	灰褐色	良			9-70-06
49-418	浅鉢	F1区-SI	Ⅷ-1	68×(72)×66		ミガキ	ナデ	褐色	不良		32-303	7-46-10
49-419	浅鉢	D3区-nk88	Ⅷ-1	98×87×68		ミガキ	ミガキ	灰褐色	良好			10-12-2
49-420	浅鉢	B1区-J-103	Ⅷ-1	49×110×-				灰褐色	良			2-49-58
49-421	浅鉢	B1区-E-102-IIb層	Ⅷ-1	59×110×37				褐色	良好			2-49-57
49-422	浅鉢	D2区-ZZ-60-IIc層	Ⅷ-1	(83)×(285)×(60)		ミガキ	-				32-301	
49-423	浅鉢	D5区-ZY-104-I-IIc層	Ⅷ-1	72×(146)×32		ミガキ	-	褐色	良		32-302	9-48-4
49-424	浅鉢	D7区-ZH-82-IIa層	Ⅷ-1	69×160×76		-	ササ	灰褐色	良好	蒸?蒸布		12-44-66
49-425	浅鉢	D6区-ZE-97-IIa層	Ⅷ-1	110×264×136		ミガキ	ササ	灰褐色	良好			11-33-18
49-426	鉢	D7区-ZH-84-IIa層	Ⅷ-1	69×103×47		ナデ	ナデ	灰褐色	良			12-44-20
49-427	鉢	F8区-YF-123-IIc層	Ⅷ-1	8×162×85				灰褐色	良		32-304	14-20-7
50-428	浅鉢	F6区-YF-104-IIa層	Ⅷ-1	63×133×67		ミガキ	網代	灰褐色	良		32-305	15-12-1
50-429	浅鉢	G1区-SB-99-IIb層中下	Ⅷ-1	92×(210)×70				灰褐色	良			8-25-7

第22表 土器観察表(15)

図録番号	器種	出土区・遺構・グランド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径cm)	地文	表面磨様	底面	色相	焼成	遺構の重複など	写真番号	既存標文
50-430	洗鉢	G4区-YA-70-Ⅲa層上下	Ⅷ-1	82×150×40		ミガキ	-	褐色	良好		32-306	20-40-4
50-431	洗鉢	G1区-YA-58B-39-Ⅲb層	Ⅷ-1	83×220×66		ミガキ	-	紅褐色	良好		32-307	6-20-6
50-432	洗鉢	G1区-YA-60-Ⅲb層	Ⅷ-1	94×238×72		ミガキ	ササ	紅褐色	良好		32-308	6-25-9
50-433	鉢	D2区-YB138	Ⅷ-1	85×121×48		ミガキ	ナデ	褐色	良好			17-31-1
50-434	鉢	D1区-SK220	Ⅷ-1	85×(10.6)×(9.6)				紅褐色	良好			4-73-8
50-435	鉢	D7区-SK6736	Ⅷ-1	105×(18.0)×-		ミガキ	ササ	褐色	良好			12-23-6
50-436	深鉢	F1区-S1	Ⅷ-1	87×82×52		ミガキ	ミガキ	褐色	良好	32-309		7-46-9
50-437	鉢	D1区-SB305-FB35	Ⅷ-1	(5.0)×(9.4)×7.8		ミガキ	ミガキ	褐色	良好			4-34-1
50-438	鉢	D1区-SK201	Ⅷ-1	85×115×(5.0)				紅褐色	不良			4-72-1
50-439	ミニチュア	D3区-SK314	Ⅷ-1	4.9×8.1×3.8		ミガキ	ナデ	褐色	良好			10-48-1
50-440	鉢	D7区-SK6738	Ⅷ-1	82×(13.0)×5.8				紅褐色	良好			12-23-6
50-441	深鉢	F1区-Y-107-Ⅲd下位	Ⅷ-1	12.0×13.7×7.1		ナデ	ササ	褐色	良好	32-310		6-46-31
50-442	鉢	F1区-Y-107-Ⅲd下位	Ⅷ-1	11.2×(13.8)×6.5		ミガキ	ナデ	褐色	良好	32-311		6-49-32
50-443	鉢	F4区-SK6734	Ⅷ-1	82×127×6.1		ミガキ	-	紅褐色	良好	33-313		13-34-8
50-444	鉢	F4区-SK6738	Ⅷ-1	14.9×10.2×8.0		ミガキ	ナデ	褐色	良好	33-314		13-34-4
50-445	洗鉢	B1区-Y-103-Ⅲa層	Ⅷ-1	6.4×5.6×5.2				褐色	良好			2-49-30
50-446	洗鉢	B1区-Y-103-Ⅲb層	Ⅷ-1	-×13.2×-				紅褐色	良好			2-49-59
50-447	深鉢	B1区-Y-103-Ⅲc層	Ⅷ-1	8.4×(11.4)×4.9				紅褐色	良好	33-312		2-49-33
50-448	合符	B1区-Y-103-Ⅲd層	Ⅷ-1	(8.9)×(13.6)×(8.0)		ナデ	ナデ	褐色	良好	33-315		2-50-73
50-449	鉢	B1区-Y-85-Ⅲc層	Ⅷ-1	7.4×11.7×6.5		ナデ	ナデ	褐色	良好			16-78-4
50-450	鉢	B2区-Y-86-Ⅲd層	Ⅷ-1	8.1×8.9×5.0		ミガキ	ササ	褐色	良好			17-79-17
50-451	洗鉢	B1区-Y-103-Ⅲ層	Ⅷ-1	6.3×11.7×4.4				褐色	良好			2-49-62
50-452	洗鉢	D1区-ZZ-91-Ⅲb層下位	Ⅷ-1	7.9×4.5×4.1				紅褐色	不良			4-91-69
50-453	鉢	D4区-YK-90-Ⅲb下位	Ⅷ-1	11.2×10.8×8.9				褐色	良好	33-317		4-91-71
51-454	鉢	D2区-YB-83-ZZ-79-Ⅲc'd層	Ⅷ-1	8.5×(16.1)×8.7		ミガキ	ナデ	紅褐色	良好	33-316		5-58-72
51-455	洗鉢	D2区-ZZ-79-Ⅲa層	Ⅷ-1	10.6×23.7×12.0		ミガキ	横代ナデ	紅褐色	良好	33-318		5-58-74
51-456	鉢	D3区-YB-87-Ⅲd上位置	Ⅷ-1	9.4×14.5×5.1		ミガキ	-	紅褐色	良好	33-320		10-69-35
51-457	鉢	D2区-YO-84-Ⅲc層	Ⅷ-1	11.4×18.1×8.0		ミガキ	ナデ	褐色	良好	33-321		5-58-73
51-458	鉢	D3区-YB-85-Ⅲd層	Ⅷ-1	19.8×17.1×5.1		ミガキ	ナデ	紅褐色	良好	33-322		10-69-36
51-459	洗鉢	D3区-YB-84-Ⅲc'd層上位	Ⅷ-1	8.4×13.1×5.0				褐色	良好	33-323		10-69-37

第23表 土器観察表(16)

図録番号	器種	出土区・遺構・グランド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径cm)	地文	表面磨様	底面	色相	焼成	遺構の重複など	写真番号	既存標文
51-460	鉢	D3区-YF-87-Ⅲa層	Ⅷ-1	6.7×12.7×4.9		ミガキ	ナデ	紅褐色	良好		33-325	10-69-38
51-461	鉢	D3区-YA-88-Ⅲd層上位	Ⅷ-1	7.8×20.1×7.9		ミガキ	ナデ	褐色	良好		33-324	10-69-36
51-462	鉢	D6区-ZZ-97-Ⅲc'd層	Ⅷ-1	18.2×28.5×13.8		ミガキ	-	褐色	良好		33-328	11-53-17
51-463	鉢	D5区-ZY-102-Ⅲc'd層	Ⅷ-1	8.1×10.5×6.2		ナデ	ナデ	紅褐色	良好		34-327	9-50-23
51-464	鉢	F2区-YO-116-Ⅲa層	Ⅷ-1	8.8×(13.8)×6.7		ミガキ	ミガキ	褐色	良好		34-328	7-29-2
51-465	鉢	F4区-YK-106-Ⅲd層	Ⅷ-1	7.5×8.5×4.3		不明	ナデ	褐色	良好		34-329	13-49-28
51-466	鉢	F4区-YE-103-Ⅲb層	Ⅷ-1	8.4×13.0×-		ミガキ	ササ	褐色	良好			13-49-30
51-467	深鉢	B1区-SK67104	Ⅷ-1	16.8×(22.0)×6.1		ナデ	ササ	褐色	良好	SK67103→SK67104	34-331	2-40-28
51-468	深鉢	B4区-SK67202	Ⅷ-1	49.4×29.6×9.2		ミガキ	ナデ	紅褐色	良好		34-330	16-44-1
51-469	深鉢	D1区-SK67240	Ⅷ-1	22.4×16.7×9.0		ミガキ	-	褐色	良好		34-332	4-80-28
52-470	深鉢	D1区-SK67302	Ⅷ-1	21.8×(19.0)×8.0		ミガキ	ミガキ	紅褐色	良好	SK67250→SK67302	34-333	4-50-9
52-471	深鉢	D1区-SK67282	Ⅷ-1	24.9×18.3×7.8		ミガキ	ナデ	褐色	良好	SK67250→SK67282	34-334	4-73-17
52-472	深鉢	D2区-SK335	Ⅷ-1	7.5×6.2×4.1		ミガキ	ナデ	紅褐色	良好	SK335→SK67313	34-335	6-39-6
52-473	深鉢	D2区-SK67306	Ⅷ-1	(8.5)×21.3×8.8		ミガキ	ナデ	褐色	良好	SK335→SK67306	34-336	5-24-17
52-474	深鉢	D2区-SK67306	Ⅷ-1	(23.8)×(21.2)×(9.0)		不明	-	紅褐色	良好	SK335→SK67306	34-337	5-25-16
52-475	深鉢	D7区-SK67376	Ⅷ-1	30.2×24.1×9.0				紅褐色	良好	SK67375→SK67376	34-338	12-23-6
52-476	深鉢	F1区-SH10	Ⅷ-1	-×28.5×-		ナデ	-	褐色	良好	SH10→SK67442	34-339	6-18-5
53-477	深鉢	B1区-Y-103-Ⅲ層	Ⅷ-1	-×(29.0)×-		ミガキ	-	褐色	良好			2-52-50
53-478	深鉢	B1区-Y-102-Ⅲd層	Ⅷ-1	(38.1)×(28.0)×(12.4)		ミガキ	-	褐色	良好			2-52-80
53-479	底口	B2区-D-23-Ⅲd層	Ⅷ-1	10.0×6.5×4.2		ミガキ	ナデ	紅褐色	良好			17-80-20
53-480	深鉢	D3区-ZY-102-Ⅲc'd層	Ⅷ-1	6.9×7.2×3.6		ミガキ	横代	褐色	良好			9-50-24
53-481	深鉢	D4区-YK-90	Ⅷ-1	11.7×11.8×5.8		ナデ	ナデ	紅褐色	不良		35-340	4-61-60
53-482	深鉢	D1区-YA-81-Ⅲa層	Ⅷ-1	-×27.0×-		ミガキ	-	褐色	良好		35-342	4-60-61
53-483	深鉢	D2区-YA-81-Ⅲa層	Ⅷ-1	(20.8)×20.5×(10.6)		ミガキ	ササ	紅褐色	良好		35-344	6-66-70
53-484	深鉢	D2区-ZY-84-Ⅲb層	Ⅷ-1	13.2×19.0×5.2		ナデ	ナデ	褐色	良好		35-350	5-58-71
53-485	深鉢	D5区-YA-104-Ⅲb層	Ⅷ-1	13×12.8×5		ナデ	不明	紅褐色	良好		35-343	9-50-22
53-486	深鉢	D5区-ZY-103-Ⅲd層	Ⅷ-1	13.3×13.0×7.0		ミガキ	ナデ	褐色	良好		35-345	9-50-27
53-487	深鉢	D6区-ZO-96-Ⅲc'd層	Ⅷ-1	13.8×12.5×4.7		ミガキ	ナデ	褐色	良好		35-346	11-62-11
53-488	深鉢	D7区-ZD-80-Ⅲc'd層	Ⅷ-1	8.3×7.8×2.8		ナデ	ナデ	紅褐色	良好			12-44-29
53-489	深鉢	D7区-ZF-88-Ⅲa層	Ⅷ-1	10.0×-×4.4		ミガキ	ミガキ	紅褐色	良好			12-44-31

第24表 土器観察表(17)

図録番号	器種	出土区・遺構・グリッド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	器面調整	底面	色澤	焼成	遺構の位置など	写真番号	既存標文
53-490	鉢	D8区-Z9-78・皿d層上位	Ⅱ-1	12.0×12.4×5.6		ミガキ	ナデ	-	良		35-348	15-02-13
54-491	深鉢	F1区-U-105・皿d層	Ⅱ-1	14.7×12.4×7.2		ナデ	ナデ	褐色	良		35-347	6-69-33
54-492	深鉢	F1区-U-105	Ⅱ-1	-x-x-		ナデ	-	褐色	良好		35-349	6-70-34
54-493	深鉢	F1区-G-103	Ⅱ-1	-x(20)×-		ミガキ	-	褐色	良好		35-351	6-70-37
54-494	鉢	F4区-YK-104・皿d層	Ⅱ-1	13.8×13.5×6.2		ナデ	ナデ	褐色	良好		35-352	13-09-29
54-495	蓋	B1区-Y-103・皿b層	Ⅱ-1	-x-x(2)4		-	-	褐色	良好			2-50-78
54-496	蓋	G1区-G-98・皿b層	Ⅱ-1	12.2×20.4×3		ミガキ	ミガキ	褐色	良好	赤色顔料塗布	35-353	6-22-5
54-497	片口	D7区-Z1-94・カクラン	Ⅱ-1	6.8×9.5×4.7		ナデ	ササ	褐色	良			12-44-27
54-498	多孔土器	D1区-ZY-90・皿b層	Ⅱ-1	6.7×8.4×4.4		ナデ	ナデ	褐色	良好			4-91-63
54-499	多孔土器	D1区-Y1-80・皿b層	Ⅱ-1	-x-x(8)3		-	-	褐色	良			4-91-65
54-500	多孔土器	D1区-Z1-83・皿b層	Ⅱ-1	-x-x-		-	-	褐色	良			
54-501	蓋	B1区-SK(F)106・中位	Ⅱ-2	-x(10)5x-	L	-	-	褐色	良好		36-354	2-41-34
54-502	蓋	D1区-ST204	Ⅱ-2	-x(10)8x-	L	-	-	褐色	不良	ST201-58301	36-356	4-50-4
54-503	蓋	D6区-SK(F)321	Ⅱ-2	14.0×6.3×6.4	LR	ミガキ	ナデ	褐色	良好		36-358	10-37-5
54-504	蓋	D6区-SK66	Ⅱ-2	8.0x-x(3)5	RL	ミガキ	ミガキ	褐色	良			15-53-4
55-505	蓋	F4区-SK(L)01	Ⅱ-2	9.5x-x-	RL	ミガキ	不明	褐色	良		36-357	13-43
55-506	蓋	B1区-Y1-85・皿b層	Ⅱ-2	-x-x(5)1	R	ミガキ	ササ ナデ	褐色	良好			16-78-3
55-507	蓋	D2区-YB-83	Ⅱ-2	-x-x(8)2	LR	-	-	褐色	良		36-358	5-51-26
55-508	広蓋	D2区-ZY-85・皿d層	Ⅱ-2	(14.5)×(11.0)×-	R	ミガキ	-	褐色	良		36-359	5-52-54
55-509	蓋	D7区-Z0-89・皿c層	Ⅱ-2	10.2×5.1×3.9	RL	ナデ	ナデ	褐色	良好		36-359	12-45-38
55-510	蓋	D2区-ZZ-80・皿a層	Ⅱ-2	-x(12)3x-	R	-	-	褐色	良			5-55-56
55-511	蓋	F1区-Y-106・皿b層上位	Ⅱ-2	-x-x(5)4	LR	-	-	褐色	良			6-68-25
55-512	浅鉢	B1区-SK(F)101	Ⅱ-2	7.8×10.3x-	LR	-	-	褐色	良好			2-36-6
55-513	鉢	B2区-O-87・皿c層	Ⅱ-2	8.3×11.3×5.9	RL	-	ササ	褐色	良好		36-361	17-00-23
55-514	鉢	B2区-S-92・皿d層	Ⅱ-2	18.2×24.2×11.7	LR	ミガキ	ミガキ	褐色	良好		36-362	17-00-26
55-515	浅鉢	D1区-SK(F)240	Ⅱ-2	-x(20)8x-	LR	ミガキ	-	褐色	良好		36-363	4-58-23
55-516	鉢形	D1区-FR213	Ⅱ-2	(11.0)×(15.0)×(7.0)	LR	-	-	褐色	良			4-84-7
55-517	鉢	D2区-YF-84・皿c層上位	Ⅱ-2	14.0×22.2×(7.2)	LR	-	ナデ	褐色	良		36-365	5-56-68
55-518	鉢	D2区-YG-79・皿b層	Ⅱ-2	7.3×(14.5)×1.80	LR	ミガキ	ササ	褐色	良		36-366	5-57-68
55-519	鉢	D2区-SK-659	Ⅱ-2	8.2×13.3×6.0	R	-	新灰産	褐色	良好			6-48-2

第25表 土器観察表(18)

図録番号	器種	出土区・遺構・グリッド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径 cm)	地文	器面調整	底面	色澤	焼成	遺構の位置など	写真番号	既存標文
56-520	鉢	D6区-YA-01・皿c層	Ⅱ-2	-x-x(4)9	LR	-	ナデ	褐色	良好			16-60-30
56-521	鉢	D6区-ZR-78・皿c層	Ⅱ-2	13.2×17.2×8.9	LR	ミガキ	不明	褐色	良		36-364	16-62-16
56-522	鉢	F1区-Y-105・皿d層	Ⅱ-2	12.4×18.9×7.6	L	-	ナデ	褐色	良好		36-367	6-69-29
56-523	鉢	F1区-X-104・皿b層	Ⅱ-2	5.7×(12.0)×4.5	LR	-	ナデ	褐色	良好		36-369	6-68-24
56-524	鉢	F4区-YM-111・皿b層	Ⅱ-2	8.4×5.9×13.7	LR	ミガキ	ササ	褐色	良		36-368	10-49-24
56-525	浅鉢	F5区-YF-116・皿a層	Ⅱ-2	7.8×21.5×7.3	LR	ナデ	不明	褐色	良好			14-20-6
56-526	鉢	F1区-SK901・上下位	Ⅱ-2	9.8×8.2×(5.4)	L	ミガキ	不明	褐色	良好		36-370	6-69-2
56-527	深鉢	B1区-SK(F)101	Ⅱ-2	-x(20)7x-	R	-	-	褐色	良			2-39-21
56-528	深鉢	B1-SK(F)104	Ⅱ-2	31.7×23.8×11.4	LR	ナデ	ナデ	褐色	良	SK(F)103-SK(F)104	37-371	2-41-31
56-529	深鉢	B2区-SK123	Ⅱ-2	34.0×28.0×11.8	L	-	-	褐色	不良	SK123-SK178-192		17-49-1
56-530	深鉢	B2区-SK162	Ⅱ-2	27.2×24.4×9.9	LR	-	ササ	褐色	良		37-372	17-49-3
57-531	深鉢	D1区-SK(F)206	Ⅱ-2	-x(24)0x-	LR	-	-	褐色	良		37-373	4-65-7
57-532	深鉢	D1区-SK(F)240	Ⅱ-2	-x(24)3x-	RL	-	-	褐色	良好		37-374	4-69-29
57-533	深鉢	D1区-SK(F)240	Ⅱ-2	32.1×27.9×11.8	LR	ミガキ	現代灰	褐色	良好		37-375	4-69-30
57-534	深鉢	D1区-SK(F)216	Ⅱ-2	-x(24)0x-	RL	-	-	褐色	良好			4-58-6
57-535	鉢	D1区-SK(F)240	Ⅱ-2	11.6×14.2×6.0	LR	-	スグレ	褐色	良好		37-378	4-58-22
57-536	深鉢	D1区-SK201	Ⅱ-2	32.9×(30.7)×11.0	LR	-	ササ	褐色	不良		37-377	4-72-3
58-537	深鉢	D1区-SK218	Ⅱ-2	-x(20)0x-	LR	-	-	褐色	良			4-72-4
58-538	鉢	D2区-SK(F)306	Ⅱ-2	7.5×8.6×(4.7)	L	-	ナデ	褐色	良	SK237-SK(F)300	37-379	5-24-14
58-539	深鉢	D1区-SK221	Ⅱ-2	-x(24)0x-	RL	ミガキ	-	褐色	良好		37-378	4-73-13
58-540	深鉢	D2区-SK(F)306	Ⅱ-2	-x(18)0x-	LR	-	-	褐色	良好	SK237-SK(F)300	37-380	5-24-16
58-541	深鉢	D2区-SK(F)306	Ⅱ-2	(18.1)×17.8x-	LR	-	-	褐色	良	SK237-SK(F)300	37-381	5-24-16
58-542	深鉢	D2区-SK333	Ⅱ-2	(33.2)×(21.8)×(11.2)	R	-	-	褐色	良		37-383	5-38-10
58-543	深鉢	D2区-SK(F)306	Ⅱ-2	33.8×29.3×12.8	LR	ミガキ	スグレ	褐色	良	SK237-SK(F)300	37-382	5-25-18
58-544	深鉢	D1区-SK(S)221	Ⅱ-2	-x(24)0x-	LR	-	-	褐色	不良			4-9-4
58-545	深鉢	D6区-S202	Ⅱ-2	20.8×24.8×6.0	LR	ミガキ	ナデ	褐色	良好			19-19-2
58-546	鉢	F1区-SK907	Ⅱ-2	12.5×13.7×5.8	L	-	ナデ	褐色	良好		38-385	6-16-4
58-547	深鉢	F1区-SK(F)199A	Ⅱ-2	31.0x-x(8)5	L	ミガキ	ナデ	褐色	良	SK(F)199A-SK(F)199B	38-386	6-02-13
58-548	深鉢	D6区-S205	Ⅱ-2	-x(28)8x-	LR	-	-	褐色	良好		38-387	19-17-7
58-549	深鉢	F1区-SK903	Ⅱ-2	-x(28)0x-	LR	-	-	褐色	良			6-61-7

第26表 土器観察表(19)

調査番号	器種	出土区・遺構・クワッド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径cm)	地文	断面形状	底面	色調	焼成	遺構の重複など	写真番号	既存観文
59-550	深鉢	D9区-S03	ⅡB-2	288×210×-	LR	-	-	灰色	良好			19-17-5
59-551	深鉢	F1区-SK0118A	ⅡB-2	-×37.0×-	LLR	-	-	灰色	良好	SK0118A-SK0119B		6-28-16
60-552	深鉢	O1区-S221B	ⅡB-2	345×(24.4)×11.0	LR	ナデ	不明	褐色	不良		38-388	4-34-9
60-553	深鉢	D7区-SK028	ⅡB-2	153×128×4.7	LR	ミガキ	ミガキ	褐色	良好		38-389	12-23-7
60-554	深鉢	D4区-SK020	ⅡB-2	276×250×10.1	LR	-	横穴底	褐色	良好		38-390	11-53-16
60-555	深鉢	D7区-SK28	ⅡB-2	340×30.1×13.4	RL	-	-	灰色	良好		38-391	12-24-9
60-556	深鉢	O8区-S265	ⅡB-2	37.8×30.3×11.2	LR	-	木炭痕	褐色	良好		38-392	16-47-2
60-557	深鉢	D8区-SK00	ⅡB-2	14.7×21.1×8.7	LR	ミガキ	不明	灰色	良好		38-392	16-47-1
60-558	深鉢	D9区-S02	ⅡB-2	28.8×24.7×-	RL	-	-	褐色	良好		38-394	19-16-3
61-559	深鉢	D8区-S02	ⅡB-2	31.8×28.0×-	L	-	-	灰色	良好		38-395	19-16-1
61-560	深鉢	F1区-SK040	ⅡB-2	-×-×-	R	-	-	褐色	良好			6-27
61-561	鉢	F2区-SK011	ⅡB-2	14.6×20.0×8.1	LR	-	不明	灰色	良好	SK011-SK020	38-396	10-24-1
61-562	深鉢	G4区-S01	ⅡB-2	44.2×22.5×13.8	RL	-	-	褐色	良好	SK10-S01	38-397	20-23-2
61-563	深鉢	G4区-S01	ⅡB-2	-×30.0×-	LR	-	-	褐色	良好			20-23-3
62-564	深鉢	B1区-I03	ⅡB-2	37.4×30.4×12.4	RL	ナデ	ササ	褐色	良好		38-399	2-64-102
62-565	深鉢	B1区-L05-Ⅱb層	ⅡB-2	33.7×25.0×9.5	RL	-	-	褐色	良好		38-400	19-78-8
62-566	深鉢	B2区-O07-Ⅱb層	ⅡB-2	-×28.7×-	RL	-	横穴底	褐色	良好		38-401	17-51-30
62-567	深鉢	B1区-J10	ⅡB-2	-×31.8×-	RL	-	-	褐色	良好		38-402	2-64-103
62-568	鉢	B2区-O08-Ⅱb層	ⅡB-2	70×12.6×13.2	LR	-	木炭痕	灰色	良好		38-403	17-51-28
62-569	鉢	B2区-H07-Ⅱb層	ⅡB-2	11.3×11.8×6.9	RL	-	-	褐色	良好		38-404	17-50-25
63-570	深鉢	B2区-O07-Ⅱb層	ⅡB-2	34.6×29.8×9.8	RL	ミガキ	横穴底	褐色	良好		38-405	17-50-27
63-571	鉢	B2区-R06-Ⅱb層	ⅡB-2	11.0×11.7×5.4	LR	-	ナデ	褐色	良好		38-405	17-50-24
63-572	鉢	B2区-O06-Ⅱb層	ⅡB-2	14.3×14.1×6.9	RL	-	ササ	褐色	良好		38-407	17-51-29
63-573	深鉢	D1区-YL00-Ⅱb層下位	ⅡB-2	14.8×13.2×7.5	LR	-	ササ	灰色	良好		40-408	4-40-46
63-574	深鉢	D1区-YF01	ⅡB-2	14.8×13.8×8.3	L	-	-	灰色	良好		40-409	4-40-48
63-575	深鉢	D2区-YG04-Ⅱb層	ⅡB-2	(19.5)×-×-	R	ナデ	-	褐色	良好		40-410	6-65-65
63-576	深鉢	D2区-ZZ01-Ⅱb層	ⅡB-2	17.8×(18.2)×6.8	LR	-	ナデ	褐色	良好		40-411	5-57-63
63-577	深鉢	D2区-YB03-Ⅱb層	ⅡB-2	31.8×30.1×12.2	RL	-	ササ	褐色	良好		40-412	5-56-62
63-578	深鉢	D2区-ZY05-Ⅱb層	ⅡB-2	-×27.5×-	L	-	-	灰色	良好			6-66-67
64-579	深鉢	D2区-ZZ02-Ⅱb上面	ⅡB-2	(27.8)×(24.8)×10.0	LR	-	-	灰色	良好		40-413	6-66-61

第27表 土器観察表(20)

調査番号	器種	出土区・遺構・クワッド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径cm)	地文	断面形状	底面	色調	焼成	遺構の重複など	写真番号	既存観文
64-580	深鉢	D2区-ZY05-Ⅱb層	ⅡB-2	(24.8)×30.2×(11.2)	RL	-	ササ	灰色	良好		40-414	6-56-59
64-581	深鉢	D2区-YA03-Ⅱb層	ⅡB-2	29.3×25.8×11.0	RLR	ナデ	横穴底	灰色	良好		40-415	6-57-69
64-582	深鉢	D2区-ZY05-Ⅱb層	ⅡB-2	38.3×(22.8)×10.5	RL-R	ミガキ	ナデ	褐色	良好		40-416	6-57-65
64-583	深鉢	D2区-YB03-Ⅱb層	ⅡB-2	28.2×28.8×8.8	RL	-	木炭痕	褐色	良好		40-417	6-57-62
64-584	深鉢	D2区-YG07-Ⅱb層	ⅡB-2	(18.8)×(13.2)×(9.0)	LR	ナデ	-	灰色	良好		40-418	6-57-64
65-585	深鉢	D3区-YB05-Ⅱb層	ⅡB-2	17.2×11.0×7.0	L	-	-	灰色	良好		40-419	10-67-46
65-586	深鉢	D3区-YB08-Ⅱb層	ⅡB-2	13.8×12.5×5.0	RL	不明	-	灰色	良好		41-420	10-67-41
65-587	深鉢	D6区-ZZ05-Ⅱb層上段	ⅡB-2	36.8×31.8×12.8	LR	ナデ	-	褐色	良好		41-421	11-63-20
65-588	深鉢	D6区-YD09-Ⅱb層	ⅡB-2	-×22.2×-	LR	ミガキ	-	灰色	良好		41-422	10-67-42
65-589	深鉢	D6区-ZL101-Ⅱb層	ⅡB-2	37.7×28.1×15.8	LR	-	-	褐色	良好		41-424	11-63-21
65-590	深鉢	D6区-ZM09-Ⅱb層	ⅡB-2	26.1×28.0×10.7	LR	-	-	褐色	良好		41-423	11-64-22
65-591	深鉢	D7区-A01-Ⅱb層	ⅡB-2	-×14.7×-	RL	-	-	灰色	良好		41-425	12-45-36
66-592	深鉢	D7区-ZH04	ⅡB-2	17.2×-×-	RL	-	-	灰色	良好		41-426	12-45-35
66-593	深鉢	D7区-ZI03-Ⅱb層	ⅡB-2	17.8×14.7×7.9	LR	-	ナデ	灰色	良好		41-428	12-45-37
66-594	深鉢	D7区-ZH03-Ⅱb層	ⅡB-2	15.9×18.8×8.2	L	ミガキ	ササ ナデ	褐色	良好		41-430	12-45-41
66-595	深鉢	D7区-ZI04-Ⅱb層	ⅡB-2	18.6×18.8×7.7	R	ミガキ	ナデ	褐色	良好		41-427	12-45-38
66-596	深鉢	D8区-ZS07-Ⅱb層	ⅡB-2	10.9×12.2×4.8	LR	-	不明	灰色	良好		41-429	15-62-15
66-597	深鉢	F1区-S-K03-Ⅱb層	ⅡB-2	10.6×10.8×5.4	LR	-	ササ	褐色	不良			6-66-24
66-598	深鉢	D9区-YL00-Ⅱb層下位	ⅡB-2	(35.0)×28.0×-	LR	-	-	灰色	良好			19-49-8
66-599	深鉢	F1区-SK028	ⅡB-2	(35.0)×(22.1)×-	LR	ナデ	-	褐色	良好		41-431	6-62-14
66-600	深鉢	D9区-YL04-Ⅱb層	ⅡB-2	-×20.8×-	LR	-	-	褐色	良好			
67-601	深鉢	F1区-O103-Ⅱb層上段	ⅡB-2	37.5×28.8×11.0	LR	-	ナデ	灰色	良好			16-17-8
67-602	深鉢	F1区-T104T-107-1Ⅱb層	ⅡB-2	25.1×21.6×9.0	LR	-	横穴底	褐色	良好		41-432	6-68-22
67-603	深鉢	F1区-X105-Ⅱb層上段	ⅡB-2	-×(23.2)×-	R	-	-	灰色	良好			6-69-30
67-604	深鉢	F1区-Y104	ⅡB-2	-×(22.0)×-	RL	-	-	褐色	良好			6-69-29
67-605	深鉢	F2区-YM115-Ⅱb層	ⅡB-2	31.0×28.3×10.6	LR	-	-	灰色	良好		42-433	7-25-5
67-606	鉢	F4区-YK104-Ⅱb層	ⅡB-2	10.8×11.5×6.7	LR	-	ナデ	褐色	良好		42-435	13-49-20
67-607	深鉢	G1区-B08-Ⅱb層中下位	ⅡB-2	31.8×28.5×8.5	RL	ナデ	スリレ	褐色	良好		42-434	9-22-6
67-608	片口	D2区-SK005	ⅡB-2	8.0×12.2×6.5	LR	-	横穴底	褐色	良好	SB221b-SK005	42-438	4-39-5
68-609	壺	D1区-SK389	ⅡB-3	-×11.3×-	R	ナデ	ササ	褐色	良好		42-437	10-49-3

第28表 土器観察表(21)

図説番号	器種	出土区・遺構・グリッド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径cm)	地文	器面装飾	底面	色別	焼成	通稱の置数など	写真番号	既存標文
68-610	深鉢	B2区-SK0301	ⅤB-3	34.5×24.7×11.9	R	ミガキ	ナデ	にんげん色	良好		42-436	17-42
68-611	壺	D3区-YF-08・Ⅲa層	ⅤB-3	14.7×6.4×6.3	L	—	ナデ	茶褐色	良		42-438	10-67-45
68-612	壺	D7区-SK22	ⅤB-3	19.4×7.7×4.8	L	—	ナデ	にんげん色	良好	SK21→SK22	42-440	12-34-4
68-613	壺	F1区-YB-104・Ⅲd層上位	ⅤB-3	-×(6.8)×-	R	—	—	褐色	良好			6-68-1
68-614	深鉢	D4区-SK0305	ⅤB-3	-×2.1×-	L	ミガキ	—	にんげん色	良好		42-441	4-64-4
68-615-1	深鉢	F1区-SK0406	ⅤB-3	29.1×(25.1)×10.7	R	—	—	茶褐色	良好		42-442	6-43-1
68-615-2	深鉢	D4区-SK249	ⅤB-3	35.8×24.8×11.4	R	ミガキ	ササ	にんげん色	良好	SK2120→SK249	42-443	4-74-8
68-616	深鉢	D2区-SK332	ⅤB-3	-×2.2×-	R	—	—	にんげん色	不痕	SK332→SK338		4-59-7
68-617	深鉢	D9区-SK0701	ⅤB-3	31.7×24.5×11.5	L	ミガキ	ササ	茶褐色	良		42-444	13-32-12
68-618	深鉢	D2区-ZF-06・Ⅲd層	ⅤB-3	11.4×24.3×3.0	L	ミガキ	ササ	茶褐色	良		42-445	5-65-61
68-619	深鉢	F1区-Y-17	ⅤB-3	15.4×13.5×7.0	R	—	—	茶褐色	良好		43-446	7-40-8
70-620	深鉢	D1区-S204	ⅤB-3	30.2×25.0×-	L	—	—	茶褐色	良好		43-447	4-50-7
70-621	深鉢	D9区-SK0701	ⅤB-3	16.1×14.5×6.4	L	—	—	にんげん色	良好		43-448	13-32-13
70-622	深鉢	D9区-SK02	ⅤB-3	-×2.7×-	L	—	—	にんげん色	良好			13-32-15
70-623	深鉢	D9区-SK0701	ⅤB-3	34.2×22.2×12.0	L	ミガキ	ナデ	茶褐色	良好			13-32-11
70-624	深鉢	D7区-ZF-04・Ⅲa層	ⅤB-3	33.2×24.8×9.9	L	—	—	茶褐色	良好		43-449	6-62-12
71-625	深鉢	F1区-SK0702	ⅤB-3	-×22.7×-	R	—	—	褐色	良		43-451	12-46-42
71-626	深鉢	D7区-ZF-04・カウラ	ⅤB-3	26.9×21.2×8.4	R	ナデ	不明	茶褐色	良好		43-452	12-46-43
71-627	深鉢	D4区-SK0701	ⅤB-3	33.3×24.5×11.4	R	ミガキ	ミガキ	にんげん色	良好		43-453	4-64-1
71-628	深鉢	D2区-SK0301	ⅤB-3	(32.0)×27.2×-	L	ミガキ	—	褐色	良	SK21202→SK0701	43-454	8-24-11
71-629	深鉢	D4区-SK0206a	ⅤB-3	-××11.6	R	—	—	にんげん色	良好			4-66-3
72-630	深鉢	B1区-Y-102・Ⅲc層	ⅤB-3	33.7×30.0×9.8	R	ミガキ	ササ	茶褐色	良好		43-455	2-50-97
72-631	深鉢	D2区-ZF-05・Ⅲd層	ⅤB-3	-×2.69×-	L	ナデ	—	にんげん色	良			5-56-30
72-632	深鉢	B1区-Y-102・Ⅲc層	ⅤB-3	36.0×29.0×13.0	R	—	—	茶褐色	良好			2-50-96
72-633	深鉢	B1区-C-022・Ⅲb層	ⅤB-3	22.7×(17.0)×9.2	R	—	スグレ	にんげん色	良好		43-456	2-50-95
72-634	深鉢	D1区-SK303	ⅤB-3	32.4×28.8×11.3	R	ミガキ	—	褐色	良好	SK07024→SK303	43-457	4-72-7
73-635	深鉢	F1区-SK065	ⅤB-3	-×2.28×-	L	—	—	褐色	良		44-458	6-61-9
73-636	深鉢	D6区-ZF-07・Ⅲa層	ⅤB-3	38.4×30.8×11.3	L	ナデ	—	褐色	良好		44-459	11-54-26
73-637	深鉢	B1区-SK0701	ⅤB-3	24.0×20.5×12.3	R	ミガキ	—	褐色	良好			2-39-17

第29表 土器観察表(22)

図説番号	器種	出土区・遺構・グリッド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径cm)	地文	器面装飾	底面	色別	焼成	通稱の置数など	写真番号	既存標文
74-638	深鉢	D6区-ZF-100・Ⅲc層	ⅤB-3	30.5×20.5×11.0	R	—	—	にんげん色	良好			11-54-23
74-639	深鉢	A1区-SK0318	ⅤB-4	-×13.9×-		ナデ	—	にんげん色	良		44-461	2-21-2
74-640	深鉢	B4区-SK212	ⅤB-4	34.8×28.4×13.2		—	—	にんげん色	良好	SK212→SK441		18-44-3
74-641	深鉢	F1区-SK0702	ⅤB-4	49.1×28.2×12.8		ミガキ	網代	茶褐色	良好		44-462	9-50-15
74-642	深鉢	B1区-D-003・Ⅲ層	ⅤB-4	35.0×26.2×13.4		—	—	にんげん色	良好			2-32-93
75-643	深鉢	B2区-Y-08Ⅱ・Ⅲab層	ⅤB-4	-×25.1×-		—	—	茶褐色	良好			17-81-31
75-644	深鉢	B4区-Y-100・Ⅲc層	ⅤB-4	33.2×28.4×(11.0)		ナデ	ナデ	茶褐色	良		44-465	2-62-92
75-645	深鉢	D3区-YB-15・Ⅲd層	ⅤB-4	-×25.2×-		ナデ	—	にんげん色	良好		44-463	10-67-47
75-646	深鉢	F3区-YF-109・Ⅲ層上位	ⅤB-4	(18.9)×(16.3)×(6.0)		ミガキ	—	茶褐色	良好		44-464	9-10-6
75-647	深鉢	F4区-YO-101・Ⅲab層	ⅤB-4	34.0×××11.0		ミガキ	—	にんげん色	良好		44-466	13-49-27
76-648	ミニチュア	B1区-Y-103・Ⅲ層	ⅤB-5	4.9×2.5×2.0		—	—	茶褐色	良好			2-49-54
76-649	壺	D3区-YD-05・Ⅲd層	ⅤB-5	5.9×2.9×3.0		—	—	にんげん色	良			10-68-48
76-650	ミニチュア	D7区-ZA-50・Ⅲa層	ⅤB-5	4.8×2.8×2.1		—	—	にんげん色	良好			12-47-50
76-651	ミニチュア	F4区-YD-06・Ⅲ層	ⅤB-5	5.3×3.5×1.5		—	—	茶褐色	良好			13-51-45
76-652	ミニチュア	D9区-YA-75・Ⅲd層中位	ⅤB-5	6.4×2.3×2.4		—	—	にんげん色	良好			13-49-12
76-653	ミニチュア	D7区-ZB-61・Ⅲab層	ⅤB-6	6.7×4.1×2.1	LR	—	—	にんげん色	良好			12-47-54
76-654	ミニチュア	D7区-ZF-04・カウラ	ⅤB-5	3.5×2.4×1.3		—	—	茶褐色	良			12-47-53
76-655	ミニチュア	D1区-YA-02・Ⅲb層下位	ⅤB-5	4.3×3.5×1.4		—	—	にんげん色	良			4-56-3
76-656	欠番											
76-657	ミニチュア	D8区-ZF-05・Ⅲc層	ⅤB-5	2.9×4.9×2.1		—	—	茶褐色	良好			11-55-27
76-658	ミニチュア	F3区-YD-107・Ⅲd層	ⅤB-5	2.8×(5.4)×1.5		—	—	にんげん色	良			9-16-3
76-659	ミニチュア	D1区-YF-02・Ⅲa層下位	ⅤB-5	5.6×(8.4)×2.2		—	—	茶褐色	良好			4-66-2
76-660	ミニチュア	D3区-ZF-09・Ⅲa層	ⅤB-5	4.8×4.8×2.4		—	—	にんげん色	良好			10-61-4
76-661	ミニチュア	F1区-Y-104・Ⅲb層上位	ⅤB-5	2.9×3.4×1.5		—	—	にんげん色	良			6-71-40
76-662	ミニチュア	D9区-ZF-07・Ⅲd層	ⅤB-5	-××3.8, 7		—	—	にんげん色	良好			11-50-31
76-663	ミニチュア	D9区-YJ-08・Ⅲd層中位	ⅤB-5	7.1×4.8×3.2		—	—	茶褐色	良好			13-49-10
76-664	ミニチュア	D5区-FB095	ⅤB-5	7.9×6.1×2.2		—	—	茶褐色	良好			11-52-16
76-665	ミニチュア	F1区-SK065	ⅤB-5	-××2.0		—	—	にんげん色	良	SK065→SK065→SK065		6-60-1
76-666	ミニチュア	B2区-S-49・Ⅲb層	ⅤB-5	3.9×3.5×1.7		—	—	茶褐色	良好			17-82-33

第30表 土器観察表(23)

図号	器種	出土区・遺構・グリッド・層位	土器分類	法量(高さ×口径×底径, cm)	形状	被覆面	底面	色別	焼成	遺構の遺跡など	寄託番号	既存報告
78-607	ミニチュア	D5区-Z1-104-I-II層	ⅤB-5	46×-×(底)				II-A・III-A	良好			9-48-2
78-608	壺	D4区-Z2-97-IIIa層	ⅤB-6	60×20×60				III-A	良好			10-133-2
78-609	ミニチュア	D4区-O-86-IIIa層	ⅤB-5	-×-×15				II-A・III-A	良好			8-25-10
78-610	ミニチュア	D7区-ZD-91-IIIc層	ⅤB-5	40×33××12				III-A	良好			17-47-52
78-611	ミニチュア	D6区-ZD-97-IIIb層上段	ⅤB-6	31×29×46				III-A	良好			11-55-32
84-612	壺	F6区-YD-114-IIIa層		-×-×51		ミガキ	ササ	III-A	良好			14-20-6
78-613	ミニチュア	F4区-YD-111-IIIa層		39×48×29				III-A	良好			13-51-41
88-614	片口	D5区-SK30		206×119×69		ミガキ		III-A				9-48-18
	漆鉢	D8区-SK(1)11		265×235×88	RL		網代	III-A	良好		1001	
	漆鉢	D1区-p819		245×215×85	RL	ナデ	網代	III-A	良好		1002	
	漆鉢	D5区-Z2-103-IIId層		193×206×70	LR	ミガキ	ササ	III-A	良好		1003	9 実測未記載
	漆鉢	D5区-Z2-103-IIId層		212×214×110	LR	ナデ	網代	III-A	良好		1004	9 実測未記載
	漆鉢	F3区-Y1-109-IIIa層		315×280×-	L		網代	III-A	良好		1005	9 実測未記載
	漆鉢	D5区-Z2-103-IIId層		450×310×-	LR	ミガキ		III-A	良好		1006	9 実測未記載
	漆鉢	D5区-Z2-103-IIId層		337×262×-	RL			III-A	良好		1007	9 実測未記載
	壺	D5区-YD-105-IIIa層		380×140×115	LR			III-A	良好		1008	9 実測未記載
	漆鉢	D5区-Z2-104-IIId層		271×232×112	LR			III-A	良好		1009	9 実測未記載
	漆鉢	F3区-Y1-109-IIIa層		418×295×-				III-A	良好		1010	9 実測未記載
	漆鉢	D3区-YB-65-IIIa層		175×167×66	LR		ササ	III-A	良好		1011	
	壺	D5区-Z2-103-IIId層			RL			III-A	良好		1012	9 実測未記載
	壺	D5区-Z2-103-IIId層		-×-×73	RL	ミガキ	ナデ	III-A	良好		1013	9 実測未記載
	壺	D5区-Z2-99-IIIb層		-×-×53	RL		網代	III-A	良好		1014	9 実測未記載

(2) 土器分布

第1次調査～25次調査において出土した土器は遺構内・外を合わせコンテナ(規模:横34cm×縦54cm×高さ7～20cm)1,039箱、復元・図化土器(以下「復元土器」という)は1,078点である。その内訳は遺構内75箱・293点、遺構外964箱・785点である。

史跡内から出土した土器は縄文時代早期～晩期の土器が出土しているが主体となるものは後期初頭～中葉にかけてのものである。ここでは、調査区(A区～H区)ごとに遺構外土器を中心に分布状況を述べていく。

【A区】(第80図)

野中堂環状列石の東側から史跡東端、大湯ストーンサークル館と県道を挟む地区である。遺構は、調査区中央から一本木後口配石遺構群、同遺構群から野中堂環状列石よりに配石遺構群(第23次調査ではa群・b群と呼んでいる)が発見されている。

遺構外から出土した土器はコンテナ5箱分で、配石遺構群内及びその周辺からである。遺物廃棄域を構成するような多量の土器分布は見られなかった。

後期前葉の第IV群土器が主体となり、後期中葉の第V群～VI類土器は含まれない。

遺構内からの出土遺物は少ない。甕棺土器が出土した第12号・16号配石遺構のほか、石鏃や赤色顔料を塗付した木製品を出土した第17号・第3号配石遺構がある。

【B区】(第81図、82図、83図)

野中堂環状列石を中心とした地区である。環状列石東側については未調査部分があり、さらに

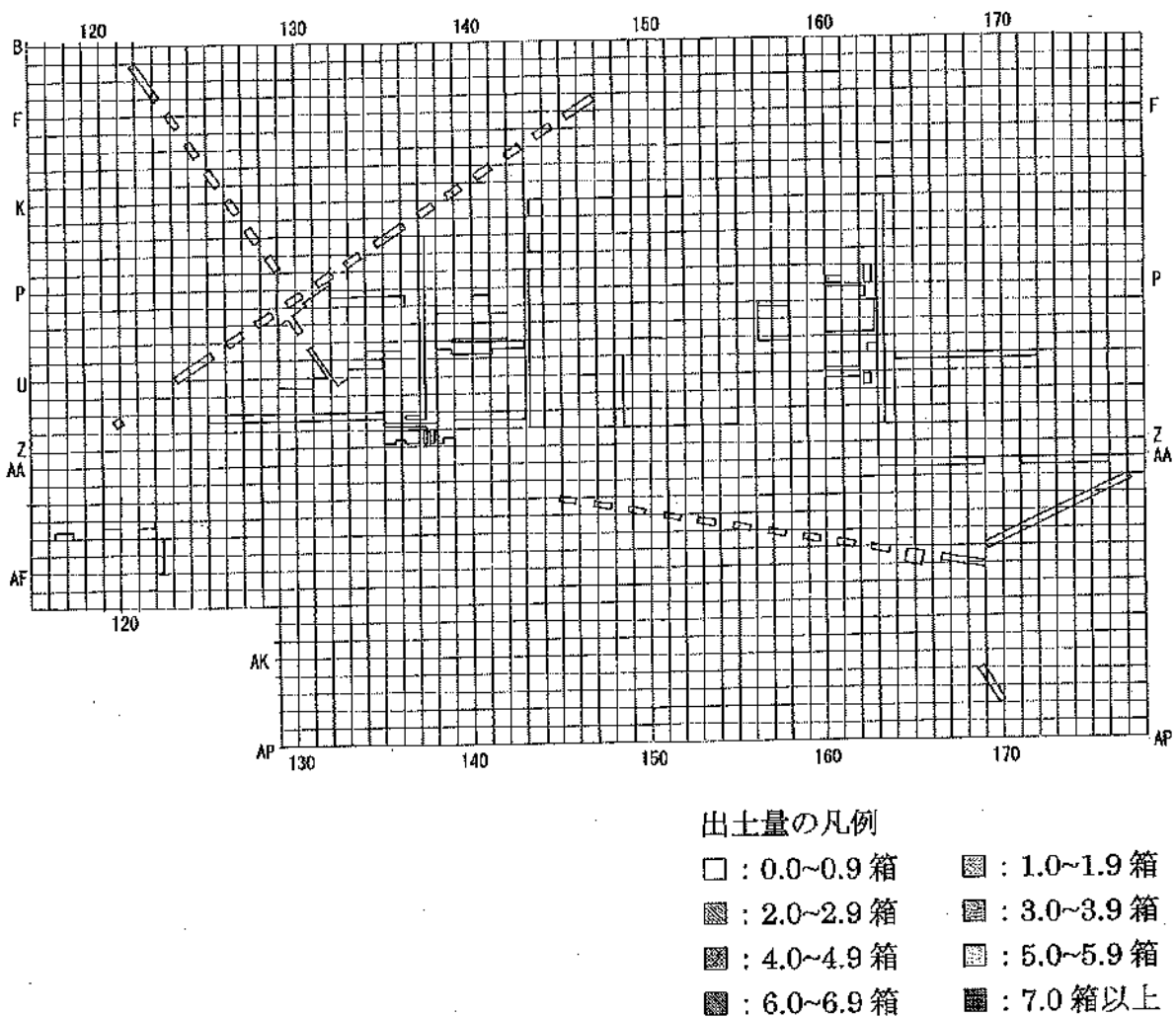
遺構については半裁ととどめたことから全体的な遺物の出土量は不明である。

遺構分布は、万座環状列石の隣接地・周辺部と同様に掘立柱建物跡、土坑・フラスコ状土坑、遺物廃棄域が同心円状に配置されるものと考えられている。

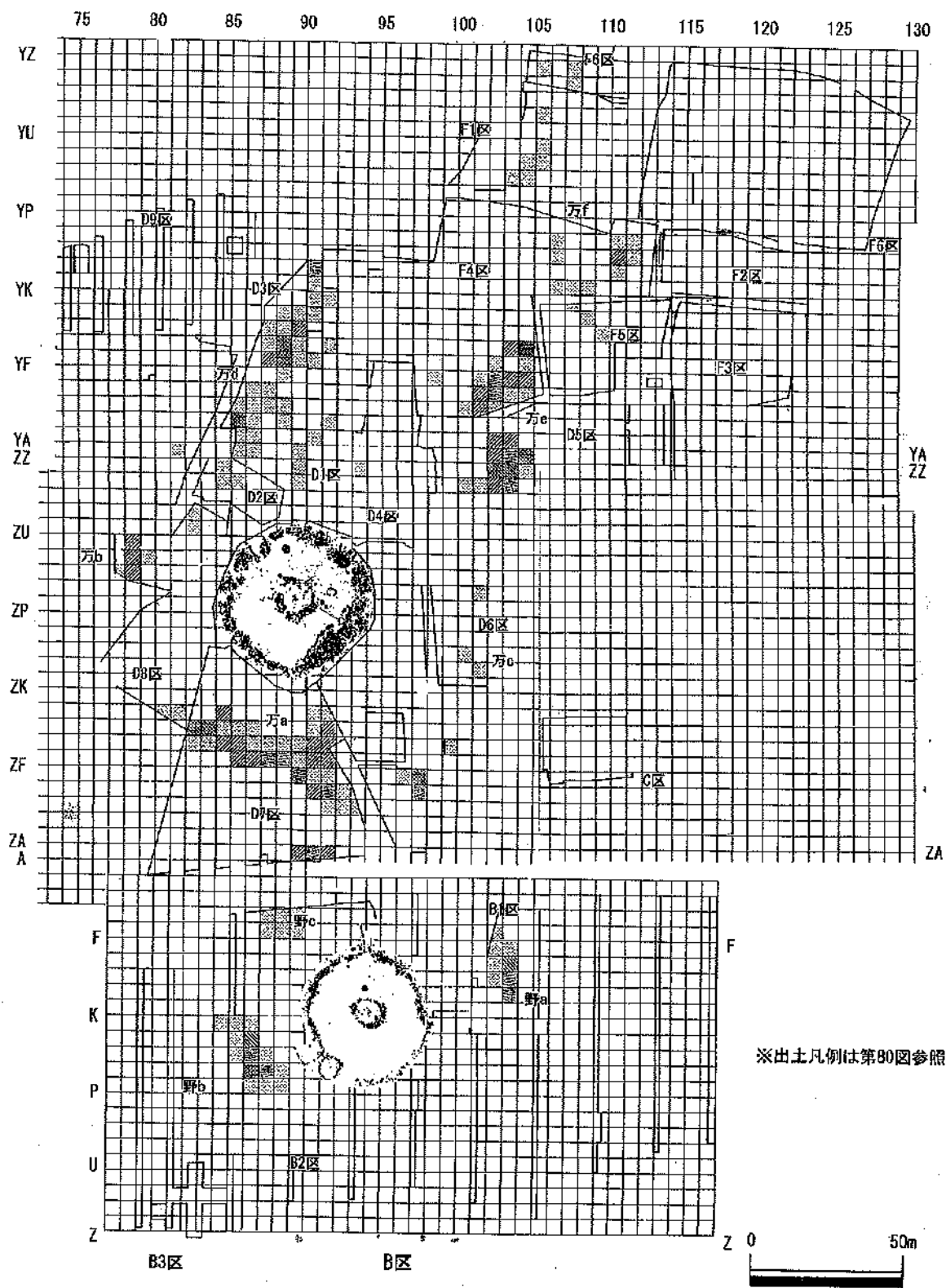
遺構外からコンテナ116箱、復元土器116点、遺構内からの土器は6箱、55点が出土した。後期前葉の第IV群のほか第VIII群土器が主体となり、後期中葉の第V群土器の含有量は極めて少ない。

第81図は各グリッドの土器出土量、第84図には復元・図化土器の分布状況を示した。この図から列石の北側（野a）・西側（野b）・南西側（野c）に遺物廃棄域が存在するを読み取ることができる。三つの廃棄域から全体の9割以上が出土している。

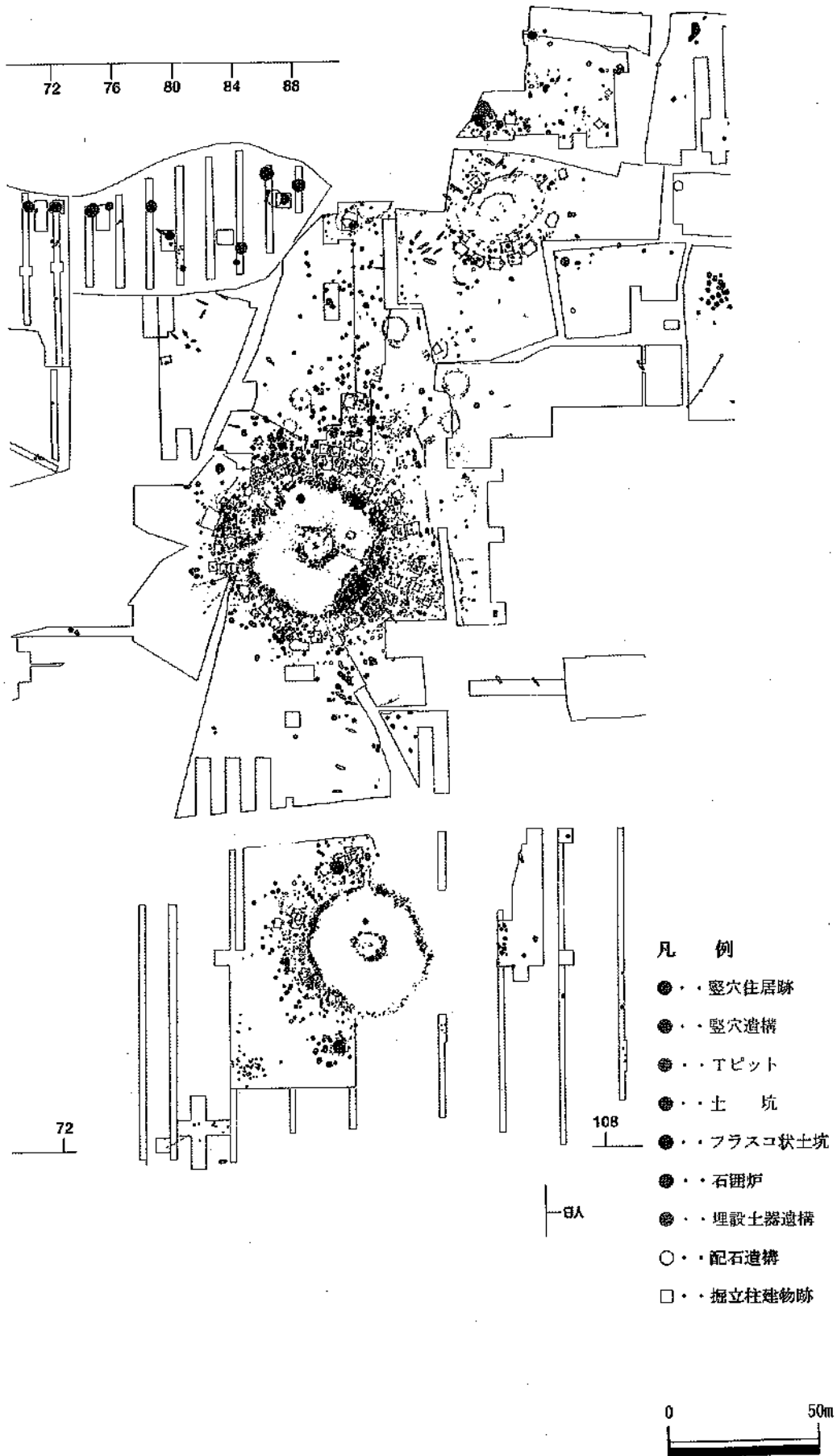
廃棄域野aは、列石から北側へ15m～35m程離れた範囲で、長軸25m×短軸15m程を測る。遺構外からコンテナ34箱、復元土器69点が出土した。後期前葉の第IV群のほか第VIII群土器が主体を占め、後期中葉の第V群土器は極めて少量である。遺構内から出土した土器片や復元土器も多い。フラスコ状土坑からの出土が非常に多く、第101号フラスコ状土坑のように10点以上もの復元土器が出土したのものもある。なお、遺構内から後期中葉の第V群土器が出土したものは見当たらなかった。



第80図 土器出土量分布図(1)



第81图 土器出土量分布图(2)



第82図 環状列石周辺遺構分布

廃棄域野 b は、列石から15m~30mの範囲、同環状列石の南側出入口とその延長線上を塞がぬように広がっており、長軸35m×短軸15m程を測る。コンテナ59箱、復元土器35点が出土した。後期前葉の第IV群のほか第VIII群土器が主体を占めるが、野 a よりは後期中葉の第V群土器が多く含まれる。遺構内出土の土器については遺構保護のため半裁に留めたことから野 a と比較することが難しいが、その量は極めて少なかった。

廃棄域野 c は、同列石の北西側10m~45mの範囲、史跡を縦断する県道下をすり抜けて万座環状列石に向けて、北西側の出入口（配石列）やその延長線上を塞がぬように広がっている。廃棄域としては遺物の分布密度が薄い長軸45m×短軸20m程を測る。廃棄域の北西端は万座環状列石の遺物廃棄域（万 a）付近まで延びるが、万座環状列石と直接的に関連すると考えられる遺構や遺物廃棄域と重複することはない。これは報告書（5）で示したように両環状列石と関連する遺構群や遺物廃棄域の範囲がすでに定まっていたことを示しているものと考えられることができる。

遺構外からコンテナ15箱余、復元土器が3点が出土した。後期前葉の第IV群土器のほか第VIII群土器が主体を占め、後期中葉の第V群土器が少量含まれる。なお、野中堂環状列石北西側に隣接する第1号竪穴住居跡から第V群土器が、野中堂環状列石の南側に位置する配石遺構群からは第IV群土器が出土している。

【C区】

万座環状列石の東側地区で、調査区一面にこの台地の基盤層に由来する礫群を確認した。この礫群の隙間からコンテナ6箱分の土器片と復元土器10点が出土した。遺物の分布密度は万座環状列石に近づくとつれて高くなる傾向が見られた。

土器は、後期前葉の第IV群のほか第VIII群土器が主体となっているが、後期中葉の第V群土器も僅かに含んでいる。

【D区・F区】（第81図、82図、83図）

万座環状列石隣接部及びその周辺がD区、同列石の北側の台地縁辺の範囲がF区である。

第82図にD区・F区の遺構配置図を示した。遺構は万座環状列石を中心に掘立柱建物群、土坑・フラスコ状土坑群、遺物廃棄域が同心円状に分布するほか、万座環状列石北側出入口（配石列）の延長線上に環状配石遺構群、環状に配置された掘立柱建物群（大規模な環状配石遺構と重複）、竪穴住居跡群が台地縁まで連なっている。

これらの遺構とともにD1区~D8区遺構外からコンテナ564箱と復元土器480点、遺構内からコンテナ55箱・156点が出土した。また、F1区・F3区・F4区・F6区遺構外からコンテナ260箱・41点、遺構内から13箱・41点が出土した。両地区とも後期前葉の第IV群土器が主体となるが、野中堂環状列石周辺と比べ後期中葉の第V群土器の割合がかなり高くなる。

第81図にD区・F区各グリッドの土器出土量、第84図に同区の復元土器の分布状況を示した。第81図と第82図・84図を重ね合わせると概ね6つの遺物廃棄域（万 a ~ f）が万座環状列石や北側に伸びる遺構群を意識しながら分布していることが看取できる。

廃棄域万 a（万座南東側）、万 b（万座南西側）、万 c（万座東側）は万座環状列石を中心とした同心円状の配置となっている。また、廃棄域万 d は万座西側に近い場所に廃棄域を構成していることから廃棄域万 a ~ 万 c と同様に万座を意識した分布を取っていたものと考えられるが、北側に大きく範囲を広げ、同列石の台地西側縁辺・5本柱建物跡付近まで広がっている。

さらに環状配石遺構群を意識したと考えられる廃棄域万 e、台地北側縁辺の竪穴住居跡群又は環状に配置された掘立柱建物群を意識したと考えられる廃棄域万 f がある。

廃棄域万 a は万座環状列石の南東側に位置し、想定される範囲は長軸50m×短軸20m程を測る。コンテナ約80箱の土器片、復元土器90点余が出土した。その主体は第IV群・第VIII群土器が占めるが第V群土器も少量含まれる。廃棄域は環状列石と同心円配置となった土坑・フラスコ状土坑群の外側に位置し、東西方向に大きく広がっている。しかし、廃棄域は同列石南側の出入口(配石列)とその延長線を塞ぐことはない。これは出入口という特殊性、延長線上に位置する万座配石遺構群との関連性を考慮していた結果と考えられる。

また、野中堂環状列石に向かい分布範囲を広げる箇所(万 a)もあるが、野中堂環状列石の廃棄域野 c と重複することはない。これは報告書(5)で示したように両環状列石と関連する遺構群や遺物廃棄域の範囲が環状列石構築当時すでに定まっていたことを示しているものと考えられることができる。

廃棄域万 b は万座南西側に位置し、想定される範囲は長軸20m×短軸20mを測る。コンテナ約12箱の土器片、復元土器10点が出土した。その主体は後期前葉の第IV群、VIII群土器が占めるが廃棄域万 a と比べ後期中葉の第V群土器の量が多くなっている。未調査部分もあり、廃棄域万 d と連続する可能性もある。

廃棄域万 c は万座東側に位置し、想定される範囲は長軸30m×短軸10m程を測る。コンテナ約10箱の土器片、復元土器6点が出土した。その主体は後期前葉の第IV群、第VIII群土器が占めるが後期中葉の第V群土器も少量含まれる。未調査地区があることからその範囲が広がる可能性が高い。

廃棄域万 d は同列石西側周辺から北西側の台地縁までの大きな範囲で、長軸75m×短軸25m程を測る。台地西縁(D9区)に分布する竪穴住居跡群と万座環状列石・環状配石遺構群の間に横たわっており、両者を区画する役割を持っていたものと想定できる。多量の土器片と復元土器94点が出土した。後期前葉の第IV群、第VIII群土器が廃棄域全域に分布しているのに対し、後期中葉の第V群土器は万座西側に位置する方形・環状配石遺構に隣接し集中し、復元土器の出土点数も多い。

廃棄域万 e は万座北側で確認されている環状配石遺構群の東側に隣接し、長軸50m×短軸25m程を測る。コンテナ73箱の土器片、復元土器31点が出土した。後期前葉の第IV群、第VIII群土器が占めるが、後期中葉の第V群土器の復元土器の割合が非常に高くなっている。

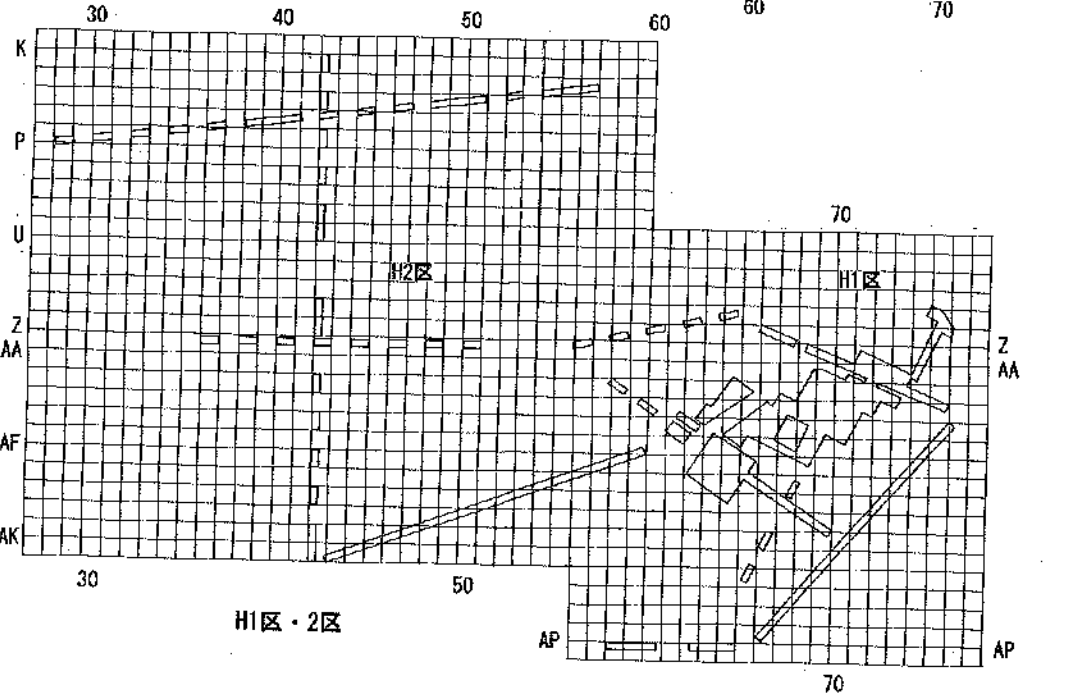
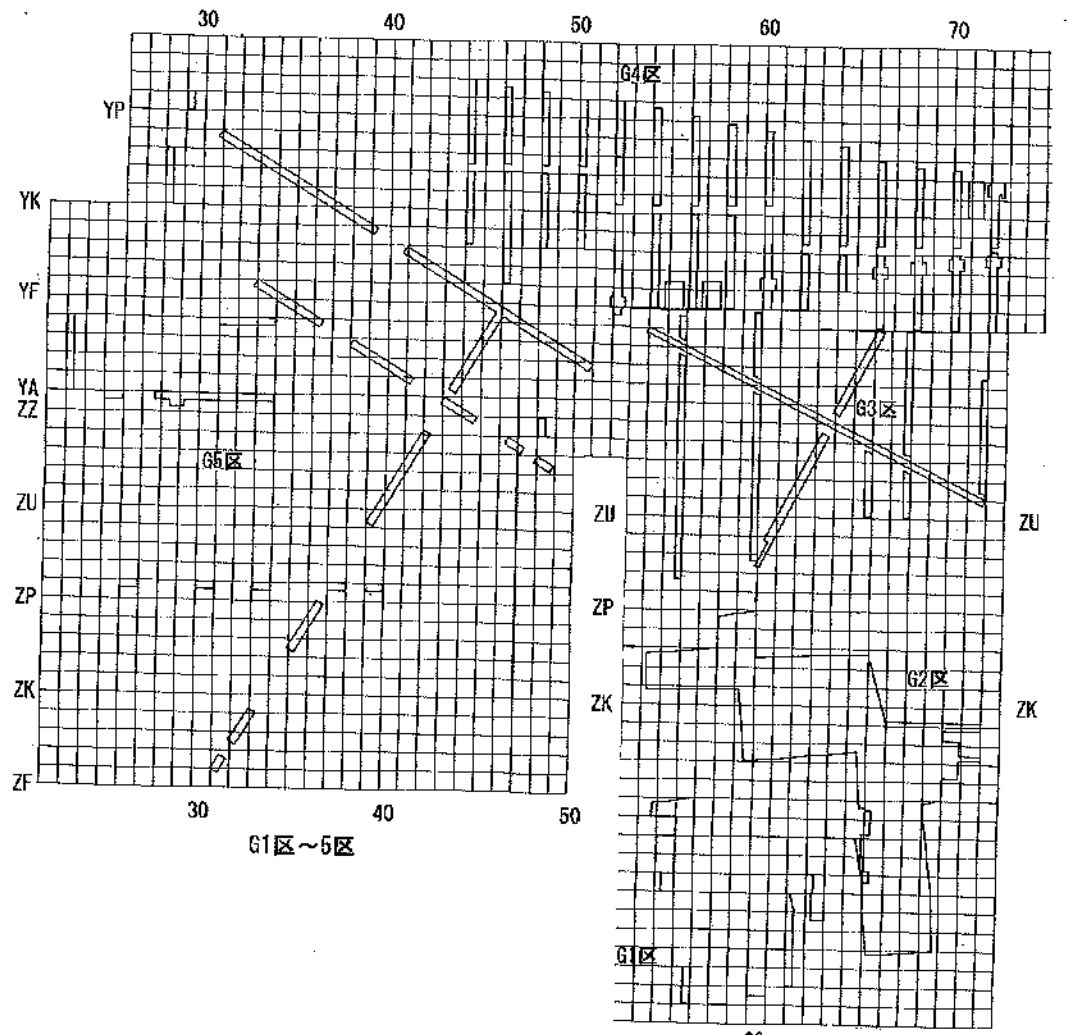
廃棄域万 f は台地北側縁辺の竪穴住居跡群の北側に隣接する。長軸25m×短軸10m程の小さな範囲からはコンテナ10箱余りの土器片、復元土器17点が出土した。後期前葉の第IV群、VIII群土器が主体となっているが、後期中葉の第V群土器も少量含まれている。

遺構配置と遺物出土状況を照らし合わせると、環状配石遺構が分布する範囲からの遺物の出土量は廃棄域と比べその量が第IV群・V群・VIII群土器とも極端に少なくなっている。これは環状配石遺構群構築の際に意識的に土器等を取り除くか、又は環状列石構築の際に場の設定がすでに計画されていたかのいずれかと考えることができる。前者の要因とすれば同列石の北西側・北側に遺物廃棄域が存在した可能性は高いと考えられる。

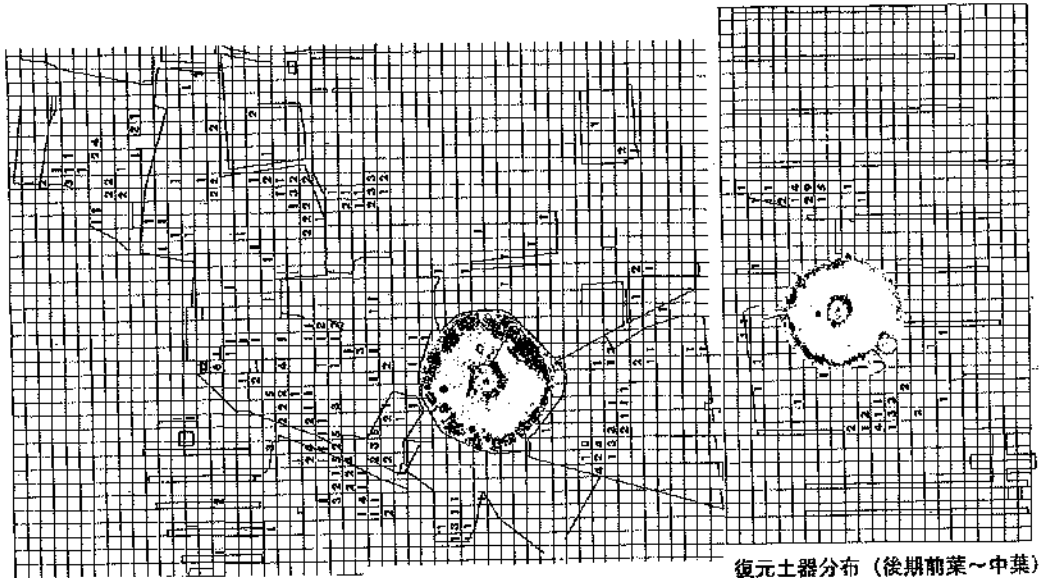
【E区】

史跡指定地北側に隣接する地区で指定地外となっている。鹿角市出土文化財管理センターの裏手、大湯ストーンサークル館用地にあたる地区で、Tピットやフラスコ状土坑が点在して確認された。

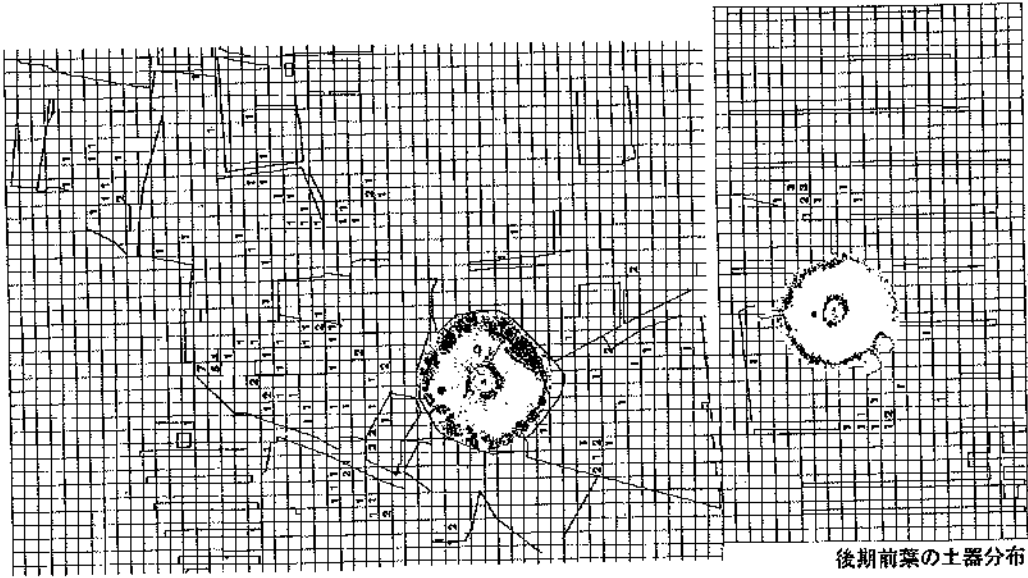
これらの遺構とともにコンテナ1箱足らずの土器片が出土しており、後期前葉の第IV群、第VIII群土器が主体となっている。



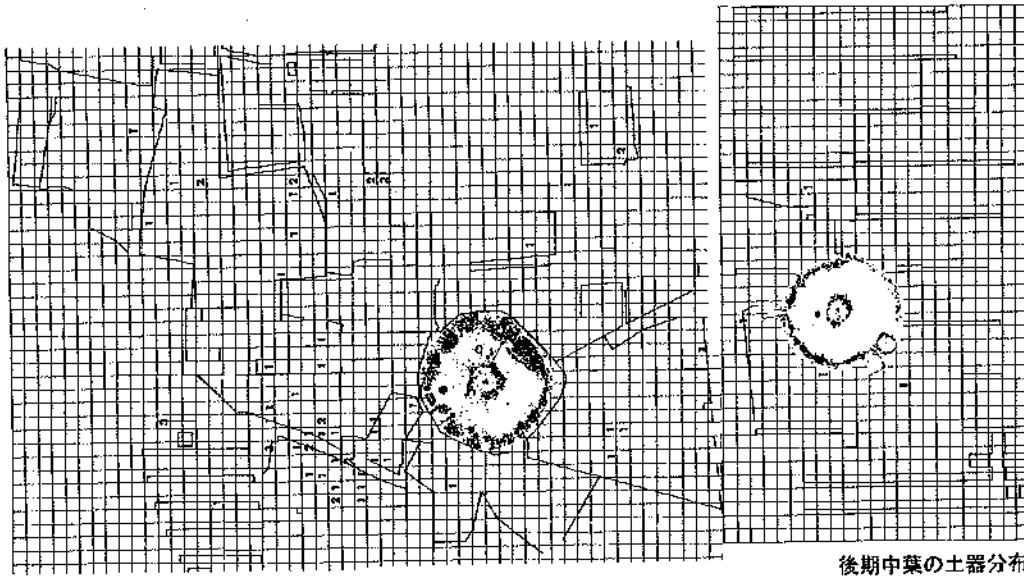
第83图 土器出土量分布图(3)



復元土器分布 (後期前葉~中葉)



後期前葉の土器分布



後期中葉の土器分布

環状列石から離れるに従って遺構分布密度が薄くなっていくように、土器出土量も希薄になることが判明した。

【G区】(第83図)

万座環状列石南側、同列石西側～西端にかけての地区である。同列石の南側出入口(配石列)の延長線上から万座配石遺構群、フラスコ状土坑群が確認されている他は、土坑やTピット、焼土遺構が点在している状況である。

遺構外からコンテナ5箱と復元土器16点、遺構内からコンテナ2箱が出土した。後期前葉の第IV群、第VIII群土器が主体を占めているが、後期中葉の第V群土器も僅かに含まれている。G区で検出された配石遺構群フラスコ状土坑群の構築時期は後期前葉と考えられる。

比較的まとまって出土した地域は、フラスコ状土坑群が確認された微高地(G1区)の東側斜面、史跡西側(G4区)に入り込んだ浅い沢状地形の窪み部分であるが、遺物廃棄域を作り出すまでに至っていない。この地域から出土した土器は第IV群、VIII群土器である。

環状列石から離れるに従って遺構分布密度が薄くなっていくように、土器出土量も希薄になることが判明した。

【H区】(第83図)

史跡南側～南端の地区である。野中堂環状列石の南側出入口の延長線上から配石遺構3基、配石列1条が確認されている。トレンチによる調査であったこと、遺構探査を目的としたボーリング探査に時間を費やしたことから、発掘面積も小さく、遺構外から192点の土器片が出土したのみである。後期前葉の第IV群、第VIII群土器で構成される。

土器片は遺構の周辺、ある地点から十数点まとまって出土する状況であった。遺物廃棄域を構成するような状況は見られなかった。

万座西側G区と同様に、環状列石から離れるにしたがって遺構分布密度が薄くなっていくように、土器出土量も希薄になることが判明した。

なお、各遺構から出土した土器については「遺構編」の各表中に、出土遺物に記載しているほか、特徴的なものについてはその概要を示している。

2 石器

大湯環状列石から出土した石器は14,443点を数え、そのうち剥片石器は11,717点、礫石器は2,726点である。石器はほぼ全域で出土している。万座環状列石と野中堂環状列石の周辺部からは万遍なく出土しているのに対し、一本木後口配石遺構群周辺のA区や環状列石から離れた区域では出土は疎らで、遺跡全体としての分布状況には偏りがみられる。

また、剥片石器と礫石器で分布状況にも違いがみられた。剥片石器は万座環状列石の東西、北側からの出土が多く、野中堂環状列石のまわりは全体的に多いが、特に南北側からの出土が多い。礫石器は分布の濃淡はそれほどみられず、万座環状列石の南側や北側台地の縁などにややまとまって分布している。野中堂環状列石でも同様で、北側でややまとまっている程度である。これらの分布状況を、土器の分布と比較すると、剥片石器・礫石器ともに、集中する区域は土器の集中域とほぼ一致している。

石 鏃 (第91図1～第94図202)

遺跡からは1,266点の石鏃が出土した。大半が万座・野中堂の環状列石の周囲から出土している。5m四方を1グリッドとしたグリッドあたりの分布状況としては、大半が1～3個であるが、部分的にまとまって出土する箇所が見られ、特に万座環状列石の北西、5本柱建物の周辺と、野中堂環状列石の北側部分では、1グリッドあたり12～24個といったまとまった数が確認されている。この分布状況は、土器の分布域と、ほぼ一致している。しかし、土器が多く出土する万座環状列石・野中堂環状列石の間からは、それほど多く出土していない。

また、遺構からの出土は69点と少なく、大半が1点のみの出土となっている。しかし、A2区第17号配石遺構からは13点、D9区第1号フラスコ状土坑からは7点とまとまって出土している。

石質は、硬質頁岩が最も多く、珪質頁岩、黒色頁岩、赤色頁岩と続く。

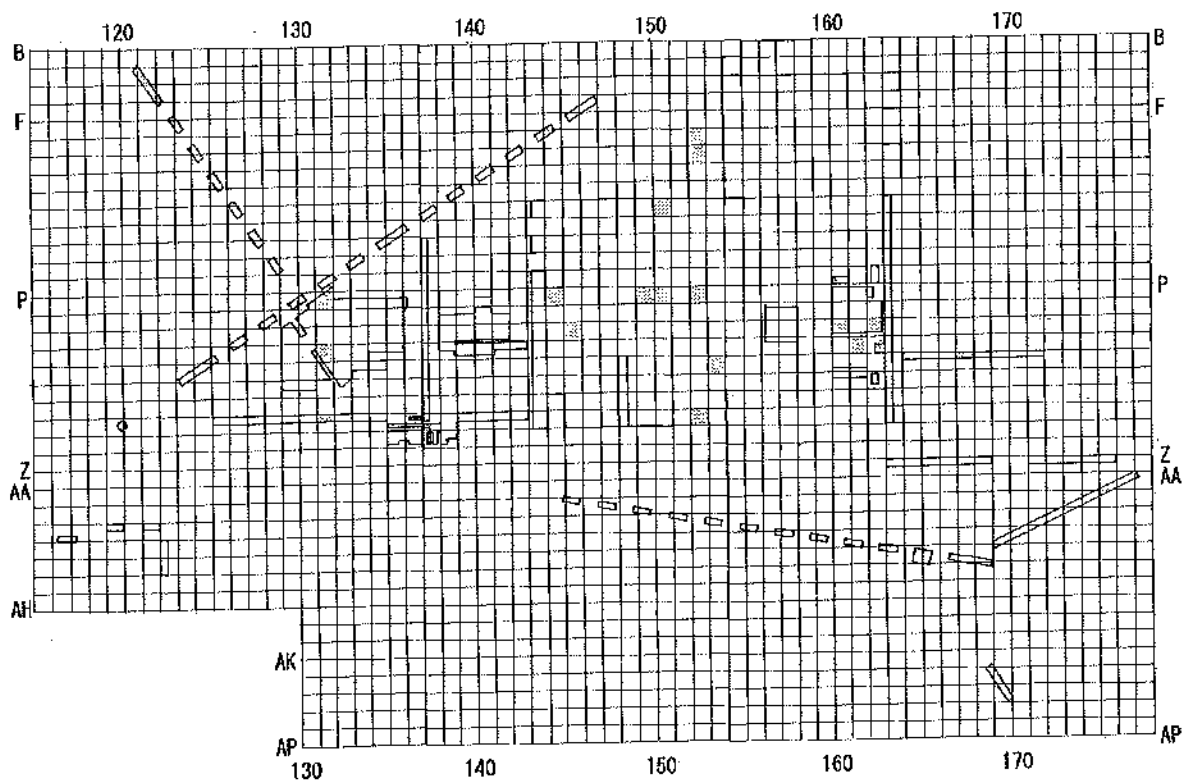
形態からⅢ群8類に分類される。

I群…有基石鏃で、形態から3類に細分される。

1類…平基石鏃で、遺跡内からは407点出土した。

2類…凸基石鏃で、遺跡内からは202点出土した。

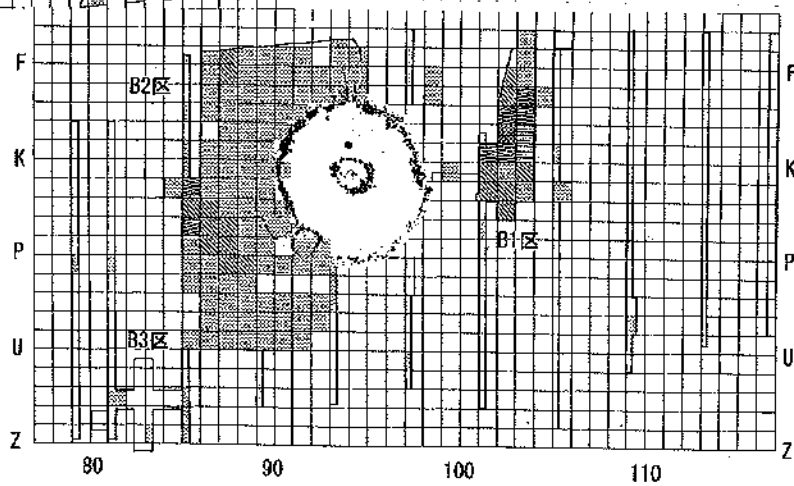
3類…凹基石鏃で、遺跡内からは268点出土した。



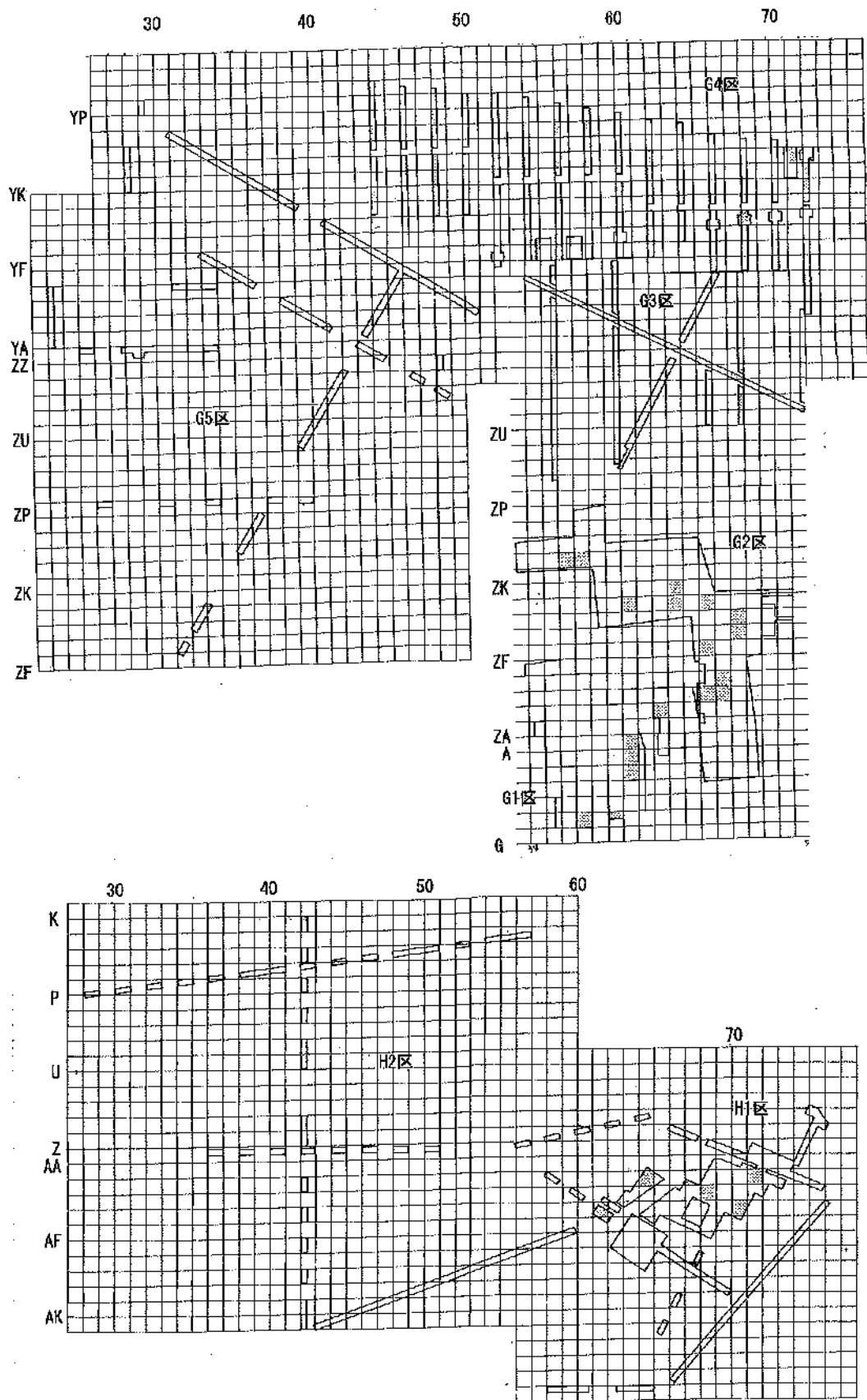
出土量の凡例

□ : 0個	▤ : 1～10個
▥ : 11～20個	▦ : 21～30個
▧ : 31～40個	▨ : 41～50個
▩ : 51～60個	▪ : 61個以上

第85図 剥片石器分布図(1)



第86图 剥片石器分布图(2)



第87图 剥片石器分布图(3)

Ⅱ群…無基石鏃で、形態から4類に細分される。

1類…平基石鏃で、遺跡内からは33点出土した。

2類…円基石鏃で、遺跡内からは80点出土した。

3類…尖基石鏃で、遺跡内からは146点出土した。

4類…凹基石鏃で、遺跡内からは61点出土した。

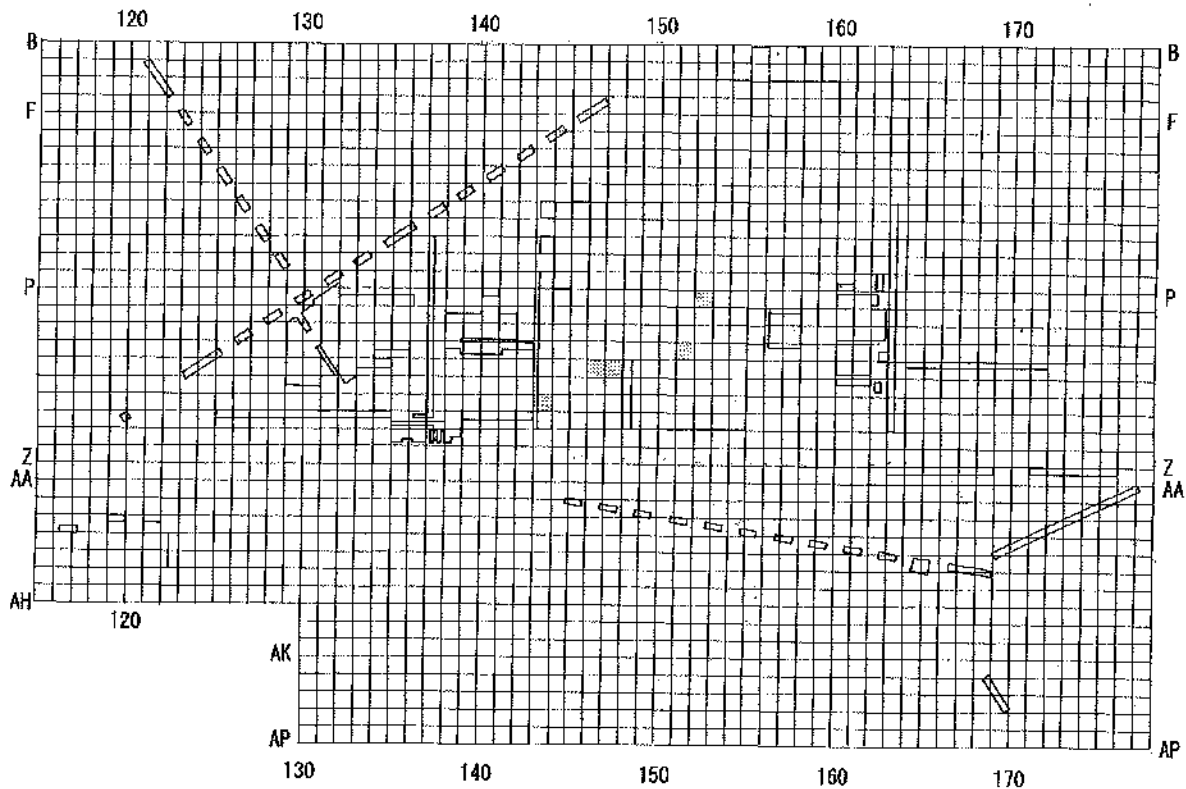
Ⅲ群…茎部にくびれをもつもので、遺跡内からは1点出土した。

石 鏃 (第95図203~243)

遺跡からは389点の石鏃が出土した。大半が万座・野中堂環状列石周辺と万座環状列石の北側から出土している。出土がやや集中しているのは、万座環状列石北側縁と5本柱建物跡がある西側縁、野中堂環状列石の南側出入口付近である。また、まばらにはあるが、万座・野中堂環状列石の中間から万座配石遺構群の方向に向かう分布も見られた。これは、他の石器類ではみられなかった分布状況であり、興味深い。

石質は硬質頁岩が最も多く、ほかに珪質頁岩、黒色頁岩などがある。

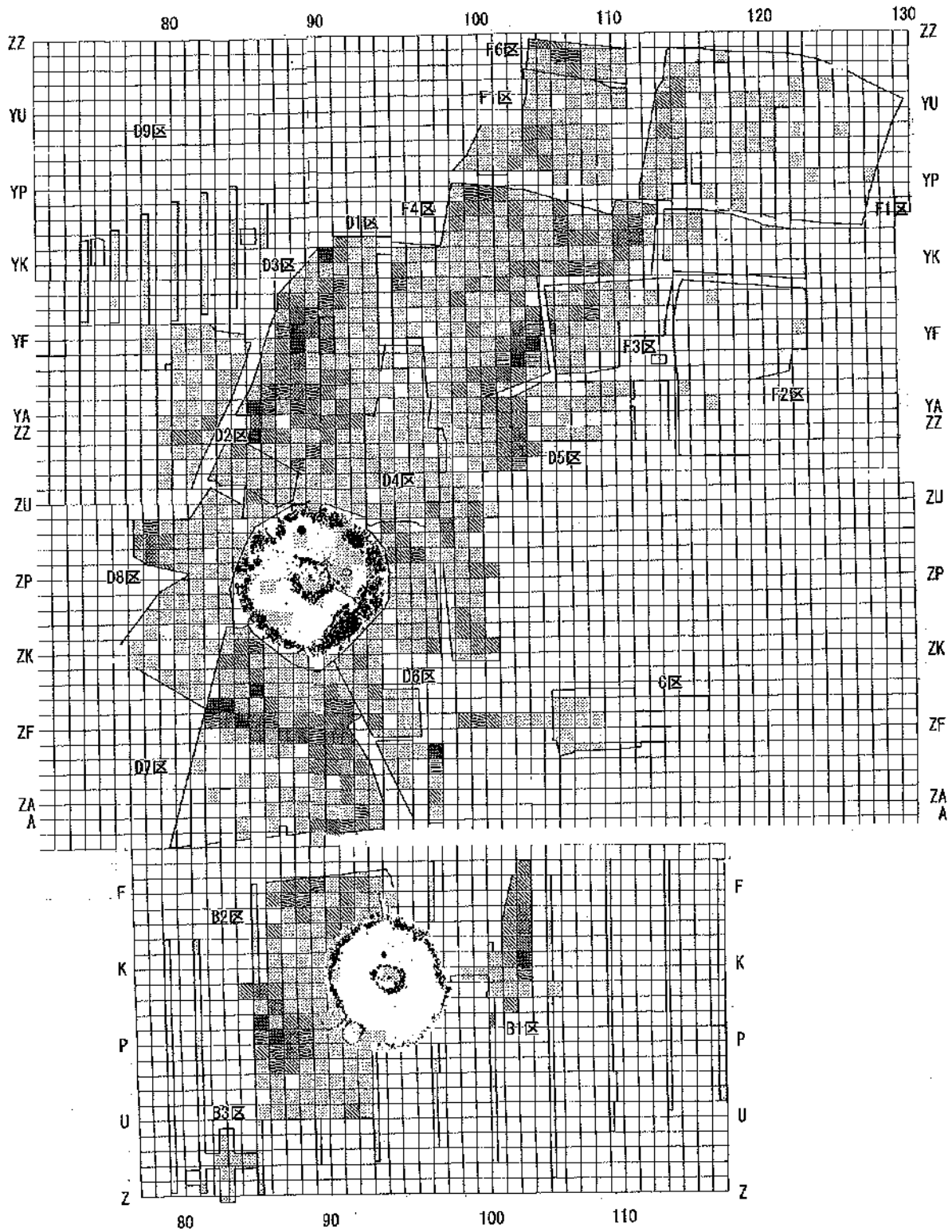
形態からⅢ群に分類される。



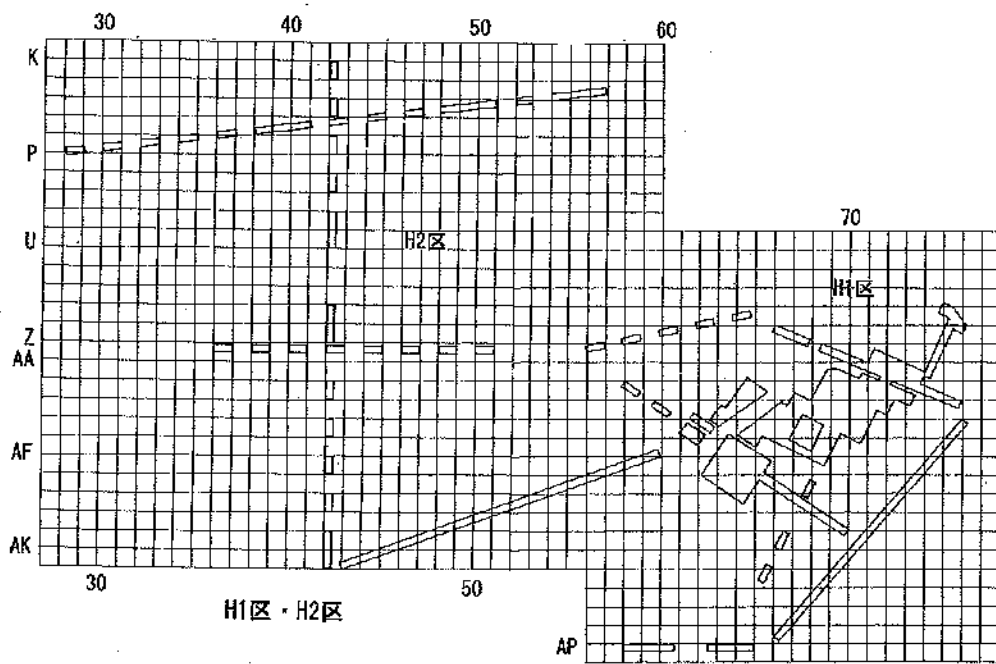
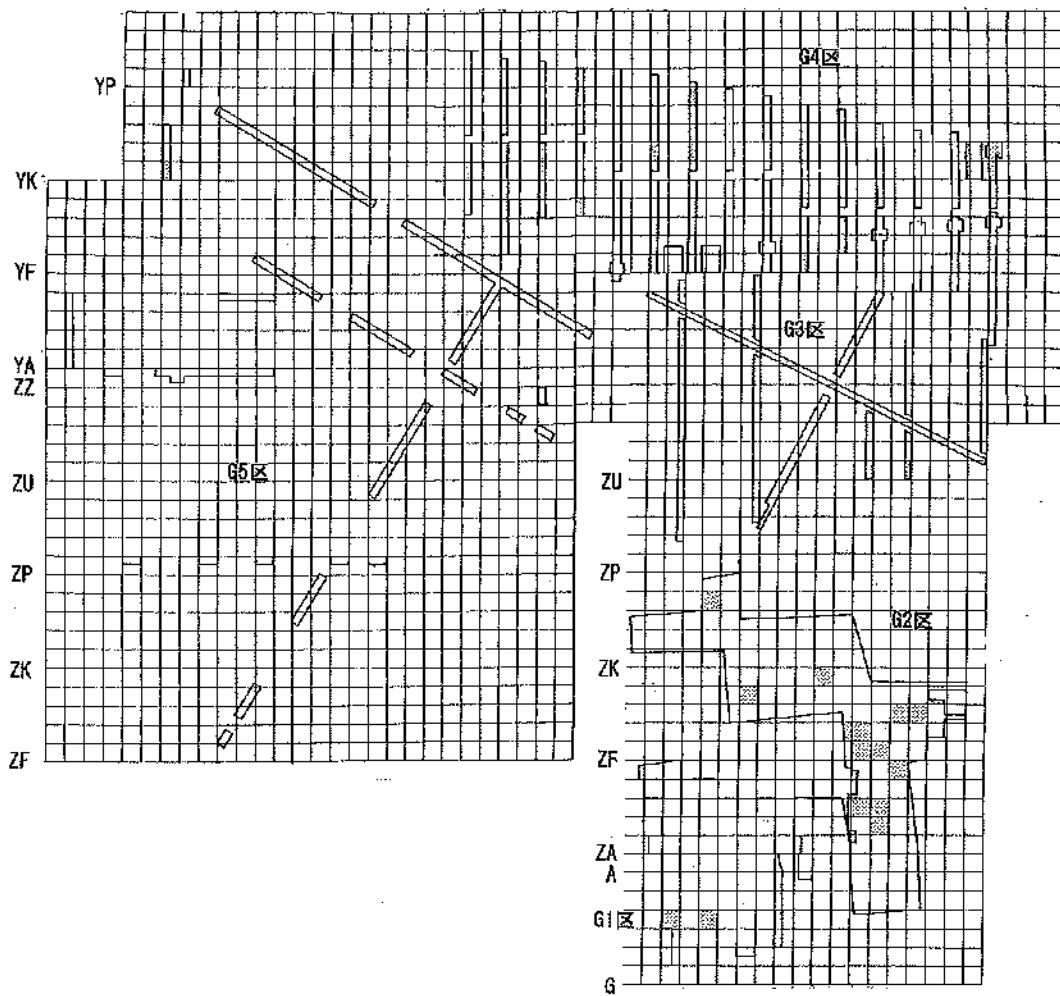
出土量の凡例

- | | |
|------------|------------|
| □ : 0個 | ◻ : 1~10個 |
| ▨ : 11~20個 | ▩ : 21~30個 |
| ▧ : 31~40個 | ▦ : 41~50個 |
| ■ : 51~60個 | ◼ : 61個以上 |

第88図 鏃石器分布図(1)



第89图 磨石器分布图(2)



第90图 碟石器分布图(3)

I群…つまみ部と錐部が区別できるもので、境界部により2類に細分できる。

1類…つまみ部と錐部の境界が明確なもので、125点出土した。

2類…つまみ部と錐部の境界が不明瞭なもので、113点出土した。

II群…つまみ部から錐部へと徐々に狭くなり、つまみ部と錐部が区別できないもの、またはつまみ部が小さい棒状のもので、7点出土した。

III群…剥片に部分的に短い錐部を作り出しているもので、83点出土した。

石 匙 (第96図244～第98図311)

遺跡からは621点出土した。大半が万座・野中堂環状列石周辺にあたるB・D区と、万座環状列石北側のF区からの出土である。分布上特に遺物が集中する区域は認められないが、万座環状列石北西側と野中堂環状列石南側出入口付近でややまとまった出土がみられる。

石質は硬質頁岩が最も多く、黒色頁岩などが続く。

形態からII群5類に分類される。

I群…縦型のもので、刃部の方向によって3類に細分できる。

1類…主要刃部が一侧縁に作り出されているもので、131点出土した。

2類…主要刃部が二側縁に作り出されているもので、202点出土した。

3類…主要刃部が三側縁に作り出されているもので、47点出土した。

II群…横型のもので、刃部の方向によって2類に細分できる。

1類…下側に刃をもつもので、50点出土した。

2類…2側縁あるいは3側縁に刃をもつもので、107点出土した。

石 筥 (第99図312～333)

遺跡からは108点出土した。分布は、万座・野中堂環状列石周辺と万座環状列石北側にほぼ限られる。出土量自体が少ないが、分布は2つの環状列石周辺よりも万座環状列石北側部分にやや偏っている。

石質は硬質頁岩が最も多く、黒色頁岩が続く。

形態からII群に分類される。

I群…基部から先端部までの幅がほぼ一定で棒状をなすもので、14点出土した。

II群…基部が先端部より狭く、撥状を呈するもので、42点出土した。

III群…基部の幅があり、台形を呈するもので、44点出土した。

搔 器 (第100図334～第102図392)

遺跡からは9,024点出土した。万座・野中堂環状列石周辺と万座環状列石北側にかなりの数が分布している。特に、万座環状列石の南側をのぞいた北・東・西の三方向と、野中堂環状列石の南側出入口付近に集中しており、グリッドあたり50点代から100点を超える量の搔器が出土している。一本木後口配石遺構があるA区からも出土しているが、少数である。石質は硬質頁岩が最も多く、黒色頁岩、珪質頁岩などが続く。

刃部によって3群に分類される。

I群…刃部が1側縁のもので、2,547点出土した。

II群…刃部が2側縁のもので、2,680点出土した。

Ⅲ群…刃部が3側縁のもので、1,446点出土した。

三脚石器 (第103図393~397)

三叉状に加工されたもので、遺跡からは5点出土した。石質は、硬質頁岩が4点、頁岩が1点である。

同時期の環状列石をもつ遺跡である伊勢堂岱遺跡(北秋田市)からは200点を超える数が出土している。また、真壁地遺跡(能代市)や塚の下遺跡(大館市)、晩期の遺跡である藤株遺跡(北秋田市)などからも出土している。

打製石斧 (第103図402~407)

遺跡からは9点出土した。刃部には使用痕が認められる。

石質は硬質頁岩、緑色凝灰岩、黒色片岩、砂質凝灰岩、緑色片岩である。

磨製石斧 (第104図408~第105図441)

遺跡からは295点出土した。大半が万座・野中堂環状列石の周辺および万座環状列石の北側にあたるB・D・F区から出土しており、遺跡北側にある一本木後口配石遺構群や遺跡南側にあたるA・G・H区からの出土は極めて少ない。グリッドごとの出土量は1~3点で、出土する区域における分布量の濃淡もみられない。

形態から2群に分類される。

I群…定角式磨製石斧である。出土した磨製石斧の90%以上がこれにあたり、277点出土した。

刃部に使用痕がみられるものが多い。通常は柄をつけて斧として使用したと考えられるが、408~421のような小型のものについては、ノミのような使い方がなされたものと考えられる。

II群…乳棒状磨製石斧である。全体の4%にあたる13点が出土した。

石質は、緑色凝灰岩や石英閃緑玢岩、緑色片岩が多く使われ、砂質凝灰岩、火山礫凝灰岩、安山岩、片岩、凝灰質泥岩、黒色片岩、緑色砂質凝灰岩、変朽安山岩、石英安山岩、花崗閃緑岩、蛇紋岩、砂岩、硬質頁岩、流紋岩、凝灰岩、粘板岩なども使用される。

石 錘 (第106図442~458)

礫の両端を打ち欠いているもので、遺跡からは322点出土した。分布は、万座・野中堂環状列石の周辺および万座環状列石の北側にほぼ限られる。全体的にグリッドあたり1~3点ほどの量だが、万座環状列石西側と野中堂環状列石北側からはグリッドあたり10点をこえる量が出土している。

石質は、砂質凝灰岩や泥岩、石英安山岩、凝灰質泥岩、石英閃緑玢岩が多く使われ、他には緑色凝灰岩、泥質凝灰岩、流紋岩、火山礫凝灰岩、硬質頁岩、軽石質凝灰岩、変朽安山岩、片岩、緑色片岩、安山岩、玄武岩、凝灰岩などがある。

鼓 石 (第107図459~475)

遺跡からは559点出土した。大半が、万座・野中堂環状列石周辺と万座環状列石の北側にあたるB・D・F区からの出土であり、遺跡北東側にある一本木後口配石遺構群周辺のA区や、遺跡南側のG・H区ではほとんどみられない。数としては少なく目立たないが、万座・野中堂環状列石の南では、万座配石遺構群・野中堂配石遺構群の周辺からのみ出土している。

石質は、泥岩、緑色凝灰岩、砂質凝灰岩、石英閃緑玢岩が多く、凝灰質泥岩、泥質凝灰岩、流

紋岩、玄武岩、軽石質凝灰岩、片岩、石英安山岩、安山岩、変朽安山岩、火山礫凝灰岩などがある。

磨石 (第110図495～508)

遺跡からは577点出土した。大半が万座・野中堂環状列石の周辺と、万座環状列石の北側から出土している。極端な分布の濃淡は認められないが、万座環状列石の西側からややまとまって出土している。

石質は、石英閃緑玢岩、石英安山岩、凝灰質泥岩、砂質凝灰岩が多く使われ、他には凝灰岩、緑色凝灰岩、安山岩、泥岩、火山礫凝灰岩、閃緑岩、片岩、硬質凝灰岩、流紋岩、チャート、花崗閃緑岩、玄武岩、石英斑岩、変朽安山岩、硬質頁岩、粘板岩、軽石質凝灰岩などがある。

凹石 (第108図476～第109図494)

遺跡からは1,058点出土した。大半が万座・野中堂環状列石の周辺と、万座環状列石の北側および西側から出土している。万座環状列石と野中堂環状列石の中間区域においてややまとまった出土がみられるが、グリッドごとの出土量には目立った特徴は認められず、全体から満遍なく出土している。

遺構内からは、大半が1～3個程度の出土だが、D9区の第2号竪穴住居跡から29点、第2号フラスコ状土坑から28点、第4号フラスコ状土坑から31点など、部分的にまとまった出土がみられる。

石質は石英閃緑玢岩、凝灰岩、砂質凝灰岩、凝灰質泥岩が多く使われ、他には石英安山岩、緑色凝灰岩、安山岩、流紋岩、玄武岩、泥岩、閃緑岩、軽石質流紋岩、片岩、緑色片岩、砂岩、変朽安山岩、軽石質凝灰岩、角礫凝灰岩、火山礫凝灰岩、粘板岩などがある。

石皿 (第111図509～第112図519)

遺跡からは187点出土した。大半が破損品である。大半が万座・野中堂環状列石の周辺と万座環状列石の北側からの出土である。

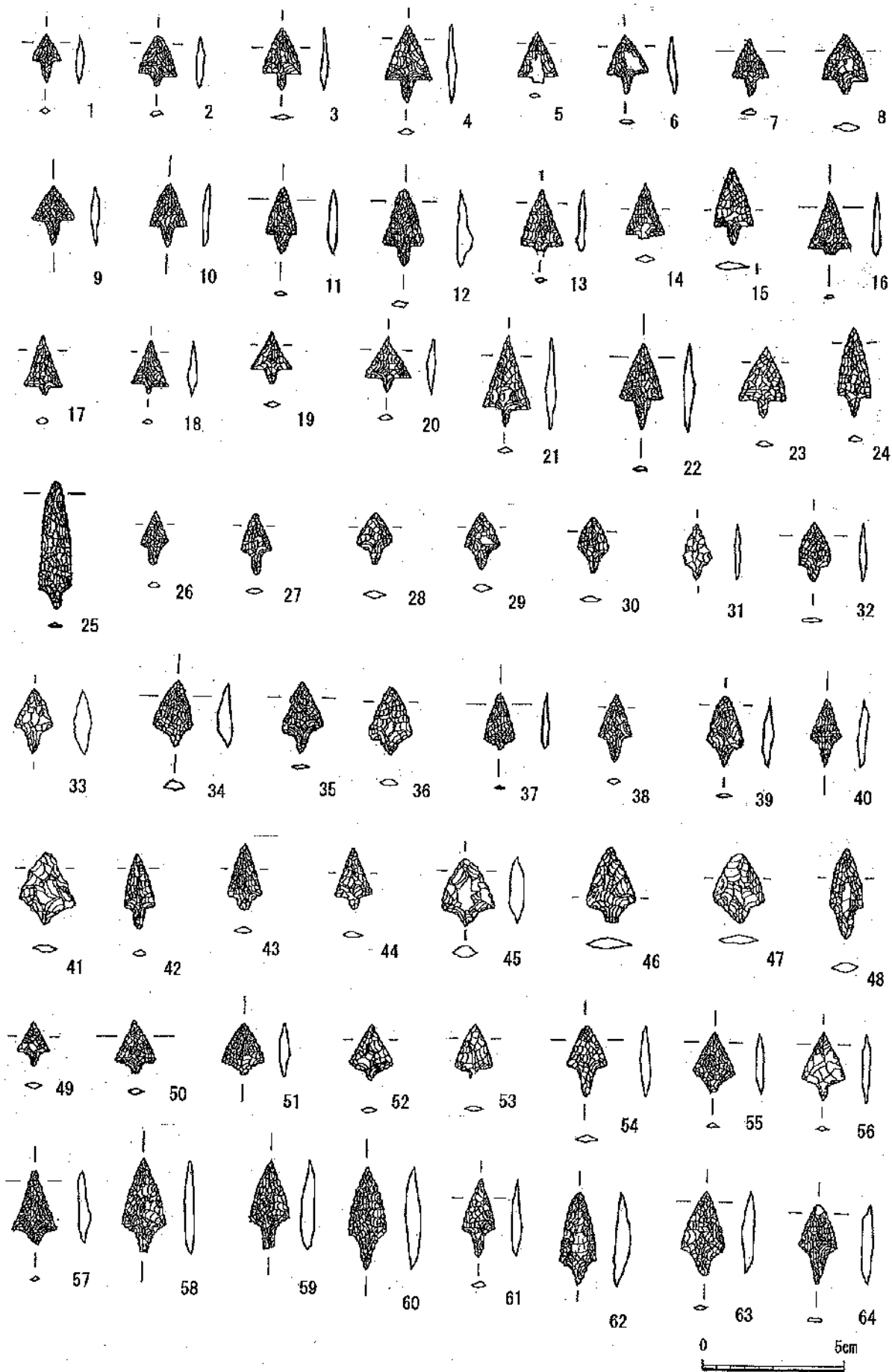
石質は、凝灰岩、砂質凝灰岩が多く、他には石英安山岩、石英閃緑玢岩、緑色凝灰岩、泥質凝灰岩、凝灰質泥岩、泥岩、軽石質凝灰岩、流紋岩質凝灰岩、凝灰質砂岩、砂質泥岩、安山岩、流紋岩、スコリア状安山岩などがある。

509は砂礫凝灰岩の石皿で、装飾的な突起が特徴的である。また、513は裏面には足をかたどったような装飾が施されている。

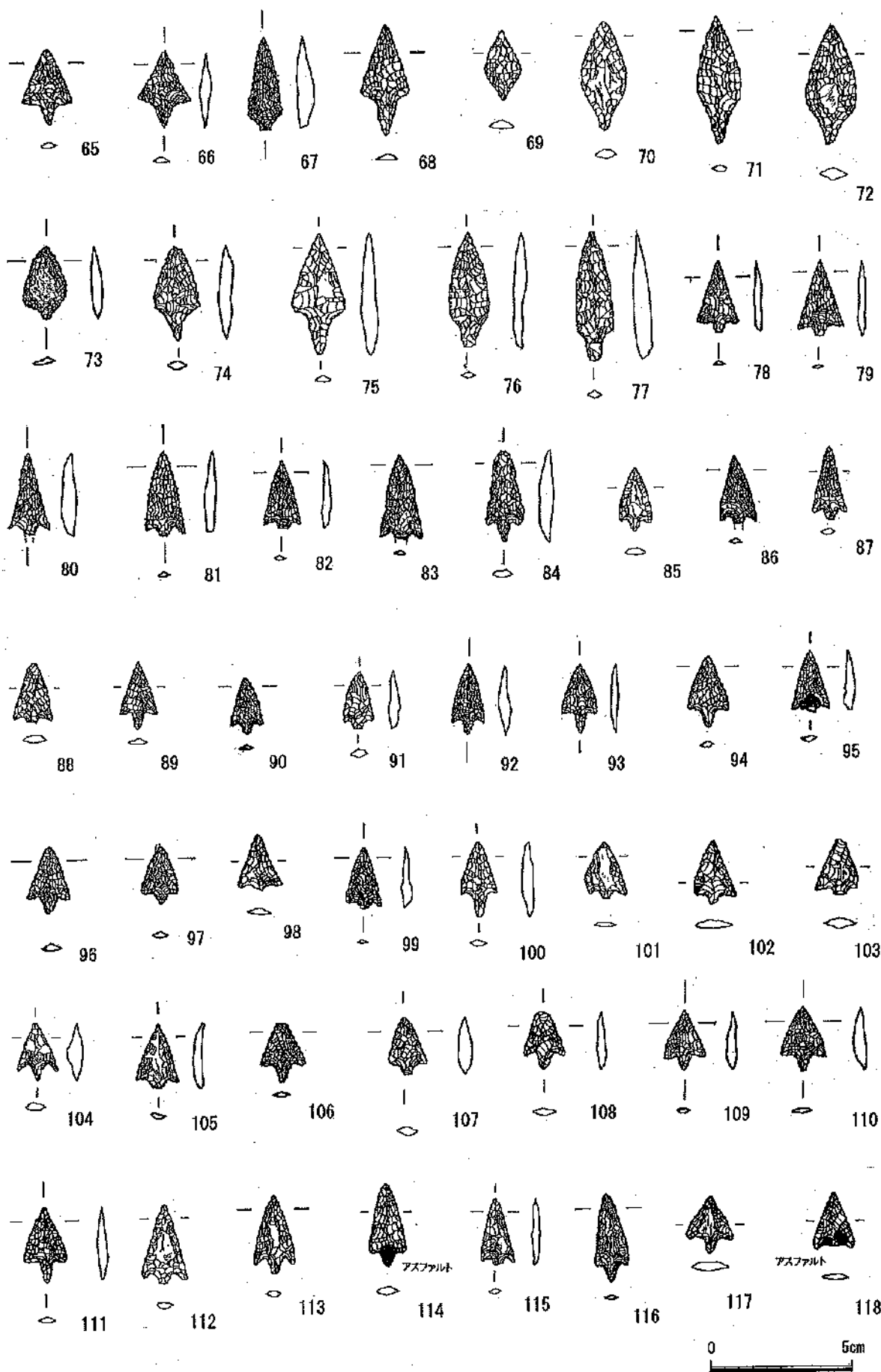
砥石 (第113図520～526)

遺跡からは23点出土した。すべてが万座・野中堂環状列石周辺からの出土である。破損品が多いことから、壊れて使えなくなったものを埋葬あるいは捨てたものと考えられる。

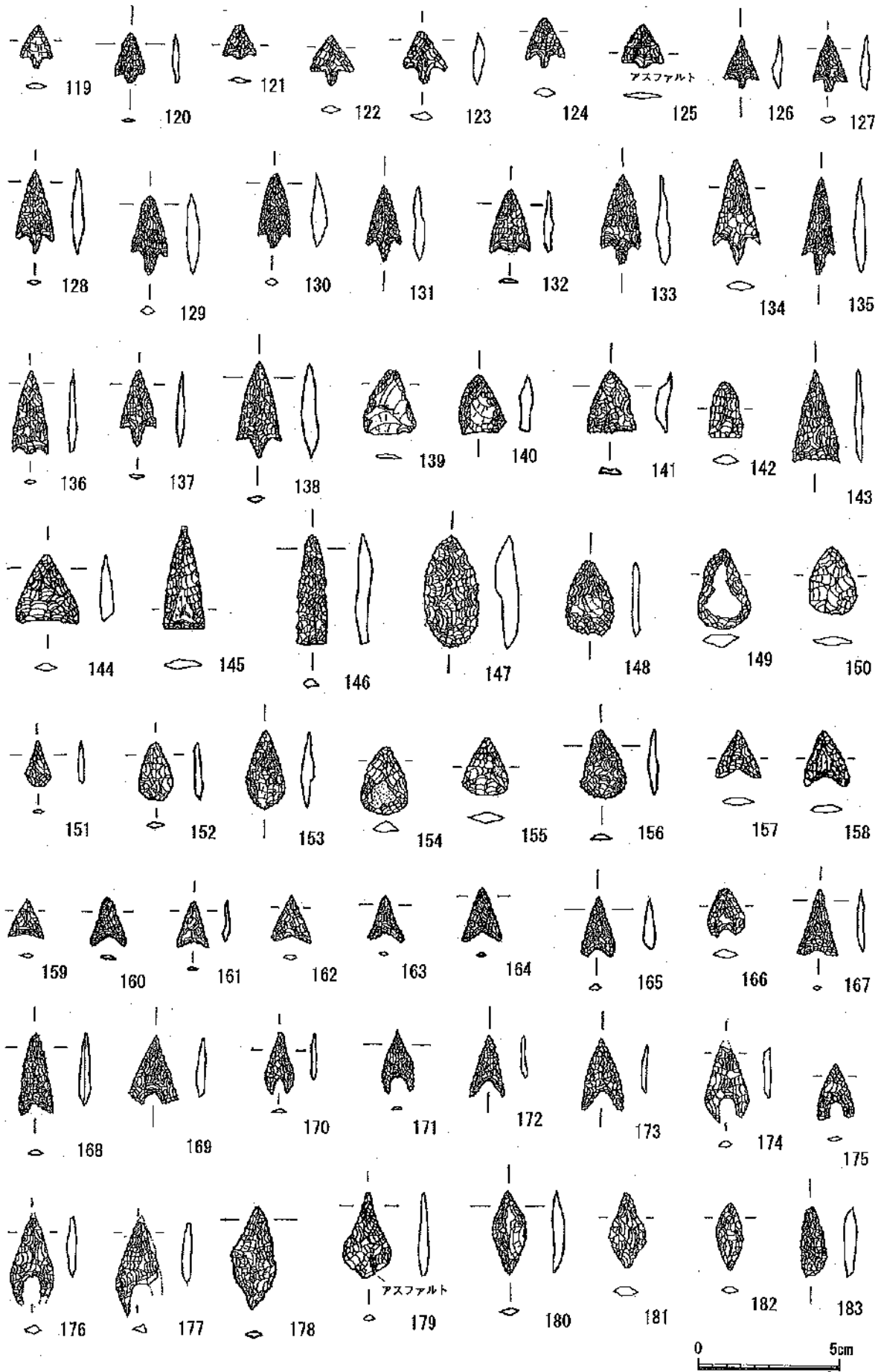
石質は砂質凝灰岩が多く、他に石英安山岩、凝灰質泥岩、安山岩、軽石質凝灰岩、凝灰岩、石英閃緑玢岩などがある。

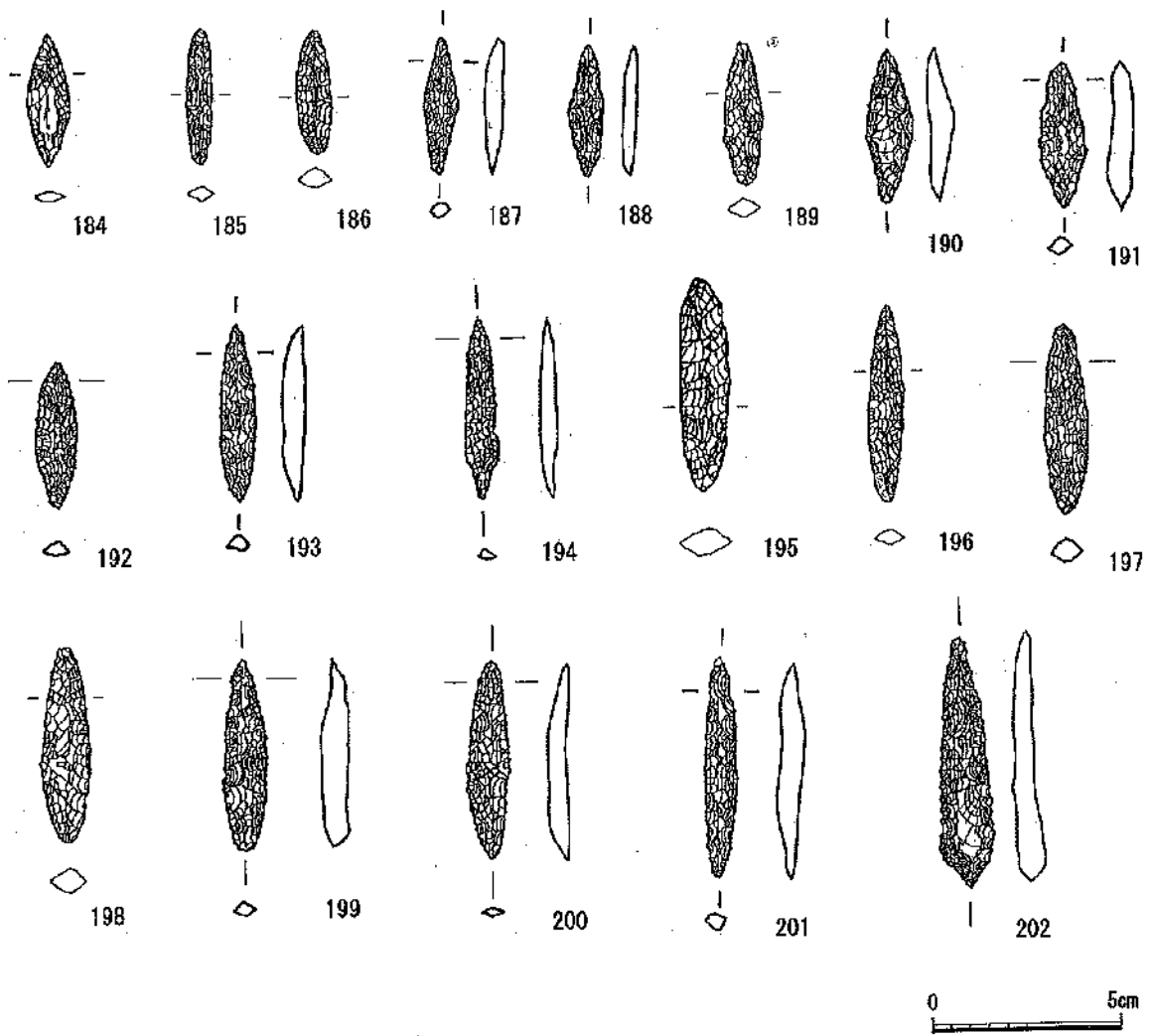


第91图 石器实测图 石镞(1)

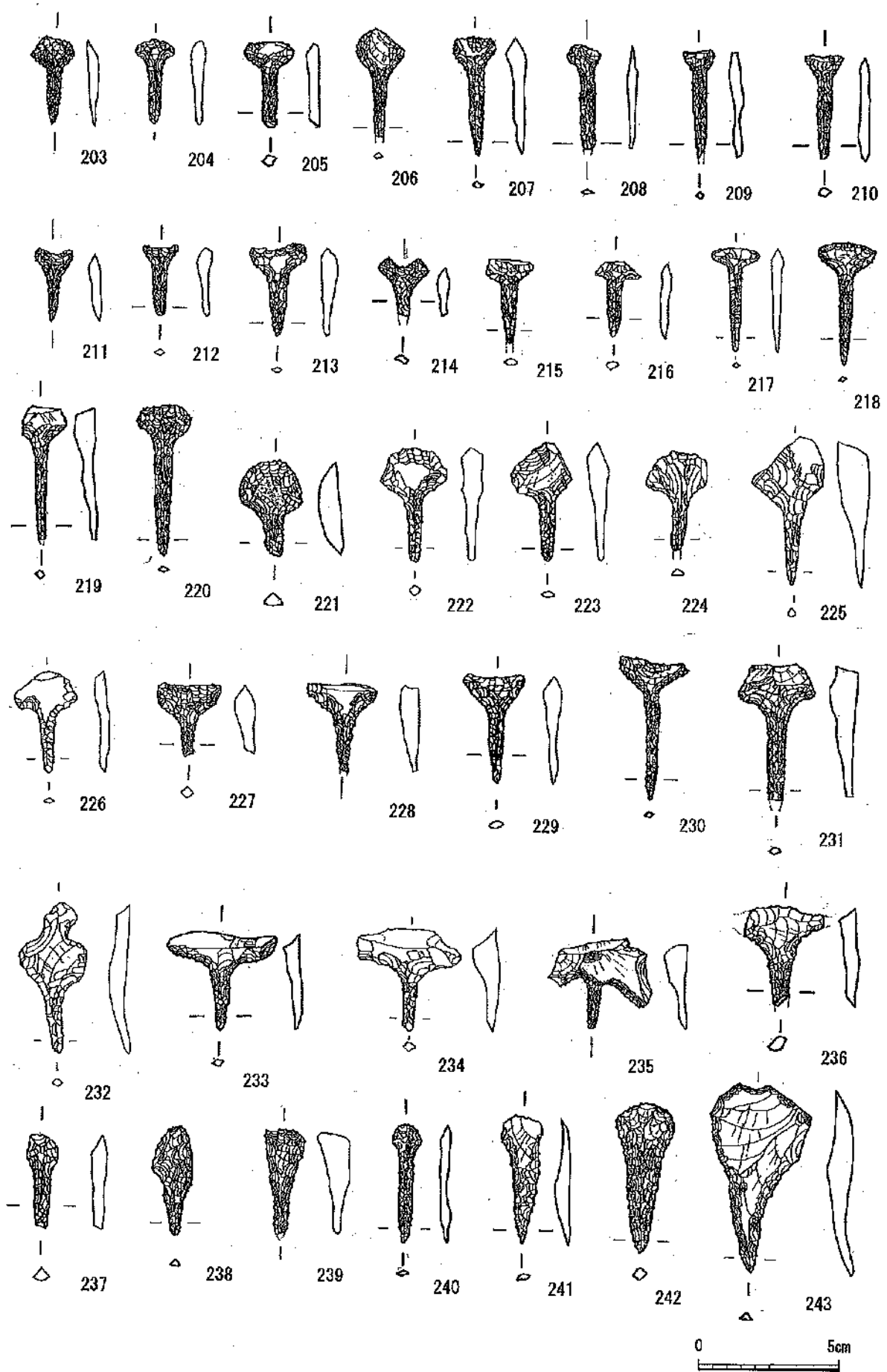


第92図 石器実測図 石鏃(2)

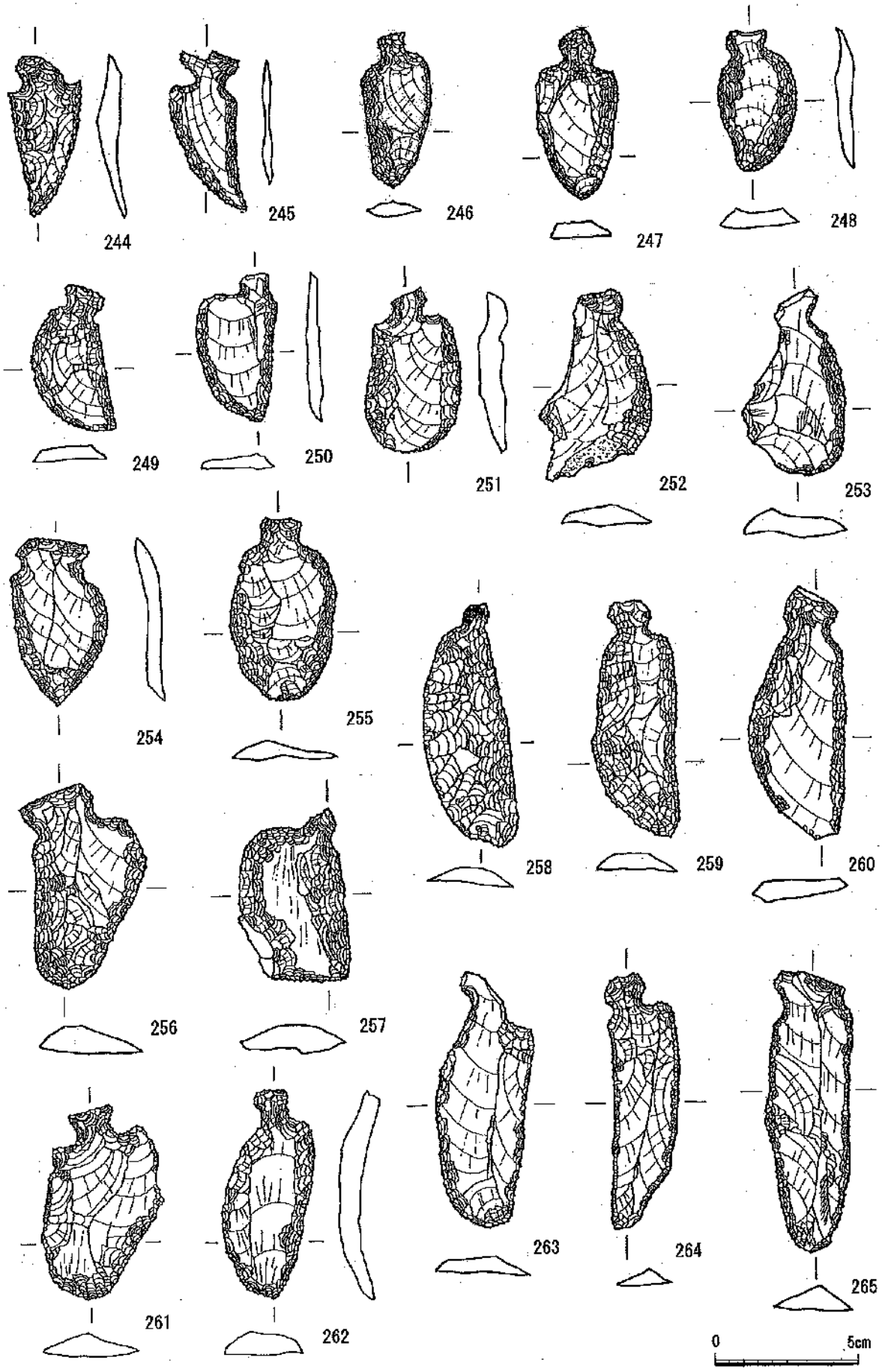




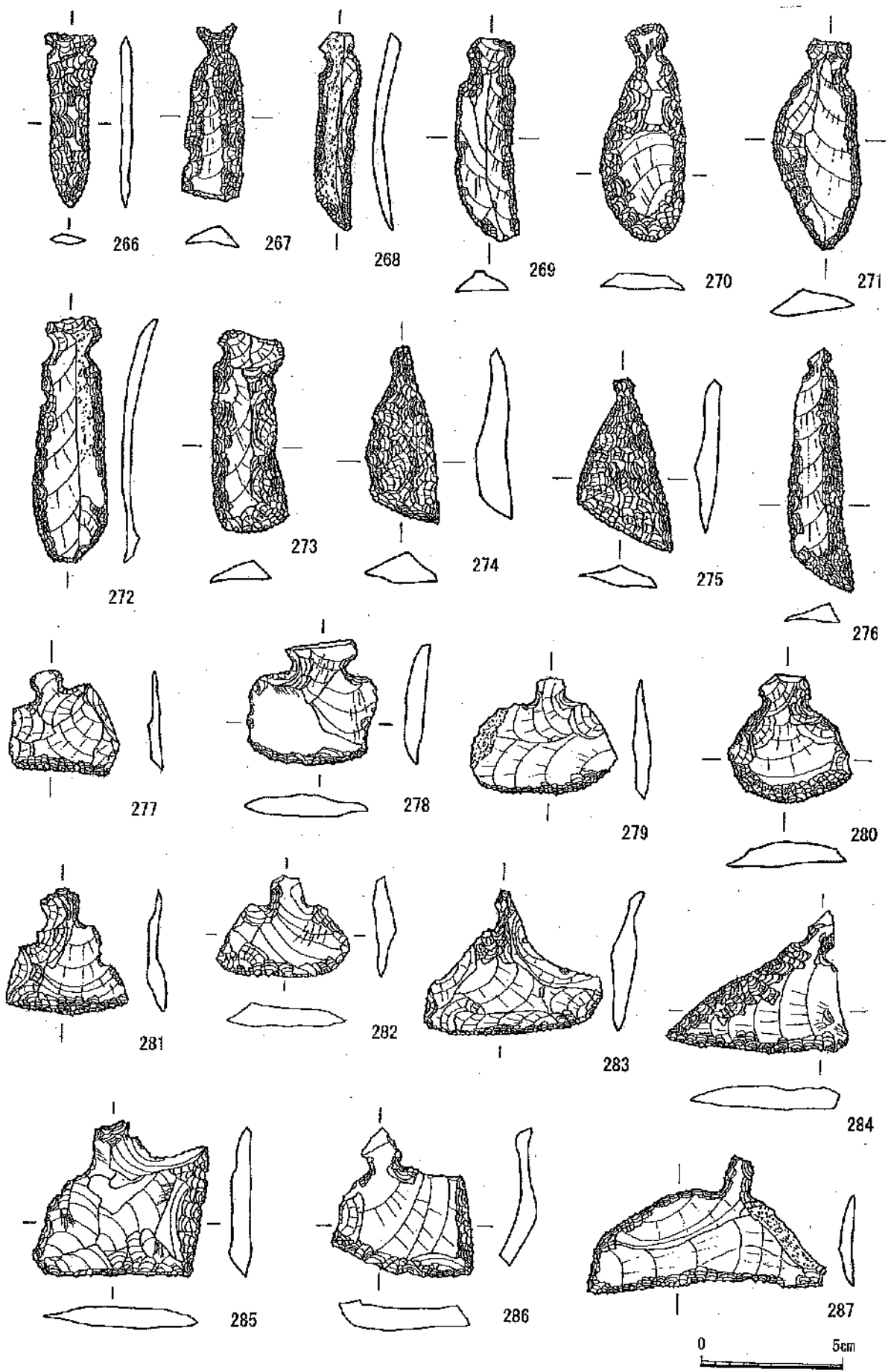
第94圖 石器実測圖 石鏃(4)



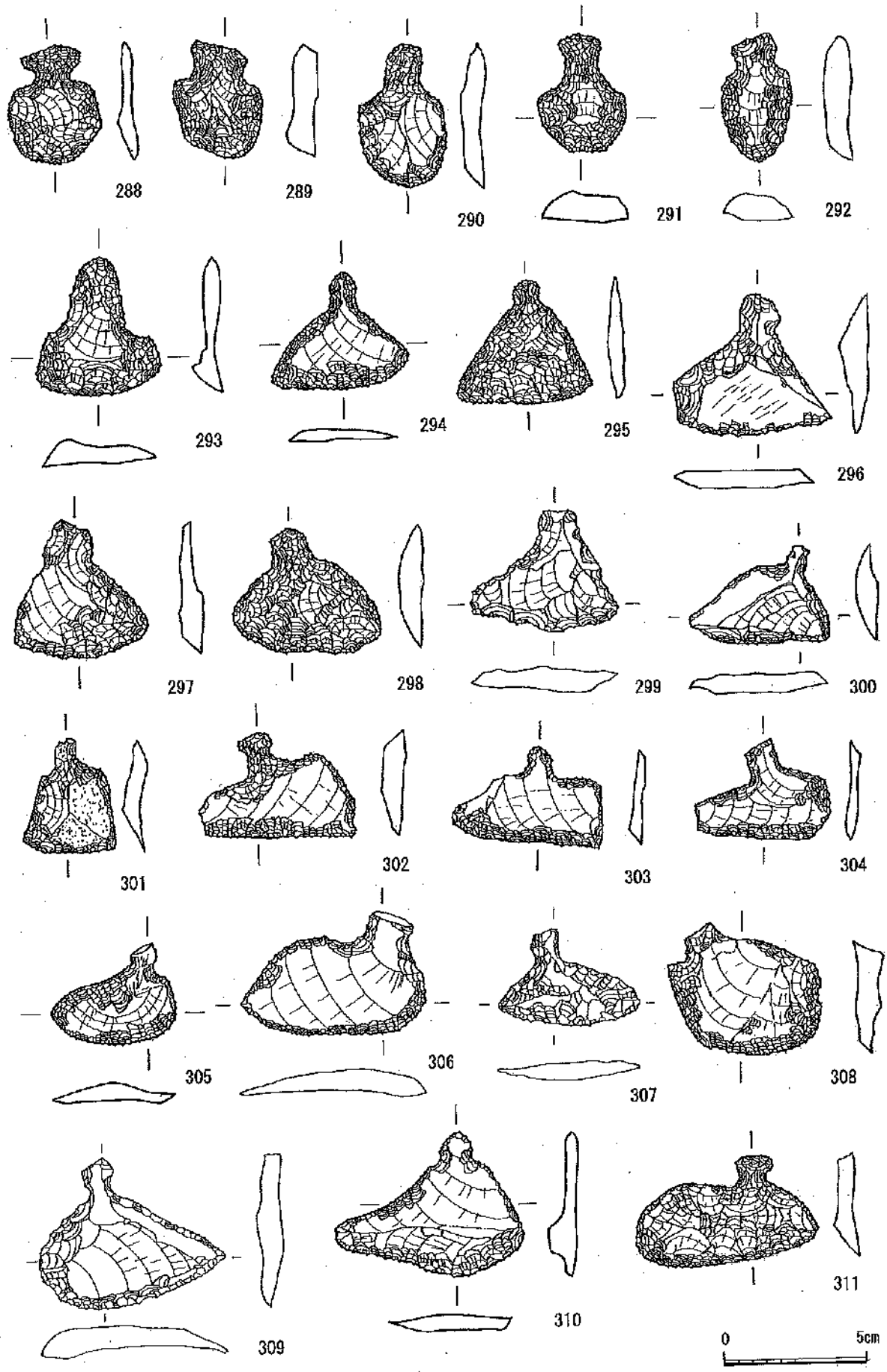
第95圖 石器実測圖 石鏃



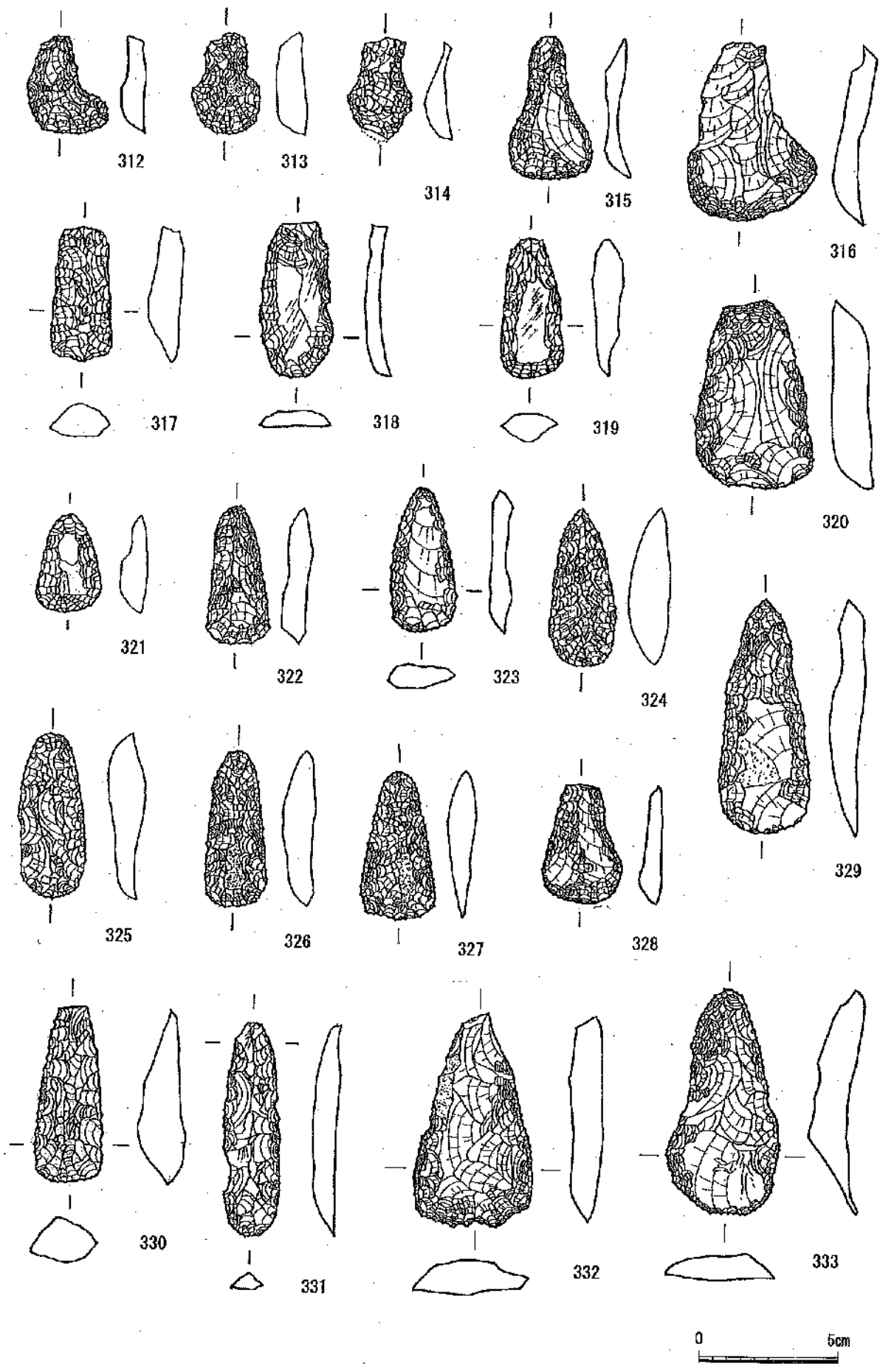
第96图 石器实测图 石匙(1)



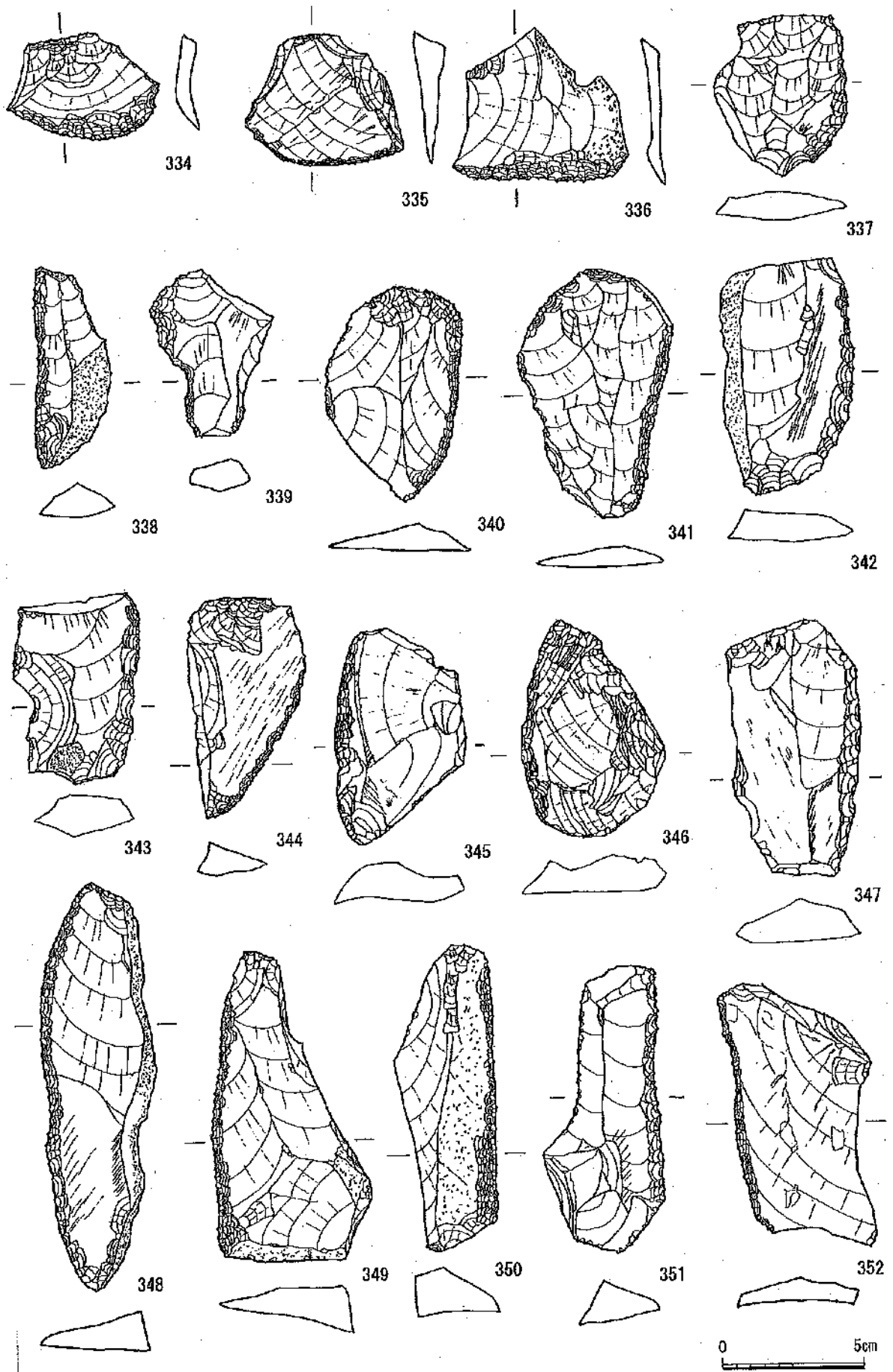
第97图 石器实测图 石匙(2)



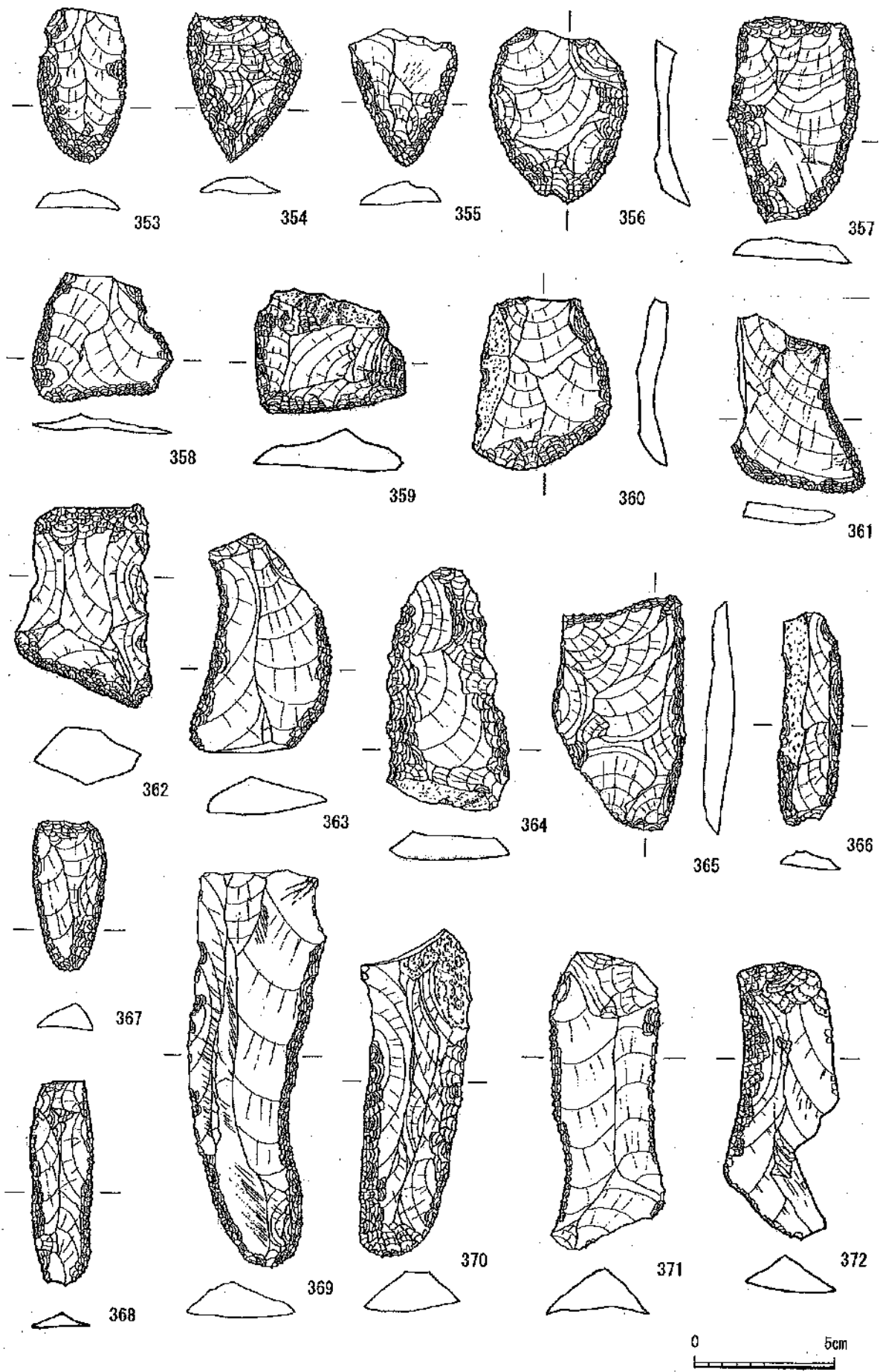
第98图 石器实测图 石匙(3)



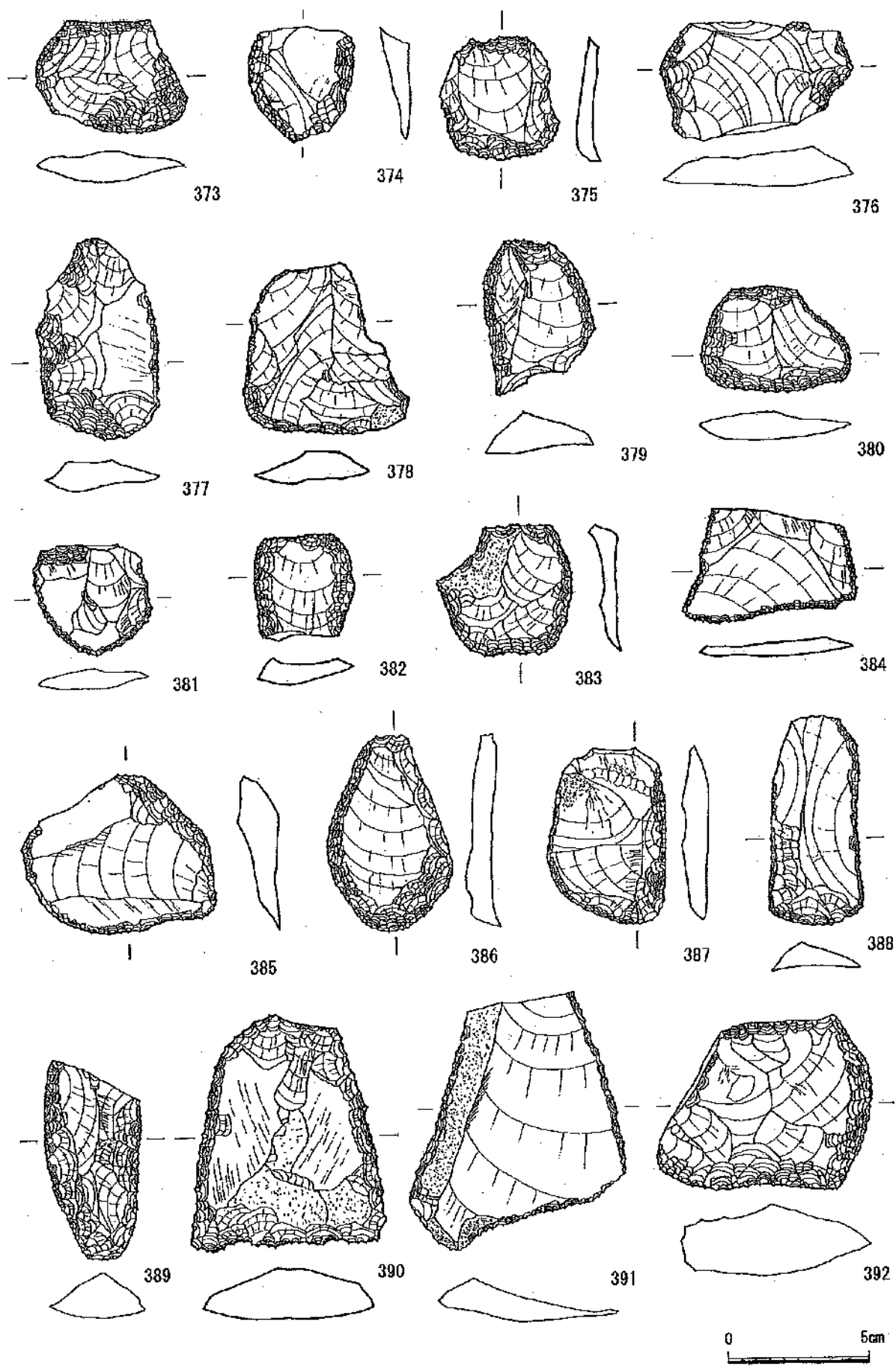
第99圖 石器實測圖 石鏃



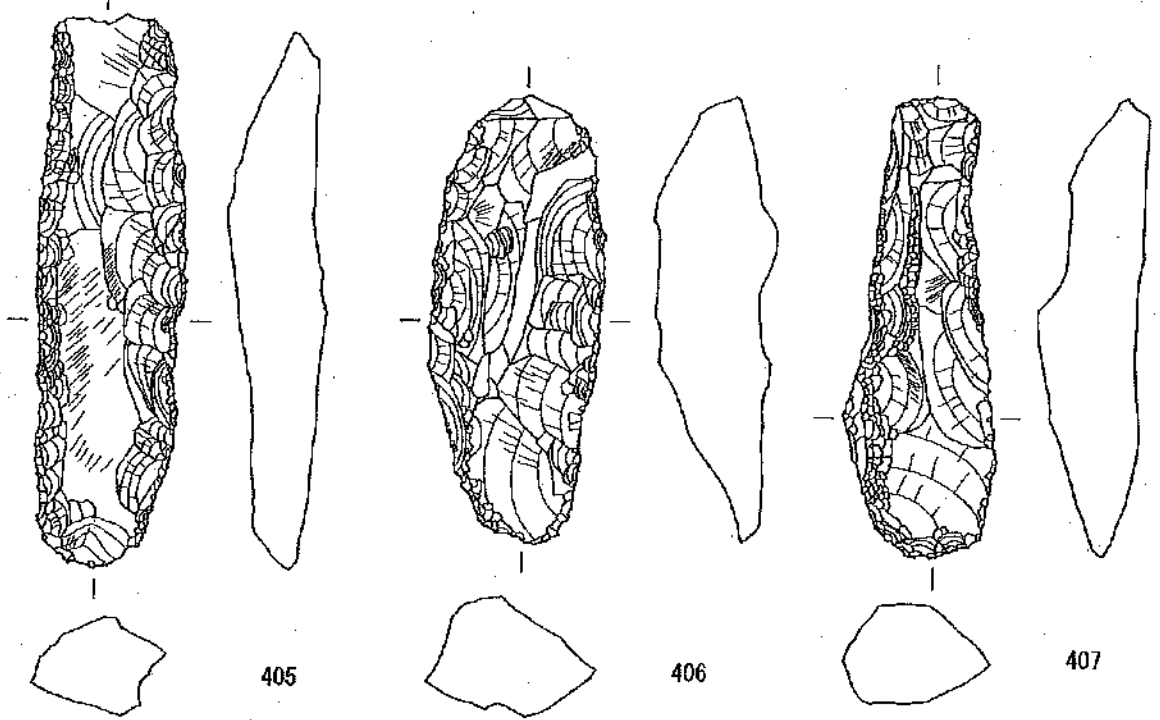
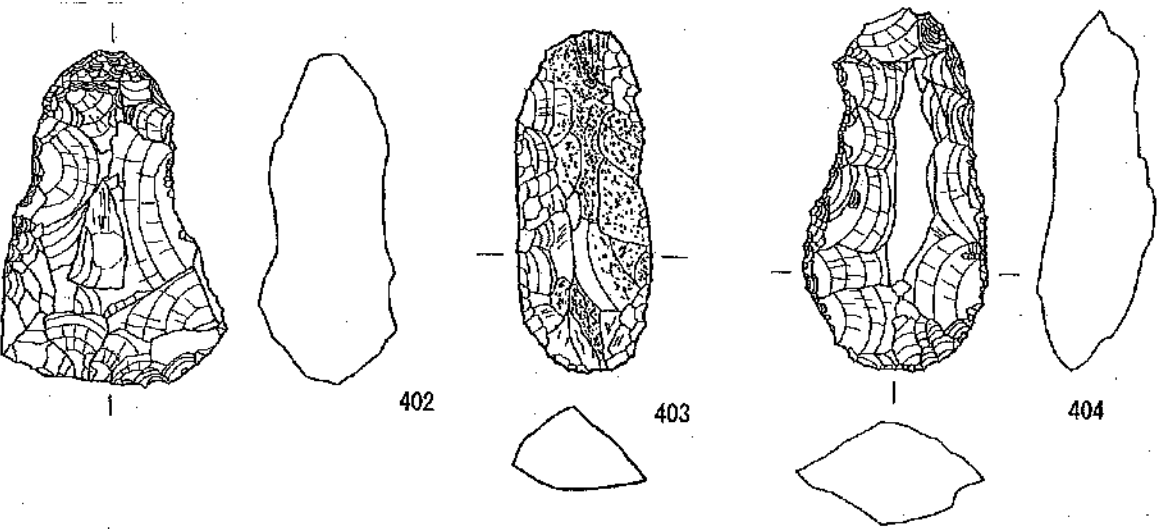
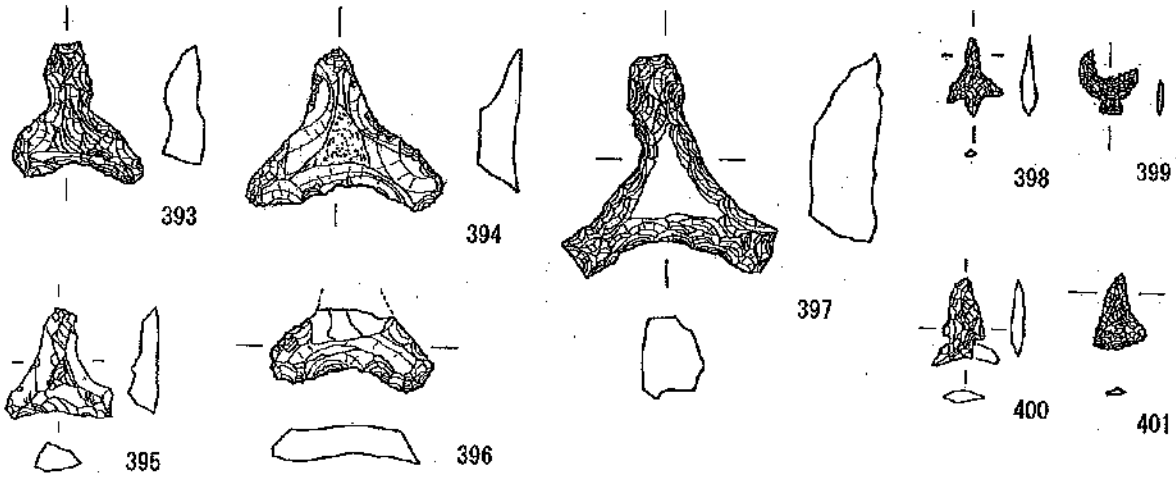
第100图 石器实测图 搔器(1)



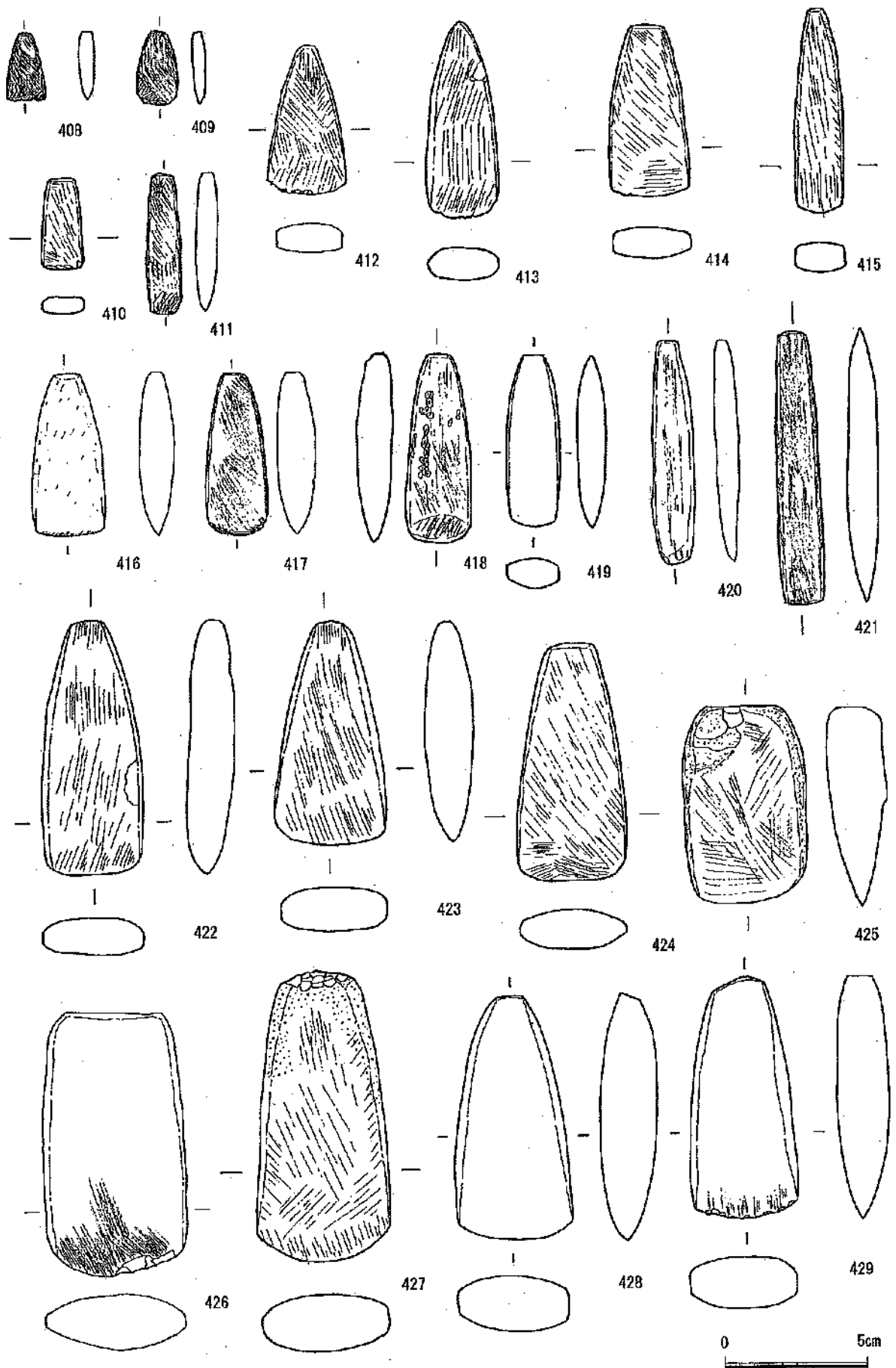
第101图 石器实测图 搔器(2)



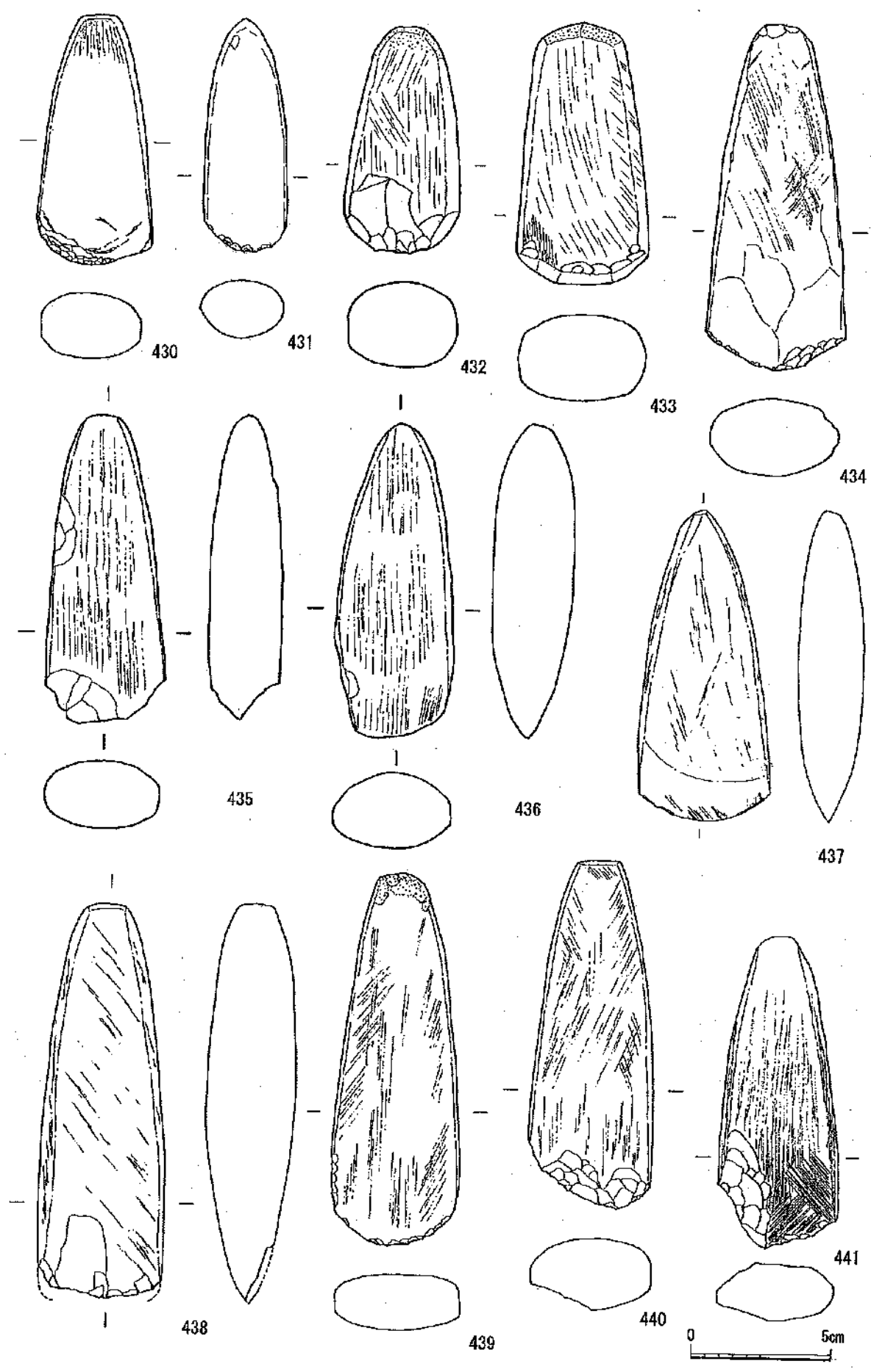
第102图 石器实测图 搔器(3)



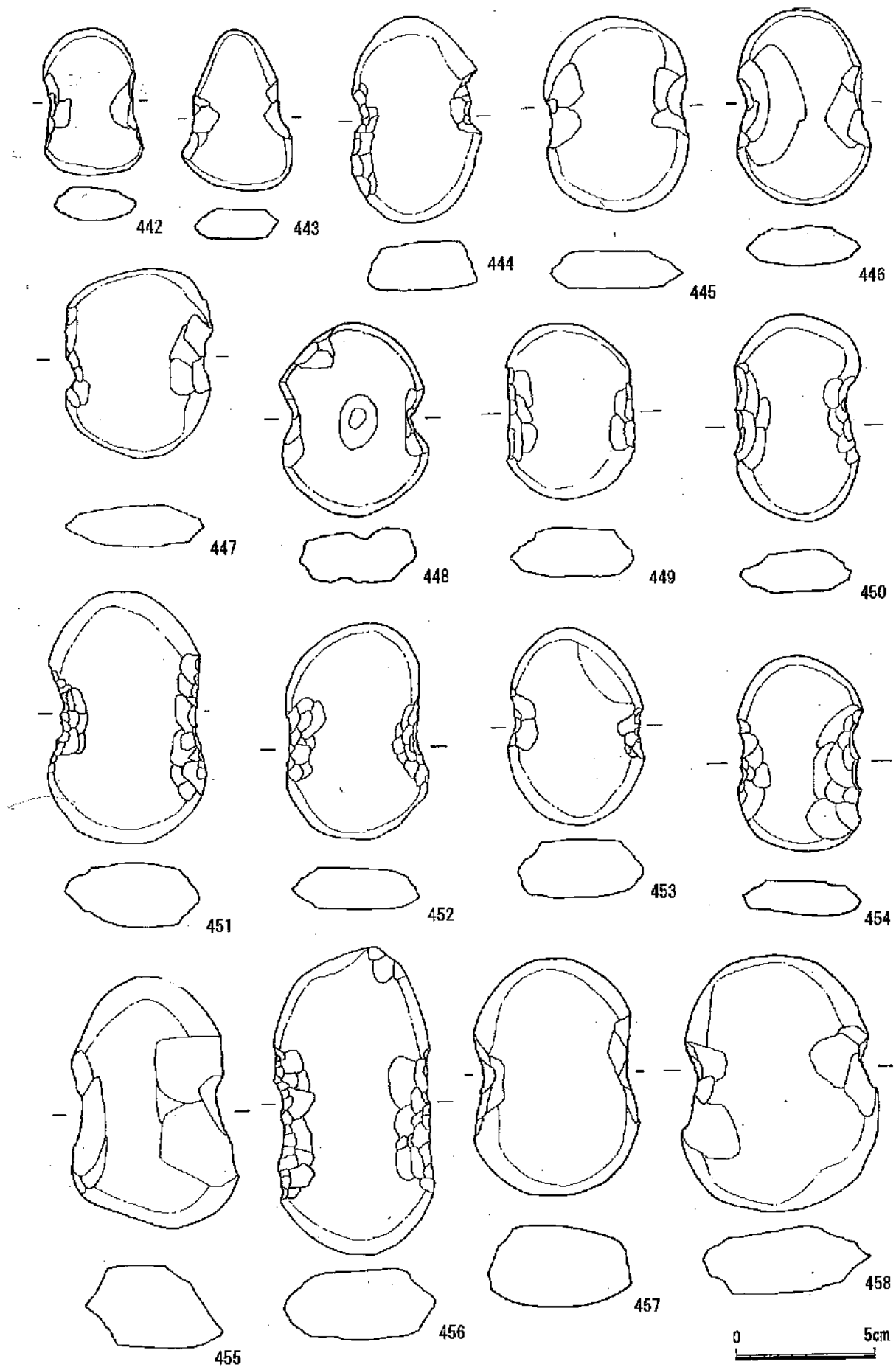
第103圖 石器実測圖 三脚石器・打製石斧



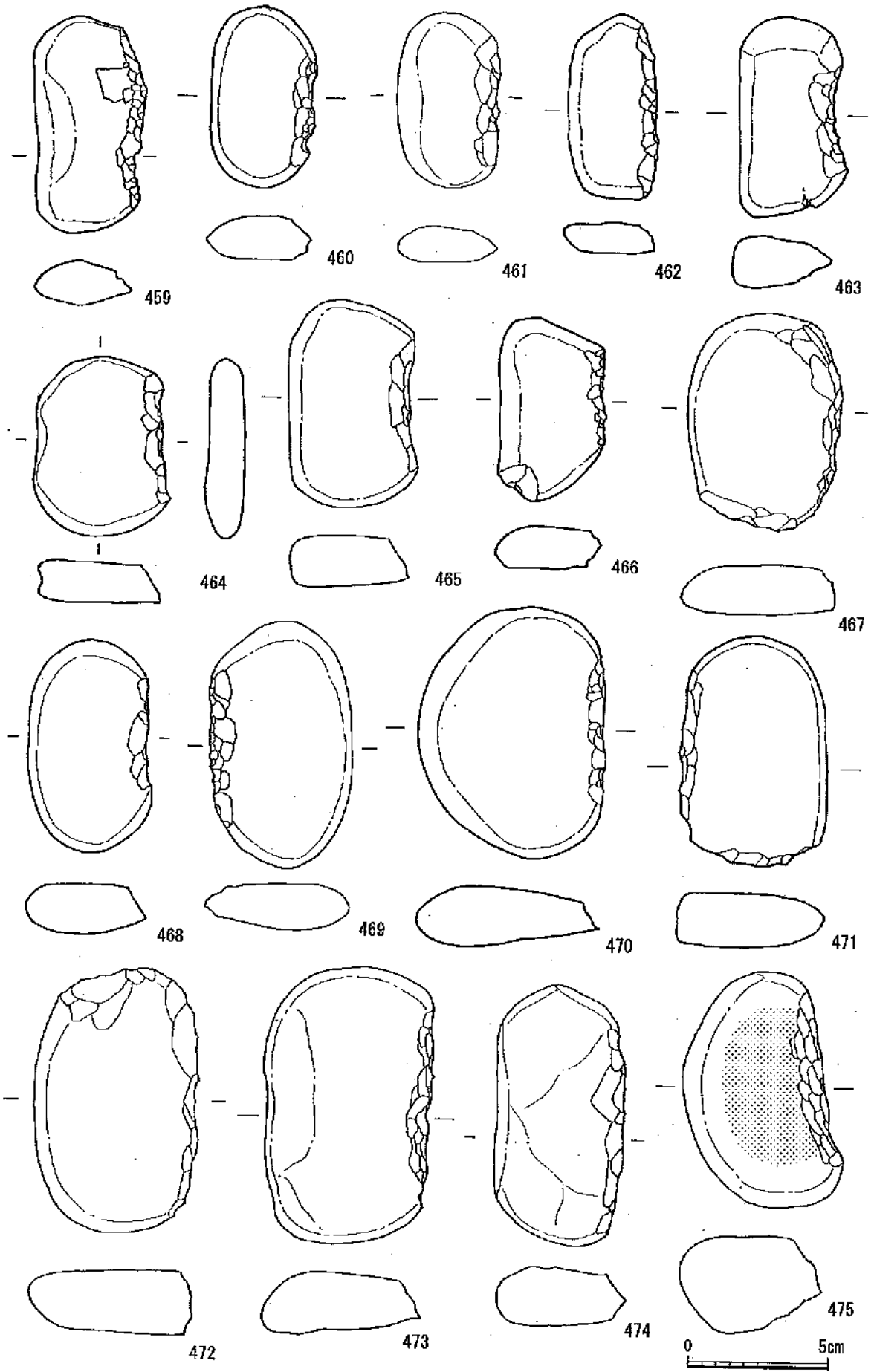
第104图 石器实测图 磨製石斧(1)



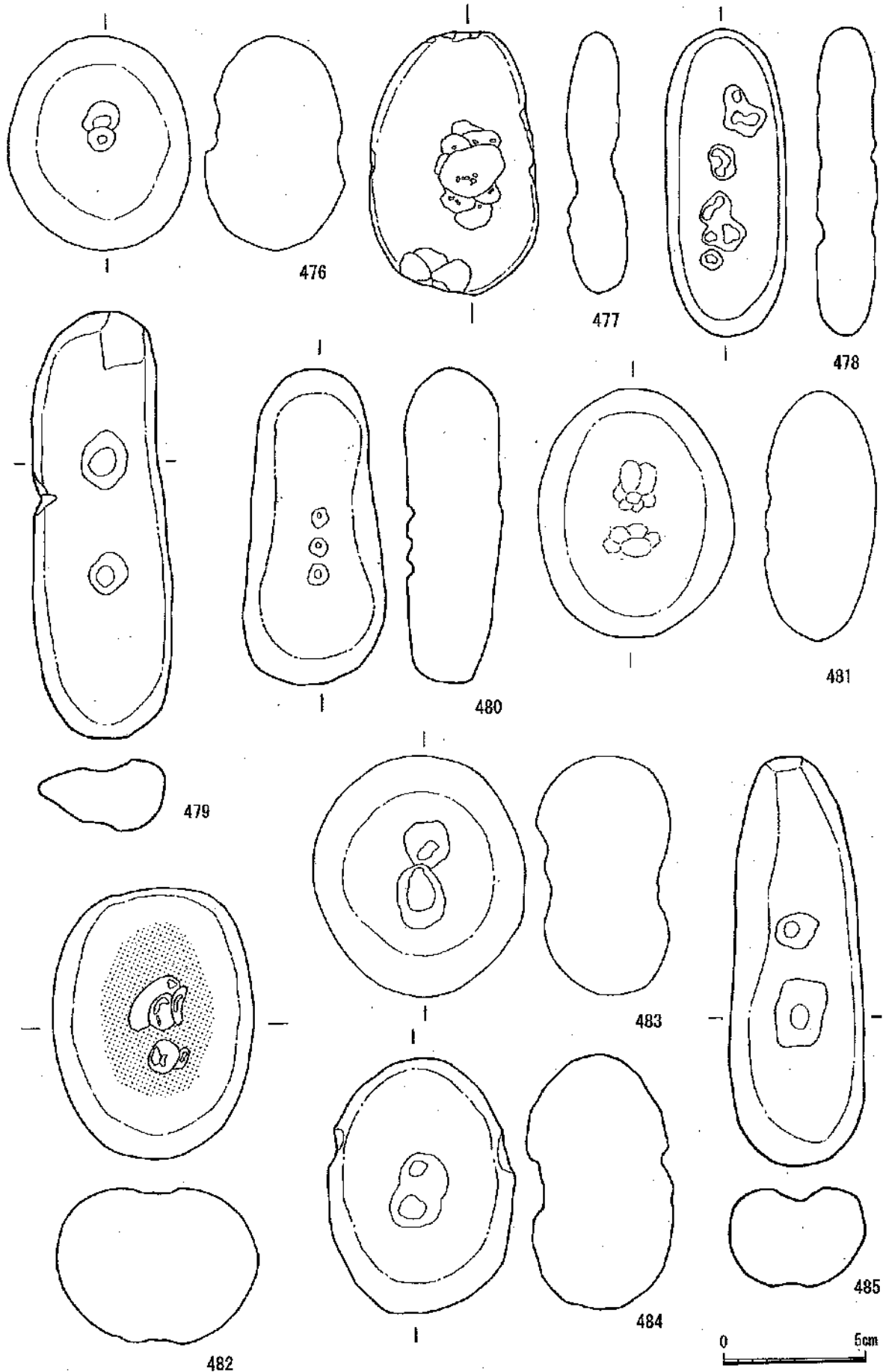
第105图 石器实测图 磨製石斧(2)



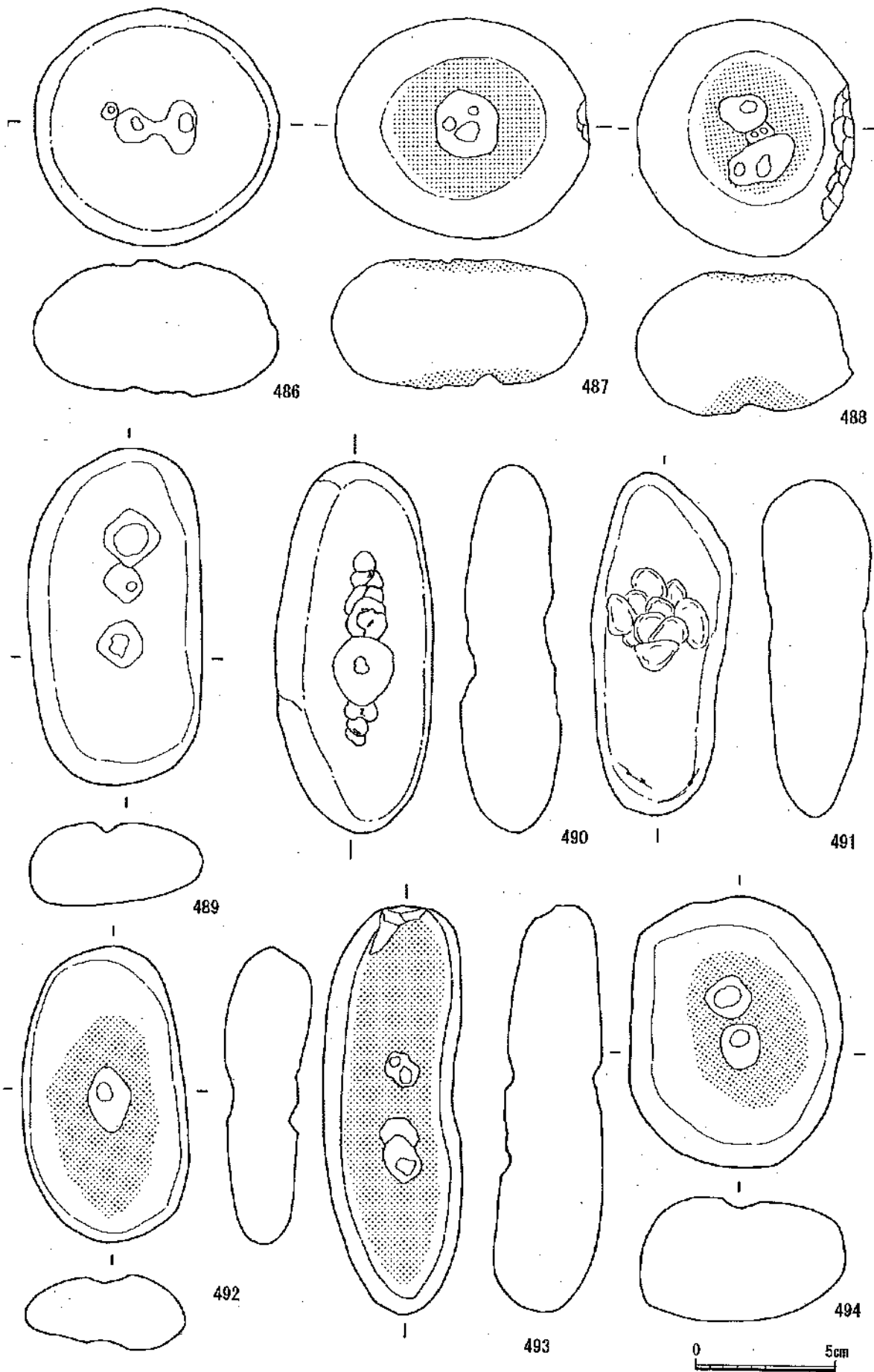
第106圖 石器実測図 石錘



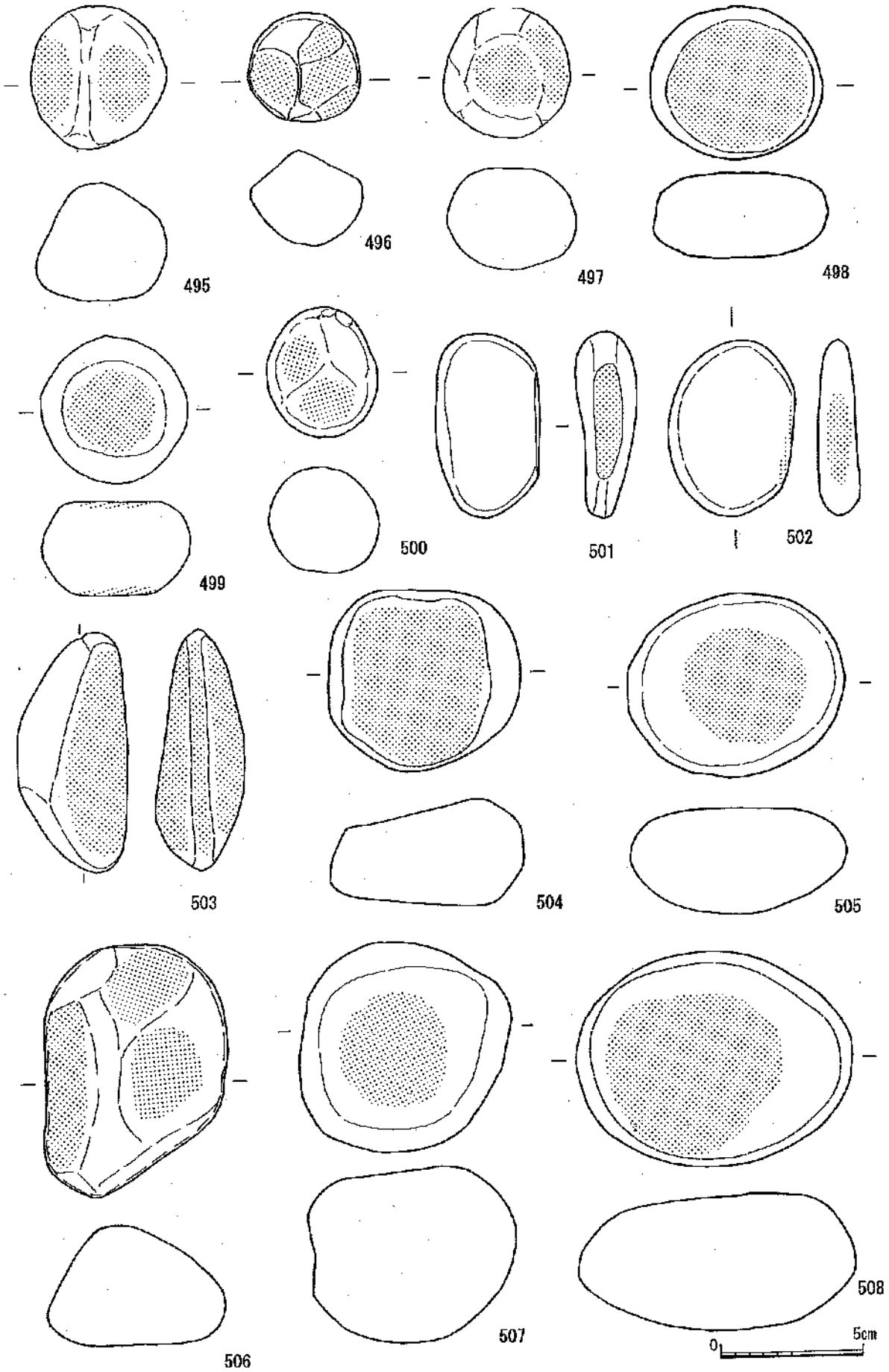
第107图 石器实测图 敲石



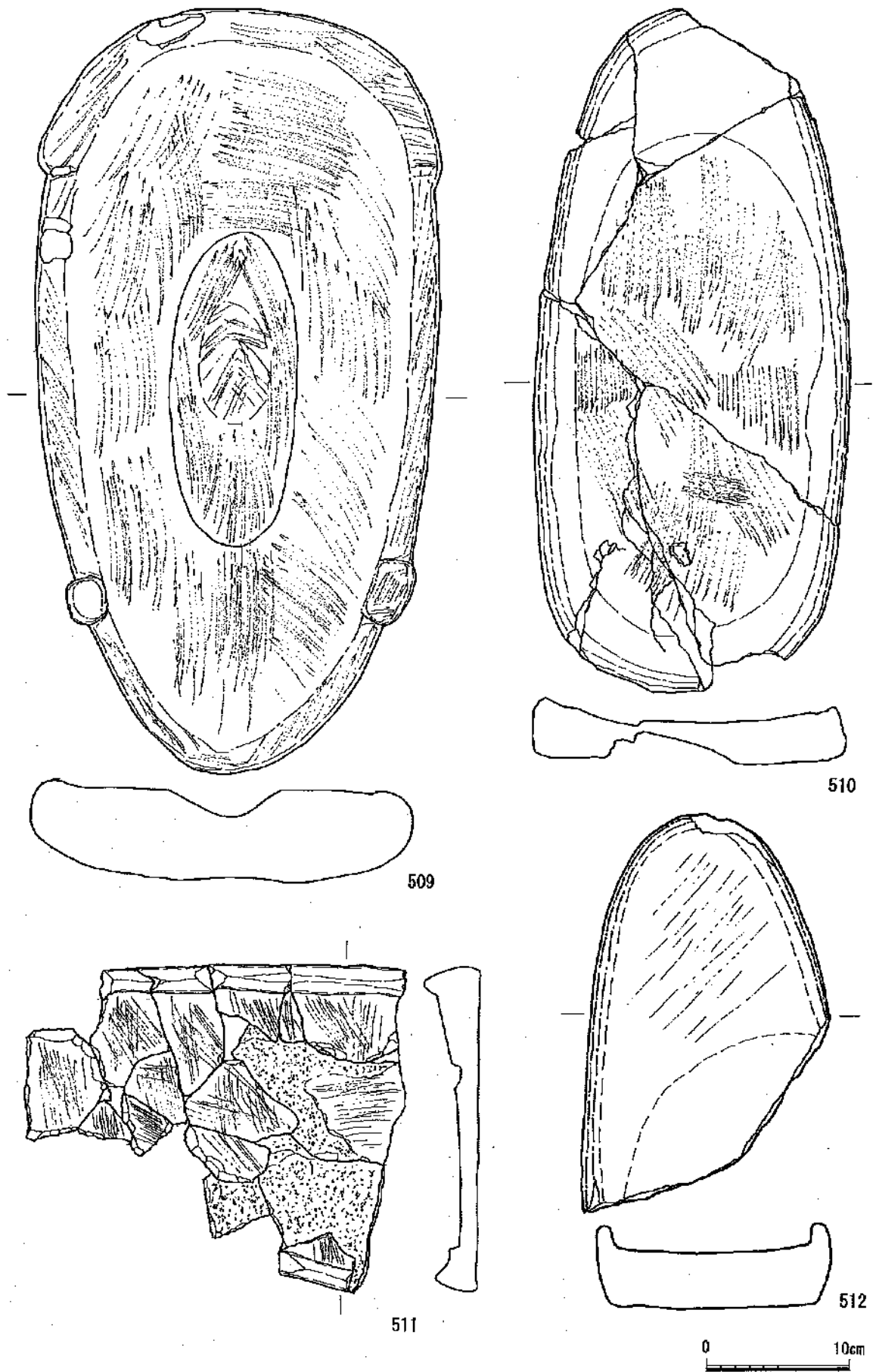
第108图 石器实测图 凹石(1)



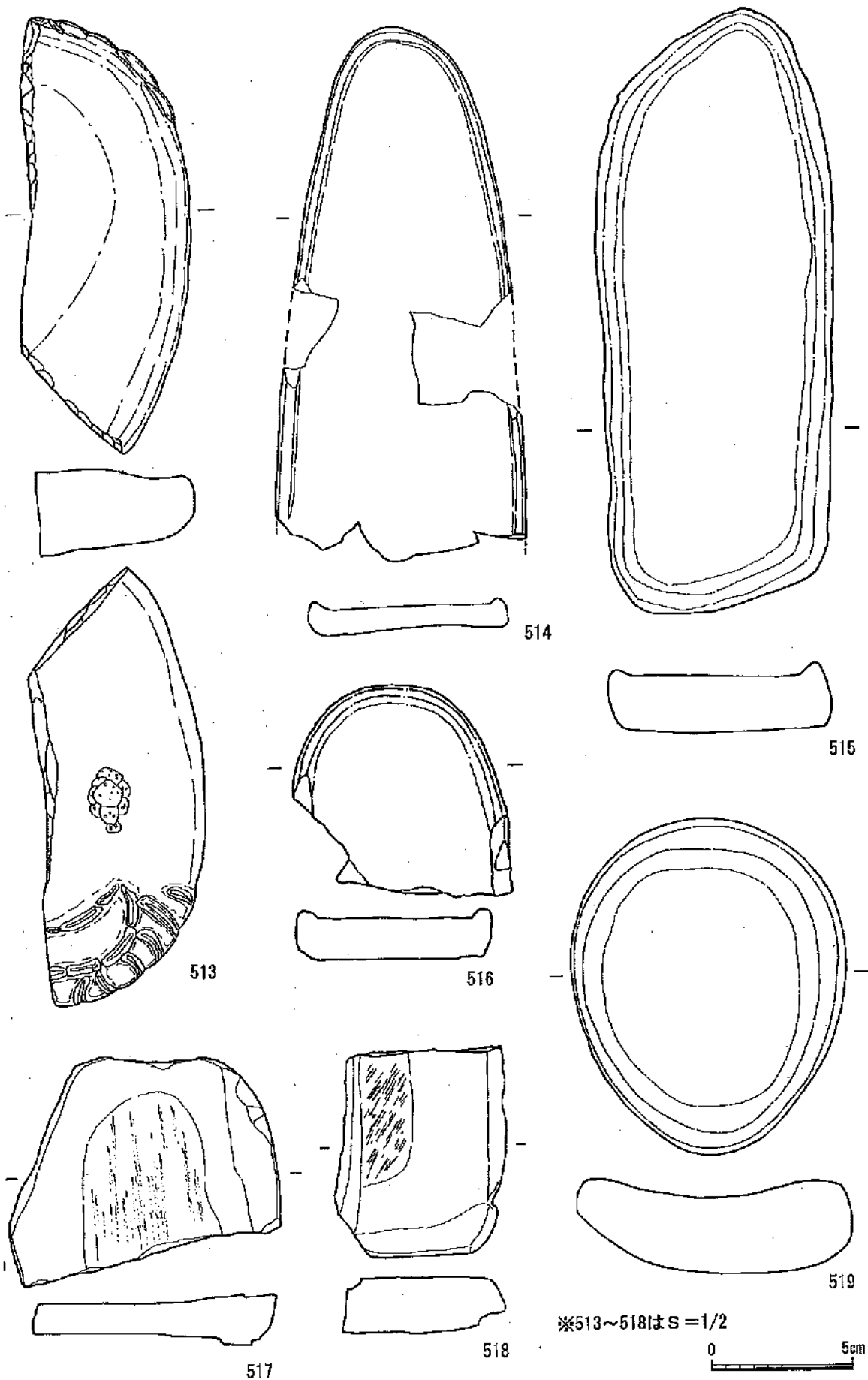
第109图 石器实测图 凹石(2)



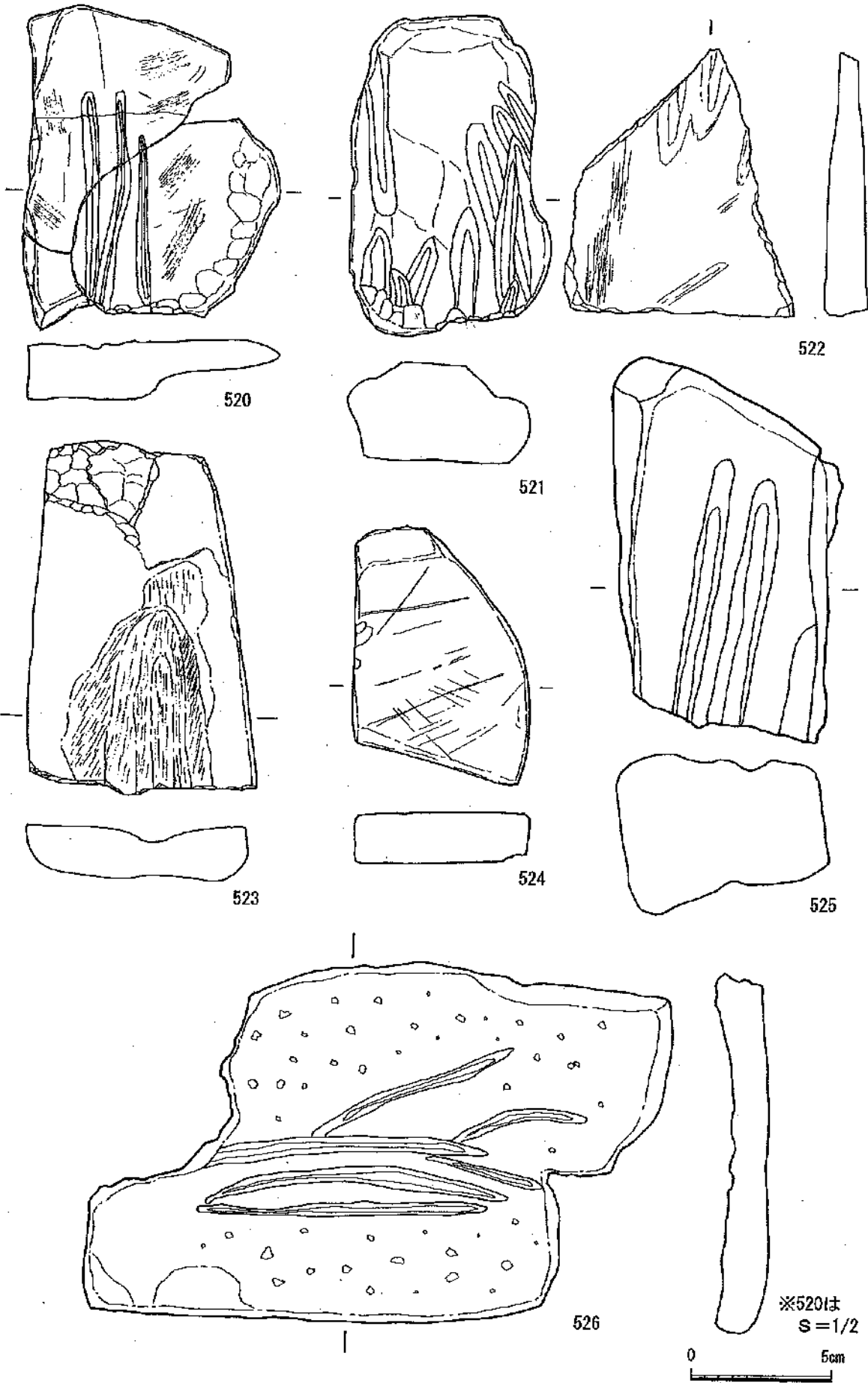
第110图 石器实测图 磨石



第111图 石器实测图 石皿(1)



第112図 石器実測図 石皿(2)



第113図 石器実測図 砥石

第31表

図原番号	採掘番号	採掘グランド名	層位	地質	石質	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(kg)	照像機写真 図原番号
91図1	D1区-VB-88	D1区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.7	1.3	0.3	0.8	9-20-4
91図2	D2区-VB-103	D2区-VB-103	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.8	1.4	0.3	0.8	9-6-10
91図3	D3区-VB-102	D3区-VB-102	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.2	1.3	0.2	0.4	9-6-8
91図4	D4区-VB-102	D4区-VB-102	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.7	1.5	0.3	0.8	9-5-12
91図5	D5区-VB-102	D5区-VB-102	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.6	0.4	0.8	9-4-25
91図6	D6区-VB-88	D6区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.1	1.4	0.2	0.8	10-76-13
91図7	D7区-VB-88	D7区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.9	1.3	0.2	0.4	18-62-2
91図8	F1区-VB-88	F1区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.5	0.3	0.8	4-68-3
91図9	F2区-VB-88	F2区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.5	0.3	0.8	18-39-4
91図10	F3区-VB-88	F3区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.2	1.3	0.3	0.6	18-39-4
91図11	D7区-VB-88	D7区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.0	0.3	0.6	18-39-4
91図12	D8区-VB-88	D8区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.7	1.3	0.3	0.8	10-76-17
91図13	D9区-VB-88	D9区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.1	1.3	0.3	0.8	10-76-17
91図14	D10区-VB-88	D10区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.2	1.6	0.4	0.8	2-24-1
91図15	D11区-VB-88	D11区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.7	1.4	0.3	0.8	2-24-1
91図16	D12区-VB-88	D12区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.1	1.5	0.3	0.8	18-39-14
91図17	D13区-VB-88	D13区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.1	1.3	0.3	0.8	4-68-39
91図18	D14区-VB-88	D14区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.8	1.2	0.2	0.5	9-51-6
91図19	D15区-VB-88	D15区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.8	1.3	0.2	0.3	4-68-38
91図20	D16区-VB-88	D16区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.8	1.5	0.3	0.5	9-51-9
91図21	D17区-VB-88	D17区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.2	1.8	0.3	1.0	9-41-14
91図22	D18区-VB-88	D18区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.0	1.8	0.4	1.0	12-39-8
91図23	D19区-VB-88	D19区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.5	1.5	0.4	0.8	4-68-26
91図24	D20区-VB-88	D20区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.5	1.5	0.4	0.8	4-68-28
91図25	D21区-VB-88	D21区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	4.3	1.1	0.4	1.7	18-11-1
91図26	D22区-VB-88	D22区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.2	1.1	0.3	0.3	2-64-33
91図27	D23区-VB-88	D23区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.4	1.2	0.4	0.6	2-64-25
91図28	D24区-VB-88	D24区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.8	1.2	0.4	0.5	4-68-20
91図29	D25区-VB-88	D25区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.9	1.0	0.3	2-64-31
91図30	D26区-VB-88	D26区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.3	1.0	0.2	0.3	4-68-21
91図31	D27区-VB-88	D27区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.0	0.2	0.3	4-68-21
91図32	D28区-VB-88	D28区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.0	0.3	0.4	3-48-12
91図33	D29区-VB-88	D29区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.2	1.3	0.5	0.9	-
91図34	D30区-VB-88	D30区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.2	0.6	1.1	12-39-25
91図35	D31区-VB-88	D31区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.3	0.3	1.0	18-60-3
91図36	D32区-VB-88	D32区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.8	1.3	0.3	0.8	4-68-18
91図37	D33区-VB-88	D33区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.5	0.3	0.8	4-68-18
91図38	D34区-VB-88	D34区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.0	0.2	0.4	12-39-32
91図39	D35区-VB-88	D35区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.7	1.3	0.4	0.8	2-64-27
91図40	D36区-VB-88	D36区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.9	1.3	0.3	1.1	10-76-24
91図41	D37区-VB-88	D37区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.0	0.3	0.9	18-39-19
91図42	D38区-VB-88	D38区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.4	1.8	0.9	1.4	4-68-18
91図43	D39区-VB-88	D39区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.5	1.1	0.4	1.2	4-68-38
91図44	D40区-VB-88	D40区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.7	1.4	0.4	1.0	2-64-29
91図45	D41区-VB-88	D41区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.5	1.5	0.4	0.8	2-64-35
91図46	D42区-VB-88	D42区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.8	0.5	2.1	9-41-11
91図47	D43区-VB-88	D43区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.7	2.0	0.1	2.1	2-64-16
91図48	D44区-VB-88	D44区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.1	1.1	0.3	0.8	4-68-35
91図49	D45区-VB-88	D45区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.5	1.1	0.2	0.7	4-68-37
91図50	D46区-VB-88	D46区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.8	1.5	0.4	0.7	18-61-1
91図51	D47区-VB-88	D47区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.8	1.4	0.3	0.8	4-68-17
91図52	D48区-VB-88	D48区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.8	1.4	0.3	0.8	4-68-17
91図53	D49区-VB-88	D49区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.1	1.2	0.3	0.5	4-68-4
91図54	D50区-VB-88	D50区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.4	1.3	0.3	0.7	3-48-4
91図55	D51区-VB-88	D51区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.1	1.4	0.2	0.6	11-64-28
91図56	D52区-VB-88	D52区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.4	1.6	0.3	1.2	9-20-11
91図57	D53区-VB-88	D53区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.8	1.5	0.4	1.0	11-68-11
91図58	D54区-VB-88	D54区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.2	1.6	0.3	1.3	18-68-15
91図59	D55区-VB-88	D55区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.2	1.6	0.3	1.5	18-68-15
91図60	D56区-VB-88	D56区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.2	1.3	0.5	1.5	14-36-7

石器観察表(1)

図原番号	採掘番号	採掘グランド名	層位	種類	石質	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	照像機写真 図原番号
91図61	D57区-VB-88	D57区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.6	1.3	0.5	1.7	13-68-14
91図62	D58区-VB-88	D58区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.7	1.1	0.4	0.8	9-51-10
91図63	D59区-VB-88	D59区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.3	1.4	0.6	2.1	17-44-9
91図64	D60区-VB-88	D60区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.9	1.6	0.4	1.1	11-64-28
91図65	D61区-VB-88	D61区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.8	1.3	0.4	1.1	11-64-28
91図66	F1区-VB-88	F1区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.7	1.5	0.3	0.8	8-78-23
91図67	F2区-VB-88	F2区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.2	1.8	0.5	1.2	11-64-27
91図68	F3区-VB-88	F3区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.3	1.2	0.3	1.6	18-69-13
91図69	F4区-VB-88	F4区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.8	1.6	0.5	1.8	8-78-11
91図70	F5区-VB-88	F5区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.5	1.3	0.3	0.7	5-68-7
91図71	F6区-VB-88	F6区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	4.4	1.8	0.7	4.2	6-78-8
91図72	F7区-VB-88	F7区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	4.1	1.7	0.5	3.4	4-95-12
91図73	D71区-VB-88	D71区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.5	1.5	0.5	1.4	12-59-30
91図74	D72区-VB-88	D72区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.3	1.6	0.5	1.8	10-59-30
91図75	D73区-VB-88	D73区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	4.3	1.9	0.5	2.9	7-34-8
91図76	D74区-VB-88	D74区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.9	1.4	0.4	2.3	9-22-27
91図77	D75区-VB-88	D75区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	4.2	1.3	0.6	3.0	9-22-28
91図78	D76区-VB-88	D76区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.4	0.4	0.8	3-64-86
91図79	D77区-VB-88	D77区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.7	1.3	0.5	1.2	12-39-27
91図80	D78区-VB-88	D78区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.8	1.4	0.4	0.8	11-63-18
91図81	D79区-VB-88	D79区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.4	1.2	0.4	0.8	11-63-18
91図82	D80区-VB-88	D80区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.9	1.4	0.3	1.3	19-99-7
91図83	D81区-VB-88	D81区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	3.2	1.4	0.3	1.3	11-63-21
91図84	D82区-VB-88	D82区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.2	1.1	0.3	0.8	5-68-25
91図85	D83区-VB-88	D83区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.4	0.4	1.1	19-38-38
91図86	D84区-VB-88	D84区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.4	0.4	0.8	3-64-86
91図87	D85区-VB-88	D85区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.4	0.4	1.1	2-64-38
91図88	D86区-VB-88	D86区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.7	1.4	0.4	0.7	2-64-39
91図89	D87区-VB-88	D87区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.1	0.3	0.5	19-38-1
91図90	D88区-VB-88	D88区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.0	0.3	0.7	8-51-24
91図91	D89区-VB-88	D89区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.4	1.1	0.4	0.8	8-51-24
91図92	D90区-VB-88	D90区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.2	1.2	0.3	0.7	17-44-3
91図93	D91区-VB-88	D91区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.4	1.4	0.5	1.3	19-38-6
91図94	D92区-VB-88	D92区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.1	1.3	0.8	0.7	10-70-22
91図95	D93区-VB-88	D93区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.5	0.4	0.9	19-70-3
91図96	D94区-VB-88	D94区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.3	0.4	0.8	18-70-1
91図97	D95区-VB-88	D95区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.6	1.3	0.4	0.8	2-64-3
91図98	D96区-VB-88	D96区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.2	1.3	0.4	0.7	11-60-28
91図99	D97区-VB-88	D97区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	1.9	1.3	0.3	0.5	4-60-3
91図100	D98区-VB-88	D98区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.3	1.3	0.3	0.8	2-64-4
91図101	D99区-VB-88	D99区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.6	0.3	0.8	2-64-4
91図102	D100区-VB-88	D100区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.2	1.2	0.4	0.7	9-51-22
91図103	D101区-VB-88	D101区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.3	0.3	0.6	19-40-1
91図104	D102区-VB-88	D102区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.3	0.3	0.6	19-40-1
91図105	D103区-VB-88	D103区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.3	0.4	0.9	3-48-11
91図106	D104区-VB-88	D104区-VB-88	Ⅱa ^b	石炭	凝灰岩	2.0	1.4	0.4	0.7	3-48-6
91図107	D105区-VB-88	D10								

第32表

石器観察表(2)

図号	標本番号	遺構・ブリード名	層位	種類	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(mm)	重量(g)	図説番号	図説掲載頁
9301	118	D1区-VF-90	Ⅱa	石核	珪質頁岩	1.5	1.1	0.2	0.2	4-93-31	15-16-6
9302	120	D7区-ZE-65	Ⅱa	石核	珪質頁岩	1.8	1.0	0.3	0.5	12-93-13	3-48-4
9303	121	D2区-SX(S)17	Ⅱa	石核	珪質頁岩	1.2	1.2	0.2	0.2	2-84-9	12-40-7
9304	122	D2区-VF-104	Ⅱc	石核	珪質頁岩	2.1	1.8	0.4	0.7	2-64-37	4-90-10
9305	123	D2区-ZH-106	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.4	1.4	0.4	0.5	3-48-7	5-49-4
9306	124	D2区-KV-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.0	1.8	0.5	0.8	2-84-4	12-93-13
9307	125	D2区-SX(S)17	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.0	1.5	0.4	0.4	2-84-8	12-93-13
9308	126	F4区-VF-104	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.9	1.2	0.3	0.3	4-93-1	12-93-13
9309	127	D1区-VF-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.9	1.4	0.3	0.5	9-97-1	10-78-75
9310	128	D2区-VF-88	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.0	1.4	0.4	1.1	10-78-20	10-78-75
9311	129	D2区-ZH-83	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.7	1.2	0.5	1.3	11-43-15	10-78-75
9312	130	D6区-ZE-56	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.7	1.2	0.5	1.3	11-43-16	10-78-75
9313	131	D3区-VF-101	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.7	1.2	0.5	1.3	11-43-17	10-78-75
9314	132	D3区-VF-87	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.6	1.2	0.4	0.9	13-48-11	10-78-75
9315	133	F4区-VF-104	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.1	1.5	0.4	1.2	10-78-10	10-78-75
9316	134	D1区-ZD-69	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.0	1.4	0.3	1.3	19-38-10	10-78-75
9317	135	F4区-VF-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.8	1.5	0.4	1.6	4-93-25	10-78-75
9318	136	D2区-VF-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.3	1.5	0.5	1.7	12-93-26	10-78-75
9319	137	D3区-VF-87	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.7	1.4	0.3	0.7	10-78-25	10-78-75
9320	138	D1区-ZD-42	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.3	1.3	0.3	1.1	9-51-21	10-78-75
9321	139	D3区-VF-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.3	1.5	0.5	1.7	12-93-26	10-78-75
9322	140	F5区-VF-114	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.6	2.2	0.4	1.7	2-84-1	10-78-75
9323	141	D1区-ZE-64	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.0	1.8	0.4	1.5	14-30-12	10-78-75
9324	142	D1区-VF-90	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.0	1.7	0.4	1.4	12-93-1	10-78-75
9325	143	F4区-VF-107	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.8	1.1	0.4	0.5	4-93-7	10-78-75
9326	144	D2区-ZE-108	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.2	1.8	0.3	1.7	13-58-18	10-78-75
9327	145	D2区-ZE-108	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.3	2.2	0.5	1.8	3-48-1	10-78-75
9328	146	D2区-VF-85	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.5	1.3	0.3	1.3	2-84-14	10-78-75
9329	147	F4区-VF-101	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.9	1.0	0.7	2.7	12-93-41	10-78-75
9330	148	D6区-VF-63	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.9	1.9	0.8	2.8	14-38-10	10-78-75
9331	149	D1区-VF-82	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.3	2.2	0.7	3.8	13-93-23	10-78-75
9332	150	D1区-VF-82	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.3	1.6	0.9	1.1	2-84-3	10-78-75
9333	151	D2区-ZE-106	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.6	0.8	0.2	0.2	3-48-14	10-78-75
9334	152	D3区-VF-80	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.9	1.3	0.3	0.5	10-77-82	10-78-75
9335	153	D2区-ZE-68	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.8	1.3	0.5	1.5	16-41-3	10-78-75
9336	154	D1区-VF-101	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.7	2.0	0.4	2.8	2-84-4	10-78-75
9337	155	D1区-ZH-89	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.9	1.5	0.3	1.0	4-93-4	10-78-75
9338	156	D1区-ZH-89	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.4	1.8	0.3	1.8	12-93-48	10-78-75
9339	157	D1区-VF-83	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.3	1.5	0.3	0.5	4-93-3	10-78-75
9340	158	D1区-SX(S)20(2)	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.1	1.5	0.3	0.8	4-93-1	10-78-75
9341	159	D1区-VF-82	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.6	1.5	0.3	0.4	2-84-11	10-78-75
9342	160	D6区-VF-82	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.8	1.3	0.3	0.4	18-60-8	10-78-75
9343	161	D3区-VF-88	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.7	1.2	0.3	0.3	10-77-39	10-78-75
9344	162	D1区-VF-102	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.9	1.7	0.3	0.7	2-84-10	10-78-75
9345	163	D9区-SI-4	Ⅱb	石核	珪質頁岩	1.8	1.3	0.3	0.4	16-41-3	10-78-75
9346	164	D6区-SI-6	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.0	1.3	0.3	0.5	18-21-36	10-78-75
9347	165	D1区-VF-81	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.0	1.2	0.4	0.8	12-93-35	10-78-75
9348	166	D2区-VF-102	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.0	1.6	0.5	1.1	2-84-12	10-78-75
9349	167	D9区-ZH-59	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.5	1.4	0.3	0.7	11-43-17	10-78-75
9350	168	F4区-SI-131	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.8	1.2	0.3	1.0	22-38-4	10-78-75
9351	169	F4区-VF-101	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.4	1.7	0.3	0.8	13-58-21	10-78-75
9352	170	F4区-VF-83	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.2	1.1	0.3	0.4	10-77-48	10-78-75
9353	171	S2区-VF-116	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.0	1.3	0.4	0.7	16-88-7	10-78-75
9354	172	F4区-VF-102	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.2	1.5	0.3	0.5	13-58-18	10-78-75
9355	173	F4区-VF-101	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.5	1.5	0.3	1.0	9-52-58	10-78-75
9356	174	D1区-ZE-104	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.3	1.9	0.2	0.4	2-84-8	10-78-75
9357	175	D6区-VF-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.1	1.5	0.3	1.2	9-52-8	10-78-75
9358	176	D6区-ZE-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.8	1.4	0.3	1.2	9-52-30	10-78-75
9359	177	D6区-VF-87	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.5	2.8	0.6	5.0	10-78-78	10-78-78
9360	178	F4区-VF-100	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.7	2.8	0.6	5.9	9-21-23	10-78-78
9361	179	D2区-VF-89	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.5	2.3	0.7	3.5	11-43-59	10-78-78
9362	180	D7区-ZE-60	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.8	1.3	0.4	1.4	12-40-7	10-78-78
9363	181	D1区-SX(S)27	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.5	1.2	0.5	1.3	4-90-10	10-78-78
9364	182	D2区-ZE-84	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.3	0.8	0.3	0.5	5-49-4	10-78-78
9365	183	F4区-VF-100	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.4	1.0	0.5	1.2	12-93-27	10-78-78
9366	184	D1区-VF-80	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.9	1.0	0.5	1.1	2-84-15	10-78-78
9367	185	D1区-VF-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	4.1	0.9	0.5	3.3	2-84-15	10-78-78
9368	186	D2区-VF-88	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.8	1.0	0.7	2.0	2-84-14	10-78-78
9369	187	D2区-VF-88	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.6	0.9	0.5	2.0	2-84-14	10-78-78
9370	188	F4区-VF-101	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.5	1.0	0.4	1.4	17-94-14	10-78-78
9371	189	F4区-VF-101	Ⅱb	石核	珪質頁岩	4.3	1.2	0.7	3.4	2-84-15	10-78-78
9372	190	D2区-VF-88	Ⅱb	石核	珪質頁岩	4.1	1.3	0.7	3.2	17-94-15	10-78-78
9373	191	D3区-VF-87	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.9	1.2	0.6	3.3	10-77-59	10-78-78
9374	192	D6区-ZE-77	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.8	1.2	0.7	3.0	15-70-9	10-78-78
9375	193	D3区-VF-80	Ⅱb	石核	珪質頁岩	4.7	1.0	0.7	3.0	10-77-43	10-78-78
9376	194	D1区-ZE-62	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.8	1.2	0.4	2.5	12-93-33	10-78-78
9377	195	D1区-SX(S)101	Ⅱb	石核	珪質頁岩	6.7	1.3	0.7	0.8	2-48-5	10-78-78
9378	196	D1区-VF-102	Ⅱb	石核	珪質頁岩	6.0	1.2	0.8	3.8	2-44-17	10-78-78
9379	197	D1区-SX(S)23	Ⅱb	石核	珪質頁岩	6.0	1.2	0.8	5.0	12-97-10	10-78-78
9380	198	D1区-VF-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	6.9	1.5	0.8	6.0	12-97-10	10-78-78
9381	199	D1区-ZE-64	Ⅱb	石核	珪質頁岩	6.0	1.1	0.8	5.2	12-93-60	10-78-78
9382	200	D7区-ZE-66	Ⅱb	石核	珪質頁岩	6.1	1.1	0.8	5.0	12-93-60	10-78-78
9383	201	D3区-VF-88	Ⅱb	石核	珪質頁岩	5.7	0.9	0.7	3.9	10-77-64	10-78-78
9384	202	F4区-VF-98	Ⅱb	石核	珪質頁岩	6.8	1.5	0.4	1.2	19-49-40	10-78-78
9385	203	F4区-VF-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	6.8	1.5	0.4	1.2	19-49-40	10-78-78
9386	204	D1区-VF-103	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.9	1.5	0.4	1.2	19-49-40	10-78-78
9387	205	D3区-ZH-86	Ⅱb	石核	珪質頁岩	4.3	1.2	1.6	2.0	10-78-74	10-78-78
9388	206	D7区-VF-89	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.8	1.2	0.2	1.0	12-93-23	10-78-78
9389	207	D3区-VF-89	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.8	1.0	0.3	1.1	10-79-70	10-78-78
9390	208	D3区-VF-89	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.7	1.3	0.3	1.2	10-78-98	10-78-78
9391	209	D3区-ZE-88	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.9	1.3	0.3	0.9	13-99-38	10-78-78
9392	210	F4区-VF-104	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.4	1.2	0.5	0.8	11-48-61	10-78-78
9393	211	D6区-ZE-61	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.1	1.9	0.5	1.3	10-78-75	10-78-78
9394	212	D3区-VF-88	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.0	1.8	0.3	1.8	4-93-58	10-78-78
9395	213	D3区-VF-85	Ⅱb	石核	珪質頁岩	2.6	1.5	0.3	0.7	4-93-57	10-78-78
9396	214	D1区	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.6	1.7	0.4	1.0	9-21-31	10-78-78
9397	215	D1区	Ⅱb	石核	珪質頁岩	4.4	2.1	0.5	1.9	17-84-18	10-78-78
9398	216	D1区	Ⅱb	石核	珪質頁岩	4.3	1.7	0.8	3.2	10-78-73	10-78-78
9399	217	D1区	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.2	1.8	0.8	3.5	18-53-4	10-78-78
9400	218	D2区-O-48	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.9	2.2	0.8	5.5	12-61-54	10-78-78
9401	219	D3区-VF-87	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.2	2.2	0.8	4.2	9-53-48	10-78-78
9402	220	F4区-VF-84	Ⅱb	石核	珪質頁岩	3.9	2.1	0.2	4.2	9-53-48	10-78-78
9403	221	D7区-ZE-52	Ⅱb	石核	珪質頁岩	4.3	2.1	0.5	3.0	4-93-58	10-78-78
9404	222	D6区-VF-101	Ⅱb	石核	珪質頁岩	4.3	2.1	0.5	3.0	4-93-58	10-78-78
9405	223	D1区	Ⅱb	石核	珪						

第33表

石器観覧表(3)

国庫 番号	品名	石質	形状	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(kg)	出土地	調査年
969	石斧	花崗岩	片状	8.2	1.0	0.8	1.4	3-48-10	1968
970	石斧	花崗岩	片状	3.9	1.6	1.3	5.8	15-70-12	1968
971	石斧	花崗岩	片状	3.5	1.5	0.8	3.2	12-62-37	1968
972	石斧	花崗岩	片状	4.2	1.0	0.3	1.1	10-19-11	1968
973	石斧	花崗岩	片状	4.8	1.5	0.5	3.8	10-18-44	1968
974	石斧	花崗岩	片状	5.3	2.0	1.0	8.2	18-41-5	1968
975	石斧	花崗岩	片状	6.8	0.7	0.9	17.5	12-81-43	1968
976	石斧	花崗岩	片状	5.5	2.5	0.9	10.3	13-40-49	1968
977	石斧	花崗岩	片状	2.4	0.4	0.4	0.1	10-40-83	1968
978	石斧	花崗岩	片状	5.4	2.6	0.7	9.3	17-68-13	1968
979	石斧	花崗岩	片状	5.8	2.3	0.6	12.4	18-60-11	1968
980	石斧	花崗岩	片状	4.8	2.2	0.7	10.1	12-62-83	1968
981	石斧	花崗岩	片状	5.1	2.7	0.5	10.0	12-68-16	1968
982	石斧	花崗岩	片状	5.2	3.0	0.5	7.9	11-64-84	1968
983	石斧	花崗岩	片状	5.8	3.2	0.3	9.9	13-40-32	1968
984	石斧	花崗岩	片状	5.5	3.7	0.9	23.5	13-70-16	1968
985	石斧	花崗岩	片状	5.2	3.4	1.0	18.4	12-82-76	1968
986	石斧	花崗岩	片状	5.9	3.4	0.8	17.4	15-70-18	1968
987	石斧	花崗岩	片状	5.3	3.4	0.8	18.0	15-84-105	1968
988	石斧	花崗岩	片状	7.0	3.7	0.9	27.8	12-68-100	1968
989	石斧	花崗岩	片状	8.0	3.8	1.1	28.2	12-84-108	1968
990	石斧	花崗岩	片状	8.5	3.0	0.7	19.2	10-108-23	1968
991	石斧	花崗岩	片状	8.4	3.1	1.0	28.0	18-45-17	1968
992	石斧	花崗岩	片状	8.7	3.4	0.7	26.1	12-69-95	1968
993	石斧	花崗岩	片状	6.8	4.1	0.7	23.8	11-87-87	1968
994	石斧	花崗岩	片状	7.4	3.2	0.6	20.8	11-87-80	1968
995	石斧	花崗岩	片状	8.9	3.9	0.8	28.3	15-70-19	1968
996	石斧	花崗岩	片状	8.8	2.4	0.7	15.0	12-83-94	1968
997	石斧	花崗岩	片状	8.7	2.3	0.8	33.1	12-83-97	1968
998	石斧	花崗岩	片状	8.1	1.8	0.4	8.2	10-138-24	1968
999	石斧	花崗岩	片状	6.2	2.4	0.1	10.9	16-18-19	1968
1000	石斧	花崗岩	片状	7.0	1.5	0.8	7.4	17-86-31	1968
1001	石斧	花崗岩	片状	7.1	2.2	0.9	15.1	12-83-90	1968
1002	石斧	花崗岩	片状	7.8	3.0	0.7	21.8	11-85-30	1968
1003	石斧	花崗岩	片状	7.2	3.2	0.9	21.7	12-83-86	1968
1004	石斧	花崗岩	片状	8.8	3.0	0.8	23.9	17-95-30	1968
1005	石斧	花崗岩	片状	7.2	2.4	1.3	28.0	15-70-20	1968
1006	石斧	花崗岩	片状	6.3	2.4	0.8	19.8	12-84-107	1968
1007	石斧	花崗岩	片状	6.3	3.0	0.7	8.7	12-84-108	1968
1008	石斧	花崗岩	片状	8.8	1.9	0.3	10.0	16-41-9	1968
1009	石斧	花崗岩	片状	4.3	4.5	0.6	16.7	10-78-101	1968
1010	石斧	花崗岩	片状	4.8	5.1	0.7	14.1	13-40-40	1968
1011	石斧	花崗岩	片状	4.4	4.2	0.9	16.0	12-86-119	1968
1012	石斧	花崗岩	片状	4.3	4.2	0.7	9.8	13-41-41	1968
1013	石斧	花崗岩	片状	3.5	4.7	0.7	11.6	8-54-63	1968
1014	石斧	花崗岩	片状	4.0	6.4	0.8	20.0	13-40-59	1968
1015	石斧	花崗岩	片状	4.0	5.5	0.8	22.3	11-87-85	1968
1016	石斧	花崗岩	片状	5.2	5.3	0.8	21.3	10-79-100	1968
1017	石斧	花崗岩	片状	5.1	5.8	0.8	23.0	18-45-21	1968
1018	石斧	花崗岩	片状	4.5	5.3	0.8	22.8	18-45-22	1968
1019	石斧	花崗岩	片状	4.0	3.2	0.6	9.4	13-40-57	1968
1020	石斧	花崗岩	片状	3.9	3.4	1.0	13.8	15-39-15	1968
1021	石斧	花崗岩	片状	5.2	2.1	0.7	8.3	17-95-26	1968
1022	石斧	花崗岩	片状	4.1	3.1	1.0	14.2	12-62-72	1968
1023	石斧	花崗岩	片状	4.5	2.5	0.8	12.7	11-89-85	1968
1024	石斧	花崗岩	片状	4.7	4.2	1.1	18.4	12-85-121	1968
1025	石斧	花崗岩	片状	4.0	4.7	0.4	6.8	12-85-118	1968
1026	石斧	花崗岩	片状	4.2	4.7	0.7	18.0	13-61-62	1968

国庫 番号	品名	石質	形状	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(kg)	出土地	調査年
998	石斧	花崗岩	片状	4.8	5.6	1.0	24.9	10-78-43	1968
999	石斧	花崗岩	片状	4.8	4.5	0.8	16.4	15-71-23	1968
1000	石斧	花崗岩	片状	4.3	5.1	1.0	20.9	13-61-63	1968
1001	石斧	花崗岩	片状	4.0	5.2	0.8	18.7	11-87-84	1968
1002	石斧	花崗岩	片状	3.7	5.1	0.9	13.3	10-78-48	1968
1003	石斧	花崗岩	片状	4.1	3.2	0.9	9.8	17-84-28	1968
1004	石斧	花崗岩	片状	3.7	5.8	0.9	14.2	15-18-23	1968
1005	石斧	花崗岩	片状	3.4	5.4	0.7	13.9	16-18-21	1968
1006	石斧	花崗岩	片状	4.8	3.0	0.7	10.4	17-96-85	1968
1007	石斧	花崗岩	片状	3.3	4.3	0.6	7.5	12-86-116	1968
1008	石斧	花崗岩	片状	4.3	6.0	0.8	24.1	11-87-81	1968
1009	石斧	花崗岩	片状	3.4	4.8	0.8	8.8	9-54-64	1968
1010	石斧	花崗岩	片状	4.9	5.8	1.1	28.5	15-71-85	1968
1011	石斧	花崗岩	片状	4.2	6.1	0.8	23.4	10-78-48	1968
1012	石斧	花崗岩	片状	3.0	6.8	1.0	20.8	12-65-100	1968
1013	石斧	花崗岩	片状	3.8	6.3	0.9	20.4	17-95-86	1968
1014	石斧	花崗岩	片状	2.6	2.8	1.1	11.2	17-95-42	1968
1015	石斧	花崗岩	片状	5.6	2.4	1.6	23.8	16-37-31	1968
1016	石斧	花崗岩	片状	3.5	2.4	0.8	7.9	16-39-32	1968
1017	石斧	花崗岩	片状	5.1	3.0	0.7	10.7	17-95-44	1968
1018	石斧	花崗岩	片状	6.5	4.9	1.4	44.9	17-46-40	1968
1019	石斧	花崗岩	片状	5.7	2.7	0.7	15.6	10-81-131	1968
1020	石斧	花崗岩	片状	4.2	4.2	1.2	48.1	4-87-85	1968
1021	石斧	花崗岩	片状	3.6	2.4	1.0	8.0	2-85-80	1968
1022	石斧	花崗岩	片状	4.9	2.3	1.3	14.8	17-96-47	1968
1023	石斧	花崗岩	片状	6.3	2.4	0.8	12.0	10-81-126	1968
1024	石斧	花崗岩	片状	2.8	2.5	1.4	22.3	14-87-88	1968
1025	石斧	花崗岩	片状	6.0	2.3	0.9	19.0	14-87-89	1968
1026	石斧	花崗岩	片状	6.0	2.4	1.4	18.1	14-87-90	1968
1027	石斧	花崗岩	片状	5.3	2.7	0.9	15.4	13-81-86	1968
1028	石斧	花崗岩	片状	4.3	2.9	0.7	9.8	18-40-18	1968
1029	石斧	花崗岩	片状	8.3	3.3	1.2	40.0	17-89-89	1968
1030	石斧	花崗岩	片状	6.5	2.5	1.8	28.0	10-81-100	1968
1031	石斧	花崗岩	片状	7.7	1.8	0.9	18.0	10-81-128	1968
1032	石斧	花崗岩	片状	7.8	4.3	1.2	47.8	12-86-124	1968
1033	石斧	花崗岩	片状	8.0	4.1	1.4	37.2	12-86-123	1968
1034	石斧	花崗岩	片状	3.7	4.9	0.7	18.3	16-42-14	1968
1035	石斧	花崗岩	片状	4.6	5.7	0.8	19.9	18-39-34	1968
1036	石斧	花崗岩	片状	5.5	4.3	0.7	31.8	16-42-15	1968
1037	石斧	花崗岩	片状	5.8	4.7	1.2	34.0	11-89-102	1968
1038	石斧	花崗岩	片状	7.8	4.8	1.0	37.0	15-32-2	1968
1039	石斧	花崗岩	片状	8.4	5.3	1.0	46.8	15-38-11	1968
1040	石斧	花崗岩	片状	8.1	4.9	1.1	71.1	11-88-103	1968
1041	石斧	花崗岩	片状	6.7	4.5	1.4	51.8	11-70-158	1968
1042	石斧	花崗岩	片状	8.1	4.1	1.4	43.8	12-30-31	1968
1043	石斧	花崗岩	片状	4.6	7.5	1.2	40.0	8-30-2	1968
1044	石斧	花崗岩	片状	14.1	4.0	1.2	92.1	6-80-81	1968
1045	石斧	花崗岩	片状	10.6	8.5	1.7	71.6	12-40-126	1968
1046	石斧	花崗岩	片状	10.8	3.8	1.2	87.6	15-42-12	1968
1047	石斧	花崗岩	片状	10.2	4.5	1.4	83.2	10-42-4	1968
1048	石斧	花崗岩	片状	8.2	4.5	1.4	61.0	18-71-80	1968
1049	石斧	花崗岩	片状	5.4	3.1	0.8	18.4	15-19-28	1968
1050	石斧	花崗岩	片状	3.1	3.9	0.7	12.8	14-38-47	1968

第34表

国庫 番号	採掘 場所	遺跡・グロウパ名	層位	種類	石質	長さ(m)	幅(m)	高さ(m)	型心(°)	取付部 取付番号
1010	355	D6区	-	銅鏃	-	-	-	-	11-28-7	
1010	356	F6区-VV-104	Ⅲa, Ⅱ	銅鏃	銅質厚板	6.2	5.2	1.3	44.7	18-19-30
1010	357	F6区-VV-102	-	銅鏃	銅質厚板	7.2	4.5	0.7	29.3	17-49-28
1010	358	F6区-VV-107	-	銅鏃	銅質厚板	4.8	5.1	1.2	13-38-4	
1010	359	D9区-VN-88	Ⅲc	銅鏃	銅質厚板	4.5	5.1	1.0	30.8	19-31-17
1010	360	D9区-VN-88	Ⅲc	銅鏃	銅質厚板	4.1	4.8	0.9	38.6	15-39-15
1010	361	F5区-VV-115	Ⅲa, Ⅱ	銅鏃	銅質厚板	4.4	4.9	1.4	41.8	14-39-48
1010	362	F7区-VV-24	-	銅鏃	銅質厚板	7.2	4.9	1.8	78.5	12-38-20
1010	363	F4区-VV-112	-	銅鏃	銅質厚板	7.9	5.0	1.2	47.9	13-17-9
1010	364	F4区-VV-118	-	銅鏃	銅質厚板	8.7	4.5	1.1	89.2	18-17-48
1010	365	F4区-VV-121	-	銅鏃	銅質厚板	8.4	4.5	1.1	89.2	18-17-48
1010	366	F4区-VV-108	-	銅鏃	銅質厚板	7.7	2.2	0.6	18.0	16-41-30
1010	367	F4区-VV-112	-	銅鏃	銅質厚板	6.6	2.7	1.0	16.0	15-19-33
1010	368	F4区-VV-106	-	銅鏃	銅質厚板	7.2	2.5	0.9	14.4	13-18-24
1010	369	F4区-VV-112	-	銅鏃	銅質厚板	14.1	4.7	1.5	101.0	14-39-50
1010	370	F6区-VV-113	Ⅲb, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	11.2	3.2	1.4	30.0	14-39-52
1010	371	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅱ	銅鏃	銅質厚板	10.5	3.8	1.8	67.3	19-42-17
1020	372	F7区-VV-226	-	銅鏃	銅質厚板	9.6	3.2	1.3	42.0	12-27-17
1020	373	F4区-VV-116	-	銅鏃	銅質厚板	4.2	5.5	1.2	28.7	13-17-8
1020	374	D7区-VV-90	Ⅲd	銅鏃	銅質厚板	4.1	3.8	0.8	15.3	2-9-103
1020	375	D7区-VV-90	Ⅲe, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	3.2	3.8	0.7	15.1	12-88-151
1020	376	D7区-VV-90	Ⅲf, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	3.8	6.7	1.0	40.3	11-88-118
1020	377	F4区-VV-78	-	銅鏃	銅質厚板	7.0	4.2	1.1	38.6	13-17-7
1020	378	D9区-VN-88	Ⅲc	銅鏃	銅質厚板	5.7	5.5	1.1	38.3	18-31-13
1020	379	D9区-VN-88	Ⅲc	銅鏃	銅質厚板	5.6	3.7	1.2	28.8	18-37-25
1020	380	D9区-VN-85	Ⅲc	銅鏃	銅質厚板	5.3	3.3	1.7	36.4	18-37-25
1020	381	D9区-VN-91	Ⅲc	銅鏃	銅質厚板	3.9	4.3	0.8	13.9	11-89-129
1020	382	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	3.5	3.3	0.7	21.2	12-68-26
1020	383	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	4.5	4.7	0.7	21.2	12-68-26
1020	384	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	3.5	6.2	0.6	16.3	12-38-33
1020	385	F4区-VV-113	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	6.7	6.7	1.4	48.5	19-54-17
1020	386	F4区-VV-114	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	8.8	4.2	0.9	33.2	14-10-81
1020	387	F4区-VV-113	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	5.5	4.5	1.0	37.0	14-10-82
1020	388	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	7.8	3.2	1.0	34.7	14-10-82
1020	389	F4区-VV-113	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	7.3	3.8	1.7	40.5	14-10-82
1020	390	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	3.0	6.6	1.8	117.3	12-68-142
1020	391	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	3.1	7.3	1.1	61.8	11-89-124
1020	392	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	6.3	7.2	2.0	114.7	11-89-125
1020	393	F4区-VV-100	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	3.7	5.2	1.2	70.4	13-61-69
1020	394	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	3.7	5.2	1.2	70.4	13-61-69
1020	395	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	3.0	2.4	0.8	50.9	9-54-73
1020	396	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	4.3	1.6	0.9	8.4	15-38-7
1020	397	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	6.3	5.4	1.6	37.4	12-67-141
1020	398	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	2.0	1.5	0.3	0.6	16-76-14
1020	399	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	1.7	1.3	0.3	0.3	16-41-4
1020	400	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	2.4	1.8	0.3	0.7	4-68-41
1020	401	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	2.0	1.3	0.4	0.7	15-70-7
1020	402	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	11-44-4	-	-	-	-
1020	403	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	9.5	4.9	2.7	138.3	12-67-139
1020	404	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	14.6	4.0	2.0	107.2	11-70-138
1020	405	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	11.7	4.5	2.7	174.2	11-70-139
1020	406	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	12.0	3.8	2.8	190.0	11-70-137
1020	407	F4区-VV-108	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	5.1	2.3	0.9	13-61-74	
1020	408	F4区-VV-104	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	9.8	2.4	1.4	12-68-143	
1020	409	F4区-VV-104	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	5.3	2.3	1.0	15-81-76	
1020	410	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	5.9	2.3	1.0	21.4	16-44-92
1020	411	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	8.0	2.5	1.3	38.9	12-17-7
1020	412	D9区-VN-88	Ⅲc, Ⅲ	銅鏃	銅質厚板	8.0	2.5	1.3	38.9	12-17-7

石器観察表(4)

国庫 番号	採掘 場所	遺跡・グロウパ名	層位	種類	石質	長さ(m)	幅(m)	高さ(m)	重量(g)	取付部 取付番号
1040	414	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.2	1.7	1.2	26.7	12-48-141
1040	415	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.2	1.7	1.2	26.7	12-48-141
1040	416	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.2	1.7	1.2	26.7	12-48-141
1040	417	F4区	Ⅲc	磨製石斧	砂質石灰岩	6.8	2.5	1.2	34.2	15-81-78
1040	418	D9区-VN-88	Ⅲc	磨製石斧	砂質石灰岩	6.0	1.8	1.0	18.9	9-59-88
1040	419	D9区-VN-100	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	6.0	1.8	1.0	18.9	9-59-88
1040	420	D9区	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	6.0	1.8	1.0	18.9	9-59-88
1040	421	D9区	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	6.0	1.8	1.0	18.9	9-59-88
1040	422	D9区-VV-40	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	6.8	1.8	1.0	34.5	20-82-30
1040	423	D9区-VV-38	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.0	3.8	1.5	94.1	19-82-139
1040	424	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.0	3.8	1.6	78.1	16-82-139
1040	425	F4区-VV-83	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.5	4.8	2.3	131.5	12-88-147
1040	426	D9区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	9.0	3.9	2.4	141.0	16-44-33
1040	427	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	9.0	3.9	2.4	141.0	16-44-33
1040	428	D9区-VV-103	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	10.2	4.5	2.8	201.3	11-71-164
1040	429	D9区	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.5	4.2	2.1	120.3	12-48-150
1040	430	D9区	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.6	3.8	1.8	106.1	9-86-101
1050	431	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.4	3.0	2.3	80.2	17-88-146
1050	432	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.2	4.1	3.2	100.2	12-88-146
1050	433	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	9.8	4.7	3.2	256.6	12-88-146
1050	434	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	12.2	4.6	3.0	36.3	17-88-45
1050	435	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	11.1	4.2	2.6	183.7	10-137-33
1050	436	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	11.2	4.2	2.3	202.5	10-137-33
1050	437	F4区-VV-83	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	11.2	4.2	2.4	177.5	7-21-1
1050	438	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	14.7	4.8	2.8	282.8	4-59-141
1050	439	F4区-VV-83	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	13.3	4.8	2.1	218.0	14-82-82
1050	440	F6区-VV-118	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	12.5	4.5	2.5	216.3	14-48-93
1050	441	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	11.2	4.2	2.4	178.1	11-71-153
1050	442	D9区	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	9.6	3.8	1.0	76.5	9-26-89
1050	443	D9区	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.5	4.5	1.7	78.3	11-72-188
1050	444	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.0	4.8	1.6	88.8	4-100-159
1050	445	D9区	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.0	4.8	1.6	88.8	4-100-159
1050	446	D9区-VV-103	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.0	4.8	1.6	88.8	4-100-159
1050	447	D9区	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.7	5.1	1.9	84.6	10-85-165
1050	448	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	6.3	4.6	1.9	73.2	15-79-46
1050	449	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.3	4.8	1.5	48.7	12-68-154
1050	450	D7区-VV-90	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	9.2	5.7	2.3	166.4	11-72-180
1050	451	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.7	5.1	1.6	102.0	15-88-15
1050	452	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.1	4.3	2.0	102.4	11-72-184
1050	453	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.3	4.2	2.0	44.3	12-68-185
1050	454	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	11.2	5.8	2.2	40.4	11-49-17
1050	455	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.4	5.8	3.2	304.3	9-57-111
1050	456	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.9	5.8	2.7	193.4	4-100-182
1050	457	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.8	4.0	1.7	77.3	11-24-18
1050	458	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	6.3	3.8	1.5	43.5	12-70-172
1050	459	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	6.8	3.2	1.2	40.4	11-49-17
1050	460	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.5	4.5	1.3	106.3	9-24-74
1050	461	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.5	4.5	1.3	106.3	9-24-74
1050	462	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	7.7	5.9	1.8	110.9	14-43-103
1050	463	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.7	5.2	1.7	104.6	11-72-187
1050	464	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	8.2	5.3	2.0	148.4	12-27-8
1050	465	D9区-VV-89	Ⅲc, Ⅲ	磨製石斧	砂質石灰岩	9.3	5.3	2.0	227.4	14-48-108

第35表 石器観察表(5)

図版 番号	採集 番号	採集・グリップ番号	位置	種類	材質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	昭和幾何学 図版番号
107	473	D8区-F4-123	-	磨石	緑色凝灰岩	8.8	8.0	2.8	200.4	15-39-23
107	474	D1区	-	磨石	砂質凝灰岩	8.3	4.4	3.7	181.8	4-107-189
107	475	D8区-SK-F28	-	磨石	砂質凝灰岩	7.6	8.6	5.2	351.0	15-39-2
108	476	D6区-Z1-99	Ⅲc	凹石	砂質凝灰岩	9.2	9.9	2.0	103.9	15-73-186
108	477	D6区-Z1-82	Ⅲb	凹石	凝灰凝灰岩	10.7	4.0	2.0	120.0	10-132-7
109	478	D3区-SK-410	-	凹石	凝灰凝灰岩	10.1	8.2	2.7	356.3	4-107-173
108	479	D1区-SK-410	-	凹石	砂質凝灰岩	11.3	5.0	3.2	242.4	10-89-80
108	480	D3区-YB-49	Ⅲa	凹石	砂質凝灰岩	8.8	8.9	3.8	380.0	14-48-132
108	481	F5区-YA-118	Ⅲd	凹石	火山凝灰岩	9.4	7.3	5.5	502.2	12-87-16
108	482	D7区-YK-21	-	凹石	砂質凝灰岩	8.5	7.5	4.2	370.1	11-79-184
108	483	D6区-Z3-44	-	凹石	石英凝灰岩	-	-	-	-	10-129-47
109	484	D3区-ZY-84	Ⅲc	凹石	砂質凝灰岩	13.4	5.4	3.8	420.2	4-101-178
108	485	D1区-YK-90	Ⅲb	凹石	砂質凝灰岩	8.3	8.2	4.8	481.5	10-88-170
108	486	D1区-YK-87	Ⅲa	凹石	砂質凝灰岩	7.4	8.4	5.1	482.4	11-74-180
108	487	D6区-ZP-100	Ⅲa	凹石	砂質凝灰岩	8.4	7.8	5.1	465.8	11-74-183
108	488	D6区-ZA-97	Ⅲb	凹石	砂質凝灰岩	12.2	5.1	3.3	375.5	8-89-118
108	489	D6区	Ⅲc	凹石	砂質凝灰岩	10.8	5.3	3.1	344.8	15-20-41
108	490	F5区-YK-107	Ⅲc	凹石	砂質凝灰岩	13.0	5.8	3.9	392.0	15-20-41
108	491	F5区-YA-114	Ⅲc	凹石	砂質凝灰岩	12.2	4.7	3.8	364.8	14-48-144
109	492	D4区-F4-88	Ⅲb	凹石	凝灰岩	4.3	5.0	3.8	338.9	9-68-120
109	493	D4区-F4-88	-	凹石	凝灰岩	9.7	7.8	5.0	486.5	9-58-124
109	494	D5区	Ⅲc	凹石	砂質凝灰岩	5.1	4.5	4.5	120.1	14-48-182
109	495	F5区-YA-115	Ⅲc	磨石	火山凝灰岩	4.1	4.0	3.3	86.3	18-45-32
110	496	D6区-ZP-89	Ⅲc	磨石	凝灰凝灰岩	4.8	4.5	3.5	95.1	14-49-155
110	497	F5区-YA-114	Ⅲc	磨石	砂質凝灰岩	5.4	6.1	2.3	128.5	10-87-187
110	498	D3区-YG-91	Ⅲc	磨石	砂質凝灰岩	5.3	5.0	3.8	171.2	11-74-188
110	499	D6区-ZM-44	Ⅲc	磨石	火山岩	4.8	4.1	3.8	95.5	15-28-34
110	500	D6区-ZP-84	-	磨石	石英凝灰岩	6.2	4.5	1.3	52.5	8-59-128
110	501	D4区	-	磨石	砂質凝灰岩	14.8	7.7	5.0	525.5	12-72-189
110	502	D7区-YA-106	Ⅲc	磨石	火山凝灰岩	8.4	7.0	3.3	297.6	13-82-94
110	503	F4区-YA-100	-	磨石	火山岩	6.8	7.8	4.8	326.3	10-18-17
110	504	D6区-F4-104	Ⅲc	磨石	火山凝灰岩	9.1	6.7	4.4	442.9	8-25-75
110	505	D6区-YA-96	Ⅲc	磨石	火山岩	7.2	8.0	4.0	452.6	17-36-30
110	506	D6区-YA-108	Ⅲd	磨石	火山凝灰岩	6.0	10.0	5.1	817.2	10-108-3
110	507	D4区-F4-217	-	磨石	砂質凝灰岩	5.0	2.8	6.8	-	13-83-97
110	508	F4区-YA-101	Ⅲb	磨石	砂質凝灰岩	4.8	2.0	4.0	-	13-82-95
111	509	F4区-YA-104	Ⅲb	磨石	砂質凝灰岩	22.0	28.6	4.3	-	14-59-167
111	510	F4区-YA-118	Ⅲb	磨石	砂質凝灰岩	23.0	17.0	6.1	-	12-73-408
111	511	D7区-ZD-92	Ⅲa	磨石	砂質凝灰岩	23.1	10.7	6.5	-	17-48-7
112	512	D2区-SK-F107	-	磨石	火山凝灰岩	4.2	16.5	4.3	-	11-75-204
112	513	D6区-ZD-103	Ⅲb	磨石	砂質凝灰岩	-	-	-	-	10-88-200
112	514	D6区-YF-107	Ⅲb	磨石	砂質凝灰岩	-	-	-	-	9-61-141
112	515	D6区-YA-83	-	磨石	砂質凝灰岩	-	-	-	-	9-25-82
112	516	D6区	-	磨石	砂質凝灰岩	-	-	-	-	10-42-8
112	517	D6区	-	磨石	砂質凝灰岩	-	-	-	-	17-36-11
112	518	D6区	-	磨石	砂質凝灰岩	11.7	9.5	2.3	527.1	15-39-59
112	519	D6区-SK-F1006	-	磨石	凝灰岩	21.5	18.0	5.0	1516.5	17-36-11
113	520	D6区-P4-187	Ⅲb	磨石	砂質凝灰岩	11.0	7.1	3.5	378.1	17-36-59
113	521	D6区-F4-89	Ⅲb	磨石	砂質凝灰岩	8.6	8.0	3.4	169.7	14-50-189
113	522	F5区-YA-115	Ⅲa	磨石	砂質凝灰岩	12.0	7.9	1.8	289.3	16-40-53
113	523	D6区-YA-85	Ⅲb	磨石	砂質凝灰岩	12.9	7.5	6.5	764.8	17-36-58
113	524	D6区-T-88	Ⅲc	磨石	砂質凝灰岩	12.9	7.5	6.5	764.8	17-36-58
113	525	D6区-Z1-98	Ⅲd	磨石	凝灰凝灰岩	12.5	17.0	1.9	381.2	12-27-12
113	526	D7区-SK-118	-	磨石	凝灰凝灰岩	12.5	17.0	1.9	381.2	12-27-12

3 土製品・石製品

遺跡からは、土製品4,481点、石製品623点が出土した。その分布は、大半が万座・野中堂の環状列石周辺に集中している。未調査である野中堂環状列石の内側については不明だが、万座環状列石では、環状列石の内側からも出土している。分布の濃淡は明瞭ではないが、万座環状列石の東西、野中堂環状列石の南北にややまとまる。また、遺跡の西側縁、5本柱建物周辺にもまとまりがある。

(1) 土製品

遺跡から出土した土製品の種類は、土偶、足形付土製品、耳飾り、有孔土製品、環状土製品、鐔形土製品、キノコ形土製品、動物貼付土器、スタンプ状土製品、土器片利用土製品、土錘である。

土 偶 (第117図1～138)

遺跡からは163点出土した。ほとんど全てが万座・野中堂環状列石周辺からの出土といえる。分布状況としては、万座環状列石の北側や西側、野中堂環状列石の北側などでいくつか隣接するグリッドからの出土がみられるものの、集中して出土するなどの偏りはみられなかった。大半が遺構外からの出土で、遺構内からは7点のみである。

1から24、28は頭部あるいは肩までのものを集めた。1～11は特徴的な逆三角形の顔や、首が大きく前面にせり出していること、格子状の沈線文が施されていることなどから、板状土偶の頭部と考えられる。

7、10、12、14、15には、頭上で髪を編み込んだような表現がなされている。

13にも、頭部に髪を結び上げた表現がみられる。しかし、他の土偶の頭部にみられるような頭頂で組み込んだような髪型ではなく、左右におだんごを作ったような髪型が表現されている。遺跡内から出土した土偶の中に同様の髪型のものはいずれもみられない。

28は、大型土偶の頭部とみられる。顔全体における鼻の占める割合が非常に大きく、鼻のあたりが強調されている。頭部中央には大きなコブ状のものがつけられ、耳は左右の端に、鼻穴と口が顔の下端に寄せられてデフォルメされた表現がなされている。大きく表現された鼻の脇には目のような凹みが表現されている。

23、24も同様で、鼻を顔全体に大きく配置している。24は、28と同様に、鼻の脇に目のような凹みがあるが、23は、目が省略されている。

22、25～27、29～36は板状土偶の胴部である。格子状に沈線文を施し、曲線文を組み合わせた正中線が描かれている。これら格子状の沈線は、衣服を表現したものと考えられる。また、一部破損がみられるが、胴部中央に突起または沈線でへそのような表現をしているものもある。

37からは体部が板状で脚部が立体的となっているものである。

37は、中央にへそのような突起があり、沈線文で衣服とみられる表現がなされている。

42は全身に刺突による文様が施されたものである、頭部および腕は表現されていない。

43～49、52、55は首から肩にかけて刺突文が施されたものである。43は両乳房と左手の一部、脚が破損している。下部には腰巻を表現したとみられる沈線文が施されている。44・45は同一個体で、手の先端には、凹みで手のひらを表現している。

46は頭部と左手を欠いたもので、腹部が大きく、妊娠状態が表現されている。肩から上と、へ

その周り、正中線などに刺突文が施されている。腰の山形沈線文と脚の付け根の沈線によって区画し、その間にLRの単節縄文を充填することで腰巻状の衣服を表現している。

48は腹部を大きく表現した土偶である。下部には沈線による山形文と刺突を組み合わせ、腰巻のような衣服を表現している。また、へその位置で正中線と交差するように刺突文が施されている。

50は頭部、左腕、脚が破損している。また、腹部にも破損がみられる。下部には、沈線による山形文と刺突で区分し、LR縄文を充填することによって腰巻のような衣服が表現されている。

61、63は背面の首から肩にかけて平行沈線によって文様が施されたものである。

82は妊娠状態を表した土偶で、肩から上を欠いている。大きな腹部の下には沈線と刻目によって腰巻のような衣服とみられる表現がなされている。

93は大型土偶の右腕である。腕全体に刺突による文様が施されている。手のひらは凹みによって表現され、先端には指を表現したとみられる沈線が描かれている。

96～125は脚のみのものである。110、112は大型土偶の脚である。96、107、110、112、113には足の指が表現されている。特に112は指の爪まで表現されている。

134～138は中空土偶である。134～136は、胎土、焼成、作成方法などから同一個体とみられ、推定復元高50cmをこえる大型中空土偶と考えられる。134は右腕であり、無文だが非常に丁寧な調整がみられる。135は左脚の大腿部、136は右脚である。太ももの付け根を沈線で区画し、足首までをLR縄文で充填している。脛のあたりには穴があげられている。また、足先は、沈線によって指が表現され、刺突によって爪のような表現がなされている。

遺跡から出土した土偶は、形態・文様などから以下のように分類できる。

- 1) 手足が省略され、全体の形が逆三角形あるいは逆台形の板状土偶である。無文のものもあるが、格子状の沈線文や連続した曲線による正中線などが特徴的である。31のように下部がわずかに広がり、自立が可能に見えるものもある。(25～27、29～33)
- 2) 体部は板状だが、脚部が表現される土偶である。格子状沈線文や曲線による正中線の表現など、1)と共通する文様が見られる。37のように脚部が広がり、自立できるものもある。(35～41)
- 3) 胸や腹部、手足などが立体的な土偶である。遺跡から出土する土偶は、このタイプのものが最も多い。凹みで手のひらを表現したり、連続する山形文と平行する沈線文で衣服と思われる文様が特徴的である。また、刺突文も多用され、首から胸にかけて充填されるものも多い。(42～64、66～69)
- 4) 中空土偶である。大型のものが多く、沈線や刻み目などで施文するほか、広い範囲を縄文で充填するものも見られる。(134～138)

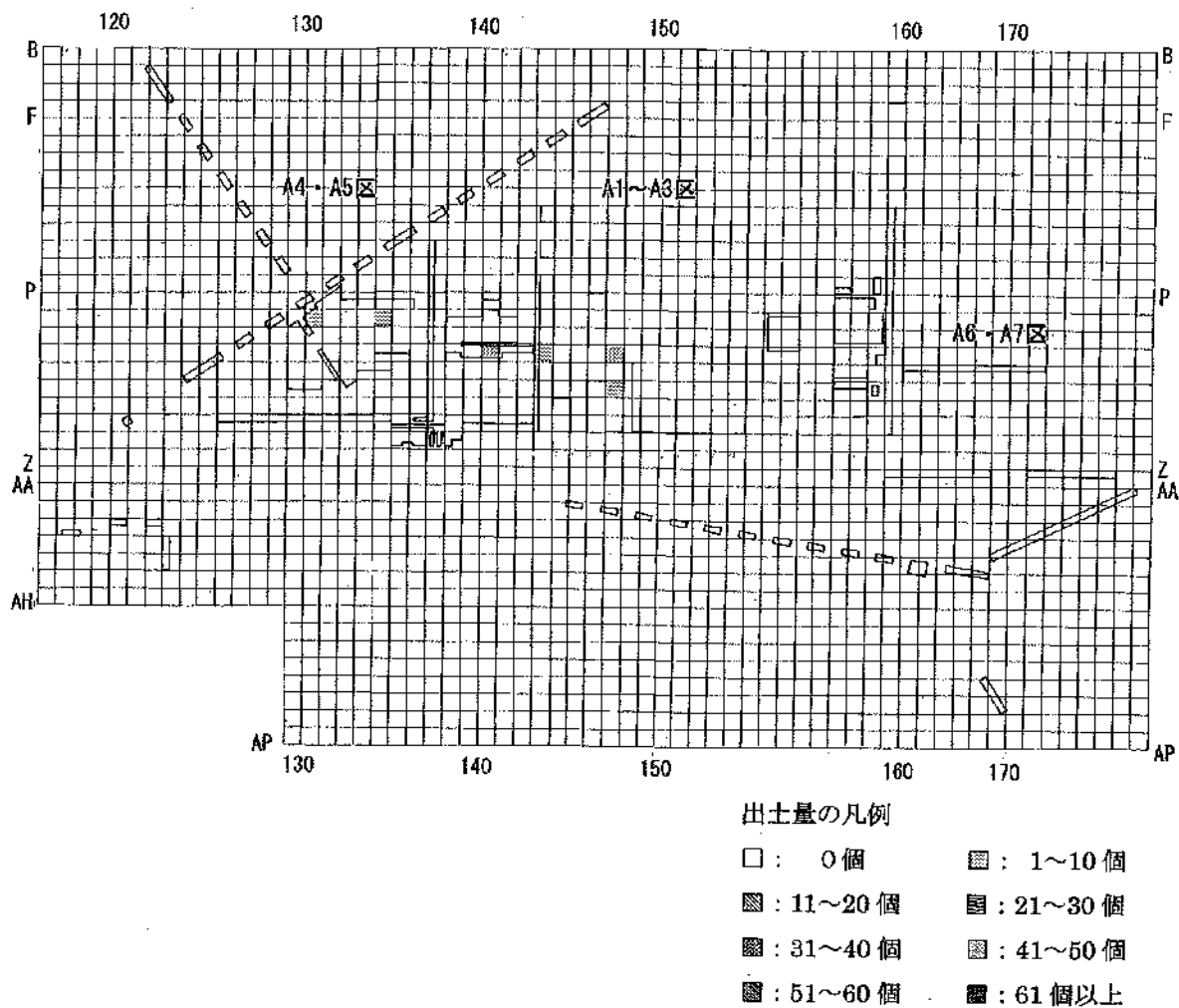
これを受けて、伊勢堂岱遺跡（北秋田市）の土偶と比較してみると、格子状沈線文や連続した曲線による正中線の表現など、極めて類似する表現がみられる。一方で伊勢堂岱遺跡出土の板状土偶は、全体がわかる状態のものが出土するのに対し、大湯環状列石出土の板状土偶は、点数も少なく、頭部のみあるいは胴部のみで、全体が揃うものは一体もない。また、伊勢堂岱遺跡から出土する土偶の大半は、板状土偶や体部が板状で脚部が立体の土偶であり、全体が立体的なものや中空の土偶はほとんど出土していない。1) 2) については、遺跡出土の第IV類土器と文様が

共通するほか、文様などが共通する土偶が出土する伊勢堂岱遺跡が、縄文時代後期前葉を主体とする遺跡であることから、後期前葉に位置づけられるものと考えられる。3) 4) については、連続する山形文や沈線文で文様帯を区画し、その中を充填するなど、第V類土器と共通する特徴がみられることから、後期中葉に位置づけられるものと考えられる。大湯環状列石出土の土偶について、すべての出土資料を詳細に分類することはできなかったが、全出土量における板状土偶の割合は4割程度とみられる。

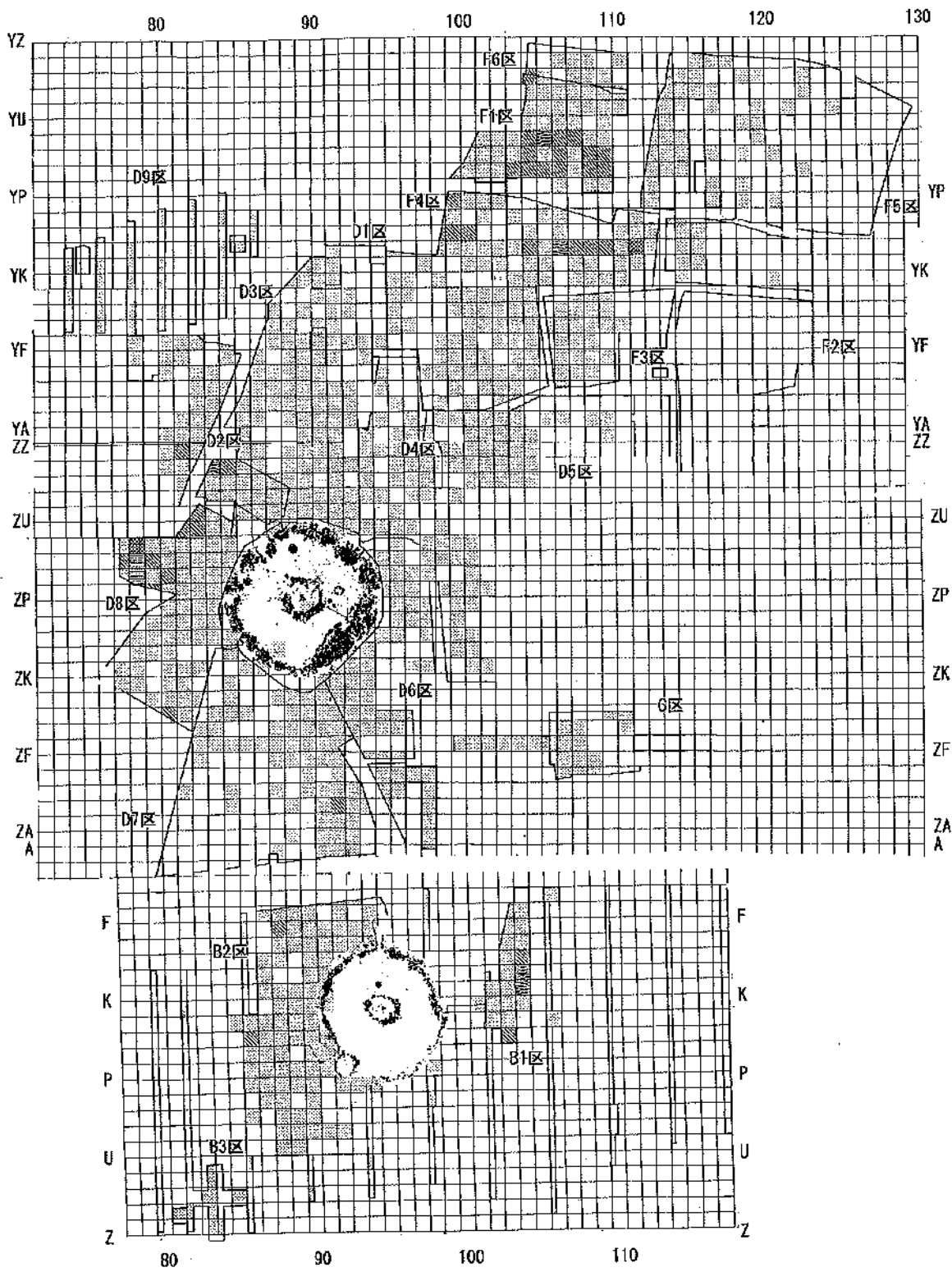
土版 (第128図139)

遺跡からは1点出土した。139は方形の土版である。表面には、刺突によって目・口・正中線・胸が、裏面には耳のようなものが表現されている。また、下半部には、沈線で方形に区画された中をLR縄文で充填した文様が施されている。この文様は、下を通過して裏側まで施されており、下着のような衣服の表現と考えられる。下端中央には、陰部を表現したと思われる深さ2.1cmの穿孔がみられる。

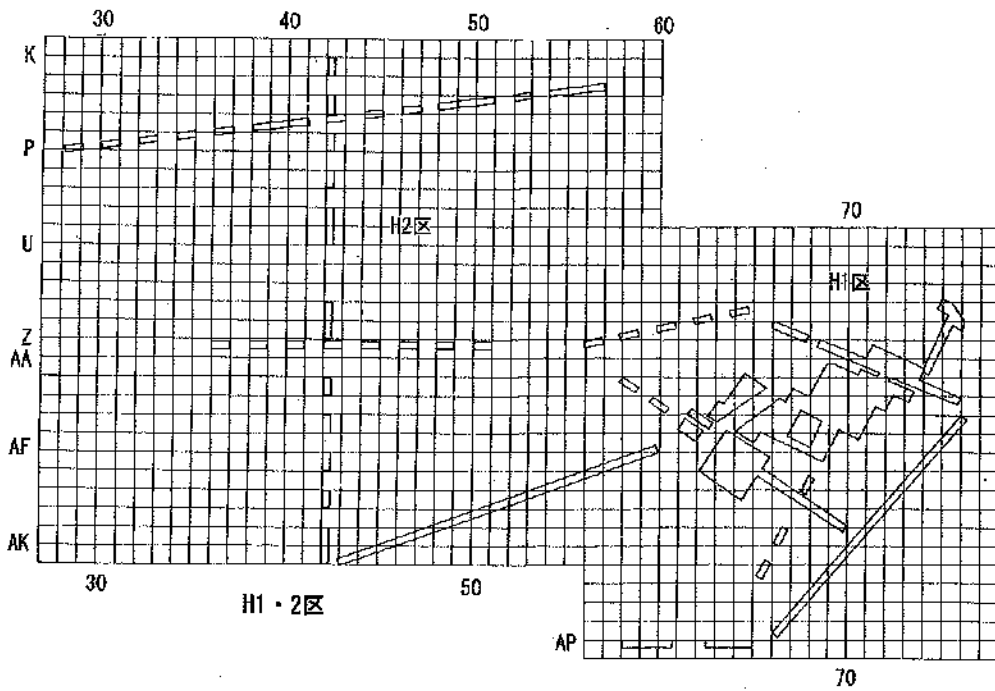
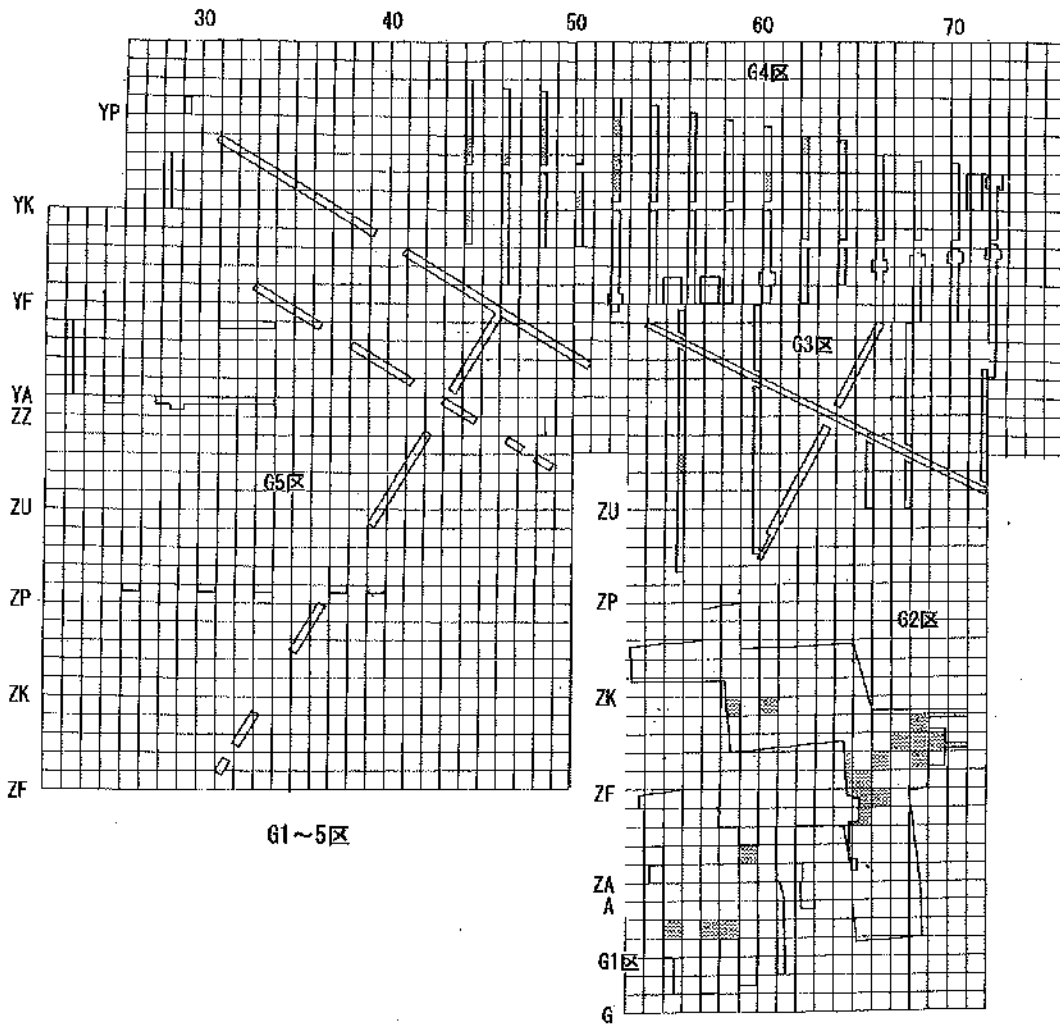
人体の各部位を表現している刺突は、口1個・目2個・右胸3個・左胸4個・正中線5個・両耳6個と数を増やしていることがわかる。



第114図 土製品・石製品分布図(1)



第115图 土製品・石製品分布図(2)



第116图 土製品・石製品分布图(3)

遺跡内から同様の表現が施された土版は出土しておらず、その使用目的は不明だが、縄文時代の人々が数に対する意識を持っていたことを表す資料である。

足形付土製品 (第128図140~143)

遺跡からは3点出土した。粘土に足形をおしたり、足を形作ったものに文様を施したものである。3点とも万座環状列石の周辺から出土している。

141は、粘土に足のつま先を押し付けたものである。押し付けにより、内面がやや凹んでいる。

140は、足の形に作り、表裏に沈線で渦巻文を描いている。内面が、足を押し付けたようにやや凹んでいる。142は無文だが、140と同様の形状をしている。

出土した3点は、いずれもかかとの部分に穴があいており、紐を通して下げたと考えられる。

耳飾り (第129図147~190)

遺跡からは滑車形を呈する耳飾りが43点出土している。大半が万座環状列石の北側、万座環状列石と野中堂環状列石との中間に分布している。大半が遺構外からの出土で、遺構内からは11点、フラスコ状土坑や土坑から1、2点ずつ出土している。直径1cm~5cmの大きさのものがあり、中央に穴が開いているものと開いていないものがある。

194は、外側に沈線を巡らせ、文様を施しているうえ、赤色顔料が塗られている。出土した耳飾りの中には、このように赤色顔料が塗られたものもいくつかみられる。このことから、普段使用の装飾品というより、儀式などの際に用いられたものと考えられる。

有孔土製品 (第129図191~第131図258)

遺跡からは69点出土している。大半が万座環状列石の北側から出土し、他に、万座環状列石と野中堂環状列石との中間域に限られる。大半が遺構外からの出土で、遺構内からは12点の出土、フラスコ状土坑や土坑からの出土である。

形状からいくつかに分けられる。

- 1) 玉状の土製品である。191、192、201、202は白玉、193~199は丸玉、200は切子玉の形をしたもので、いずれも中央に穴が開いていることから、紐を通し、垂飾として使用されたものと考えられる。
- 2) 琴柱のような形をした土製品である。短軸方向に穴があいており、紐を通せるようになっており、ペンダントの部品と考えられる。(239~249)
- 3) 管状の土製品である。長軸方向に穴があげられ、紐を通すことができる。表面には刺突や沈線などで文様がほどこされているものもある。(207~220)
- 4) 円形や楕円形の土製品である。側面長軸方向に穿孔している。おり、紐を通すことができる。2)と同様にペンダントの部品として使用されたものと考えられる。(206~238)

環状土製品 (第131図259~第132図274)

環状の土製品で、腕輪などと考えられる。

遺跡からは11点出土している。分布は環状列石周辺に限られる。遺構内からは、建物跡から1点、フラスコ状土坑から2点の3点が出土している。

いずれも沈線や刺突などで文様が施されている。274は唯一完形で出土した環状土製品で、沈線によって文様が施されている。

鐺形土製品 (第133図275～第137図387)

鐺に似た形の土製品である。遺跡からは198点出土した。分布状況としては、万座・野中堂の2つの環状列石の周辺と、万座環状列石の北側、環状配石遺構や大環状配石遺構のあたりに限られる。グリッドごとの集中は特に認められないが、隣接するいくつかのグリッドから連続した出土がみられる。大半が遺構外からの出土で、遺構内からは13点と少ない。フラスコ状土坑からの出土が多いが、1、2点ずつの出土である。

大半のものには頂部に紐を通すような穴が開いていることから、吊り下げる目的で作られたものと考えられる。

形状により、3つに分類できる。

I類…球状のもの。胴部より開口部が狭く、長さ・幅がほぼ等しい、いわゆるまん丸の形状をしている。内面は丁寧に調整されたものが多く、手づくねによる成形か輪積みによる成形かは判別できない。

II類…和鐘形のもの。胴部より開口部がやや狭い。開口部は円形で、内面まで丁寧に調整され、成形方法は判別できない。内面にスス状炭化物の付着が認められるものがある。

III類…鐺形のもの。胴部より開口部が広く、開口部が円形のものと同形のものに細分される。開口部が楕円形の場合は、側面をつまみ出したような形となっていることから、両面を別々に作り、接合して成形したと考えられる。

無文のものが多いが、文様が施されたものは細やかなデザインが見られる。無文、有文を問わず調整、焼成は良好なものが多い。有文のものは、沈線文あるいは沈線と刺突を組み合わせたものが多く、縄文が施されたものは318の1点のみである。沈線や刺突によって縦方向あるいは横方向に区画し、内側を曲線文や渦巻文、入組文などで充填している。開口部が円形の場合は切れ間なく全面に文様を施しているのに対し、開口部が楕円形の場合は、明らかに正面と側面と区別した文様が施され、正面を意識した構成になっている。このことから、鐺形土製品には、見せるという目的もあったと考えられる。

キノコ形土製品 (第138図388～第139図423)

キノコをかたどった土製品で、遺跡からは42点出土した。大半が遺構外からの出土で、万座・野中堂の環状列石周辺のごく狭い範囲に限られる。遺構外からの出土が大半で、遺構内からは、フラスコ状土坑から2点、土坑から1点の3点のみである。

かさの大きいもの、小さいもの、細長いもの、太いものなど、形状には個体差があり、漠然とした食料としての形状ではなく、キノコの種類そのものへの意識がうかがえる。

動物形土製品 (第140図424・433～438)

深鉢や甕などの土器の内底、あるいは蓋のつまみとして動物をかたどった土製品を貼り付けているものである。遺跡からは8点出土している。すべて遺構外からの出土である。分布は、北側台地縁と、万座環状列石と野中堂環状列石との中間付近に限られる。

ほとんどは無文の土製品だが、刺突や短刻線によって手足の指まで表現しているものもある。

スタンプ状土製品 (第128図143～146)

スタンプのような形状をし、印面には沈線によって文様が施されている。遺跡からは4点出土

した。出土量そのものも非常に少ないが、分布は万座環状列石の西側のみに限られる。

143と145は連続する曲線文、144、146は直線文や山形文で文様が施されている。

土器片利用土製品（第141図439～第143図519）

土器破片を利用し、研磨あるいは打ち欠きにより円形、三角形、方形に整形したもので、遺構内外から3,922点出土した。大半が万座・野中堂環状列石の周辺からの出土である。それぞれの環状列石のまわりから切れ間なく出土しており、大部分ではグリッドあたり1～5点の出土である。一方で、万座環状列石の西側と野中堂環状列石の北側では、グリッドあたり20～40点と集中しているほか、万座環状列石の北側、環状配石遺構の周辺や、5本柱建物跡周辺からもまとまって出土するなど、分布状況に大きな偏りがみられる。

遺構内からの出土は、246点と多いが、一箇所からまとまって出土するのではなく、各遺構から1～3点ずつ出土することが多い。ただし、中にはB区第106・107号フラスコ状土坑のように、1つの遺構から26点とまとまって出土する例もみられる。

形態から3群に分類した。

I群…円形を呈するもの。2,818点出土し、全体出土量の72%を占め、最も多い。

II群…三角形を呈するもの。848点出土し、全体出土量の22%にあたる。

III群…方形を呈するもの。256点出土し、全体出土量の6%である。

研磨がみられるものの中では、破片の周囲全体に研磨が見られるものは少なく、破片の一部のみを研磨しているものが多い。また、大半が扁平な破片を用いたものであるが、一部に口頸部や胴部の破片を用いたため湾曲したものもみられる。

三脚土製品（第143図520～527）

三角形に成形された土製品で、三つの角を支えとするアーチ状の形をしている。形状としては土器片利用土製品のII群に似たものもあるが、土器の破片を二次利用するのではなく粘土から成形されていることから、異なるものとして扱われる。また、三辺がくびれ、三脚石器と似た形状をもつものもある。

土 錘（第140図425～432）

粘土に縦横に溝を入れたもので、遺跡からは8点出土している。

皿状土製品（第143図528）

縁があり、石皿のような形をした土製品である。遺跡からはこの1点のみ出土している。

(2) 石製品

遺跡から出土した石製品の種類は、石刀、岩版、石棒、石冠、有孔石製品、軽石石製品、円盤状石製品、球状石製品、碗状石製品、三角形岩板、イモガイ状石製品、男根状石製品、棒状石製品、線刻石である。

岩 版（第144図1・2）

遺跡からは2点出土した。北側台地縁のYU-105グリッドと、万座環状列石北側のZW-99グリッドから出土している。

2は、人体を表したと思われるくびれをもつ岩版である。全面を丁寧に研磨し成形している。

上部には乳房と思われるものが2つの凹みで表現されている。石質は凝灰岩である。

大湯環状列石から出土した岩版は、晩期の遺跡でみられる方形あるいは楕円形の石に入組文や渦巻文を施した一般的な岩版とは異なり、むしろ岩偶と呼ぶべきかもしれない。

石 刀・石 剣・石 棒 類 (第147図3～29)

3から25は、これまで石刀・石剣としていたものである。遺跡からは96点出土した。溝により柄頭を明確にしているものと、無頭のものがある。刀で言う刃部から柄部にかけて細くなるものが多く、加工時の痕跡か、溝の見られるものが多い。分布は、万座・野中堂環状列石の周辺と万座環状列石の北側に限られる。大半が遺構外からの出土で、遺構内からは8点、B2区とD9区の竪穴住居跡から1点ずつ出土しているほか、フラスコ状土坑やTピットからの出土も見られる。石質は粘板岩、片岩、黒色頁岩が多く、他には珪質粘板岩、泥岩、石英安山岩、紅簾片岩、石墨片岩、泥質凝灰岩などがある。

26から29は、これまで石棒としていたものである。遺跡からは11点出土した。分布は、万座環状列石の東側から野中堂環状列石周辺に限られ、すべて遺構外からの出土である。頭部が明確なものと、無頭のものがある。

石質は凝灰質泥岩、泥質凝灰岩、軽石質凝灰岩、凝灰岩、石英安山岩である。

石 冠 (第148図30～44)

遺跡からは16点出土した。分布は、万座環状列石の周辺部に限られる。3点が遺構内から出土した。竪穴住居跡、方形配石遺構、フラスコ状土坑から各1点である。

出土した石冠は、平面形が長方形あるいは隅丸の長方形で、断面は三角形を呈するものが大半を占める。底面は平坦で、擦痕が見られる。平面形が隅丸長方形をなすものの中には、平面中央あるいは底面に凹みを持つものがある。

石質は凝灰質泥岩、凝灰岩、緑色凝灰岩、石英閃緑玢岩、石英安山岩、安山岩、火山礫凝灰岩である。

有孔石製品 (第149図45～57)

遺跡からは15点出土した。分布は万座環状列石周辺とその北側に限られる。遺構内からは4点出土し、すべて土坑からの出土である。

石質は翡翠、泥岩、安山岩、石英安山岩、花崗斑岩、凝灰質泥岩、硬質頁岩、軽石、泥質凝灰岩である。

軽石石製品 (第149図58～第153図98)

軽石を研磨することによって、円形や方形、三角形などに成形したものである。遺跡からは191点出土した。大半が、万座・野中堂環状列石の周辺と万座環状列石の北側から出土している。大半が遺構外からの出土だが、遺構内からも37点と比較的多い。フラスコ状土坑からの出土が多く、特にB2区やD9区、F1区でひとつの遺構から5点以上の出土が見られる。

円盤状石製品 (第154図99～第156図151)

石を研磨したり打ち欠いたりして、円形あるいは楕円形に加工したものである。遺跡からは232点出土した。分布領域は万座・野中堂環状列石の周辺にほぼ限られる。遺構内からは38点出土し、大半がフラスコ状土坑や土坑からの出土である。

石質は、凝灰質泥岩、砂質凝灰岩、泥質凝灰岩が多く、他には凝灰岩、泥岩、石英安山岩、角礫凝灰岩、軽石質泥岩、軽石質凝灰岩、石英閃緑玢岩、白色凝灰岩、珪質頁岩、黒色泥岩がある。

球状石製品 (第157図161~176)

研磨により球状に成形したものである。中央に凹みをもつものも多い。

遺跡からは31点出土した。大半が万座環状列石の北側から出土している。遺構内からは9点出土している。フラスコ状土坑や土坑からの出土である。

石質は泥質凝灰岩、軽石、凝灰質泥岩、火山礫凝灰岩である。

碗状石製品 (第158図177~180)

研磨により碗状に成形したものである。遺跡からは4点出土した。いずれも万座・野中堂環状列石の周辺から出土した。石質は凝灰岩、泥質凝灰岩、石英安山岩、砂質凝灰岩である。

三角形岩版 (第156図152~160)

石を研磨したり打ち欠いたりして、三角形に加工したものである。遺跡からは4点出土した。石質は泥質凝灰岩、軽石質安山岩である。

イモガイ状石製品 (第158図186~190)

イモガイの形を模した石製品である。遺跡からは5点出土した。遺構外から4点、土坑から1点出土している。石質は泥岩、凝灰質泥岩、軽石である。

男根状石製品 (第158図181、182、184、185)

研磨あるいは打ち欠きによって男根状に成形したものである。いずれも細かい調整がなされている。すべて遺構外からの出土である。遺跡からは5点出土した。他の土製品・石製品とは異なり、環状列石の周囲を囲むような分布はみられず、環状配石遺構を囲むような分布をみせている。石質は安山岩、凝灰質泥岩である。

棒状石製品 (第159図197、199、200)

棒状に成形された土製品である。遺跡からは4点出土した。石質は凝灰質泥岩、凝灰岩質泥岩、泥質凝灰岩である。

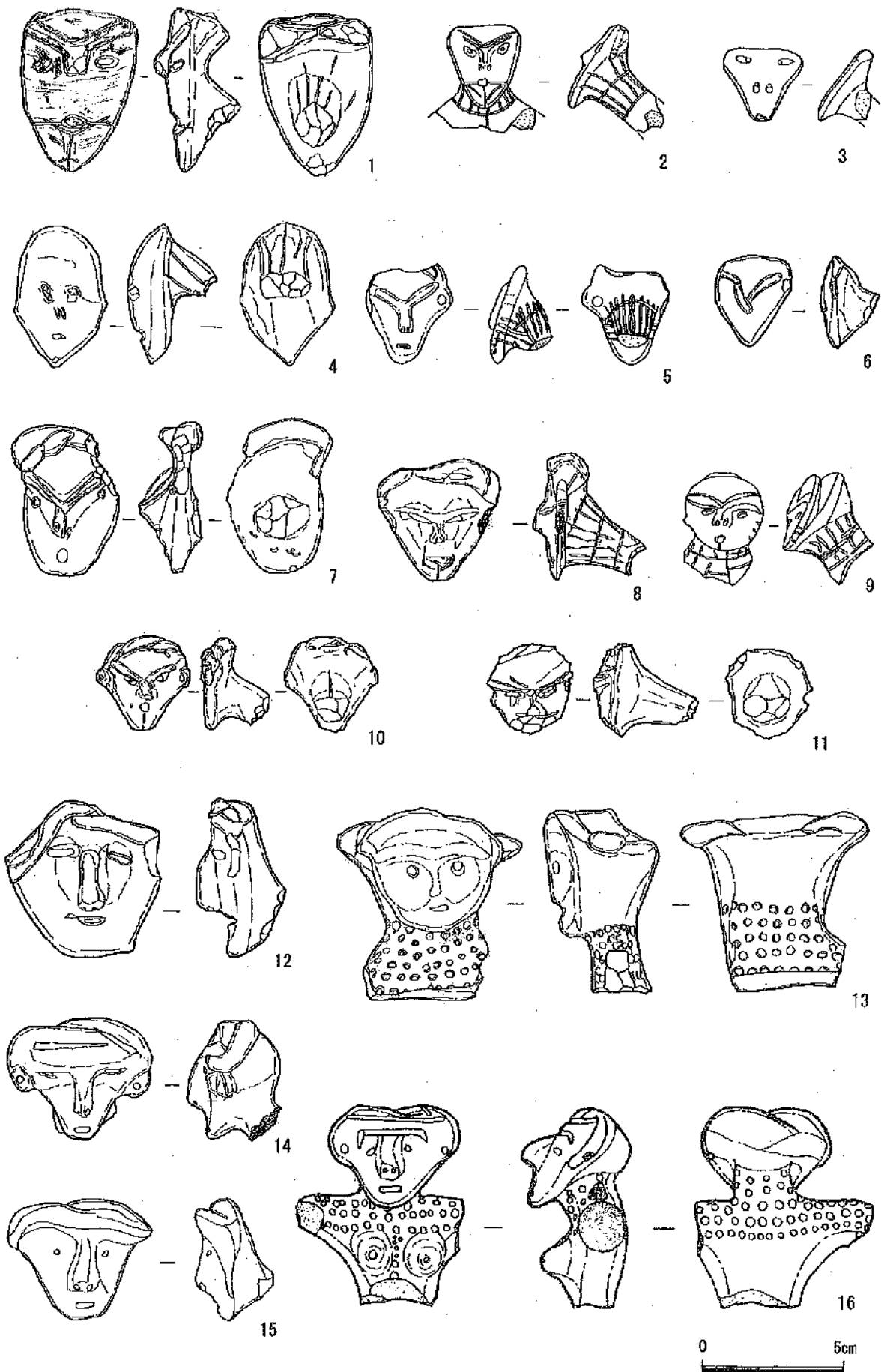
線刻石 (第159図191~196)

遺跡からは6点出土した。すべて万座・野中堂環状列石の周辺から出土している。配石遺構から1点出土しているほかは、すべて遺構外からの出土である。

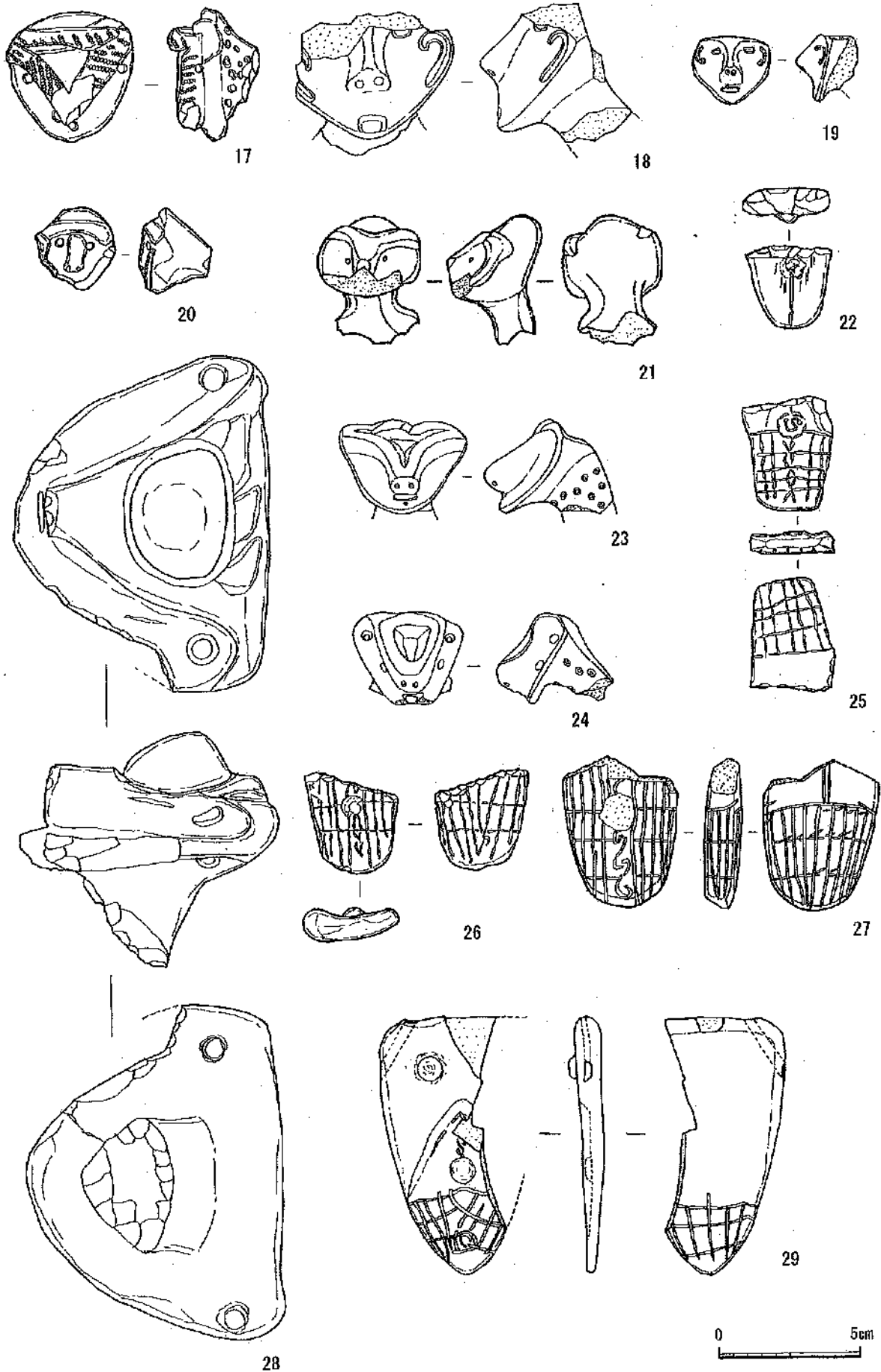
石質は凝灰質泥岩、砂質凝灰岩である。

足形石製品 (第158図183)

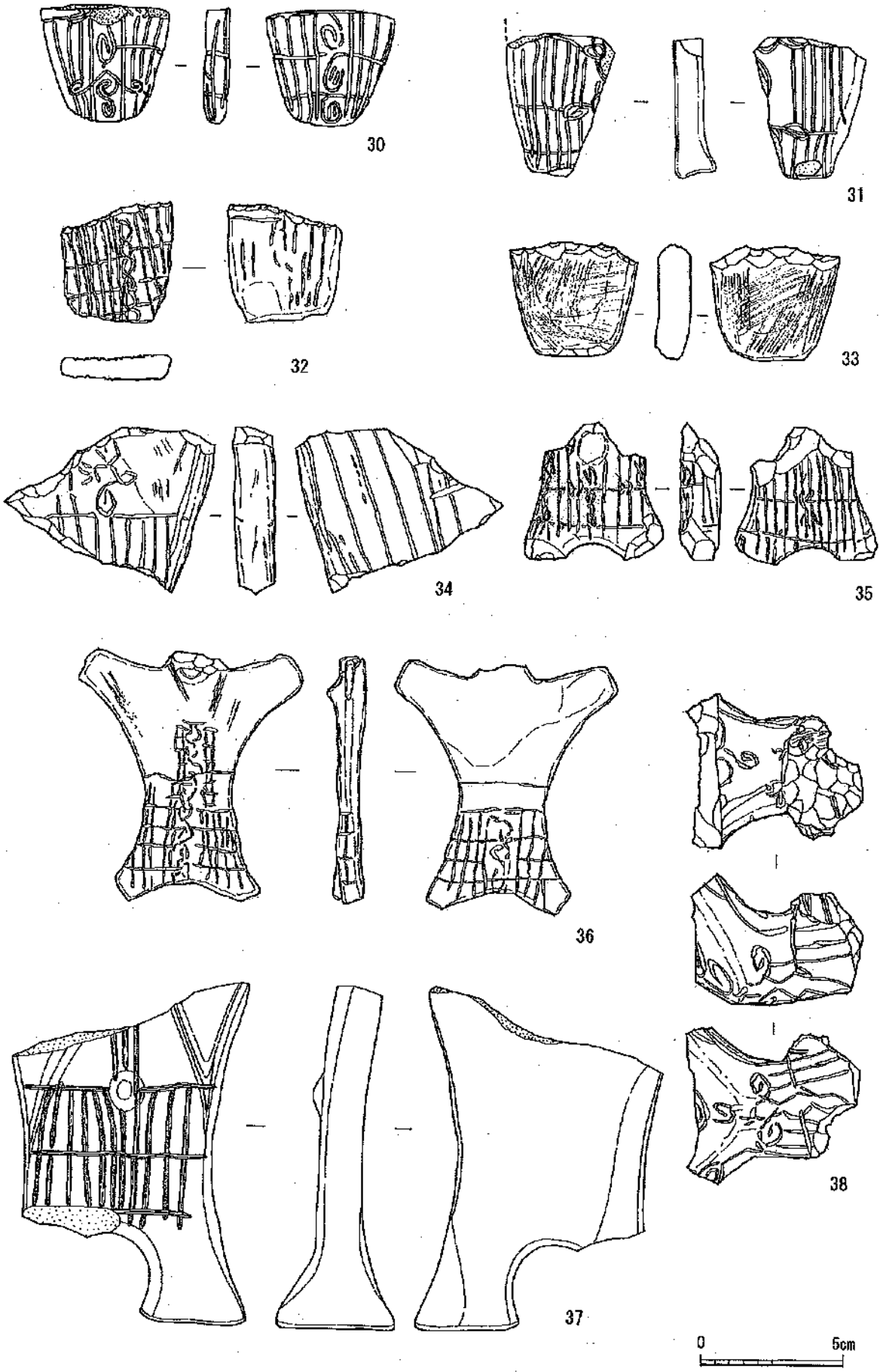
遺跡からは1点出土した。軽石に4本の刻みを入れ、足の形に成形している。万座環状列石と野中堂環状列石の中間付近であるZE-97グリッドから出土している。



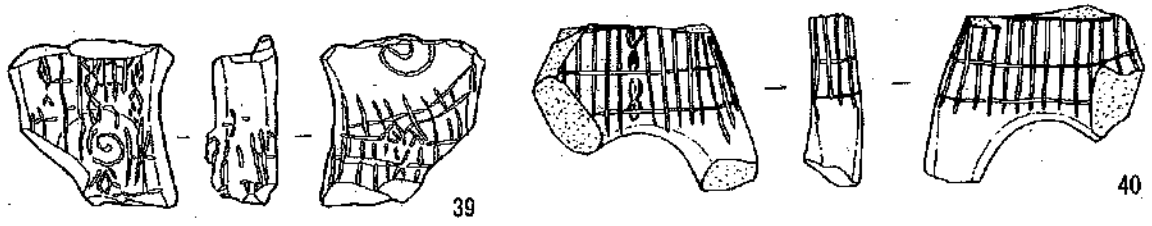
第117图 土製品実測图 土偶(1)



第118圖 土製品実測圖 土偶(2)

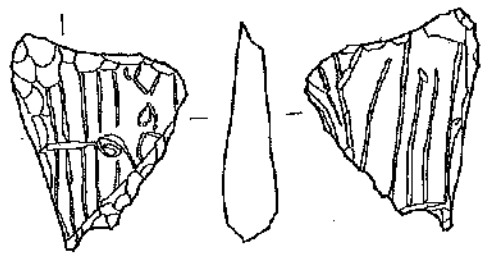


第119图 土製品実測图 土偶(3)

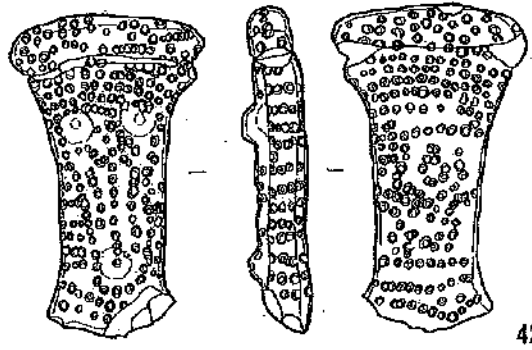


39

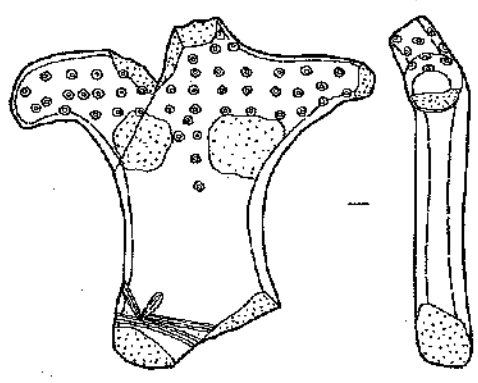
40



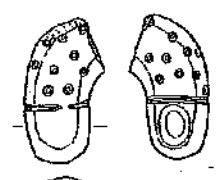
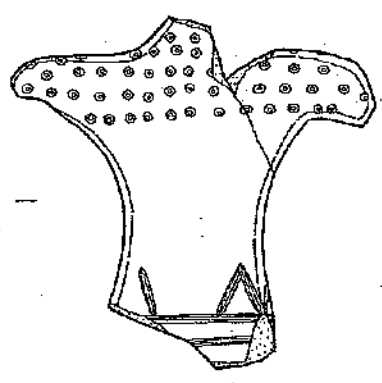
41



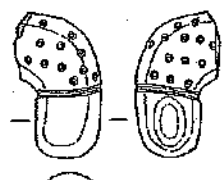
42



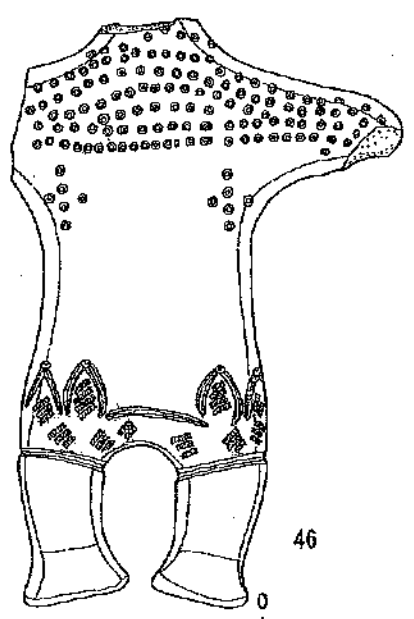
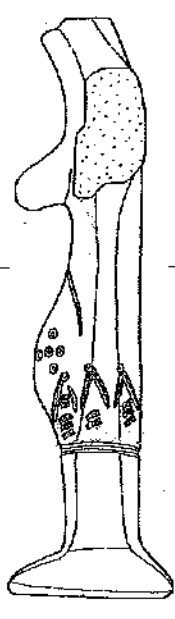
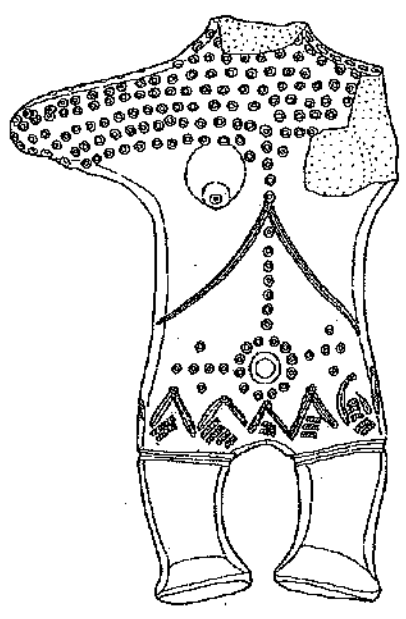
43



44



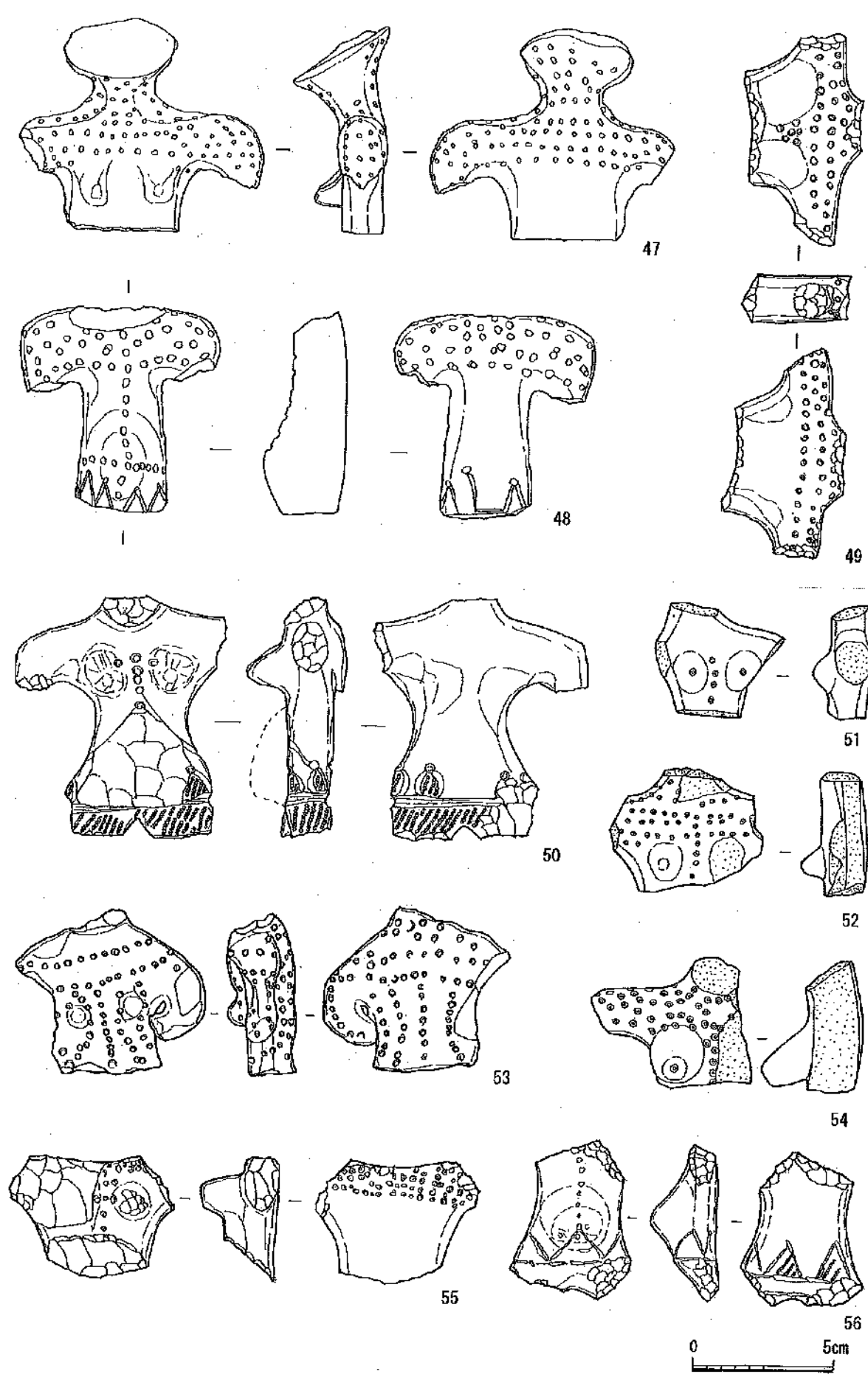
45



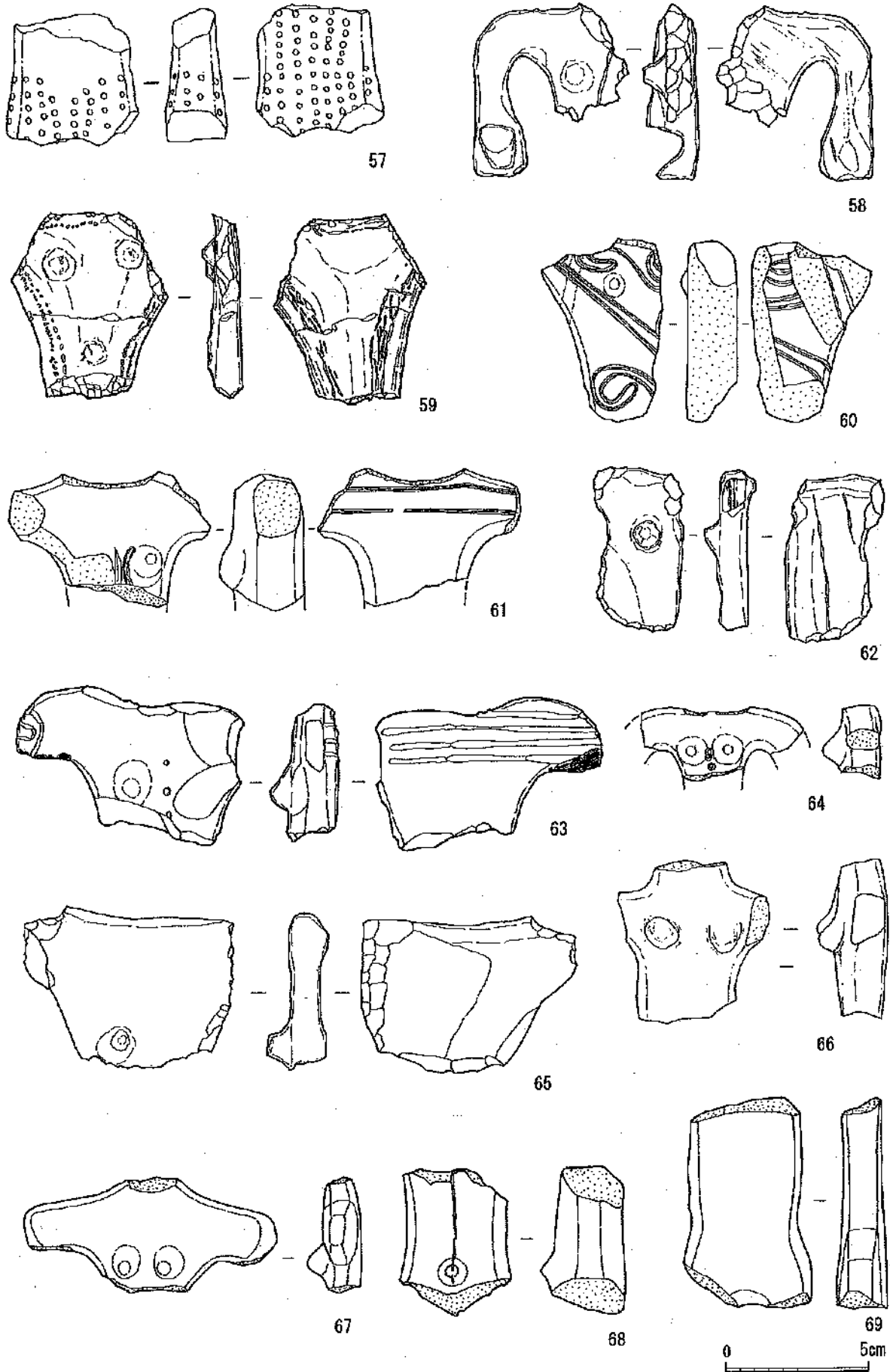
46



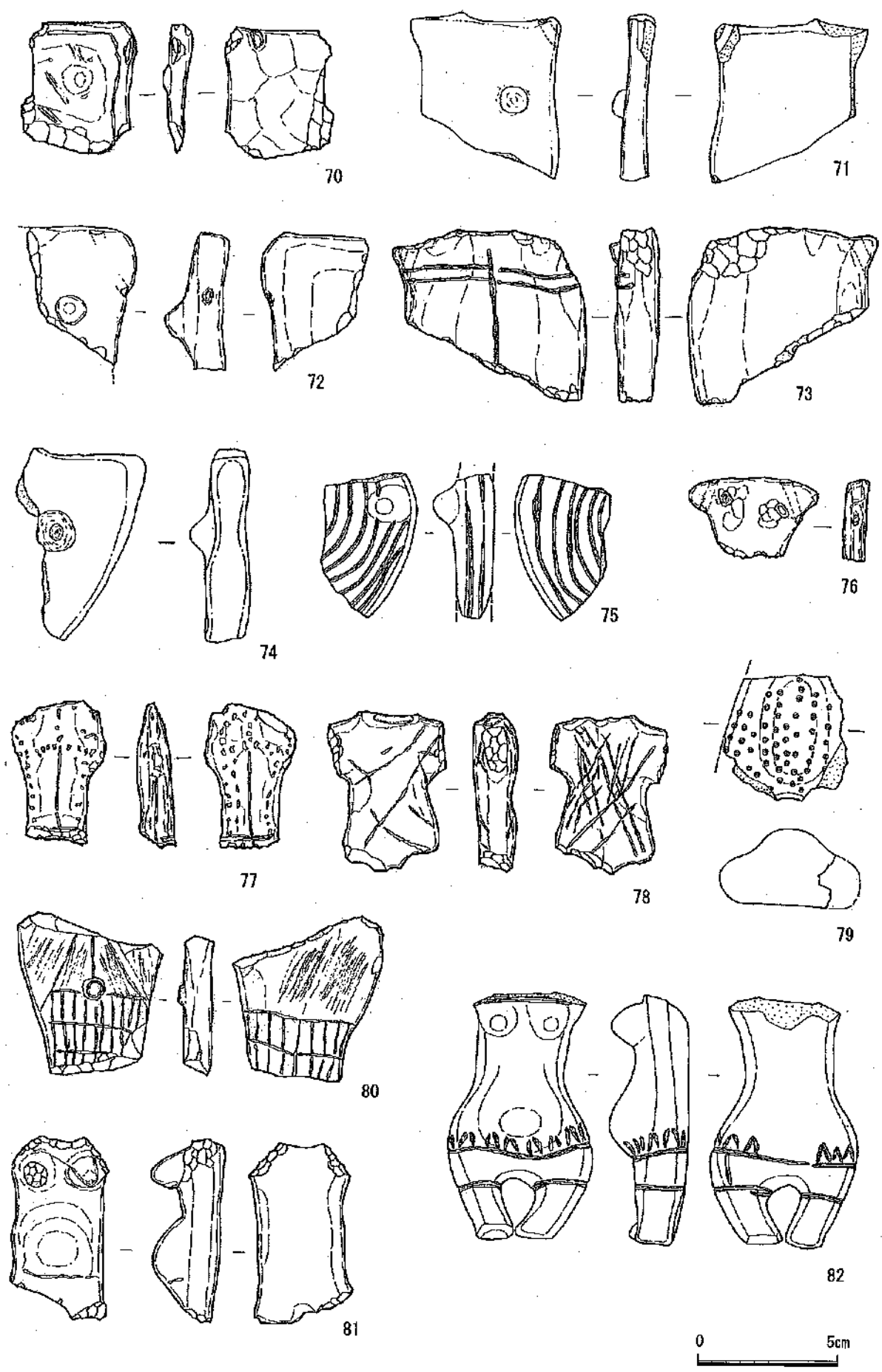
第120图 土製品実測図 土偶(4)



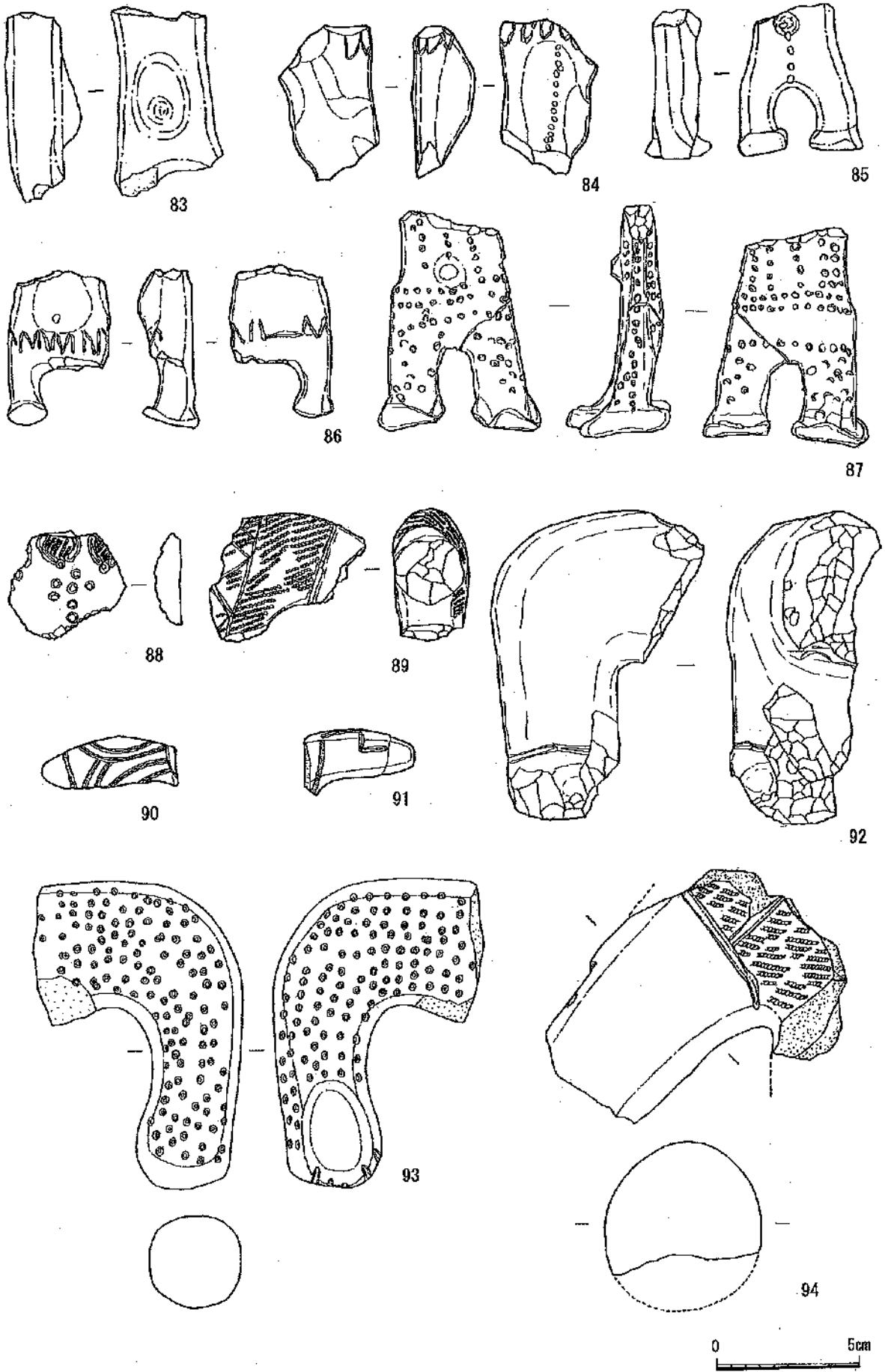
第121圖 土製品実測圖 土偶(5)



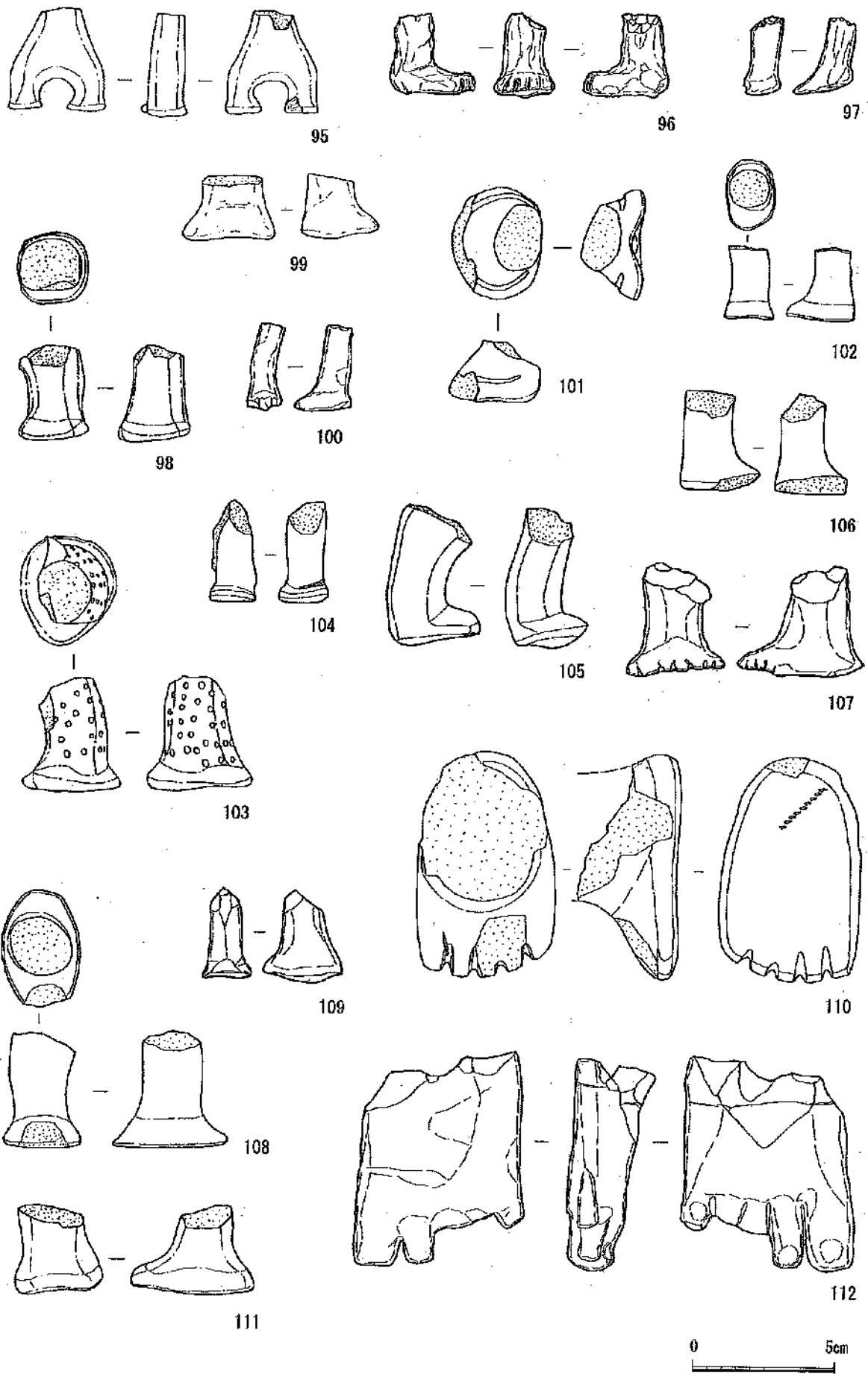
第122图 土製品実測図 土偶(6)



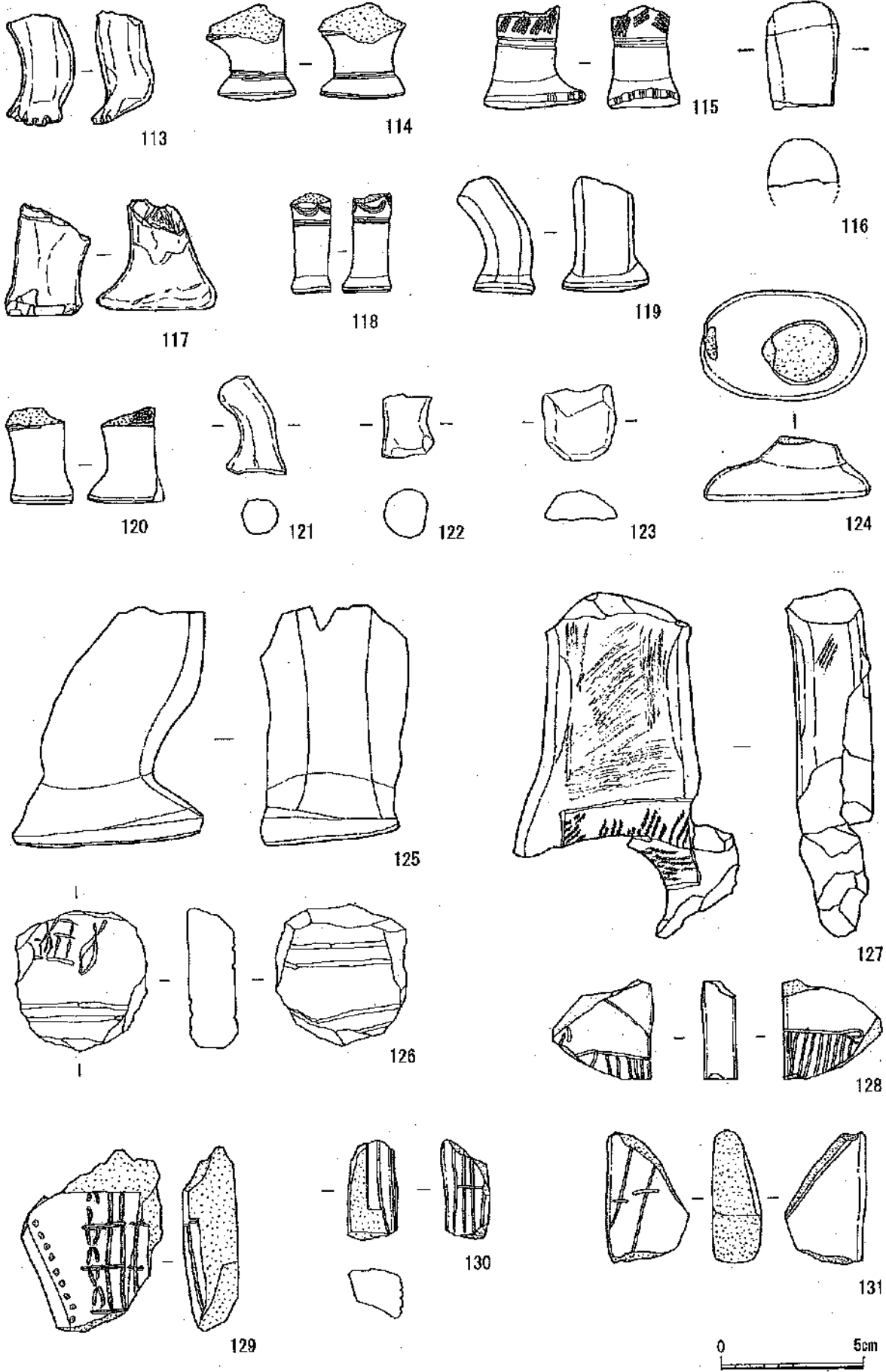
第123图 土製品実測图 土偶(7)



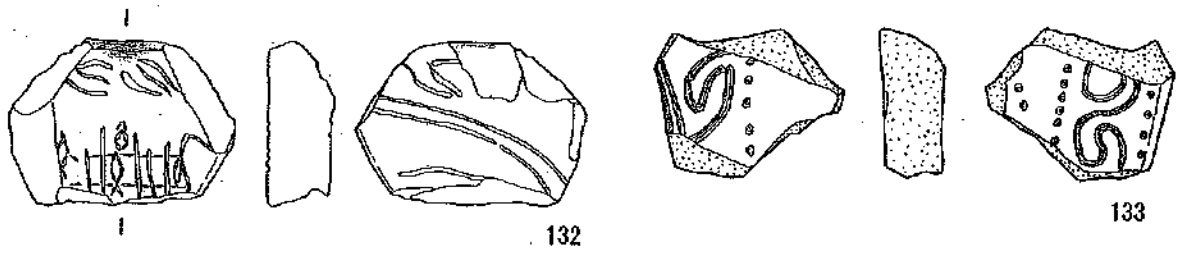
第124图 土製品実測図 土偶(8)



第125图 土製品実測图 土偶(9)

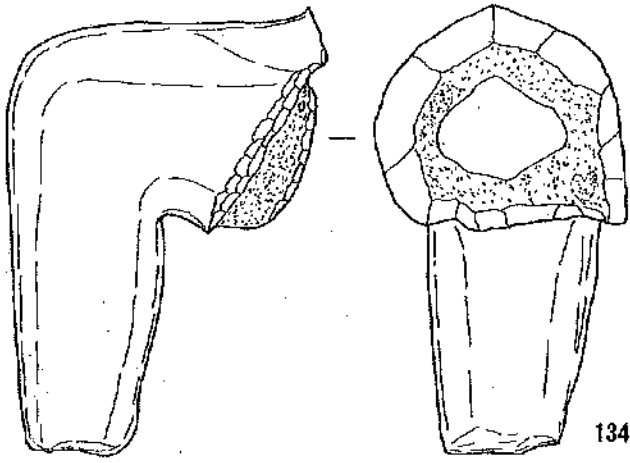


第126图 土製品実測図 土偶(10)

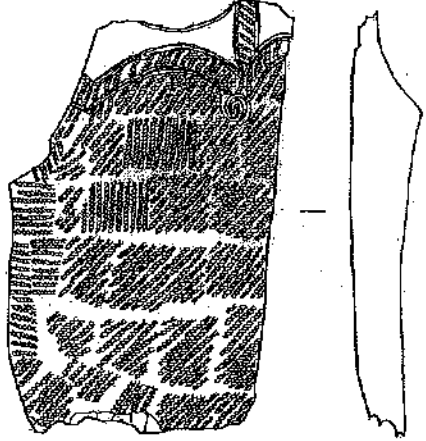


132

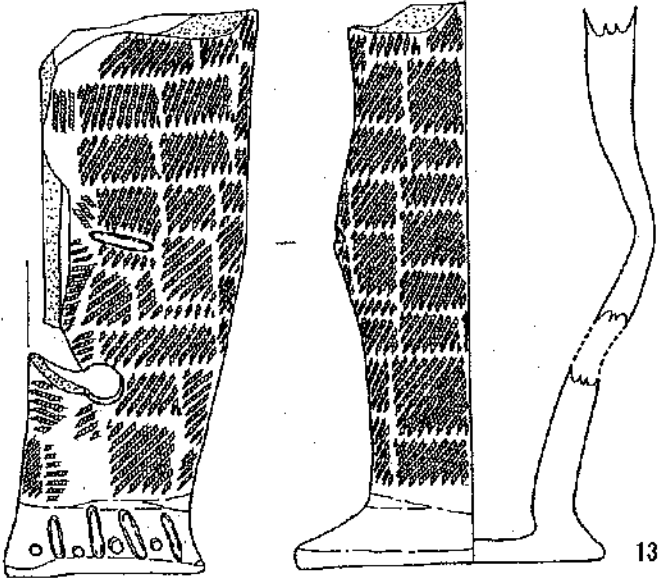
133



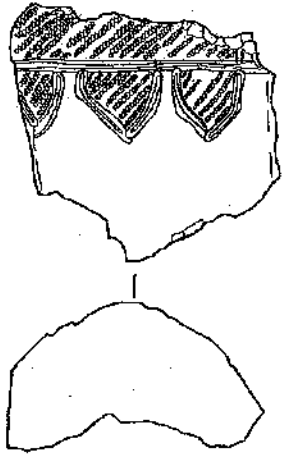
134



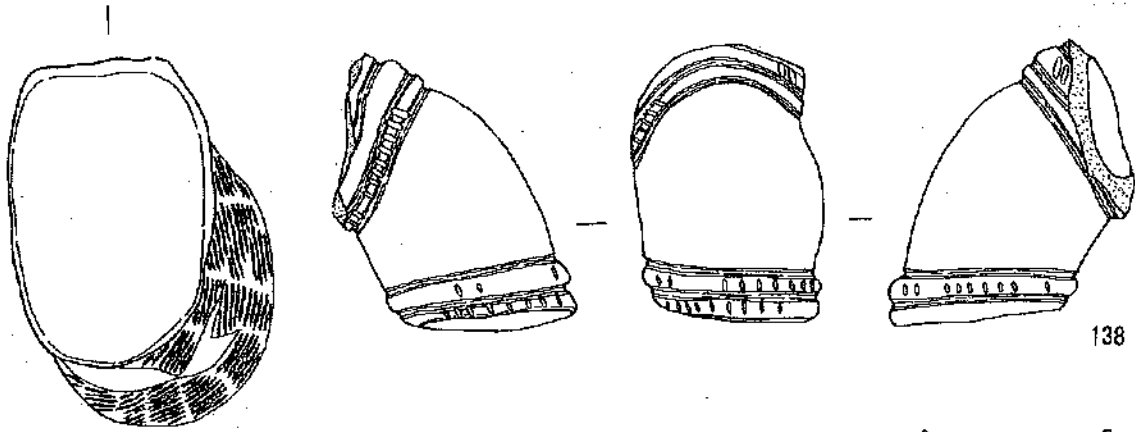
135



136



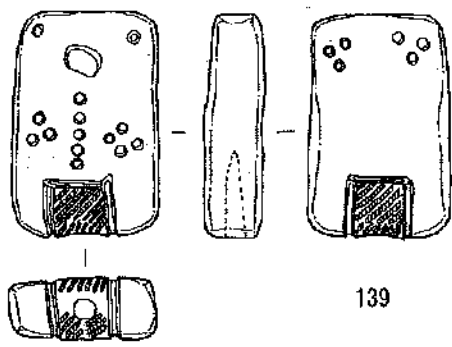
137



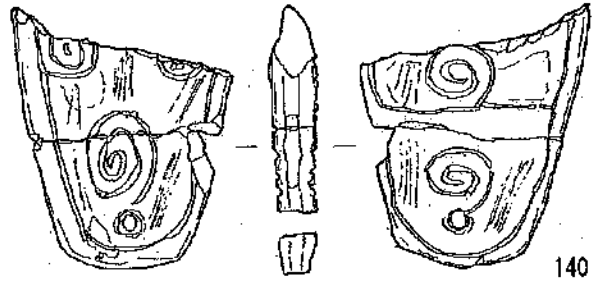
138



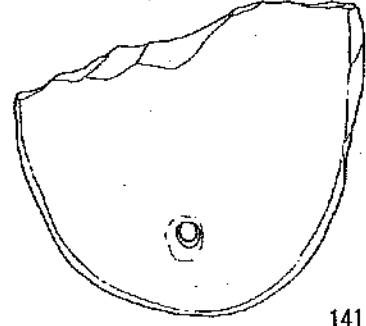
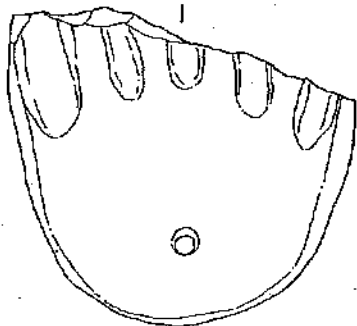
第127图 土製品実測图 土偶(11)



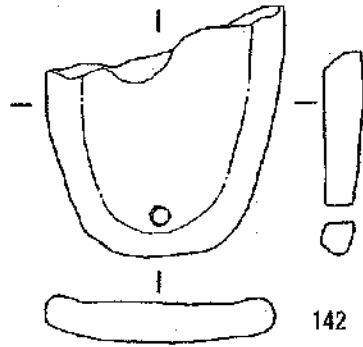
139



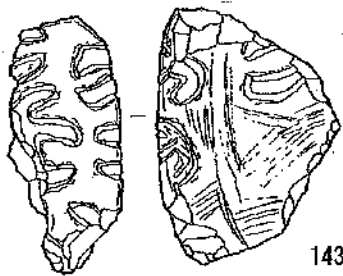
140



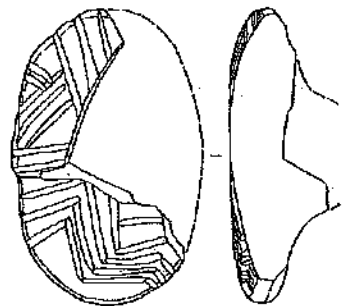
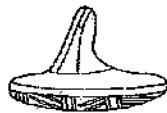
141



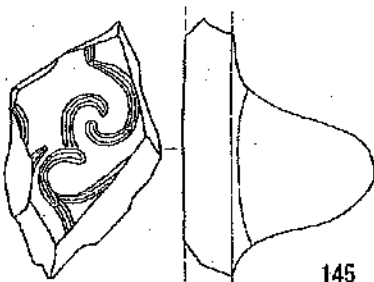
142



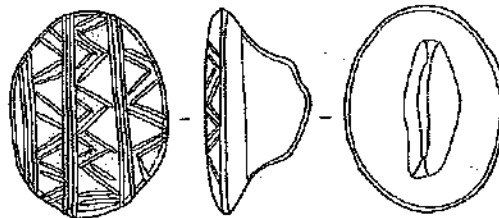
143



144



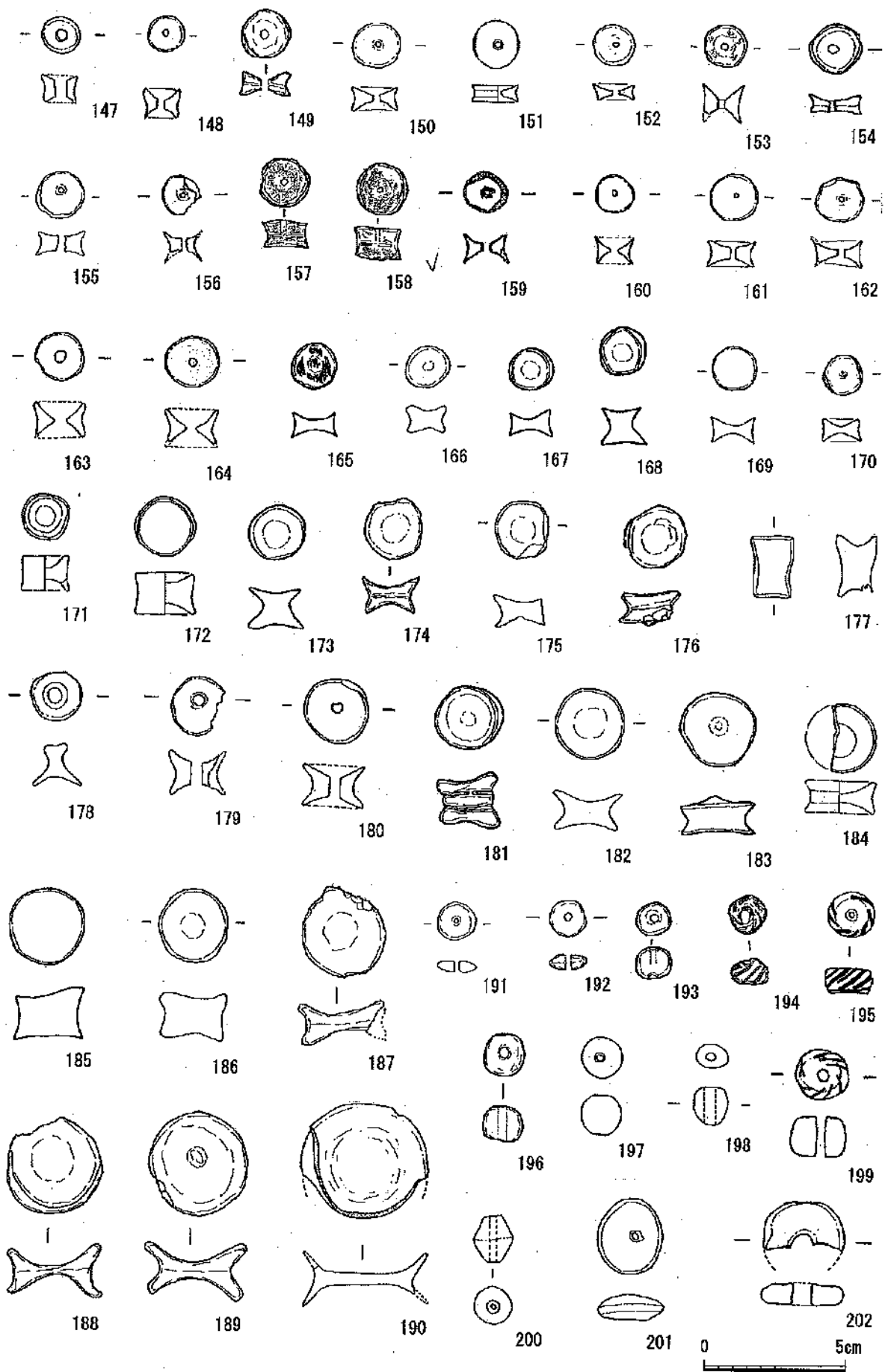
145



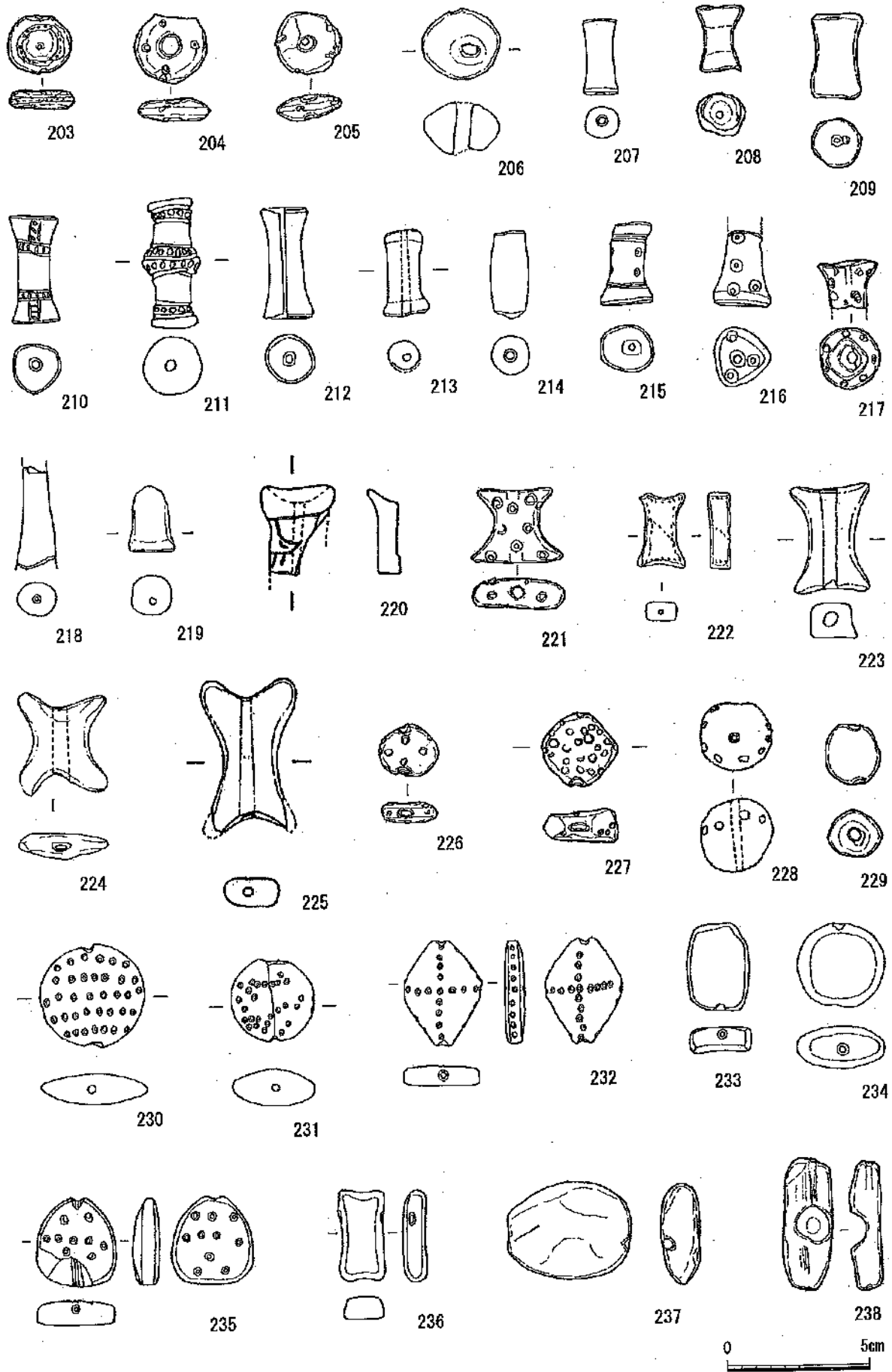
146



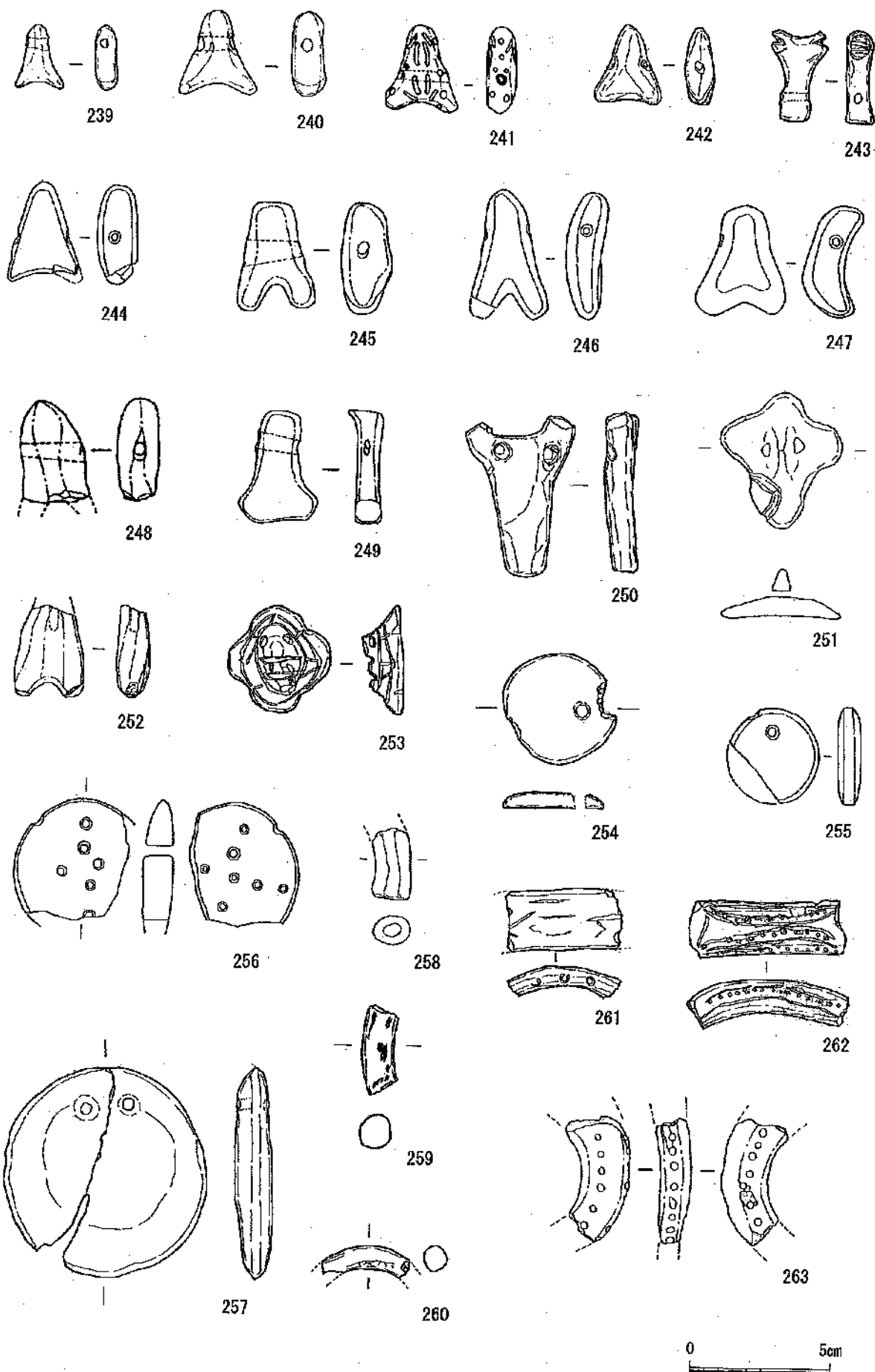
第128図 土製品実測図 土版・足形土製品・スタンプ状土製品



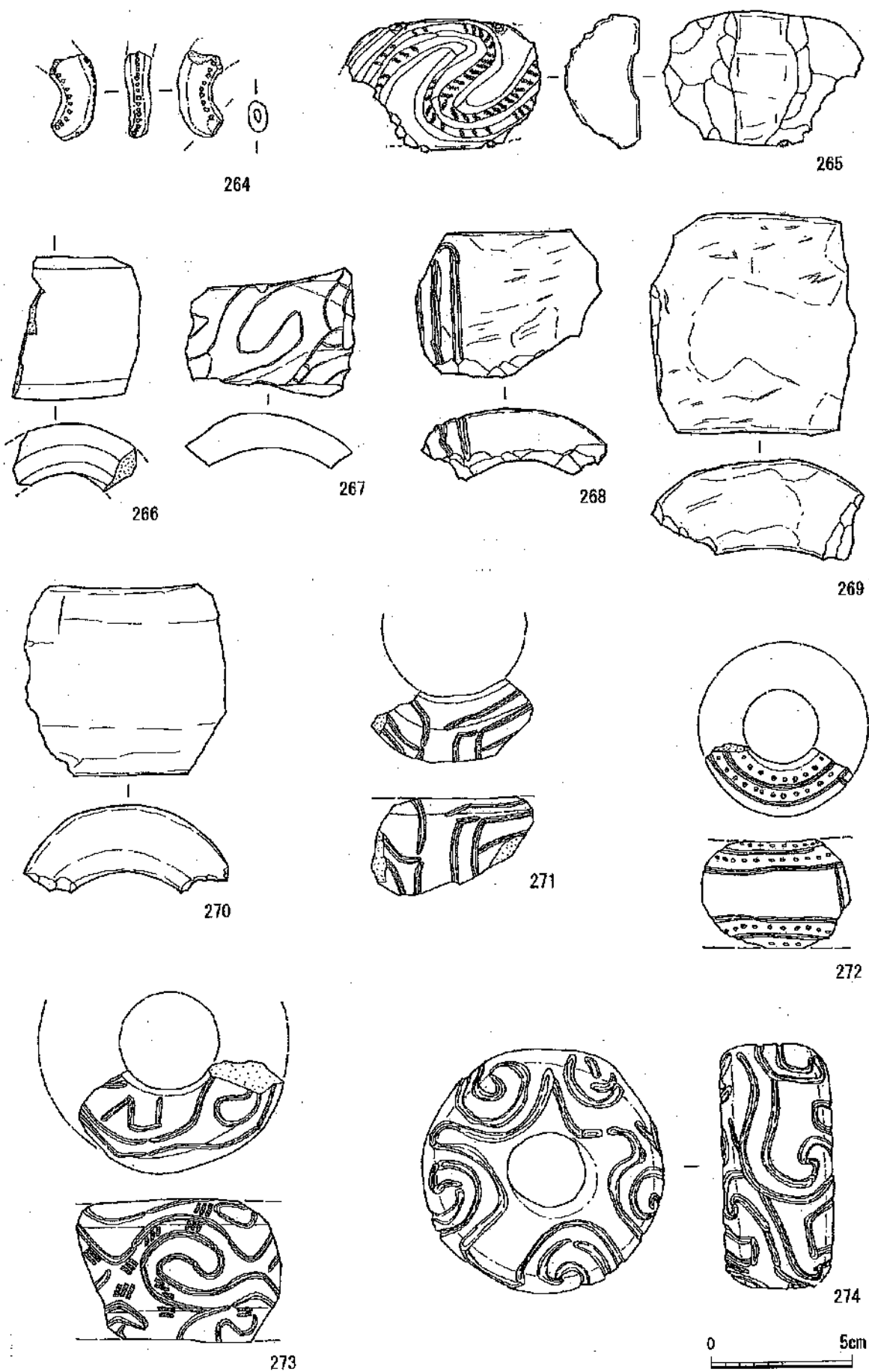
第129図 土製品実測図 耳飾り・有孔土製品



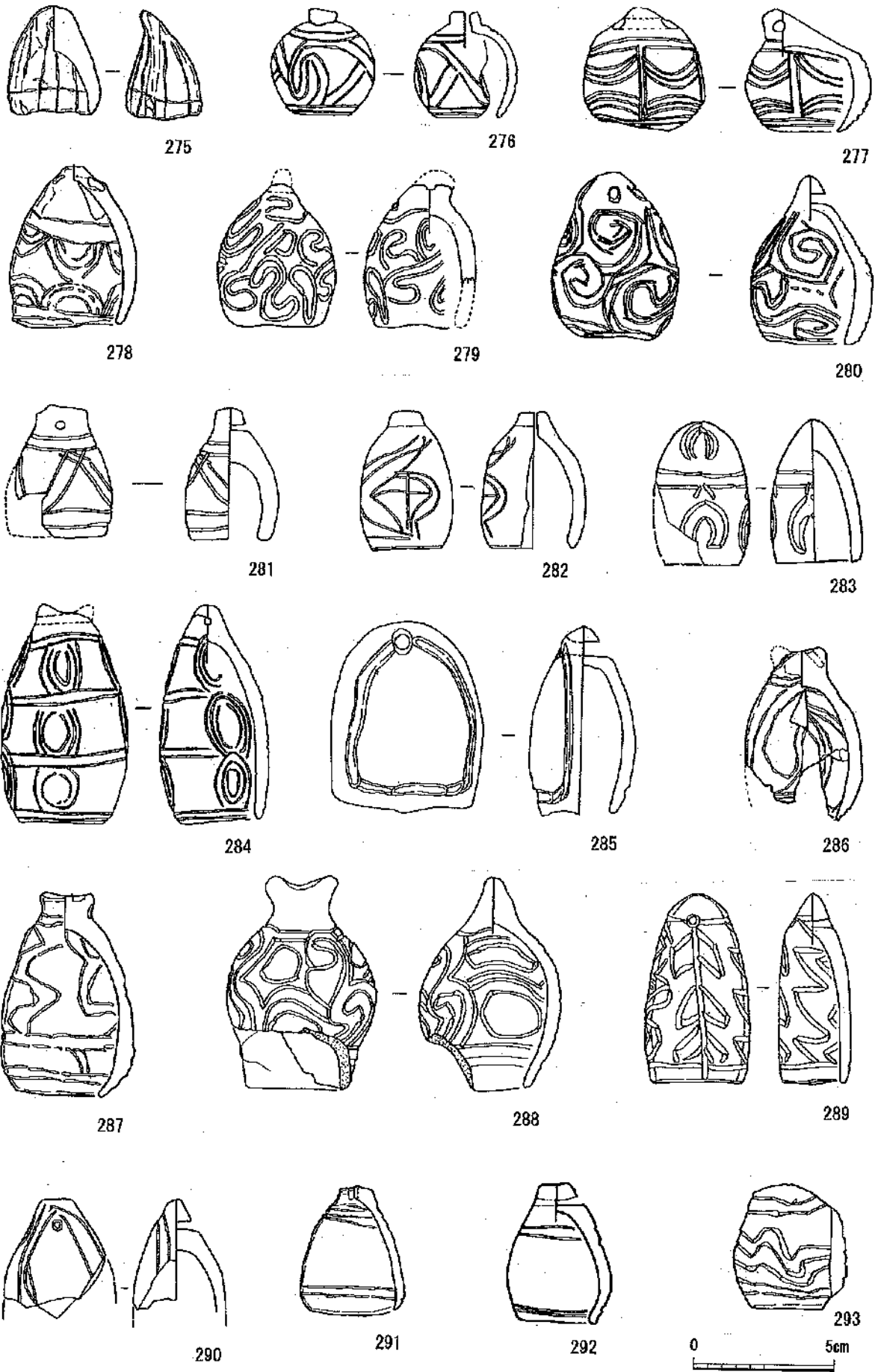
第130图 土製品実測図 有孔土製品(2)



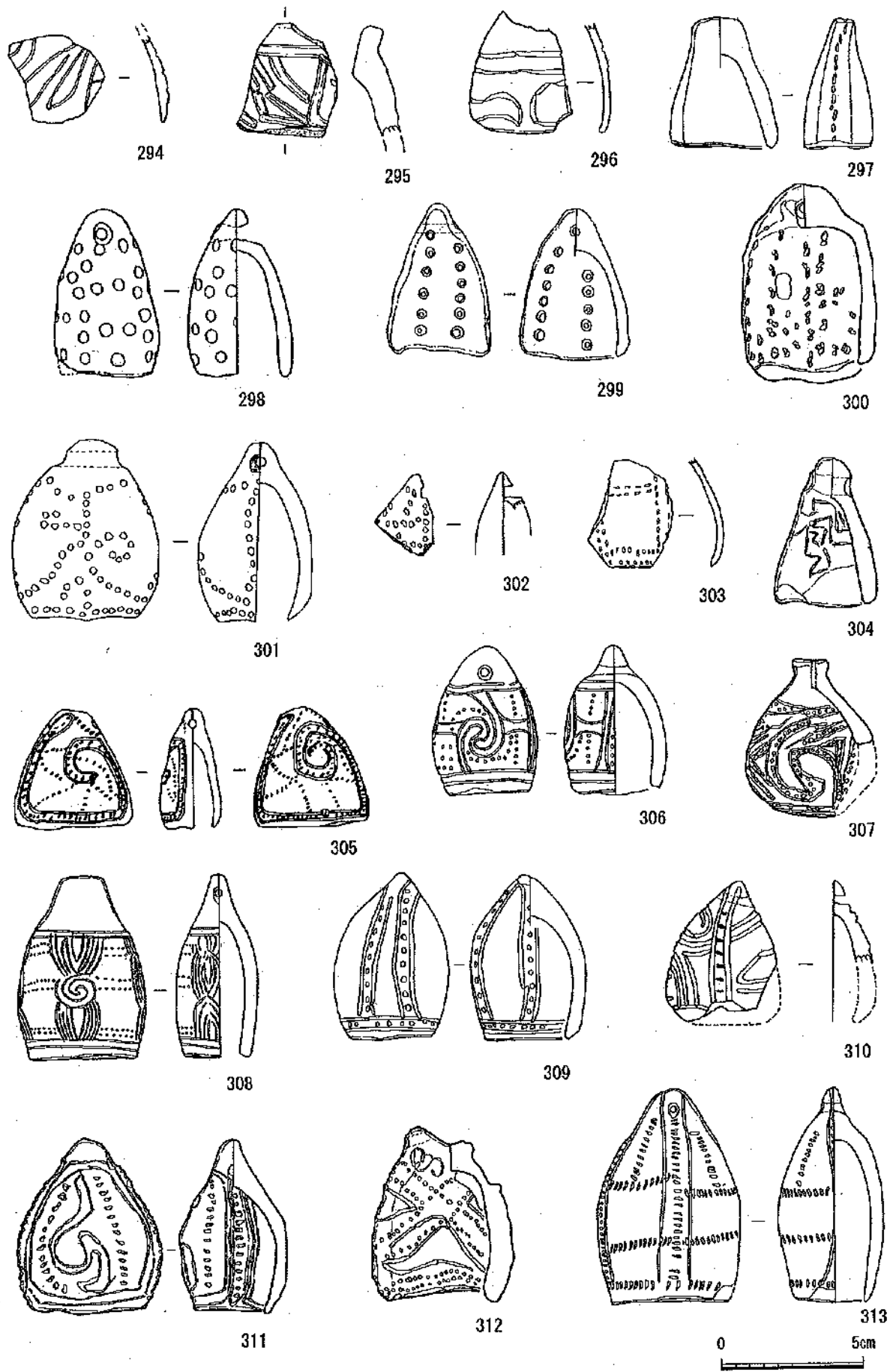
第131图 土製品実測図 有孔土製品(3)



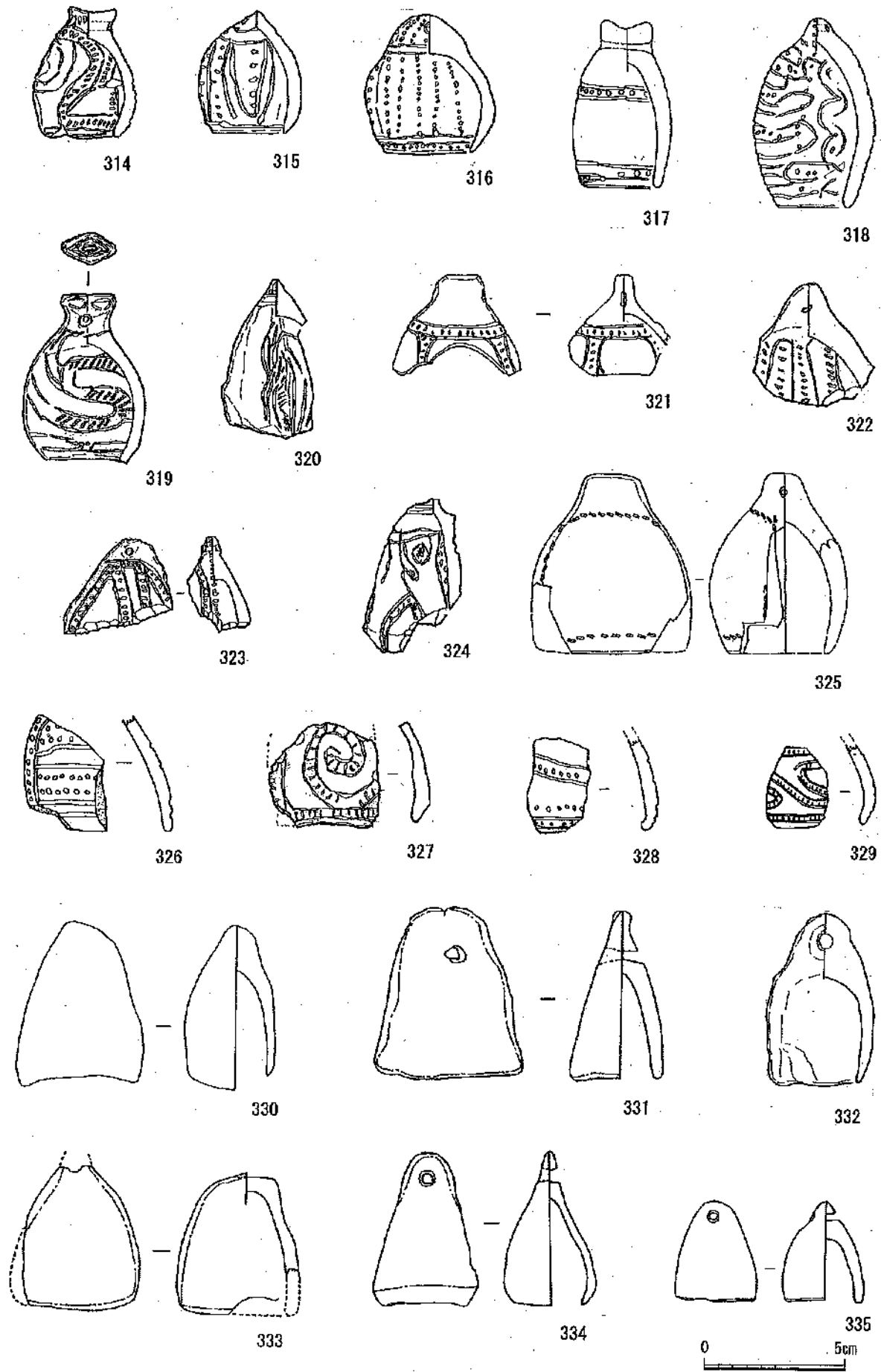
第132图 土製品実測図 環状土製品



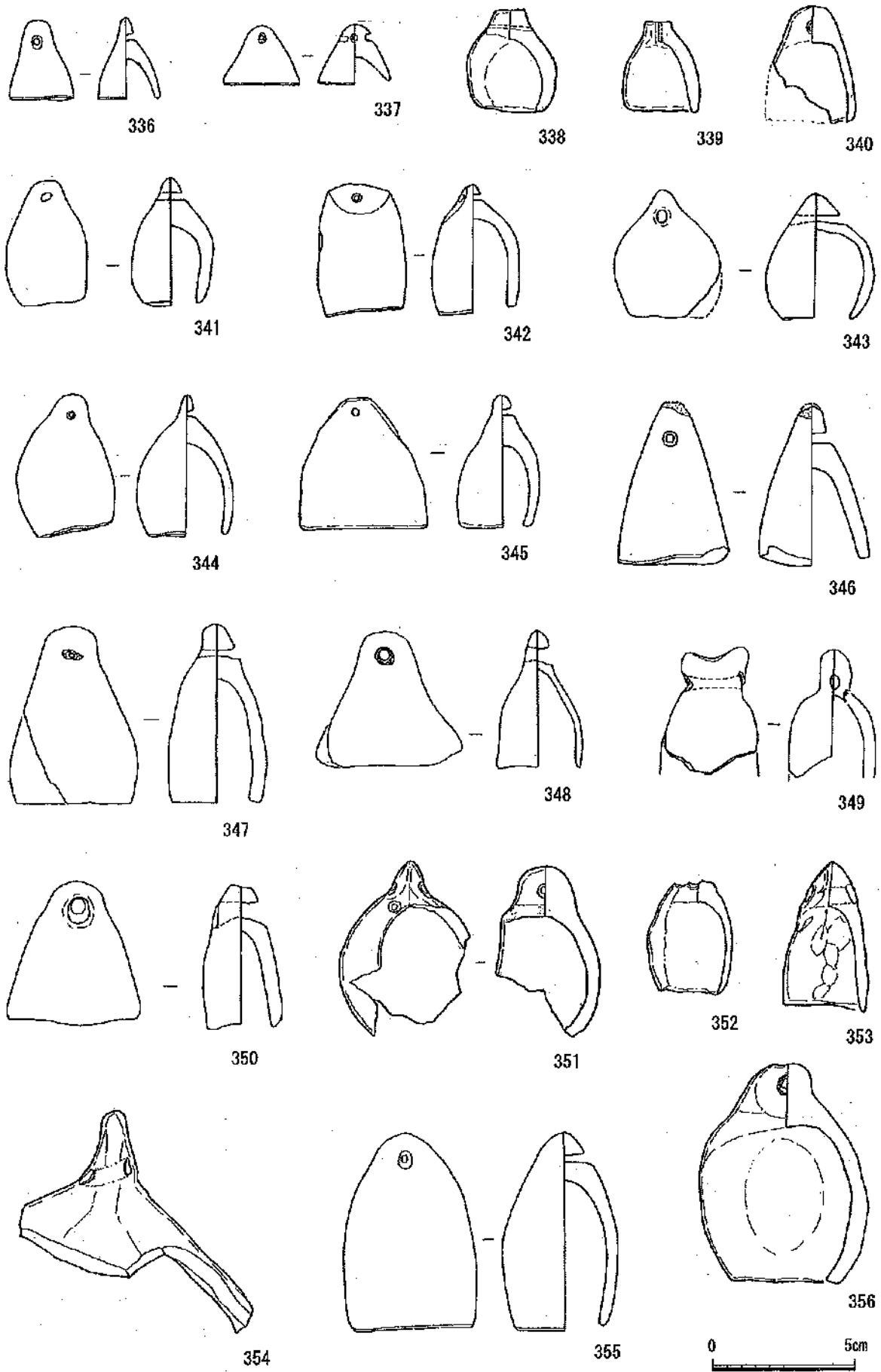
第133图 土製品実測図 鐎形土製品(1)



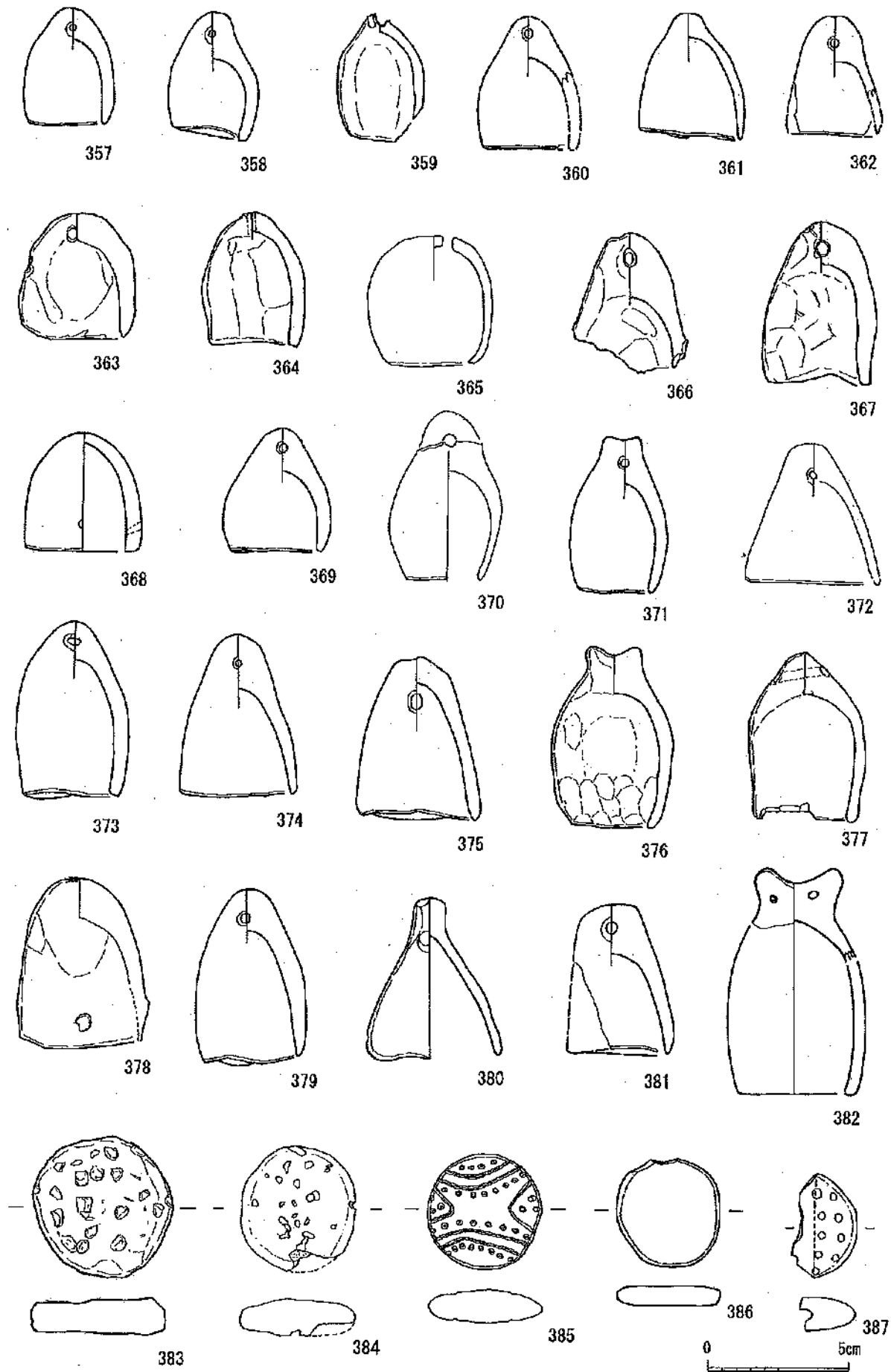
第134图 土製品実測図 鐮形土製品(2)



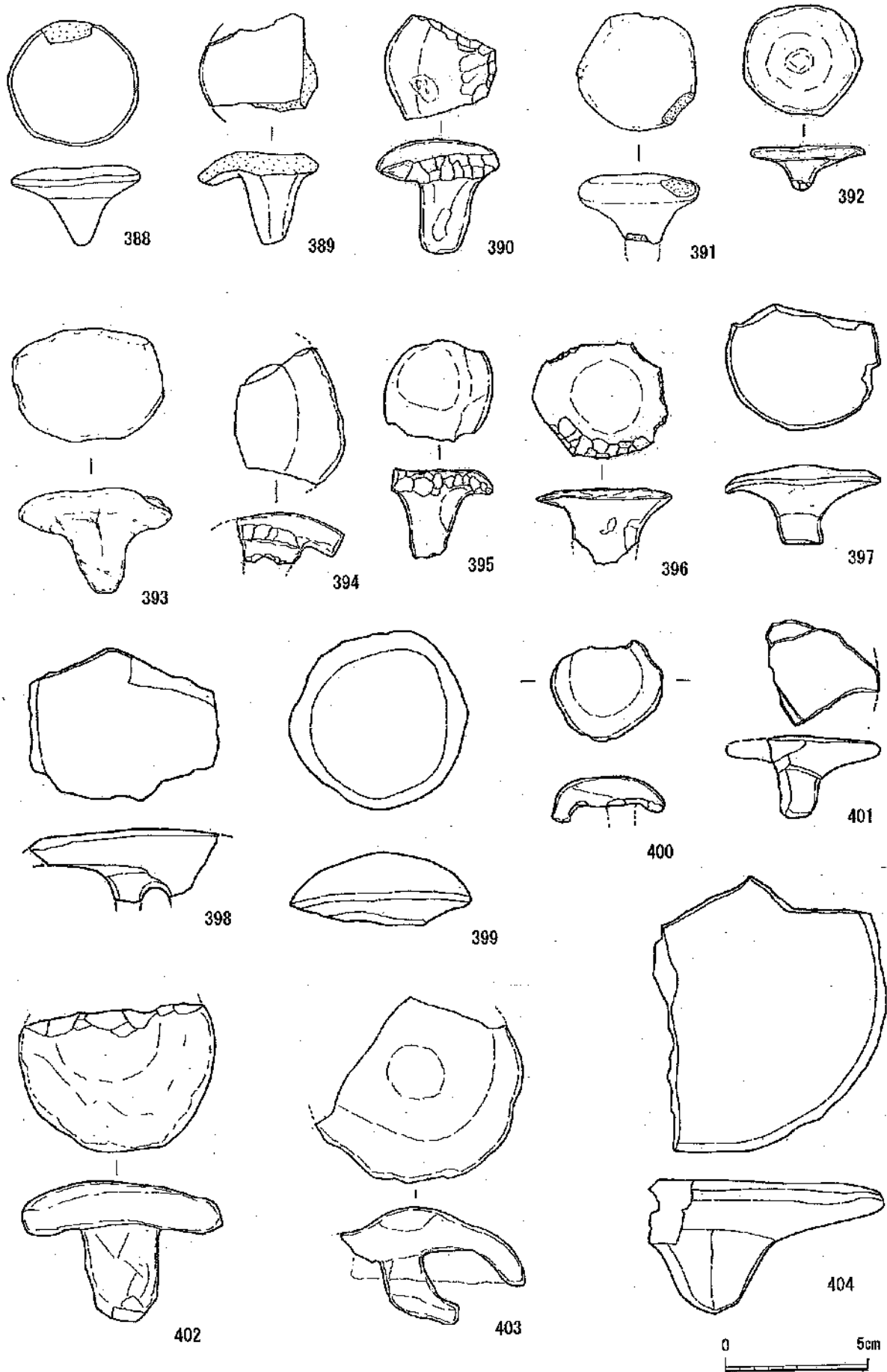
第135图 土製品実測図 罍形土製品(3)



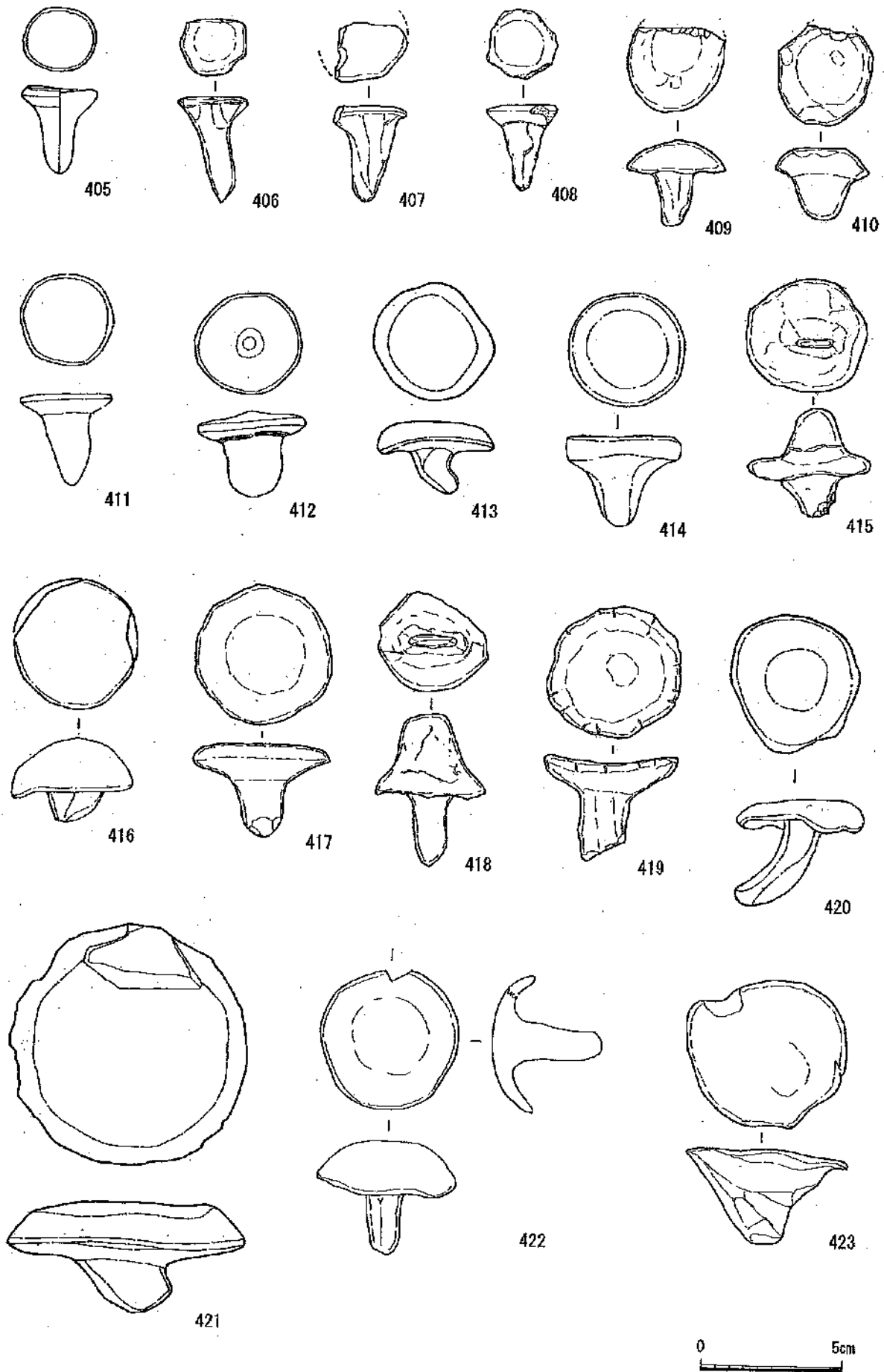
第136图 土製品実測図 鐮形土製品(4)



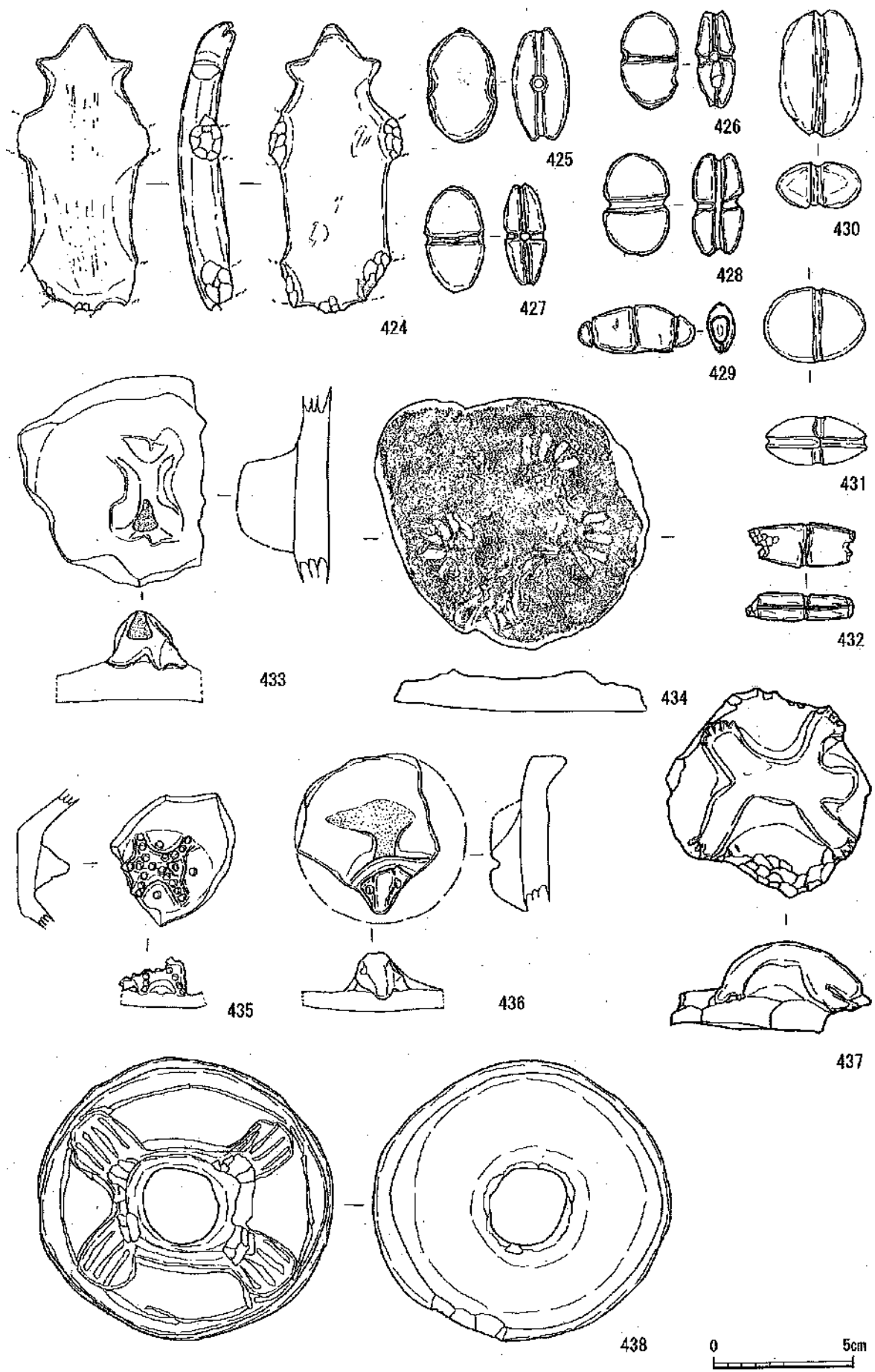
第137圖 土製品実測圖 罈形土製品(5)



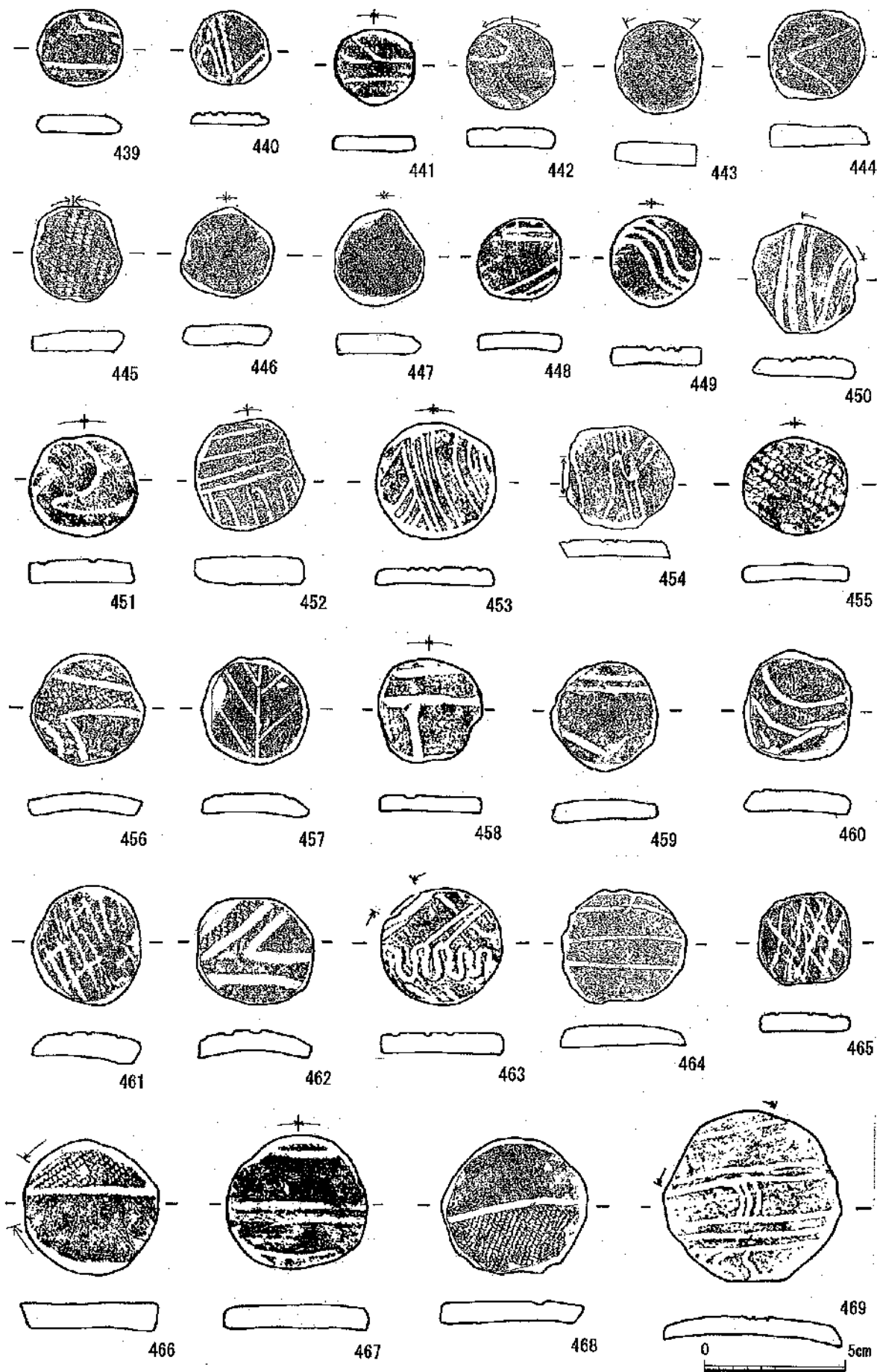
第138図 土製品実測図 キノコ形土製品(1)



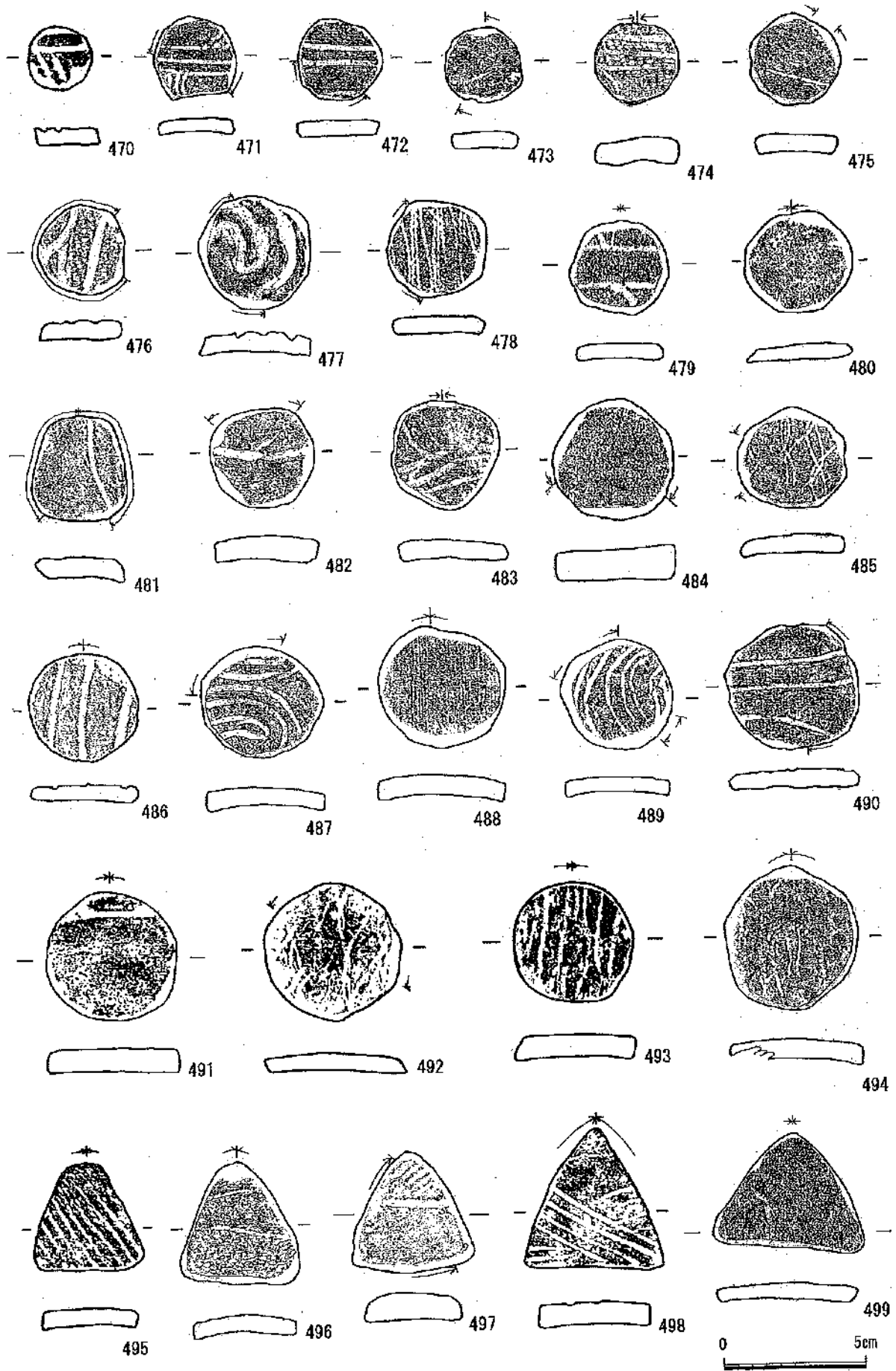
第139図 土製品実測図 キノコ形土製品(2)



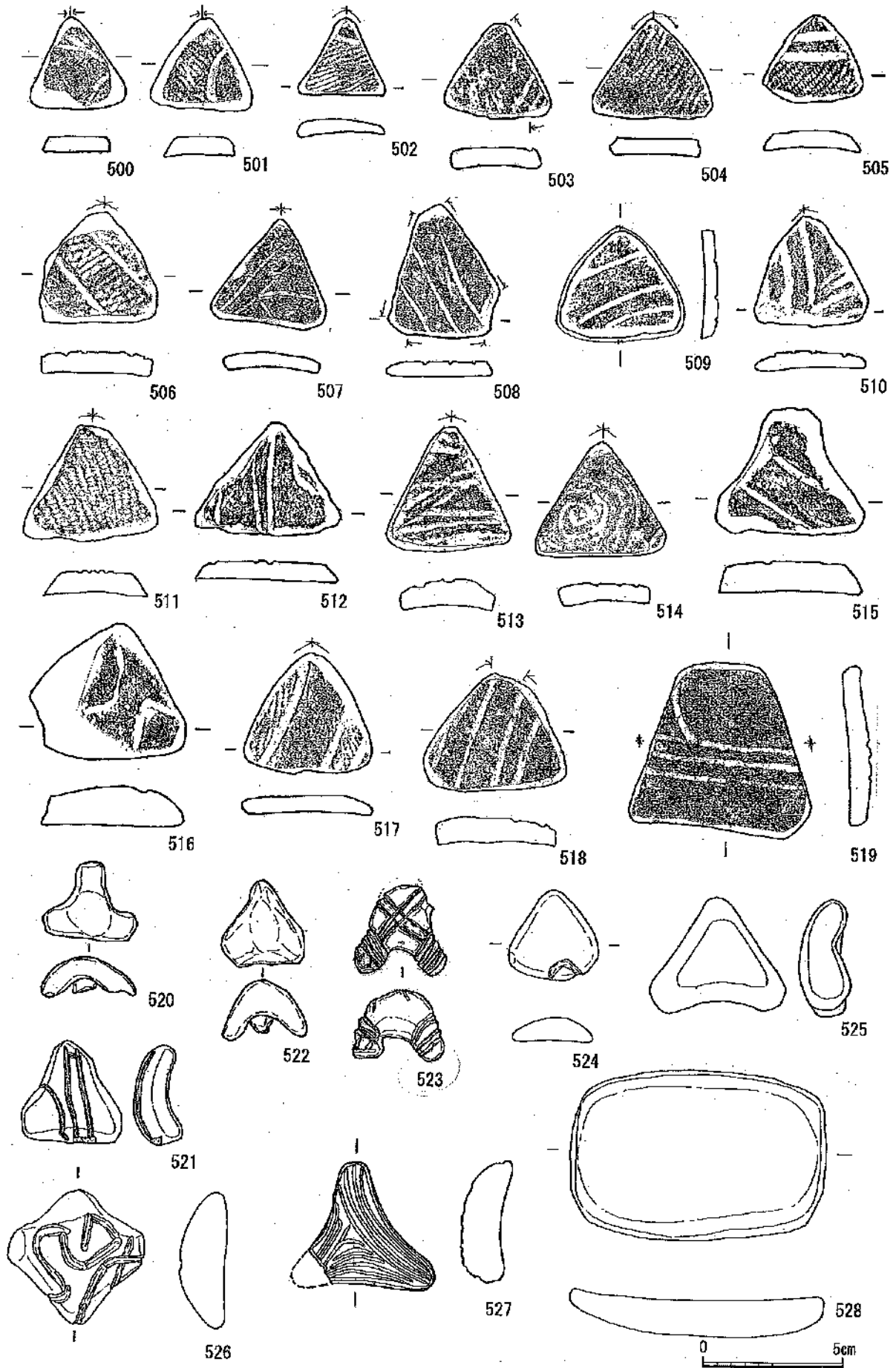
第140図 土製品実測図 動物形土製品・土鍾



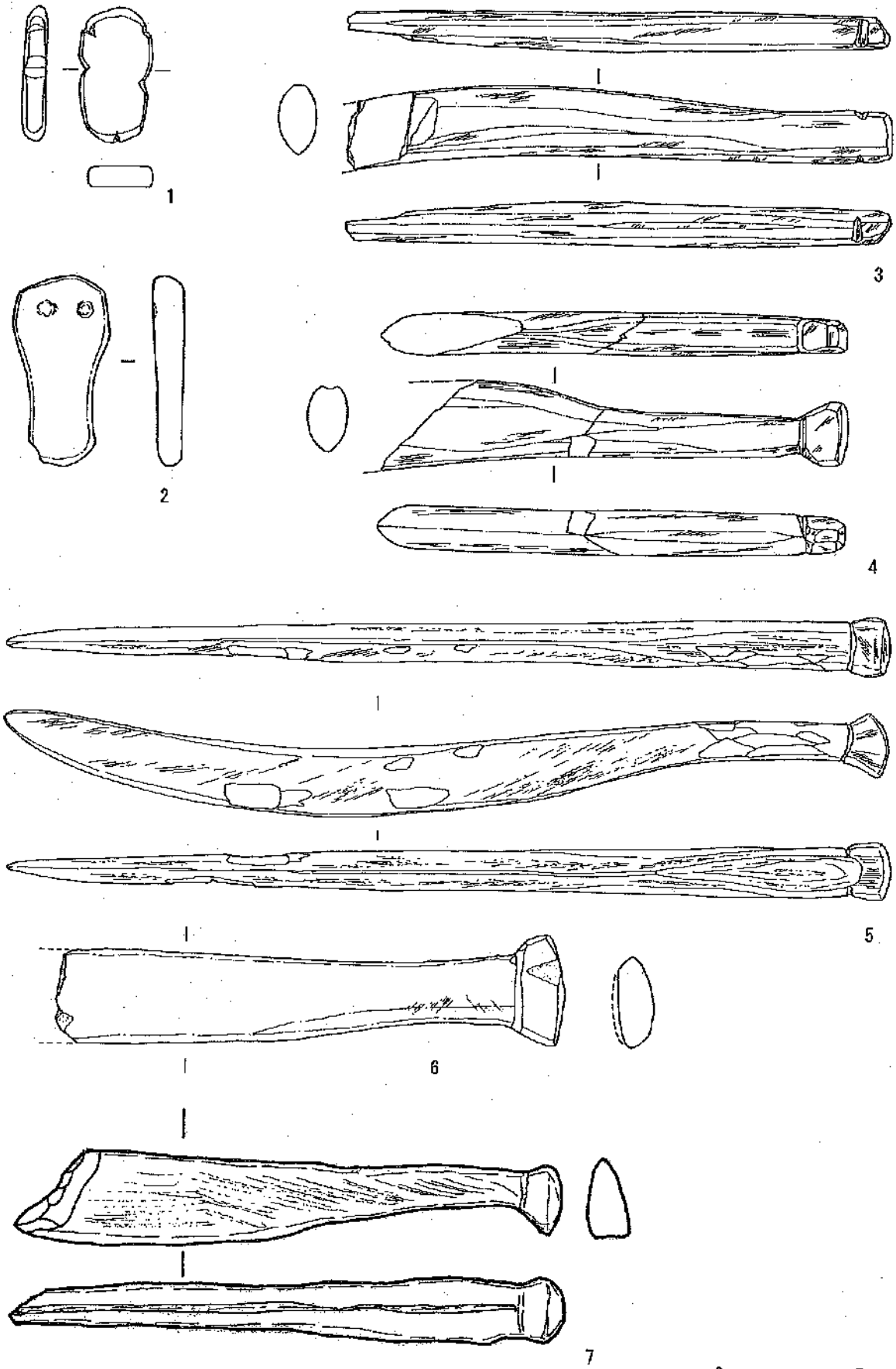
第141図 土製品実測図 土器片利用土製品(1)



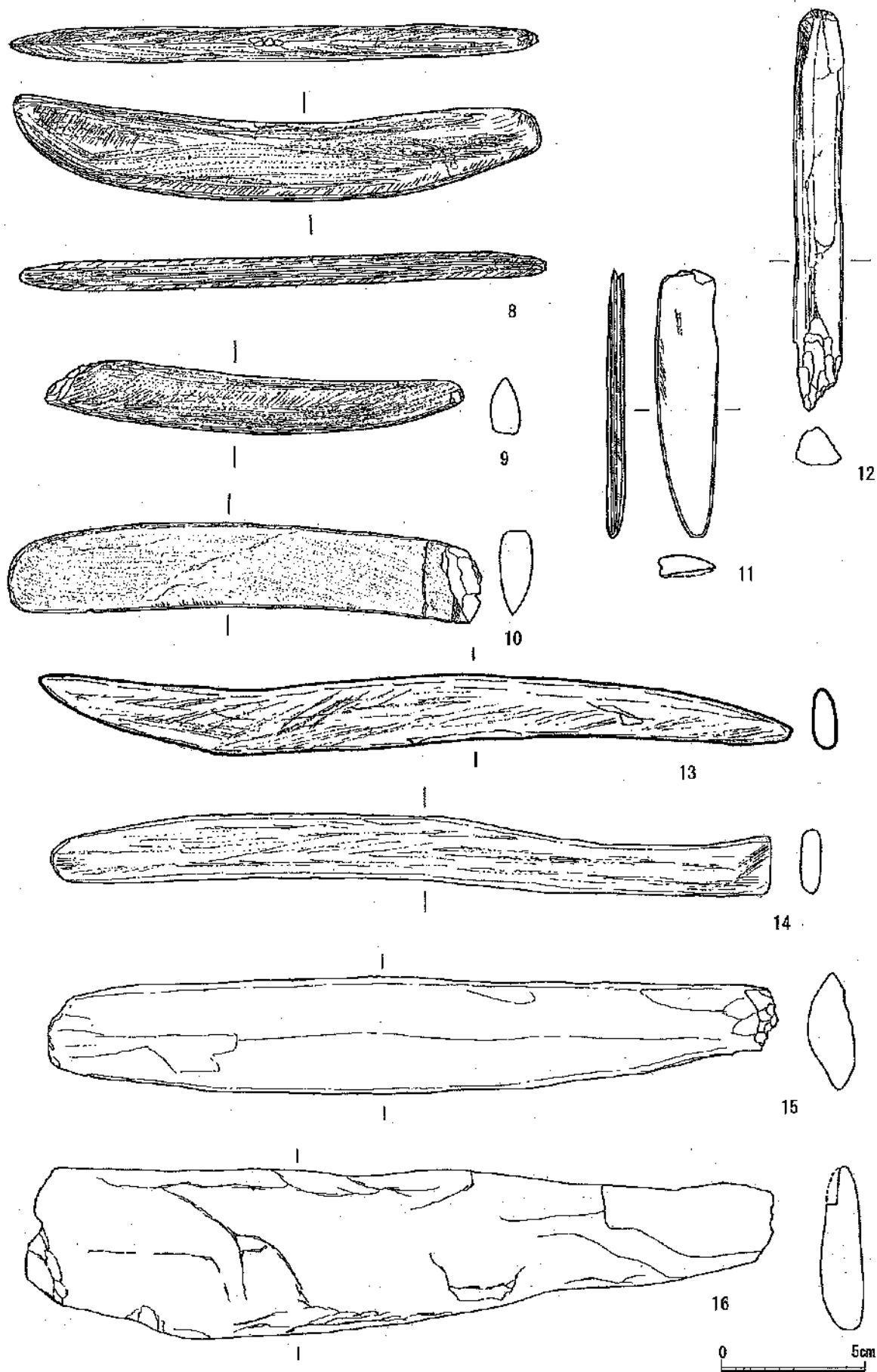
第142图 土製品実測図 土器片利用土製品(2)



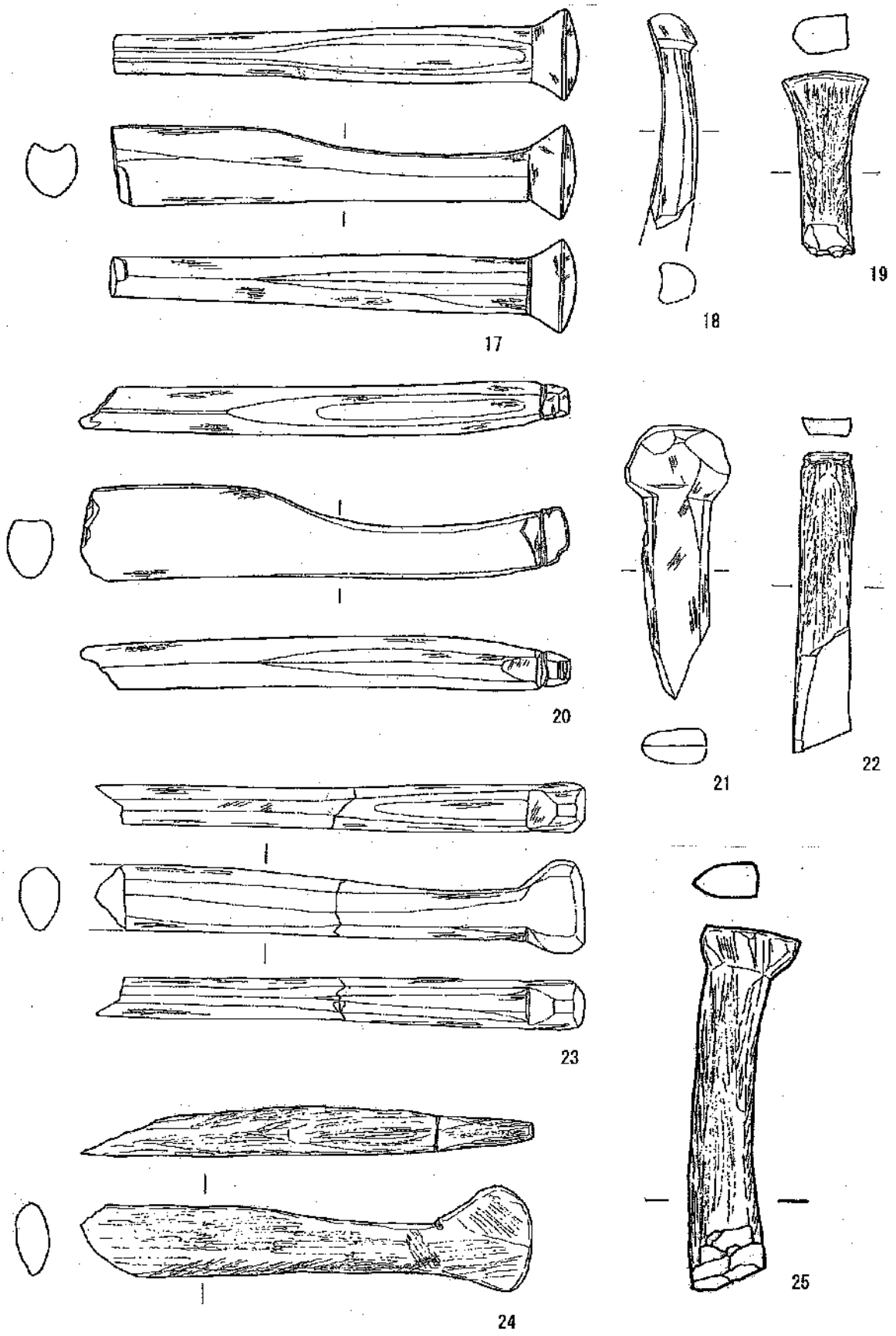
第143图 土製品実測图 土器片利用土製品・三脚土製品・皿状土製品



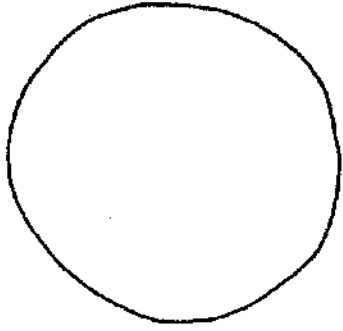
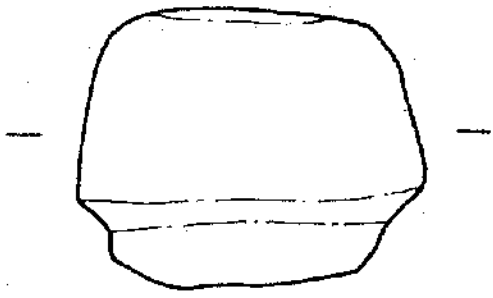
第144图 石製品実測図 岩版・石刀



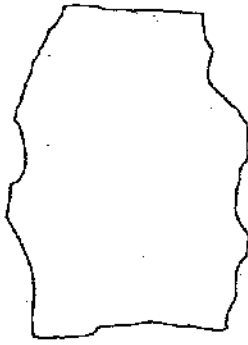
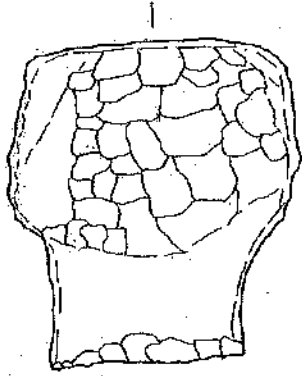
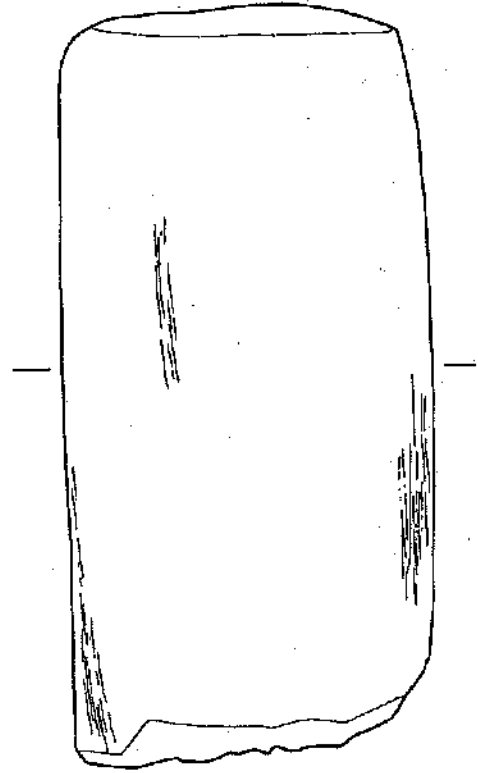
第145圖 石製品実測圖 石刀(2)



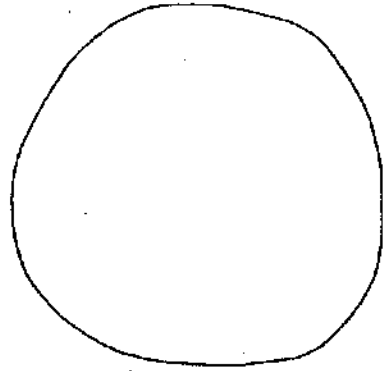
第146图 石製品実測図 石刀(3)



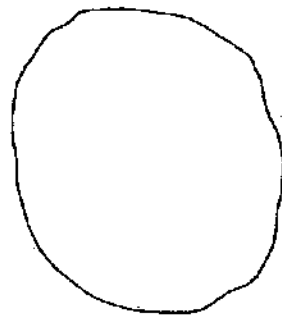
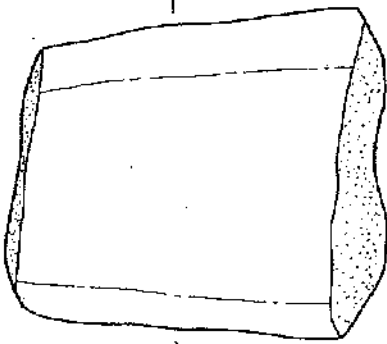
26



27



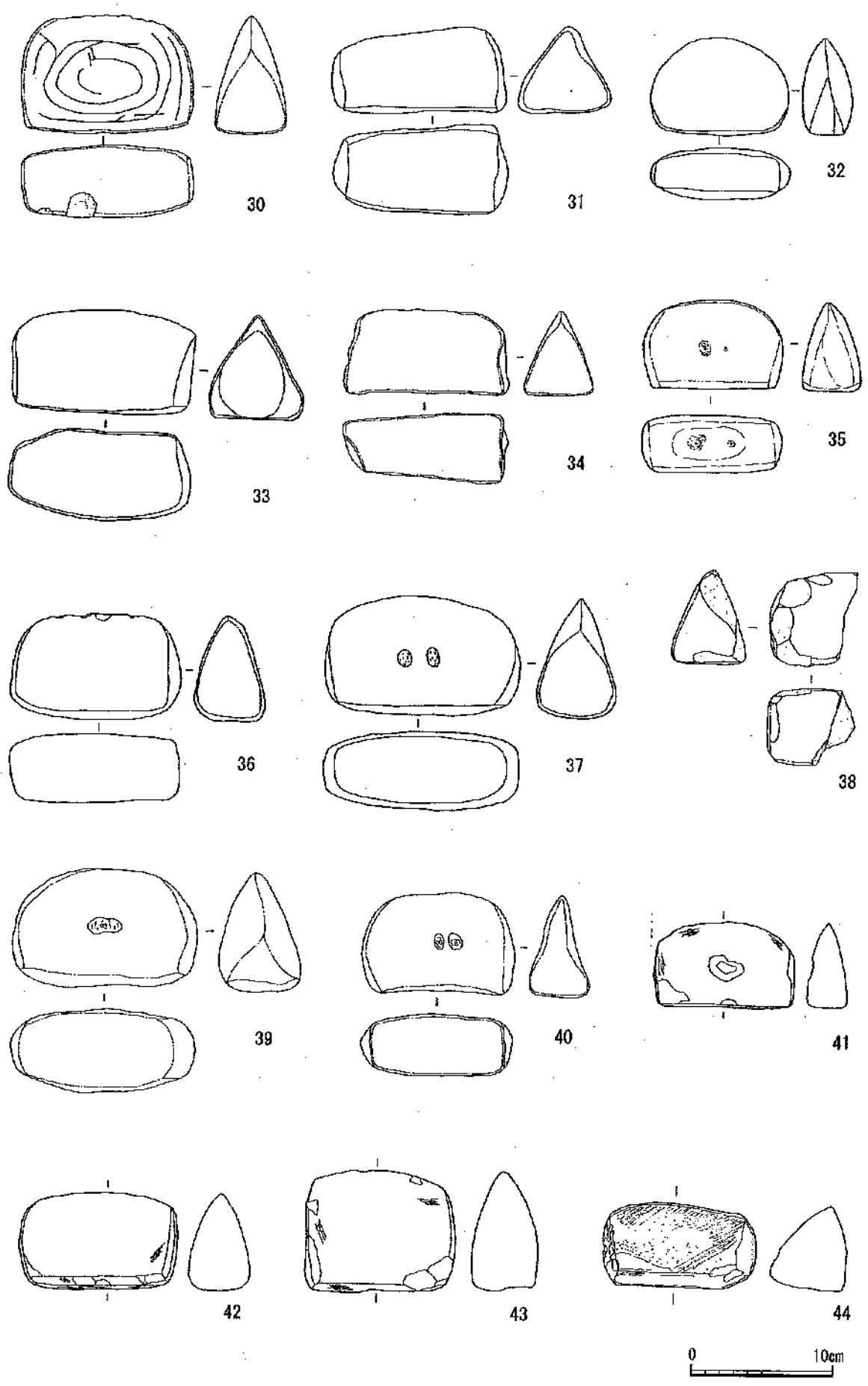
28



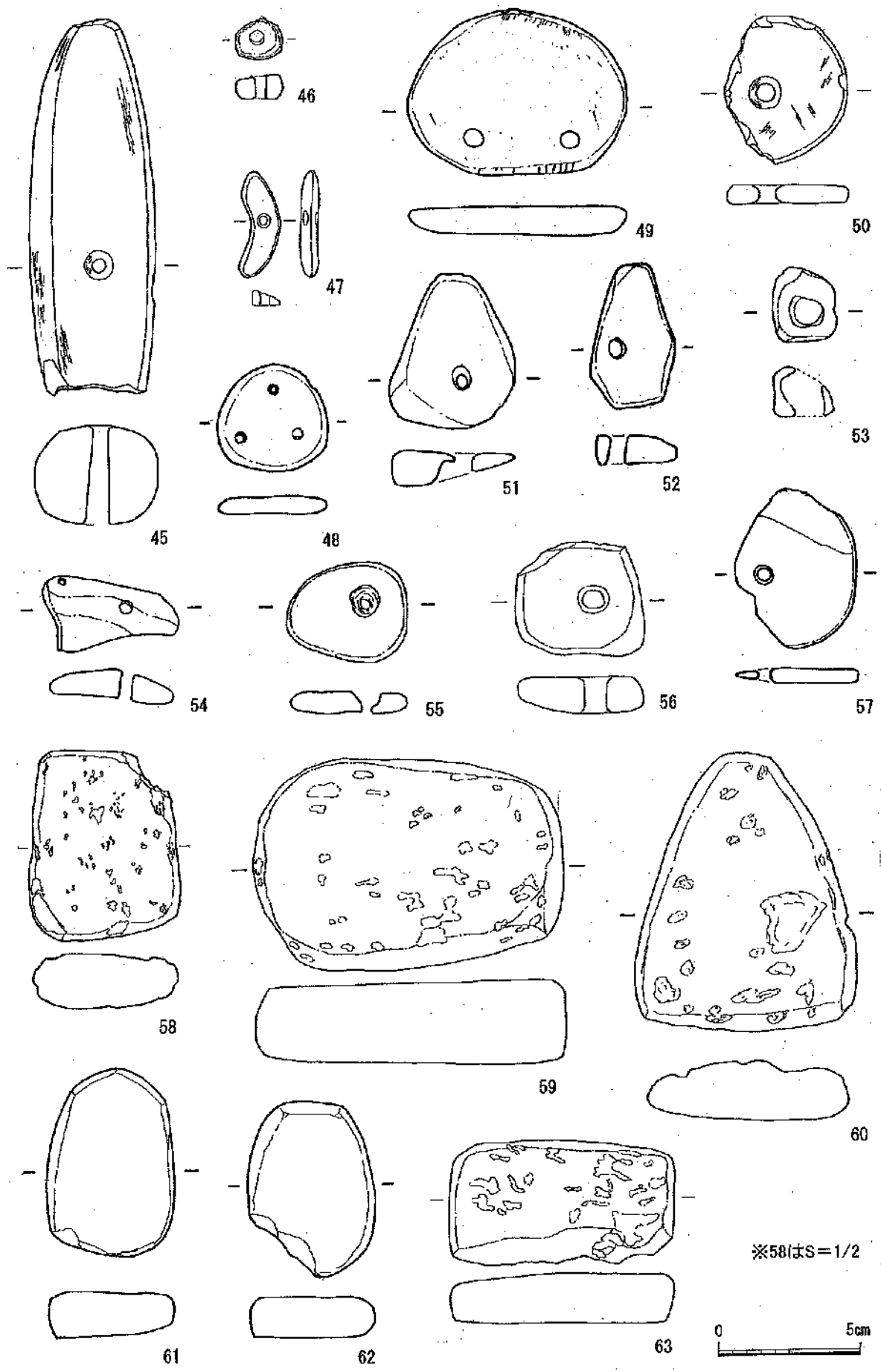
29



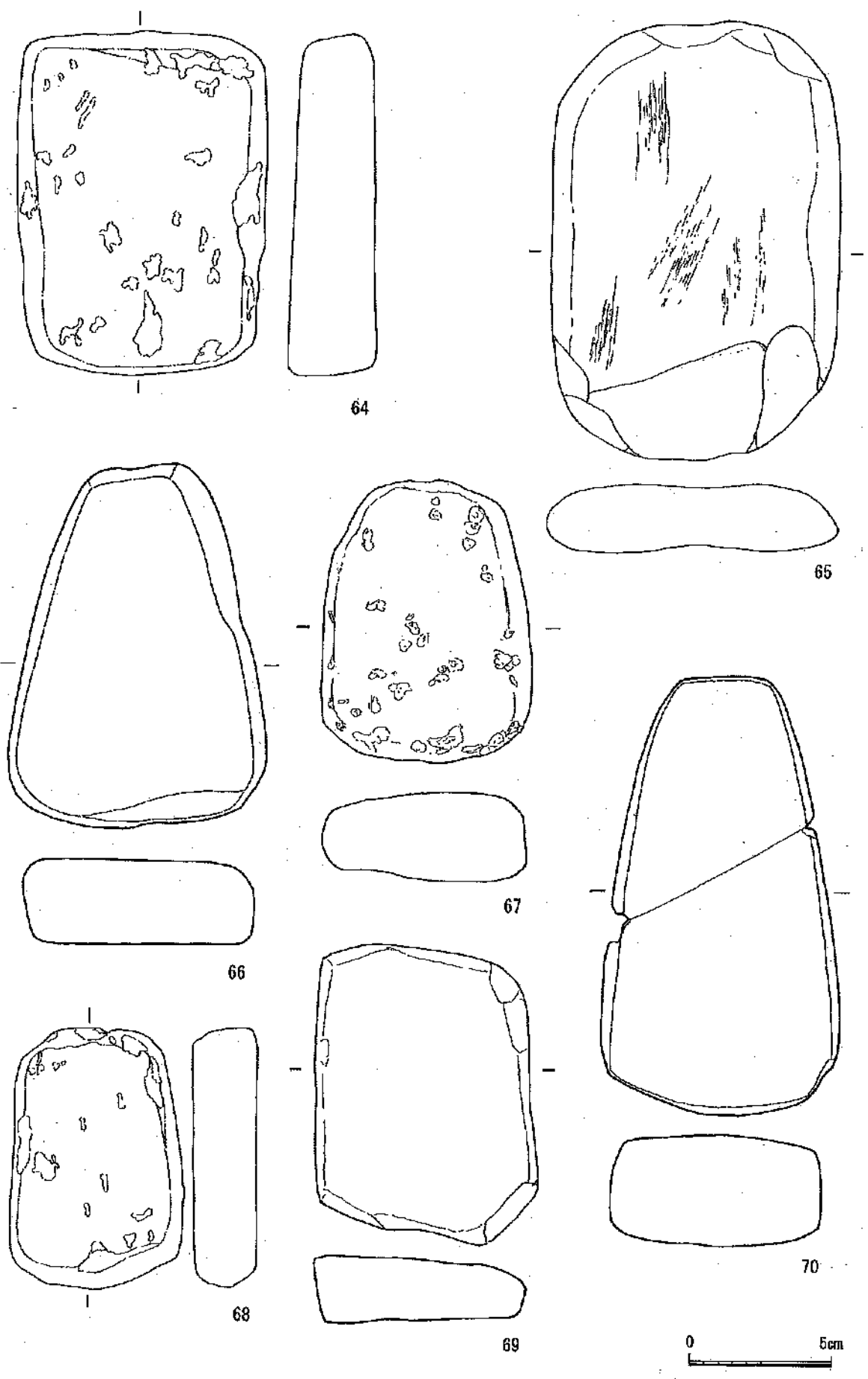
第147図 石製品実測図 石棒



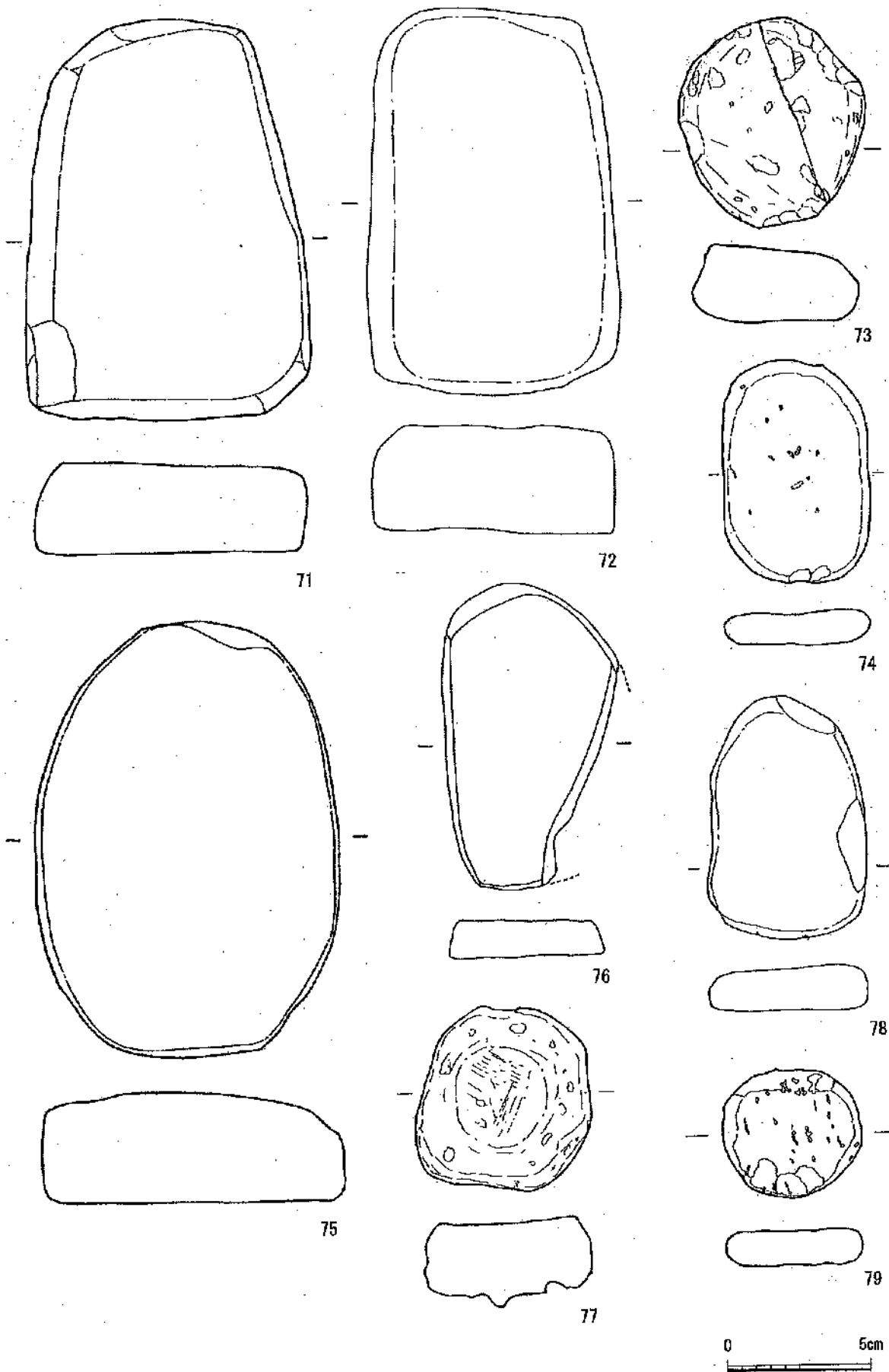
第148圖 石製品実測図 石冠



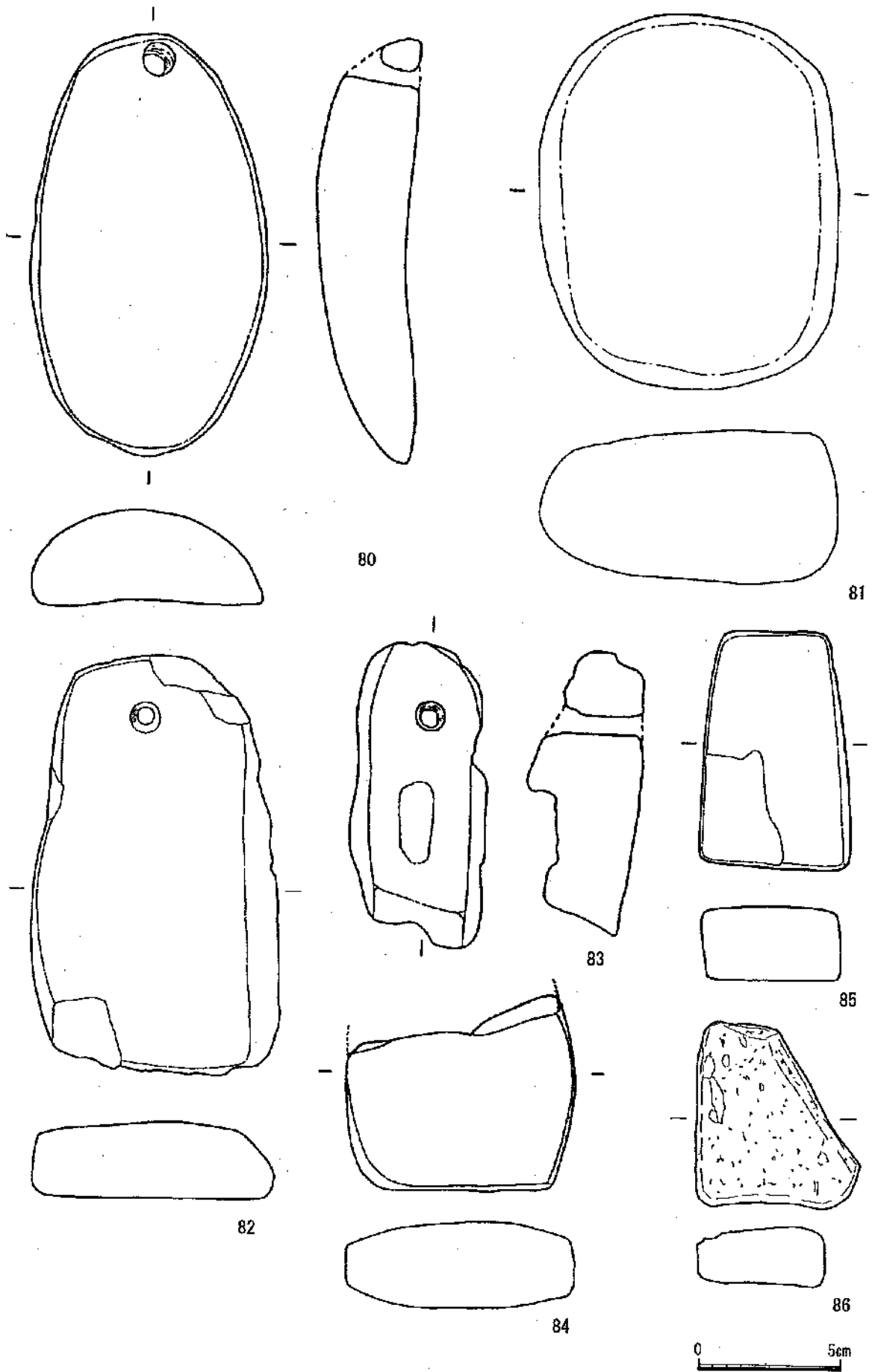
第149図 石製品実測図 有孔石製品・軽石製石製品



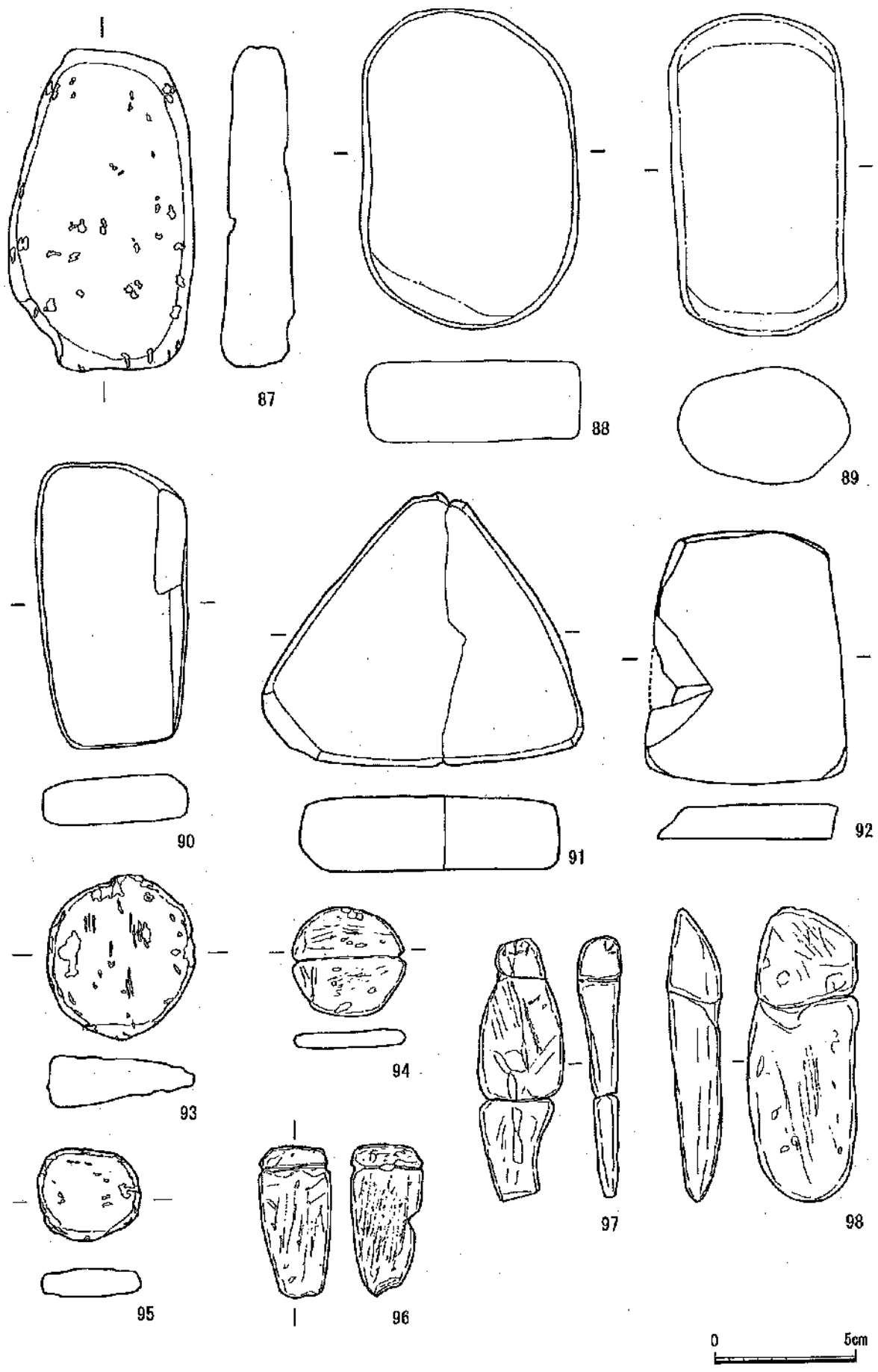
第150圖 石製品実測図 軽石製石製品(2)



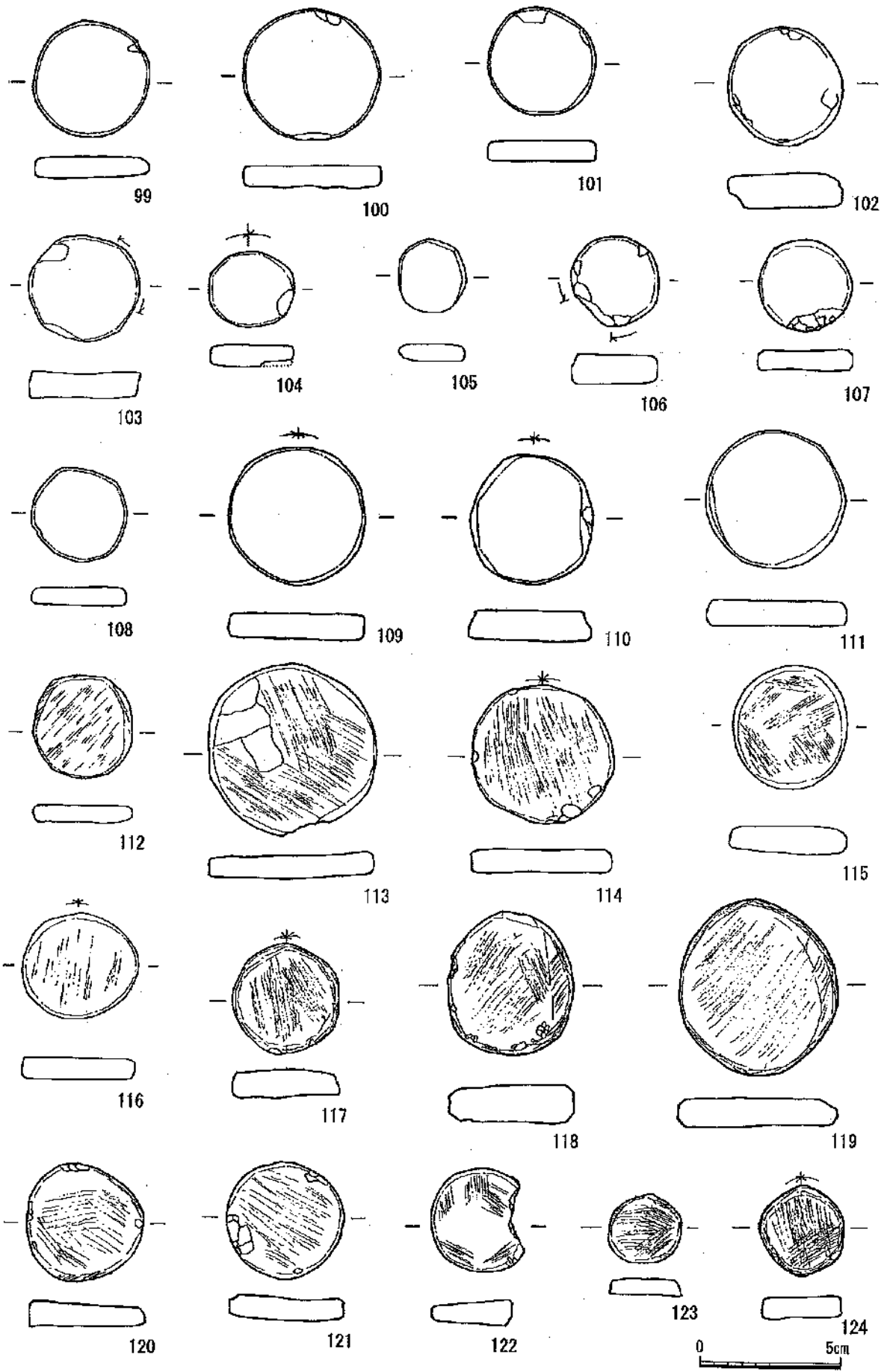
第151図 石製品実測図 軽石製石製品(3)



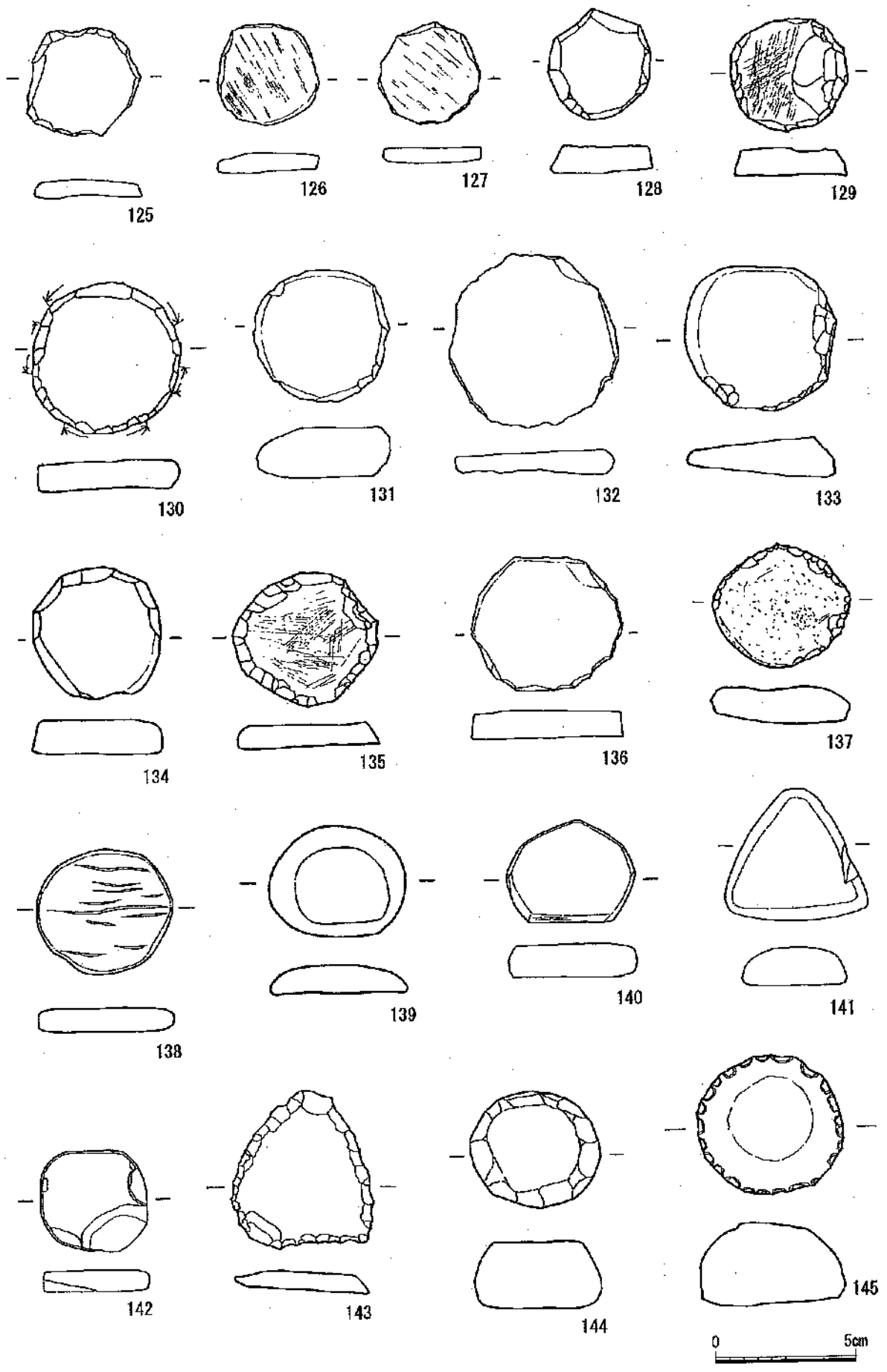
第152圖 石製品実測図 軽石製石製品(4)



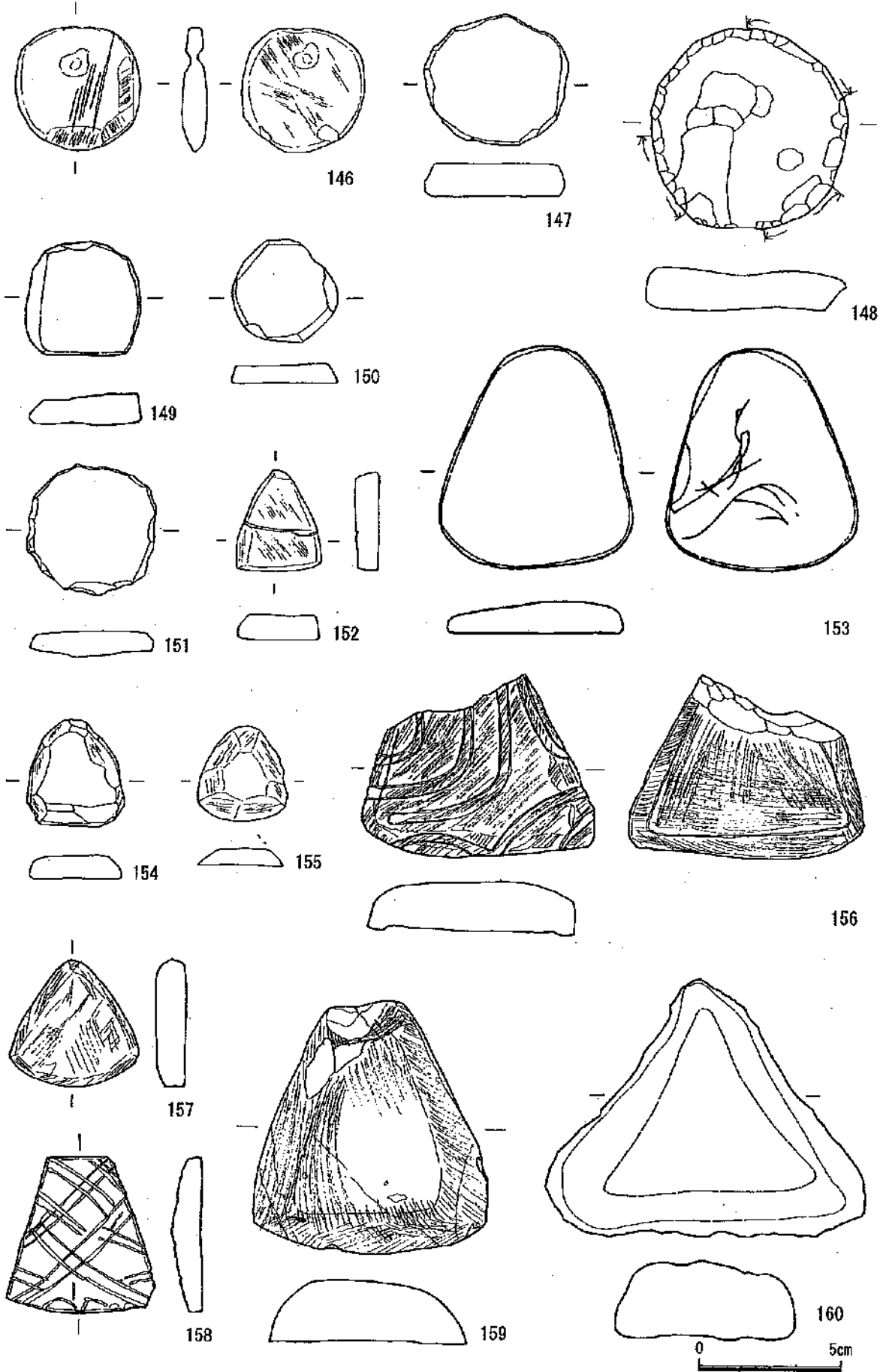
第153図 石製品実測図 軽石製石製品(5)



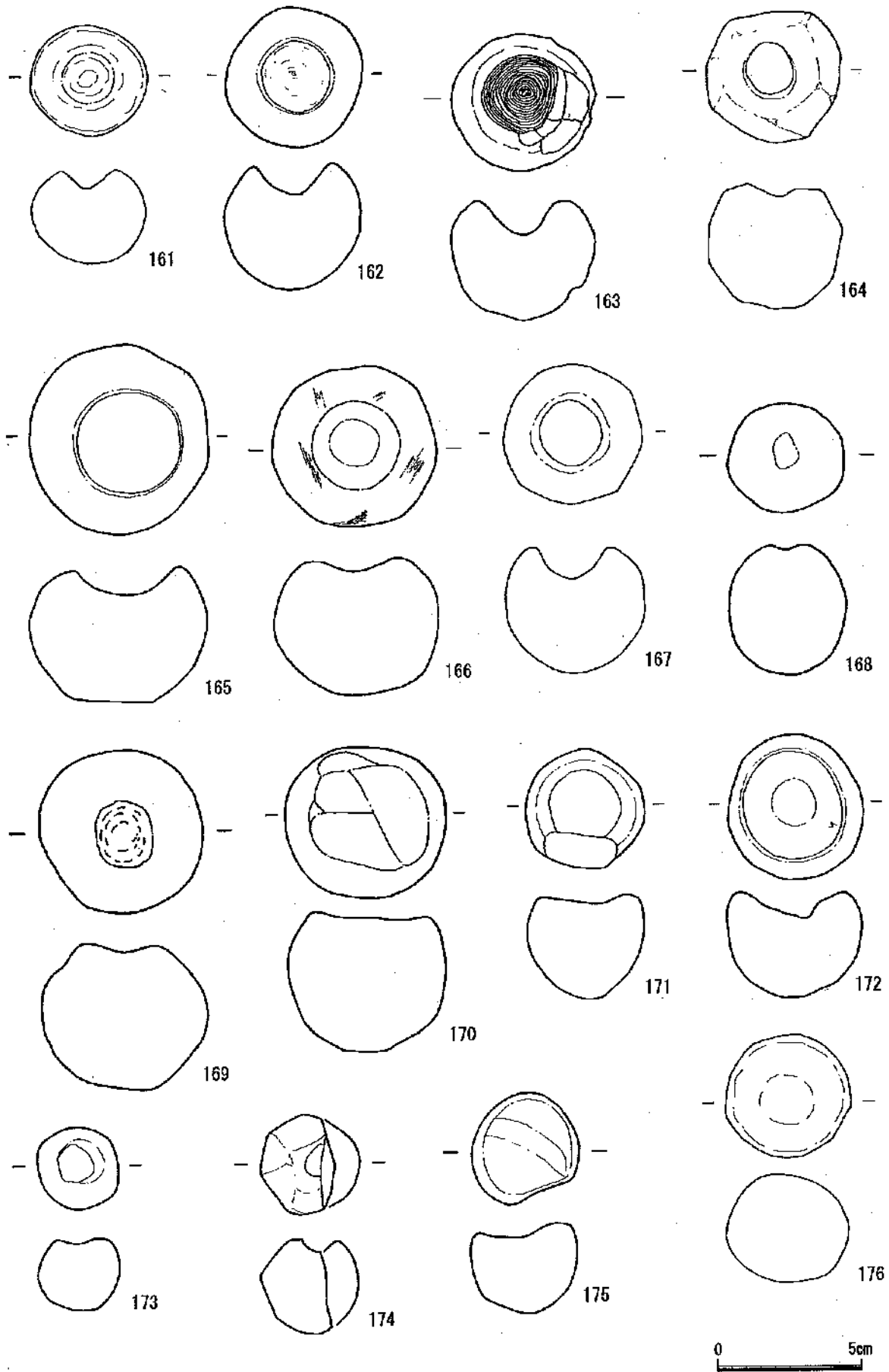
第154图 石製品突測図 円盤状石製品(1)



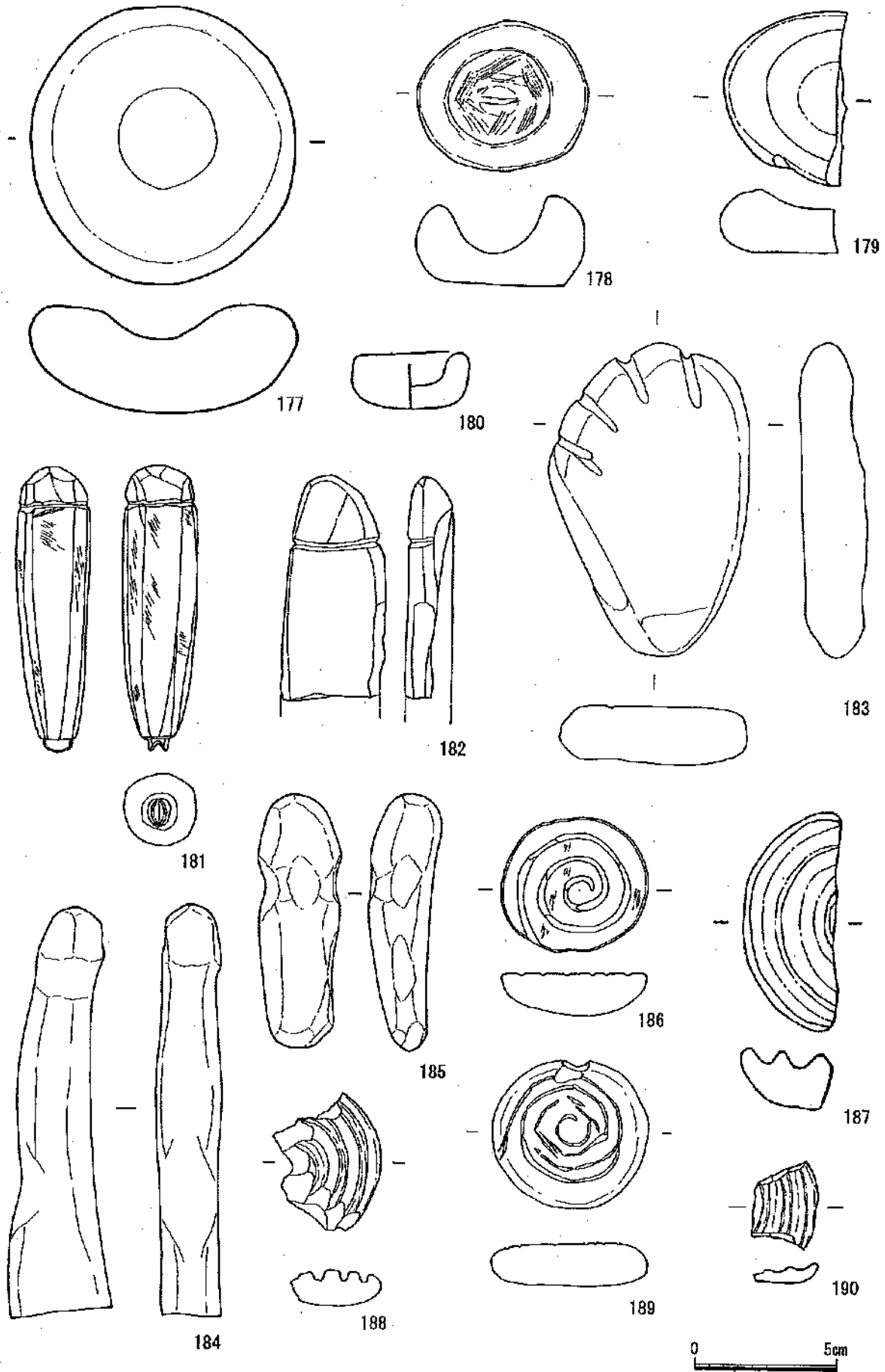
第155图 石製品実測図 円盤状石製品(2)



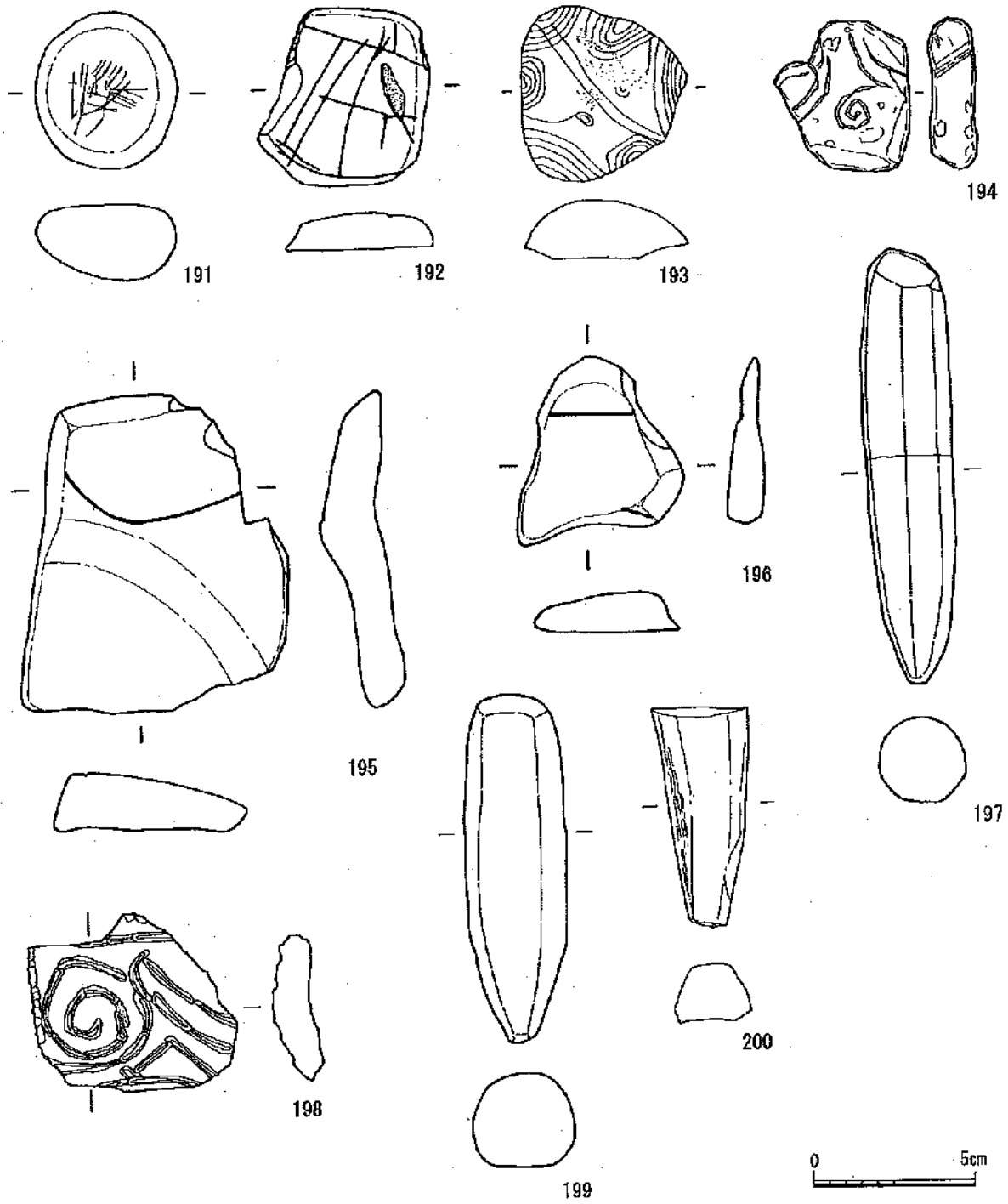
第156圖 石製品実測圖 円盤状石製品・三角形岩版



第157图 石製品実測图 球状石製品



第158図 石製品実測図 碗状石製品・男根状石製品・イモガイ状石製品



第159圖 石製品実測図 線刻石・棒状石製品

石製品観覧表(1)

国産番号	採集番号	採集場所	通称・フリネ名	種別	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	形状	用途	製作年代
14801	D8区 25-39	砂岩製器	IIa-b	3.5	2.3	0.8	1.5	9-10-10				
14802	B1区・SRI-17	石灰岩製器	IIb	6.3	2.3	0.9	1.8	2-7E-12				
14803	D8区・YD-102	砂岩製器	IIc	18.5	2.3	1.2	9-11-1					
14804	F8区・X-1-106	砂岩製器	IIa-b	16.0	2.7	1.8	9-31-1					
14805	D8区・ZT-18	砂岩製器	IIa-b	31.8	2.3	1.3	11-8E-2					
14806	F1区・H-103	砂岩製器	IIc	12.0	2.9	1.5	2-7E-11					
14807	F4区・YF-103	砂岩製器	IIb	10.7	2.9	2.0	13-71-6					
14808	D7区・Z-88	砂岩製器	IIa-b	16.5	2.7	1.2	11.8A					
14809	D7区・ZG-89	砂岩製器	IIa-b	15.5	2.8	1.2	11.8B					
14810	D7区・YH-14	砂岩製器	IIc	8.4	2.0	0.7	17-7					
14811	D8区・YH-80	砂岩製器	IIb	14.0	1.7	1.2	4.83					
14812	F6区・Y-113	砂岩製器	IIa	25.7	2.3	1.3	14-87-8					
14813	F4区・YD-102	砂岩製器	IIb	25.3	2.3	0.7	13-71-5					
14814	D8区・ZH-19	砂岩製器	II-c	26.7	4.0	1.7	15-8E-2					
14815	D8区・YD-92	砂岩製器	IIb	26.2	0.0	1.4	2-7E-38					
14816	B1区・K-101	砂岩製器	IIc	18.0	2.3	2.5	10-45-7					
14817	D8区・ZG-89	砂岩製器	-	-	-	-	9-47-3					
14818	D8区・SK-910	砂岩製器	-	-	-	-	10-33-8					
14819	B3区・SKT17	砂岩製器	-	-	-	-	0-7-2					
14820	D8区・YD-90	砂岩製器	IIa	8.5	2.8	1.6	4.42					
14821	D8区・ZT-103	砂岩製器	IIc	10.9	3.0	1.2	10-45-4					
14822	D5区・SKT32	砂岩製器	-	-	-	-	9-47-3					
14823	D5区・ZT-96	砂岩製器	IIa-b	18.0	2.2	1.6	10-33-8					
14824	F8区・YH-109	砂岩製器	IIb	13.8	3.2	1.0	15-23-1					
14825	F4区・YH-105	砂岩製器	IIa-b	12.7	3.2	1.4	19-17-3					
14826	B1区・Y-103	砂岩製器	IIc	8.9	3.0	1.1	18-11-8					
14827	B1区・Y-88	砂岩製器	IIc	9.6	5.3	5.3	300.3					
14828	D1区・Y-85	砂岩製器	IIa	18.8	5.5	3.8	204.9					
14829	B1区・Z-91	砂岩製器	IIb	7.7	3.3	2.9	81.5					
14830	D2区・SKF523	砂岩製器	-	-	-	-	4-10E-36					
14831	D1区・SK66	砂岩製器	-	-	-	-	5-20-5					
14832	F1区・YU-106	砂岩製器	IIc	12.2	4.9	6.1	89.0					
14833	F1区・YU-106	砂岩製器	IIc	9.9	6.7	3.5	80.0					
14834	D2区・Y-81	砂岩製器	IIa-b	12.5	7.5	5.5	300.0					
14835	D1区・YH-83	砂岩製器	IIc	10.8	5.7	4.3	369.0					
14836	F1区・YU-107	砂岩製器	IIc	6.1	9.0	3.8	330.8					
14837	F1区・YU-108	砂岩製器	IIc	12.0	7.8	4.9	540.0					
14838	D2区・Z-81	砂岩製器	IIa-b	13.7	3.5	5.5	680.0					
14839	D2区・Z-81	砂岩製器	IIa-b	7.0	6.3	4.3	225.8					
14840	D2区・Z-84	砂岩製器	IIb	-	-	-	5-7E-11					
14841	D3区・ZU-84	砂岩製器	-	-	-	-	5-7E-18					
14842	D3区・ZU-84	砂岩製器	-	-	-	-	5-7E-20					
14843	D3区・YF-87	砂岩製器	IIa-b	6.0	10.0	2.9	187.8					
14844	D4区・SK(S)124	砂岩製器	IIc	11.0	8.8	4.3	564.8					
14845	D7区・ZD-41	砂岩製器	IIa-b	10.8	8.2	5.0	747.1					
14846	D3区・YH-83	砂岩製器	IIc	10.9	5.8	5.4	504.4					
14847	D3区・YH-104	砂岩製器	IIc	13.2	4.4	3.7	420.0					
14848	D7区・YH-83	砂岩製器	IIc	-	-	-	10-46-27					
14849	D7区・YH-80	砂岩製器	-	-	-	-	13-71-8					
14850	D7区・SK-24	砂岩製器	-	-	-	-	9-48-20					
14851	D7区・YH-87	砂岩製器	IIa-b	-	-	-	4-10E-1					
14852	D7区・YH-86	砂岩製器	IIa-b	-	-	-	4-8E-8					
14853	D7区・ZB-87	砂岩製器	IIc	-	-	-	10-46-3					
14854	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-1					
14855	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-3					
14856	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-2					
14857	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-4					
14858	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-5					
14859	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-6					
14860	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-7					
14861	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-8					
14862	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-9					
14863	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-10					
14864	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-11					
14865	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-12					
14866	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-13					
14867	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-14					
14868	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-15					
14869	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-16					

第39表

国産番号	採集番号	採集場所	通称・フリネ名	種別	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	形状	用途	製作年代
14870	D8区 25-39	砂岩製器	IIa-b	3.5	2.3	0.8	1.5	9-10-10				
14871	B1区・SRI-17	石灰岩製器	IIb	6.3	2.3	0.9	1.8	2-7E-12				
14872	D8区・YD-102	砂岩製器	IIc	18.5	2.3	1.2	9-11-1					
14873	F8区・X-1-106	砂岩製器	IIa-b	16.0	2.7	1.8	9-31-1					
14874	D8区・ZT-18	砂岩製器	IIa-b	31.8	2.3	1.3	11-8E-2					
14875	F1区・H-103	砂岩製器	IIc	12.0	2.9	1.5	2-7E-11					
14876	F4区・YF-103	砂岩製器	IIb	10.7	2.9	2.0	13-71-6					
14877	D7区・Z-88	砂岩製器	IIa-b	16.5	2.7	1.2	11.8A					
14878	D7区・ZG-89	砂岩製器	IIa-b	15.5	2.8	1.2	11.8B					
14879	D7区・YH-14	砂岩製器	IIc	8.4	2.0	0.7	17-7					
14880	D8区・YH-80	砂岩製器	IIb	14.0	1.7	1.2	4.83					
14881	F6区・Y-113	砂岩製器	IIa	25.7	2.3	1.3	14-87-8					
14882	F4区・YD-102	砂岩製器	IIb	25.3	2.3	0.7	13-71-5					
14883	D8区・ZH-19	砂岩製器	II-c	26.7	4.0	1.7	15-8E-2					
14884	D8区・YD-92	砂岩製器	IIb	26.2	0.0	1.4	2-7E-38					
14885	B1区・K-101	砂岩製器	IIc	18.0	2.3	2.5	10-45-7					
14886	D8区・SK-910	砂岩製器	-	-	-	-	9-47-3					
14887	D8区・SKT17	砂岩製器	-	-	-	-	10-33-8					
14888	D8区・YD-90	砂岩製器	IIa	8.5	2.8	1.6	4.42					
14889	D8区・ZT-103	砂岩製器	IIc	10.9	3.0	1.2	10-45-4					
14890	D5区・SKT32	砂岩製器	-	-	-	-	9-47-3					
14891	D5区・ZT-96	砂岩製器	IIa-b	18.0	2.2	1.6	10-33-8					
14892	F8区・YH-109	砂岩製器	IIb	13.8	3.2	1.0	15-23-1					
14893	F4区・YH-105	砂岩製器	IIa-b	12.7	3.2	1.4	19-17-3					
14894	B1区・Y-103	砂岩製器	IIc	8.9	3.0	1.1	18-11-8					
14895	B1区・Y-88	砂岩製器	IIc	9.6	5.3	5.3	300.3					
14896	D1区・Y-85	砂岩製器	IIa	18.8	5.5	3.8	204.9					
14897	B1区・Z-91	砂岩製器	IIb	7.7	3.3	2.9	81.5					
14898	D2区・SKF523	砂岩製器	-	-	-	-	4-10E-36					
14899	D1区・SK66	砂岩製器	-	-	-	-	5-20-5					
14900	F1区・YU-106	砂岩製器	IIc	12.2	4.9	6.1	89.0					
14901	F1区・YU-106	砂岩製器	IIc	9.9	6.7	3.5	80.0					
14902	D2区・Y-81	砂岩製器	IIa-b	12.5	7.5	5.5	300.0					
14903	D1区・YH-83	砂岩製器	IIc	10.8	5.7	4.3	369.0					
14904	F1区・YU-107	砂岩製器	IIc	6.1	9.0	3.8	330.8					
14905	F1区・YU-108	砂岩製器	IIc	12.0	7.8	4.9	540.0					
14906	D2区・Z-81	砂岩製器	IIa-b	13.7	3.5	5.5	680.0					
14907	D2区・Z-81	砂岩製器	IIa-b	7.0	6.3	4.3	225.8					
14908	D3区・ZU-84	砂岩製器	-	-	-	-	5-7E-11					
14909	D3区・ZU-84	砂岩製器	-	-	-	-	5-7E-18					
14910	D3区・YF-87	砂岩製器	IIa-b	6.0	10.0	2.9	187.8					
14911	D4区・SK(S)124	砂岩製器	IIc	11.0	8.8	4.3	564.8					
14912	D7区・ZD-41	砂岩製器	IIa-b	10.8	8.2	5.0	747.1					
14913	D3区・YH-83	砂岩製器	IIc	10.9	5.8	5.4	504.4					
14914	D3区・YH-104	砂岩製器	IIc	13.2	4.4	3.7	420.0					
14915	D7区・YH-83	砂岩製器	IIc	-	-	-	10-46-27					
14916	D7区・YH-80	砂岩製器	-	-	-	-	13-71-8					
14917	D7区・SK-24	砂岩製器	-	-	-	-	9-48-20					
14918	D7区・YH-87	砂岩製器	IIa-b	-	-	-	4-10E-1					
14919	D7区・YH-86	砂岩製器	IIa-b	-	-	-	4-8E-8					
14920	D7区・ZB-87	砂岩製器	IIc	-	-	-	10-46-3					
14921	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-1					
14922	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-3					
14923	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-2					
14924	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-4					
14925	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-5					
14926	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-6					
14927	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-7					
14928	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-8					
14929	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-9					
14930	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-10					
14931	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-11					
14932	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-12					
14933	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-13					
14934	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-14					
14935	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-15					
14936	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-16					
14937	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-17					
14938	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-18					
14939	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-19					
14940	D7区・YH-86	砂岩製器	IIc	-	-	-	4-10E-20					

第40表

石製品觀察表(2)

標本 番号	標本 番号	標本・グループ名	層位	種類	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	図解番号
15001	119	D1区-VI-74	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	6.3	3.7	1.1	18.6	17-105-22
15002	120	D2区-VI-81	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.1	4.0	1.1	8.9	17-105-15
15003	121	D2区-VI-84	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.3	4.1	0.9	8.9	17-105-17
15004	122	D5区-VI-90	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	3.7	2.9	0.8	12.8	17-105-7
15005	123	D5区-VI-94	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	3.1	2.5	0.7	8.8	17-105-13
15006	124	D4区-VI-101	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	3.3	3.4	0.8	7.6	17-105-16
15007	125	D6区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.1	4.1	0.8	24.2	17-105-18
15008	126	D6区-VI-100	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.2	5.3	1.2	48.4	17-105-10
15009	127	D1区-VI-110	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.5	4.7	2.0	59.6	11-89-19
15010	128	D1区-VI-114	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	6.0	6.0	0.9	11.8	11-89-28
15011	129	F4区-VI-107	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.0	5.2	1.3	45.6	17-105-9
15012	130	D5区-VI-96	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.8	4.8	1.0	32.0	17-105-20
15013	131	D5区-VI-98	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.3	4.7	1.2	34.8	9-9-7
15014	132	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.4	4.0	1.0	24.0	6-85-53
15015	133	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.4	4.4	1.2	10.8	10-86-14
15016	134	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.5	5.1	1.4	14.3	10-86-15
15017	135	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.3	5.0	0.7	21.3	12-71-14
15018	136	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.0	4.6	2.4	47.8	10-86-19
15019	137	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.3	5.1	3.0	70.6	12-88-16
15020	138	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.3	4.3	0.9	18.5	11-89-16
15021	139	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.0	4.0	1.2	18.5	10-86-14
15022	140	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	7.2	7.0	1.5	15.7	10-86-15
15023	141	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	3.5	3.5	0.7	9.7	10-86-21
15024	142	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.5	4.5	0.8	10.8	10-86-17
15025	143	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	3.4	3.0	0.9	11.7	11-84-23
15026	144	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	7.7	6.7	1.1	62.5	6-84-7
15027	145	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	3.7	3.2	0.8	13.9	10-86-18
15028	146	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	3.3	3.1	0.7	6.8	11-84-24
15029	147	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	2.3	2.3	1.5	1.8	18-71-7
15030	148	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.4	4.5	1.2	25.8	17-105-8
15031	149	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.5	5.3	1.0	28.7	17-105-8
15032	150	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	8.7	8.1	2.2	176.5	12-82-12
15033	151	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	8.0	11.2	2.5	295.6	11-95-26
15034	152	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	3.8	4.0	3.2	46.5	11-84-29
15035	153	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.7	4.5	4.3	81.2	4-105-24
15036	154	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.8	4.8	4.8	80.0	12-82-9
15037	155	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.1	4.6	3.8	39.2	2-78-21
15038	156	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	6.3	6.2	5.0	95.8	4-105-18
15039	157	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.6	5.5	4.8	58.7	10-86-25
15040	158	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.3	4.7	4.2	43.7	2-78-28
15041	159	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.3	6.3	5.2	130.0	6-85-48
15042	160	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.5	6.5	5.2	75.1	4-87-13
15043	161	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.0	4.0	3.5	25.6	4-105-22
15044	162	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.7	4.4	4.8	20.5	4-105-21
15045	163	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	2.6	2.8	2.6	16.9	4-105-27
15046	164	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	3.5	3.7	3.0	19.8	4-105-28
15047	165	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.2	4.1	3.7	33.2	4-105-26
15048	166	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.0	4.3	4.0	75.9	11-94-30
15049	167	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	9.1	9.2	5.3	359.9	4-105-28

標本 番号	標本 番号	標本・グループ名	層位	種類	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	図解番号
15050	178	D2区-VI-80	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	6.1	6.3	2.7	83.3	17-105-22
15051	179	D2区-VI-81	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	6.8	4.0	2.2	61.9	5-78-16
15052	180	F1区-VI-104	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.3	4.2	1.6	39.3	6-85-67
15053	181	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	10.0	2.7	2.7	92.1	8-89-7
15054	182	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	7.7	3.5	1.3	39.0	8-89-9
15055	183	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	10.5	7.0	2.3	61.1	11-82-1
15056	184	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	14.5	3.5	2.1	161.4	11-89-47
15057	185	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	8.9	2.8	2.2	96.0	11-89-48
15058	186	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.2	4.8	1.4	46.7	10-89-41
15059	187	D2区-VI-80	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	8.5	3.0	1.7	16.8	5-74-1
15060	188	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.2	5.4	1.5	35.3	11-82-7
15061	189	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	3.0	2.3	0.5	13.7	13-71-9
15062	190	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.8	4.3	2.2	54.7	15-85-10
15063	191	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.5	5.0	1.3	38.4	2-76-1
15064	192	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.6	4.0	1.6	18.0	17-72-51
15065	193	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	9.5	7.8	1.6	50.3	4-13-3
15066	194	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	4.8	5.3	1.2	11.3	4-105-32
15067	195	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	13.4	2.8	2.7	42.3	10-89-50
15068	196	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.6	6.4	1.2	45.3	10-89-5
15069	197	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	10.8	3.0	2.8	47.0	10-89-49
15070	198	D5区-VI-99	Ⅱc	円筒状石製品	凝灰岩質砂岩	5.7	2.8	2.1	40.8	11-82-10

第56表 土製品・石製品各グリップット出土内訳一覽表(4)

グリップット	土製品					石製品				
	土器	土器(土)	土器(瓦)	土器(土)	土器(瓦)	土器	土器(土)	土器(瓦)	土器(土)	土器(瓦)
V1-87	1									
V1-88	2									
V1-89	1									
V1-90	1									
V1-91	1									
V1-92	1									
V1-93	2									
V1-94	1									
V1-95	1									
V1-96	1									
V1-97	1									
V1-98	1									
V1-99	1									
V1-100	1									
V1-101	1									
V1-102	1									
V1-103	1									
V1-104	1									
V1-105	1									
V1-106	1									
V1-107	1									
V1-108	1									
V1-109	1									
V1-110	1									
V1-111	1									
V1-112	1									
V1-113	1									
V1-114	1									
V1-115	1									
V1-116	1									
V1-117	1									
V1-118	1									
V1-119	1									
V1-120	1									
V1-121	1									
V1-122	1									
V1-123	1									
V1-124	1									
V1-125	1									
V1-126	1									
V1-127	1									
V1-128	1									
V1-129	1									
V1-130	1									
V1-131	1									
V1-132	1									
V1-133	1									
V1-134	1									
V1-135	1									
V1-136	1									
V1-137	1									
V1-138	1									
V1-139	1									
V1-140	1									
V1-141	1									
V1-142	1									
V1-143	1									
V1-144	1									
V1-145	1									
V1-146	1									
V1-147	1									
V1-148	1									
V1-149	1									
V1-150	1									
V1-151	1									
V1-152	1									
V1-153	1									
V1-154	1									
V1-155	1									
V1-156	1									
V1-157	1									
V1-158	1									
V1-159	1									
V1-160	1									
V1-161	1									
V1-162	1									
V1-163	1									
V1-164	1									
V1-165	1									
V1-166	1									
V1-167	1									
V1-168	1									
V1-169	1									
V1-170	1									
V1-171	1									
V1-172	1									
V1-173	1									
V1-174	1									
V1-175	1									
V1-176	1									
V1-177	1									
V1-178	1									
V1-179	1									
V1-180	1									
V1-181	1									
V1-182	1									
V1-183	1									
V1-184	1									
V1-185	1									
V1-186	1									
V1-187	1									
V1-188	1									
V1-189	1									
V1-190	1									
V1-191	1									
V1-192	1									
V1-193	1									
V1-194	1									
V1-195	1									
V1-196	1									
V1-197	1									
V1-198	1									
V1-199	1									
V1-200	1									

